

東京圏在住者の約半数が、地方圏での暮らしに関心あり

～移住等の増加に向けた広報戦略の立案・実施のための調査事業 報告書～

内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局は、地方移住の増加に向けた広報戦略を立案するために東京圏（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県）在住者の「東京圏以外の地域（地方圏）での暮らし（以下「地方暮らし」）」の意識・行動を把握するためのWEBアンケート調査（令和2年1月）とグループインタビュー（令和2年2・3月）を実施し、報告書にまとめました。

その結果、東京圏在住者（20～59歳）の49.8%が「地方暮らし」に関心を持っていること、地方圏出身の方が東京圏出身者よりも関心が高いこと、全体的に若者の方が関心を持っていることなどがわかりました。

●用語の定義 その1

- | | |
|---|---------|
| ①関心層……「地方暮らし」に関心があったり、気になったりしているが、何も行動をしていない層 | 「意向あり層」 |
| ②検討層……「地方暮らし」に関心があり、情報収集活動をしている層 | |
| ③計画層……1年以内または条件が整えばすぐに、ほぼ決めている地域への移住を考えている層 | |
| ④非意向層……「地方暮らし」に関心がない層 | 「意向なし層」 |
| ⑤断念層……「地方暮らし」に以前は関心があったが、今はない層 | |

●用語の定義 その2

- 東京圏出身者…20歳になるまでに合計で最も長く暮らした地域が「東京圏の都県」と回答した人（75.1%）
 地方圏出身者…20歳になるまでに合計で最も長く暮らした地域が「東京圏以外の道府県」と回答した人（24.9%）

(1) 東京圏在住者の49.8%が「地方暮らし」に関心を持っている【報告書 p.14】

東京圏在住者のうち、「意向あり層」は49.8%を占めました。内訳は、関心層36.1%、検討層11.5%、計画層2.2%です。（図1、図2参照）

(2) 地方圏出身者に限れば6割強が関心を持っており、東京圏出身者よりも高い【報告書 p.14】

地方圏出身者の「意向あり層」出現率は61.7%で、東京圏出身者の45.9%と比べて15.8%ポイント高い結果となりました。（図1参照）

図1 意向あり層と意向なし層の出現率

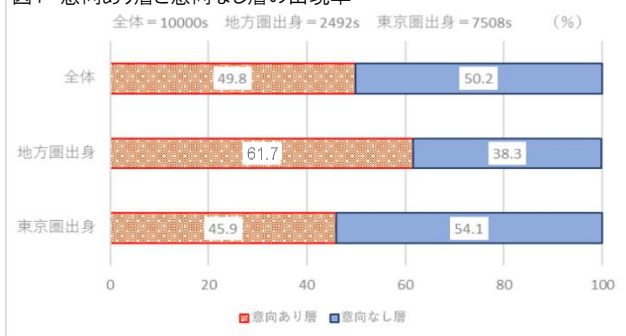
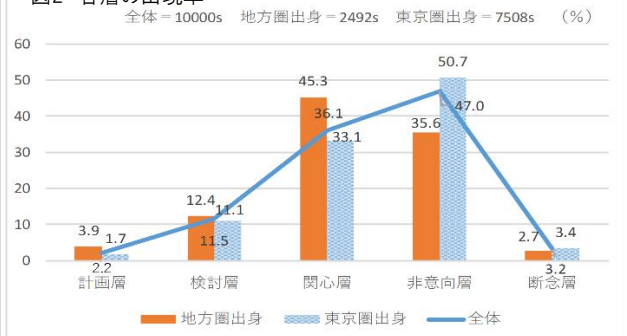


図2 各層の出現率



(3) 若い方が「地方暮らし」への関心が高い傾向が見られる 【報告書 p.19】

関心層から断念層までの5層の平均年齢を比べると、非意向層が最も高く(41.3歳)、関心層/検討層はほぼ同齢(40.1歳/40.3歳)、計画層が最も低く(35.7歳)、意向が高まるほど平均年齢が若くなる傾向が見られました。地方圏出身、東京圏出身ともに同じ傾向です。

(4) 「地方暮らし」を意識したのは、東京圏出身者は「旅行」、地方圏出身者は「将来のライフプランを考えたこと」がきっかけ 【報告書 p.40】

東京圏出身の「意向あり層」が「地方暮らし」を意識したきっかけのトップ2は、「旅行」(25.2%)、「将来のライフプランを考えたこと」(23.7%)、地方圏出身者は「将来のライフプランを考えたこと」(32.4%)、「帰省がきっかけ」(23.2%)でした。

(5) 発信して欲しい情報は「仕事」と「住まい」に関するもの 【報告書 p.49】

東京圏出身者/地方圏出身者ともに「意向あり層」が「地方暮らし」のために発信して欲しい情報のトップ2は、「仕事、就職に関する情報」(61.2%/60.3%)、「住居、住宅購入に関する情報」(59.9%/57.4%)でした。

(6) 地方圏出身20代30代が地元に戻らない理由 (グループインタビューより)

①男女共通で「コミュニティが狭すぎること」「仕事がないこと」等が挙げられた

- ・いろんな噂が1日で広まるのはきついな。コミュニティが狭い。(男性・関心層)【報告書 p.89】
- ・自分の地元も、遊びはモールに行ってそのあとファミレスが定番。誰かしらに会い、どこに行ったのか町中に筒抜け。(未婚女性・検討層)【報告書 p100】
- ・全国区の会社に入り、外の人たちの話を聞き、地元がつまらない、この狭いところから出たい、と思った。(既婚女性・非意向層)【報告書 p132】
- ・希望に合う自分の生活水準を満たすような仕事はない。(男性・非意向層)【報告書 p132】
- ・英語を使った仕事がしたいけど、地元にはない。(未婚女性・非意向層)【報告書 p132】

②女性特有の理由として「帰りたいのに、地元の価値観(女性への偏見等)になじめない」という意見が聞かれた

- ・周りが結婚したりして帰りづらい。あれこれ言われない状態になったら帰りたい。(未婚女性・関心層)【報告書 p.89】
- ・地元に戻りたいけど、今のこの歳で戻るといのは肩身が狭い。女性は家にいるものだと根強く残っているので、そういうのは苦しいかなと思う。(未婚女性・関心層)【報告書 p.89】
- ・ただ転職で戻っただけでも周りにワケありと思われる。(未婚女性・検討層)【報告書 p104】
- ・地元では、いつか結婚して、ここに住んで子ども育ててと言われてきて、その通りに過ごす友達もみてきたけど、自分はそう思えなかった。(未婚女性・非意向層)【報告書 p132】

(参考)調査対象者

- ・WEB アンケート調査:東京圏在住者(20~59 歳) 10000 名(一都三県の実人口<2015 年国勢調査>に応じて割付)
- ・グループインタビュー:東京圏在住者(20~39 歳) 18 グループ・104 名

以 上

移住等の増加に向けた
広報戦略の立案・実施のための調査事業
報 告 書

令和2年3月

目次

第1章 業務実施の概要

- 1. 業務目的 2
- 2. 業務の進め方 2

第2章 有識者ヒアリング結果

- 1. ヒアリング実施概要 6
- 2. 調査及び広報戦略に対しての示唆 7

第3章 移住に関するアンケート調査

- 1. 調査概要 10
- 2. 報告書を読む際の注意点 13
- 3. 調査結果の概要 14
- 4. 調査結果の詳細 18
- 5. 出現率(関心層)に関する考察 69

第4章 グループインタビューによる意識調査

- 1. 調査設計 73
- 2. 調査概要 83
- 3. 調査結果 85
- 4. 広報戦略に関する要点整理 150

第5章 広報戦略

- 1. 広報基本方針 155
- 2. 広報ターゲット 156
- 3. 広報内容(基本コンセプト) 161
- 4. 広報手段 162
- 5. 「地方暮らしの魅力案内サイト」のイメージ 164
- 6. アクセス解析とKPI 167

第1章 業務実施の概要

1. 業務目的

本調査事業は、東京圏在住の若年層を中心に地方暮らしへの関心を高めるために、対象となる層、有効な情報の内容・媒体等を調査・分析すると共に、効果的な広報戦略を立案し、地方への移住や関係人口の増加につなげることを目的とする。

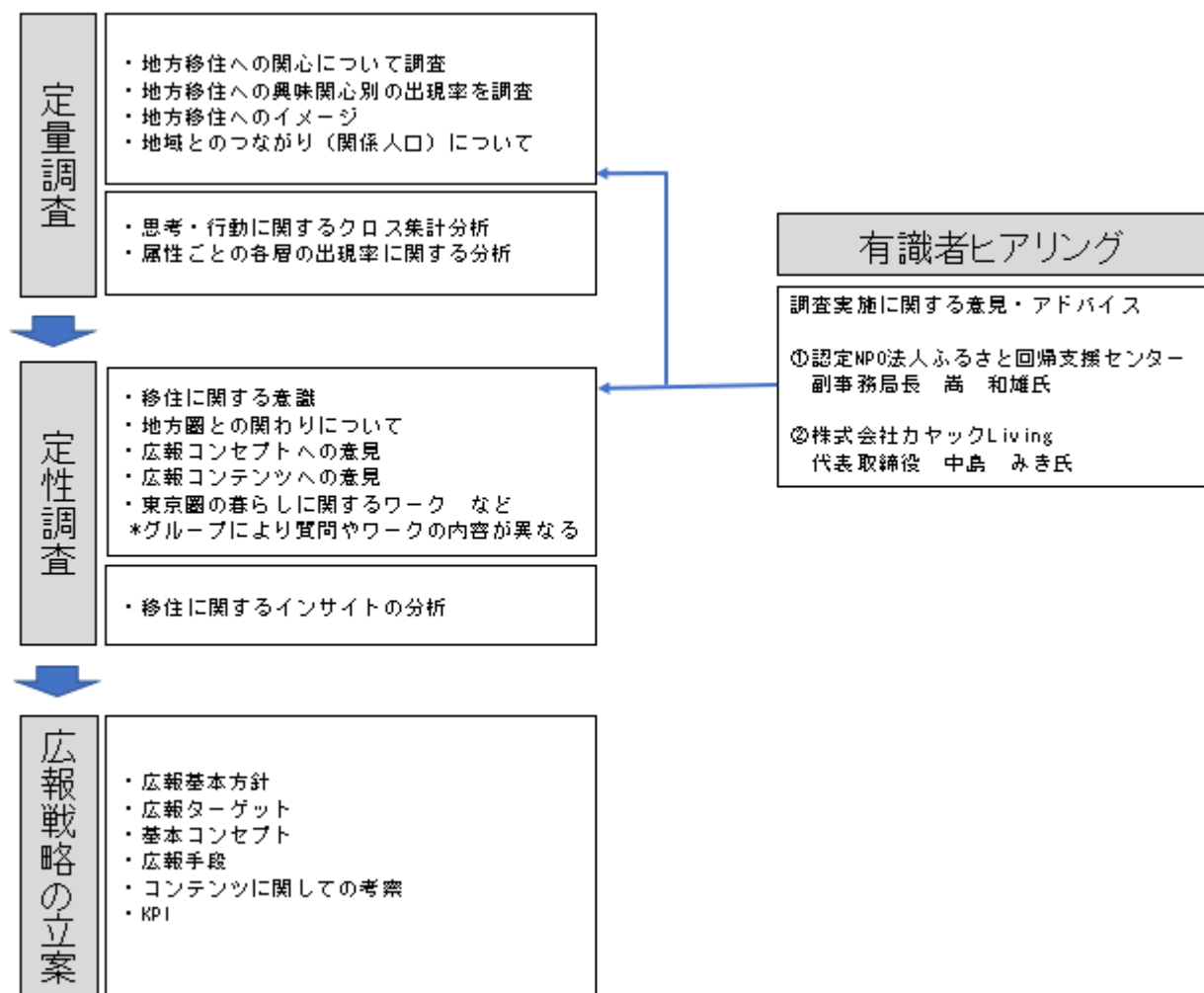
なお、本報告書での東京圏の定義は東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県の1都3県を指し、地方圏は上記の1都3県以外の道府県を指す。

2. 業務の進め方

本調査業務については、有識者ヒアリング、定量調査（WEB 調査）、定性調査（グループインタビュー）を行い、調査結果を分析し、広報戦略の立案を行った。

実施にあたっては、各工程で内閣官房と打合せを実施し進めた。

(1) 調査実施ステップと広報戦略の立案のフロー



(2)業務実施工程表

	1月 上旬	1月 中旬	1月 下旬	2月 上旬	2月 中旬	2月 下旬	3月 上旬	3月 中旬	3月 下旬
有識者ヒアリング		→							
定量調査			→						
定量調査分析				→	→	→			
定性調査					→	→	→		
定性調査分析						→	→	→	
広報戦略策定							→	→	
報告書作成								→	→
内閣官房内打合せ		第1回	第2回			第3回			

(3)業務の詳細

①有識者ヒアリング

定量調査と定性調査を実施するにあたり、アンケート調査の項目、グループインタビューの設問項目、実施方法について、また、移住に関する現状、移住するきっかけ、移住に関する課題等について、下記2名の有識者にヒアリングを実施した。

①認定NPO法人 ふるさと回帰支援センター 副事務局長 嵩 和雄氏

②株式会社カヤック Living 代表取締役 中島 みき氏

②定量調査

移住への関心について調査対象を関心層、検討層、計画層、非意向層、断念層の5つに分類できると仮定し、東京圏出身者と地方圏出身者別で、各層の出現率、属性（性別、年代、未婚既婚、職業、出身地など）のほか、地方移住への関心と行動、地方圏での暮らしを検討する理由、移住に対するイメージ、移住に関して発信して欲しい情報、普段接触するメディアやよく使用する SNS、また生活全般での幸福度などを調査した。

調査項目、実施方法については、有識者ヒアリングの結果を踏まえ、内閣官房と打合せを行い決定した。

③定性調査

東京圏在住の若年層（20代～30代の男女）を対象に、U/Jターン、Iターン、非意向層、関係人口に関する意識やニーズ・ウォンツ、ストレス等を把握し、彼らの地方への関心を高めるために有効な広報戦略に資する情報の収集・分析を行うために、グループインタビューを実施した。

グループ構成については、大学等への入学時、就職時に東京圏へ転入した女性については「転入しても戻らない」という傾向が、既存の統計より示唆されていることから、その理由解明及び意識変容のきっかけを把握することを重視し、女性に比重を置いた構成とした。

定量調査と同様に、有識者ヒアリングの結果を踏まえ、内閣官房とも十分な打合せを行い、スケジュールは下記のとおり実施した。

Gr 1	U/Jターン 関心層	未婚 + 既婚・子なし男性	6名	2020年2月16日（日）	15:30-17:30
Gr 2		未婚女性	6名	2020年2月15日（土）	10:00-12:00
Gr 3		既婚・子あり女性	6名	2020年2月15日（土）	13:00-15:00
Gr 4	U/Jターン 検討層	未婚 + 既婚・子なし男性	6名	2020年2月24日（月）	13:00-15:00
Gr 5		未婚女性	6名	2020年2月16日（日）	10:00-12:00
Gr 6		既婚・子あり女性	6名	2020年2月22日（土）	10:00-12:00
Gr 7	Iターン 関心層	未婚 + 既婚・子なし男性	6名	2020年2月23日（日）	13:00-15:00
Gr 8		未婚女性	5名	2020年3月2日（月）～3月9日（月）※	
Gr 9		既婚・子あり女性	5名	2020年2月16日（日）	13:00-15:00
Gr10	Iターン 検討層	未婚 + 既婚・子なし男性	5名	2020年2月22日（土）	13:00-15:00
Gr11		未婚女性	6名	2020年2月24日（月）	10:00-12:00
Gr12		既婚・子あり女性	6名	2020年2月24日（月）	15:30-17:30
Gr13	U/Jターン 非意向層	未婚 + 既婚・子なし男性	5名	2020年2月23日（日）	15:30-17:30
Gr14		未婚女性	6名	2020年2月22日（土）	15:30-17:30
Gr15		既婚・子あり女性	6名	2020年2月23日（日）	10:00-12:00
Gr16	関係人口 実施層	未婚 + 既婚・子なし男性	6名	2020年3月2日（月）～3月9日（月）※	
Gr17		未婚女性	6名		
Gr18		既婚・子あり女性	6名	2020年2月15日（土）	15:30-17:30

※Gr16～18 は、新型コロナウイルスの影響によりグループインタビュー形式での実施が中止となり、メールにより聴取項目（5問以内）を送付し、回答をいただく形とした。

④広報戦略の立案

定量調査及び定性調査の結果を基に、ターゲットを設定し、広報の基本方針を定めた。

また、ターゲットに対しての広報内容（広報の基本コンセプト）を明らかにし、広報手段と内閣官房/内閣府 WEB サイトへ誘導するためのアプローチ方法を明確にした。更に、内閣官房/内閣府 WEB サイトのコンテンツ内容とターゲット層が情報を得るための仕組みについて考察を行った。

⑤内閣官房との実施打合せに関する内容

第1回 1月16日（木）

- ①スケジュールについて
- ②有識者ヒアリングについて
- ③定量調査の実施について
- ④定性調査の概要について
- ⑤報告書作成の方針について

第2回 1月24日（金）

- ①定量調査の設問項目に関して

第3回 2月28日（金）

- ①広報戦略の方向性について
- ②報告書の骨子案について

第2章 有識者ヒアリング結果

1. ヒアリング実施概要

本調査事業実施に伴い、民間の移住事業に従事しておりかつ移住の近況に精通している有識者2名へヒアリングを実施し、定量調査及び定性調査に関する意見を聴取した。

(1) ふるさと回帰センター 副事務局長 嵩 和雄氏

日 時	2020 年 1 月 20 日 (月) 15:00～17:00		
場 所	有楽町東京交通会館 8 階 ふるさと回帰支援センター会議室		
ヒアリング対象	認定 N P O 法人 ふるさと回帰支援センター 副事務局長 嵩 和雄氏		
ヒアリング実施者	株式会社インテージリサーチ (再委託) 株式会社創造開発研究所	櫻木 齊藤	
出席者	内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局 同 同	三嶋氏 小林氏 長門氏	

(2) カヤック Living 社 代表取締役 中島みき氏

日 時	2020 年 1 月 21 日 (火) 14:00～16:00		
場 所	カヤック Living 社 (神奈川県鎌倉市御成町 11 番 8 号)		
ヒアリング対象	株式会社カヤック Living 代表取締役 中島みき氏		
ヒアリング実施者	株式会社インテージリサーチ (再委託) 株式会社創造開発研究所	櫻木、手嶋 姫井	
出席者	内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局	小林氏	

2. 調査及び広報戦略に対しての示唆

(1) 調査項目・内容に関して

①各層について

- ・ふるさと納税を継続する人は、その地方と継続してつながっており、検討層と考えられる。
- ・計画層と検討層の定義は曖昧であり、計画層の出現率はかなり低いと考えられる。「いくつかの候補が決まっている」等の設問を設けることで出現率は高くなる可能性がある。
- ・関心層は情報収集活動をしていない人でよい。

②U／JターンとIターンについて

- ・Iターンを希望する人は地方の暮らしに関心があり、理想を求めている。現状の生活や不満・不安の解決として移住を考えているのかについては、確認が必要である。
- ・女性がUターンしないのは、東京に出てくると、地方の男性とは価値観が合わなくなるのではないかと考えられる。
- ・東京に出てきた目的が、地方の暮らしが嫌だからという人と、東京でしかできないことをしたいからという人とは意識や考え方が違う。
- ・東京の人がいきなり田舎で暮らすのは難しいが、地方都市に移住するということはある。
- ・Iターンの相談者は多いが、Uターンはダイレクトに行動するので、実態としてはIターンとU／Jターンは半々かも知れない。

③年代について

- ・年代によって、移住で期待するライフスタイル、移住先で実現したいことに対する意識の差があると考えられる。
- ・20代～30代が地方に帰らない理由は、東京が何をするにも便利で、効率的ということが考えられる。
- ・20代～30代は移住先として、人口規模の小さな町志向で、人数の少ない中山間地域に魅力を感じている人が多い傾向があると考えられる。

④婚姻状況・子どもの有無について

- ・子どもの就学状況や子どもの人数で移住への意識が異なると考えられる。
- ・定性調査のグルーピングに関しては、男性でも子どもの有無が回答を大きく左右するため「未婚＋既婚・子どもなし」で1グループ作るのが良いと考えられる。

⑤その他

- ・20代～40代は仕事があることが移住の大前提となっている。雇用されたいという希望が多い。雇用ということだと農村部には仕事がなく、仕事がある都市部が選ばれる。
- ・移住を考えている人の中にも、相談窓口に行くなど、ずっと情報収集をしているが具体的に移住に向けて行動していない人がいる。

- ・移住している人は疲れたからという人ではない。移住先を探す、やりたいことを見つけるなど、現在の生活を変えることのほうが労力が必要でハードルが高いためである。
- ・移住を考え始めてからどのくらい経つかを調査項目に入れたほうがよい。
- ・関係人口に関しては、実際に移動を伴う活動をしている人とそうでない人それぞれに対するアプローチ方法がわかればよいと思うので、定性調査では、それぞれに対する設問を用意するとよい。
- ・移住意向や実際に移住できるか否かは、今の仕事（会社）や文化に左右されることが大きい。今の会社の諸条件（兼業・副業の可否、遠距離通勤での交通費の支給、フレックスタイム、リモートワーク等の制限）など、どのような働き方をしているかに関する設問を入れたほうがよい。
- ・実際の移住と移住先候補の選定数には、あまり差はないものと思われる。
- ・年収 400 万～800 万円ぐらいの人は、それなりの安定感・現状維持を望む人が多く、移住で年収が減るかもしれないと考えると、移住しづらくなる傾向があると考ええる。
- ・年収 800 万円を超えると、幸福度は年収に比例しないということも言われており、経済指標以外の人のつながりや地域、環境といった社会的指標で「幸せ」を提示できるとよいと考える。

(2) 広報戦略に関して

①ターゲットに関して

- ・相談などの表面化する行動としては U／J ターンより、I ターンのほうが多い。
- ・U ターンについて検討しているのは 20 代が最も多いのではないかと考えられる。

②メディアに関して

- ・田舎暮らしの情報が SNS で伝えられるとよい。
- ・共感を得るためには SNS が有効と考える。
- ・今は SNS 等でリアルな情報が入り、故郷にいる友人とのネットワークが途切れない傾向にある。
- ・SNS を通して、東京にいるよりも、地方にいる友人のほうが良い暮らしをしているといった比較がしやすい社会になっている。

③メッセージ内容に関して

- ・I ターンと U ターンでは発信すべきメッセージは全く異なる。U ターン希望者に田舎の良さを発信しても意味がない。
- ・移住という言葉が難しい。「暮らしのセミナー」「ライフスタイルを知る」といった、移住という言葉を使わないセミナーには人がたくさん来る傾向がある。
- ・地方には若い人が少ないので、若い人の活躍の場があるのではないかと考えられる。
- ・「移住」という言葉を使用すると、「地域に住み続けなければならない」という意味が包含されているように感じて、重たさを感じる人が多いのではないかと考えられる。

第3章 移住に関するアンケート調査

1. 調査概要

(1) 定量調査の概要

実施した定量調査の概要は下記のとおり。

項目	内容
調査対象	株式会社インテージのインターネットモニター「マイティモニター」のうち、東京圏（東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県）に在住している 20～59 歳の男女
対象数	10,000 サンプル
調査割付	東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県の 20～59 歳の人口（2015 年国勢調査）に応じてサンプルを割付
調査方法	WEB 調査（モニターへメールによる依頼の後、WEB 調査画面にて回答）
調査時期	2020 年 1 月 30 日～2 月 3 日
設問数	50 問
主な調査内容	出現率と属性に関する設問 ● 属性項目 ➢ 性別、年齢、出身地、居住地、婚姻状況、職種、年収、世帯構成（末子の学齢）、居住形態、通勤時間 ● 東京圏への転入理由（地方圏出身者のみ） ● 東京圏での居住年数（地方圏出身者のみ） ● 帰省先（実家）の有無（地方圏出身者のみ） ● よく見るメディア ● よく使う SNS ● 地方圏への移住意向（5 層把握） 各層に対して思考や行動について広く調査する。 （例）【検討層】地方移住に関してどのような情報が必要ですか。 【計画層】地方移住に関してどのような情報媒体を利用しましたか。 ● 現在の幸福度
	思考と行動に関する設問 ● 地方圏での暮らしのイメージ（ポジティブとネガティブ） ● 情報収集の内容 ➢ 情報収集の有無、実際に情報収集している内容・媒体、有効な情報、情報収集に関する 5W1H（時間帯・使い分け…等）など情報収集状況、発信してほしい情報、地域への関心や移住意向が強まったなど印象に残っている情報概要 ● 移住相談会やイベントへの参加 ● 移住先で期待するライフスタイル、移住先で実現したいこと（目的） ● 移住する上での阻害要因及び課題 ● 地方圏での暮らしで不安なこと ● 印象に残っている地方公共団体の取組やキャッチフレーズ（自由回答） ● 地域への関心（地方移住に興味関心がない層も含む） ➢ 関心を寄せている地域名、関わり方、今後の意向等 ● 職場の制度と満足度

(2) 定量調査の活用と分析方法

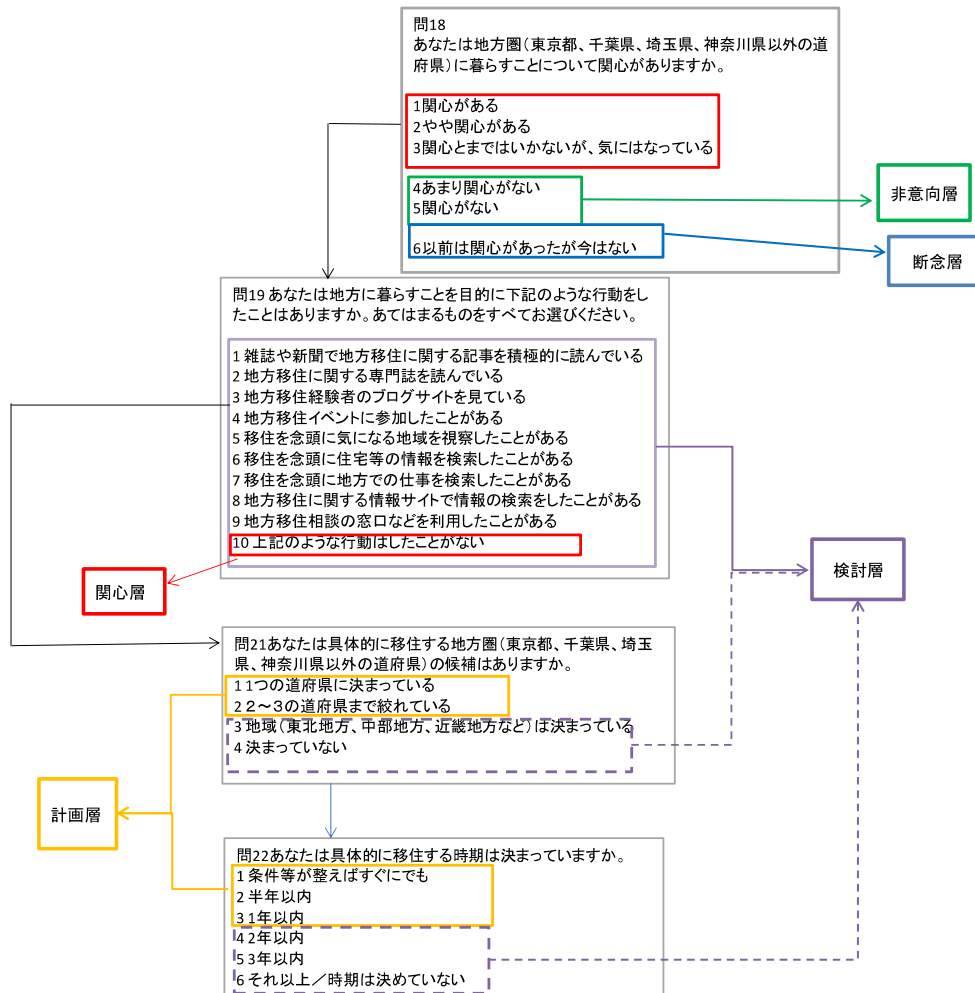
定量調査の主たる目的は移住に至るまでのプロセスを層として仮定し、各層の出現率の把握とその属性について分析を行うために実施した。各層の詳細は「計画層（移住の時期・場所・仕事等を決めて移住を具体的に計画している層）」、「検討層（情報収集等を行い、移住を検討している層）」、「関心層（移住に漠然とした興味はあるものの何もしていない層）」、「非意向層（移住に関して興味関心のない層）」、「断念層（以前、移住に関して興味関心があったが現在はなくなっている層）」として5つの層があると仮定した。出現率の分析については東京圏出身者と地方圏出身者別に行い、属性は性別、年代、子どもの状況別などによるクロス集計分析を実施した。

各層の定義とアンケート調査の関係は以下のとおりに整理した。

各層の名称	状態	判定する設問（条件）
計画層	移住の時期・場所・仕事等を決めて移住を具体的に計画している層	①「問18で1～3」を選択 ②「問21で1又は2」及び「問22で1～3」を選択
検討層	積極的に情報収集等を行い、移住を検討しているが具体的な移住の予定等がない層	①「問18で1～3」を選択 ②「問19で1～9」を選択 ③「問21で3又は4」及び「問22で4～6」を選択
関心層	移住に漠然とした興味はあるものの何もしていない層	①「問18で1～3」を選択 ②「問19で10」を選択 ③「問21で3又は4」及び「問22で4～6」を選択
非意向層	移住に関して興味関心のない層	①「問18で4又は5」を選択
断念層	以前、移住に関して興味関心があったが現在はなくなっている層	①「問18で6」を選択

(3)各層判定のフロー図

3-1 各層判定のフロー図



2. 報告書を読む際の注意点

- 集計は、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、数値の合計が100.0%にならない場合がある。
- 基数となる実数「n」は、設問に対する回答者数である。回答比率は原則として「n」を100.0%として表している。
- 複数回答の集計結果を表す集計表又はグラフの場合、「%」は選択肢の構成比を表すものではなく、回答のあったサンプル数に対する割合を表す。そのため、全ての比率を合計すると100.0%を超えることがある。
- 複数回答の設問は、多い順に並び替えをしている場合がある。
- 基数となるべき実数「n」が極端に少なくなる場合は正確に分析できないため、本文中では触れていない。n数が30未満の場合、参考での掲載とする。
- 地方圏出身及び東京圏出身のクロス軸は問3の「20歳になるまでに合計で最も長く暮らした都道府県」の回答を用いている。
- クロス集計表において、全体結果の割合と比較して特徴がみられるセルには下記のとおり色を塗っている。

■ 検定・ポイント差情報						
ポイント差		+5ポイント以上		+10ポイント以上		+20ポイント以上
対TOTAL行		-5ポイント以下		-10ポイント以下		-20ポイント以下

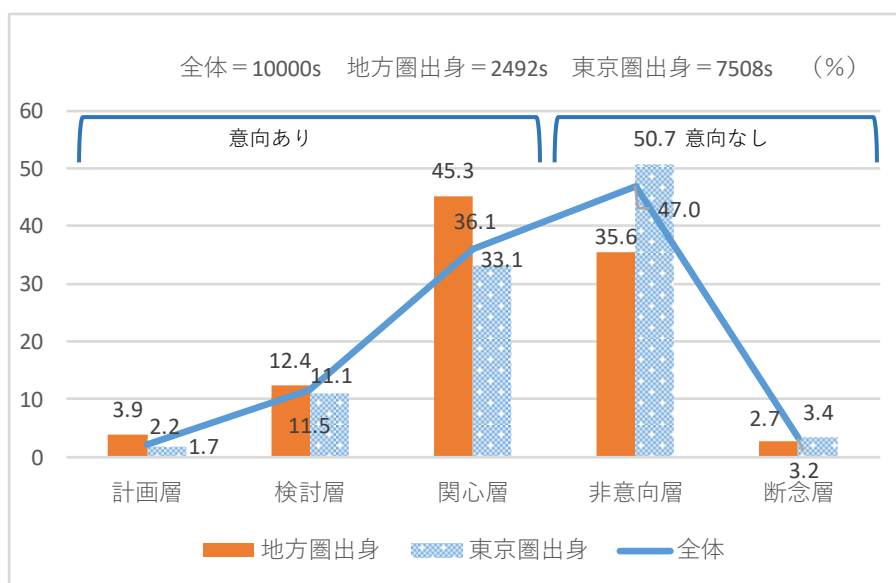
3. 調査結果の概要

(1) 各層の出現率について

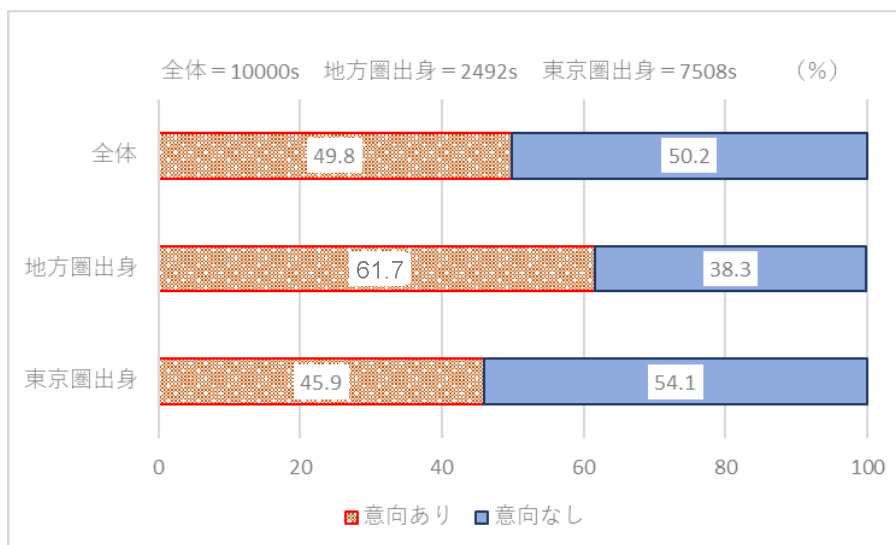
本事業の主たる目的の1つである、移住に至るまでの各層についての調査結果を集計したところ、出現率は以下の通りであった。

関心層は地方圏出身の割合が高く、非意向層の割合は東京圏出身で高くなっている。また計画層、検討層、関心層を足しあげた数値を「意向あり」、非意向層と断念層を「意向なし」として集計したところ、「意向あり」は地方圏出身が東京圏出身より15.8%pt高くなっている。

3-2 各層の出現率



3-3 意向ありとなしの比較



(2)属性について

- ・【全体】20歳になるまでに合計で最も長く暮らした都道府県は、「東京圏」が75.1%となり、「地方圏出身者」は、24.9%である。(図3-7)
- ・【全体】婚姻状況は、「結婚している(事実婚も含む)」が53.0%、「結婚していない」が43.3%(結婚したことはない:35.4%+以前に結婚していたことがある:7.9%)である。(図3-10)
- ・【全体】同居の状況については、「配偶者・パートナー」(問6:「1.結婚している」回答者)が49.4%と最も高く、「子ども」は37.4%と続いている。「同居者はいない」は21.4%である。(図3-13)
- ・【問8:「8.子ども」回答者】子どものいる世帯のうち、「未就学児のいる世帯」は、40.7%である。(図3-17)
- ・【全体】住居形態は、「戸建て(持ち家)」が39.8%、「賃貸マンション・アパート」が35.7%である。(図3-18)

(3)移住意向について

- ・【全体】地方圏に暮らすことについて関心があるかについては、「関心がない」(関心がない:24.4%+あまり関心がない:22.6%)が47.0%、「関心がある」(関心がある:15.6%+やや関心がある:15.5%)が31.1%である。(図3-25)
- ・【全体】計画層の年齢が最も低く、非意向層の年齢が最も高くなっており地方圏出身、東京圏出身ともに移住意向が強まるほど平均年齢が低くなる傾向がみられる。(図3-5)
- ・【問18:「1.関心がある」、「2.やや関心がある」、「3.関心とまではいかないが、気にはなっている」いずれか回答した者】地方に暮らすことを目的にした行動としては、「移住を念頭に住宅等の情報を検索したことがある」が8.2%と最も高く、次いで「地方移住に関する情報サイトで情報の検索をしたことがある」が8.0%と続いている。行動期間としては、「3年未満、1年以上」が27.1%、「5年以上前」が23.7%となっている。(図3-26)
- ・【問18:「1.関心がある」、「2.やや関心がある」、「3.関心とまではいかないが、気にはなっている」いずれか回答した者】具体的に移住する地方圏の候補については、「候補がある」は35.3%(1つの道府県に決まっている:15.2%+2~3の道府県まで絞れている:11.6%+地域(東北地方、中部地方、近畿地方など)は決まっている:8.5%)である。(図3-28)
- ・【問21:「1.1つの道府県に決まっている」、「2.2~3の道府県まで絞れている」いずれか回答した者】具体的な移住先の候補としている道府県をみると、「北関東・甲信」が30.2%と最も高く、次いで「九州」が27.6%と続いている。(図3-48)
- ・【問21:「1.1つの道府県に決まっている」、「2.2~3の道府県まで絞れている」いずれか回答した者】移住先の候補が自身または配偶者・パートナーの出身地も入っているかをみると、「出身地は候補に入っていない」が45.5%、「出身地のみが候補に入っている」が29.5%である。(図3-49)
- ・【問18:「1.関心がある」、「2.やや関心がある」、「3.関心とまではいかないが、気にはなっている」いずれか回答した者】具体的な移住時期は、「それ(3年)以上/時期は決めていない」が89.8%であり、具体的に決めている人は少ない。(図3-29)

(4) 地方での生活について

・【問 18：「1. 関心がある」、「2. やや関心がある」、「3. 関心とまではいかないが、気にはなっている」いずれか回答した者】地方圏での暮らしを検討する理由としては、「豊かな自然環境があるため」が 54.8%と最も高く、「生まれ育った地域で暮らしたいため」が 16.2%と続いている。(図 3-30)

・【問 18：「1. 関心がある」、「2. やや関心がある」、「3. 関心とまではいかないが、気にはなっている」いずれか回答した者】地方圏での暮らしを意識したきっかけは、「将来のライフプランを考えたことがきっかけ」が 26.4%と最も高く、次いで「現在の生活や仕事に疲れを感じたことがきっかけ」が 21.7%と続いている。(図 3-31)

・【全体】地方圏の暮らしに対してのポジティブなイメージは、「自然豊かな環境でのんびりと老後を過ごす暮らし」が 40.1%と最も高く、次いで「ワークライフバランスがとれた暮らし」が 23.6%と続いている。(図 3-32)

・【全体】地方圏の暮らしに対してのネガティブなイメージは、「公共交通の利便性が良くなさそう」が 55.5%と最も高く、次いで「収入が下がる気がする」が 50.2%と続いている。(図 3-33)

(5) 普段の情報収集について

・【問 18：「1. 関心がある」、「2. やや関心がある」、「3. 関心とまではいかないが、気にはなっている」いずれか回答した者】地方圏に暮らすために「情報収集している」人は 13.9%、「していない」は 86.1%である。(図 3-34)

・【問 27：「1. 情報収集をしている」回答者】実際に収集している情報の内容は、「仕事」が 55.8%と最も高く、次いで「生活コスト（物価、光熱費、住居費など）」が 41.6%と続いている。情報収集している手段は、「WEB」は 91.2%、「WEB 以外」は、69.0%である。(図 3-35)

・【問 27：「1. 情報収集をしている」回答者】情報収集した中で、有益な情報は、「仕事に関する情報」が 32.9%と最も高く、次いで「生活コスト（物価、光熱費、住居費など）に関する情報」が 24.8%と続いている。(図 3-38)

・【問 27：「1. 情報収集をしている」回答者】情報収集についての満足度は、「発信されている情報が少なく、あまり満足できていない」が 45.4%、「いくつか足りない情報はあがるが、おおむね満足している」が 38.8%である。(図 3-39)

・【問 27：「1. 情報収集をしている」回答者】発信してほしい情報は、「仕事（収入含む）、就職に関する情報」が 60.3%と最も高く、「住居・住宅購入に関する情報」が 58.3%と続いている。(図 3-40)

(6) 地方での生活について

・【問 18：「1. 関心がある」、「2. やや関心がある」、「3. 関心とまではいかないが、気にはなっている」いずれか回答した者】移住先で期待するライフスタイルや実現したいことは、「自分に合った生活スタイルを送ること」が 43.1%と最も高く、次いで「スローライフを実現すること」が 39.3%と続いている。(図 3-41)

・【問 34：「1. やりたい仕事、自分に合った仕事をする事」回答者】地方圏でやりたい仕事のイメージとして近いものは、「自分の能力のキャリアを生かした仕事がしたい」が 40.9%と最も高く、「地域に密着した仕事がしたい」が 35.0%と続いている。(図 3-42)

・【問 34：「1. やりたい仕事、自分に合った仕事をする事」回答者】地方圏でやりたい業種は、「農業・林業」が 15.4%と最も高く、次いで「宿泊業・飲食サービス業」が 14.9%と続いている。（図 3-43）

・【問 18：「1. 関心がある」、「2. やや関心がある」、「3. 関心とまではいかないが、気にはなっている」いずれか回答した者】地方圏へ移住することへの不安や懸念点は、「働き口が見つからないこと」が 50.8%と最も高く、次いで「公共交通機関が不便なこと」が 49.7%と続いている。（図 3-44）

（7）地域との関わりについて

・【問 38：「1. 取組を知っている」回答者】地方移住に関連して地方公共団体の取組で印象に残っている取組みについては、「住宅（家賃・リフォーム等）に関する補助」が 66.0%と最も高く、次いで「引っ越し費用の補助」と「田舎暮らし体験」がともに 45.7%と続いている。（図 3-46）

・【全体】東京圏を除く道府県で移住するかどうかにかかわらず、興味・関心を抱いている地域については、「ある」が 27.4%、「ない」が 41.5%である（図 3-50）。【問 44：「1. ある」回答者】興味・関心を抱いている地域は、「九州」が 45.8%と最も高く、次いで「北関東・甲信」が 29.8%と続いている（図 3-51）。

・【問 44：「1. ある」回答者】興味・関心のある地域との関わり方については、「地縁がある又は血縁者がいて、お盆や正月の帰省以外で訪問している」が 22.2%と最も高く、次いで「お盆や正月に帰省している」が 20.8%と続いている（図 3-52）。【全体】関係人口の出現率をみると、関係人口は 14.8%、非関係人口は 85.2%である（図 3-53）。【関係人口のみ】また、「訪問型」が 69.9%、「非訪問型」が 11.7%、「帰省・業務上の訪問」が 18.4%である（図 3-54）。

（8）現在の仕事について

・【全体】回答者自身の就労状況については、「民間企業の従業員」が 61.8%、「専業主婦/主夫」が 12.1%、「公務員・団体職員」が 7.1%である。（図 3-11）

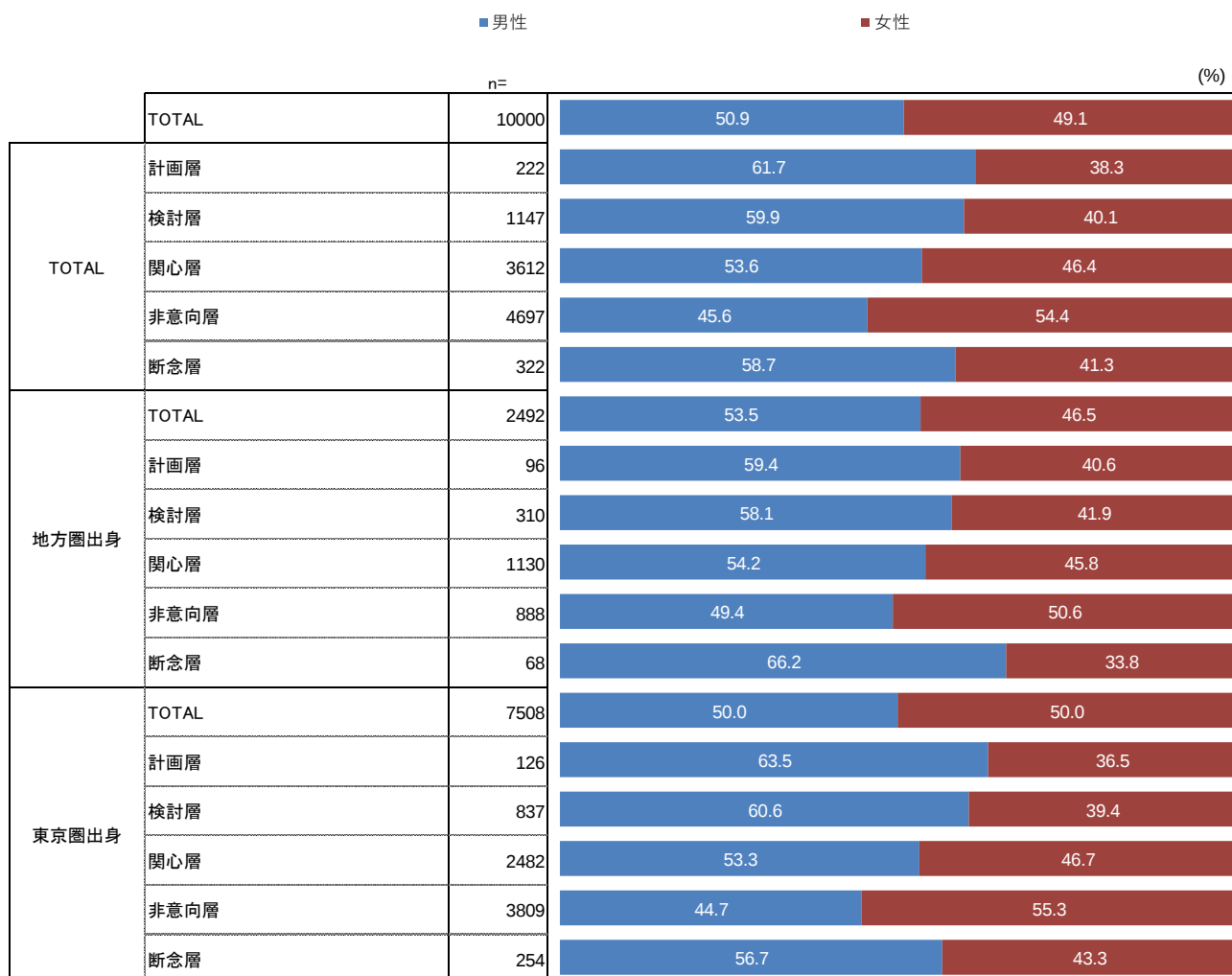
・【問 7：「8. 休業中（育児、介護、病気療養等）」、「9. 学生」、「10. 専業主婦/主夫」、「11. 無職」以外の回答者】通勤時間は、1 時間未満の人（30 分未満：35.6%＋30 分以上 1 時間未満：37.1%）が 7 割を超える。（図 3-19）

・【問 7：「9. 学生」、「10. 専業主婦/主夫」、「11. 無職」以外の回答者】仕事に関する満足度は、「5 段階目」が 25.4%で、5 段階以上が 7 割を超える。（図 3-56）

4. 調査結果の詳細

【問1】あなたの性別をお答えください。

3-4 回答者の性別



回答者の性別は、全体では、男性 50.9%、女性 49.1%となっている。

出身圏別にみると、地方圏出身は、全体では、男性 53.5%、女性 46.5%となっている。東京圏出身は、全体では、男性 50.0%、女性 50.0%となっている。

【問2】あなたの年齢をお答えください。

3-5 回答者の年代

		n=	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	(%)	平均年齢
TOTAL		10000	20.5	25.8	30.8	23.0		40.6
TOTAL	計画層	222	37.8	28.4	22.5	11.3		35.7
	検討層	1147	22.2	24.9	28.9	24.0		40.4
	関心層	3612	22.6	25.4	30.2	21.7		40.1
	非意向層	4697	17.4	26.0	32.3	24.3		41.3
	断念層	322	23.9	27.3	26.4	22.4		39.8
地方圏出身	TOTAL	2492	23.1	27.6	27.2	22.1		39.9
	計画層	96	33.3	32.3	22.9	11.5		36.4
	検討層	310	25.5	26.1	25.2	23.2		39.6
	関心層	1130	24.4	28.1	28.2	19.2		39.3
	非意向層	888	18.9	26.8	27.8	26.5		41.2
	断念層	68	30.9	30.9	16.2	22.1		38.0
東京圏出身	TOTAL	7508	19.6	25.1	31.9	23.3		40.8
	計画層	126	41.3	25.4	22.2	11.1		35.3
	検討層	837	21.0	24.5	30.2	24.3		40.7
	関心層	2482	21.8	24.2	31.1	22.9		40.5
	非意向層	3809	17.0	25.8	33.4	23.8		41.3
	断念層	254	22.0	26.4	29.1	22.4		40.3

回答者の年代は、全体では、40-49歳が30.8%、30-39歳が25.8%、50-59歳が23.0%、20-29歳が20.5%となっている。

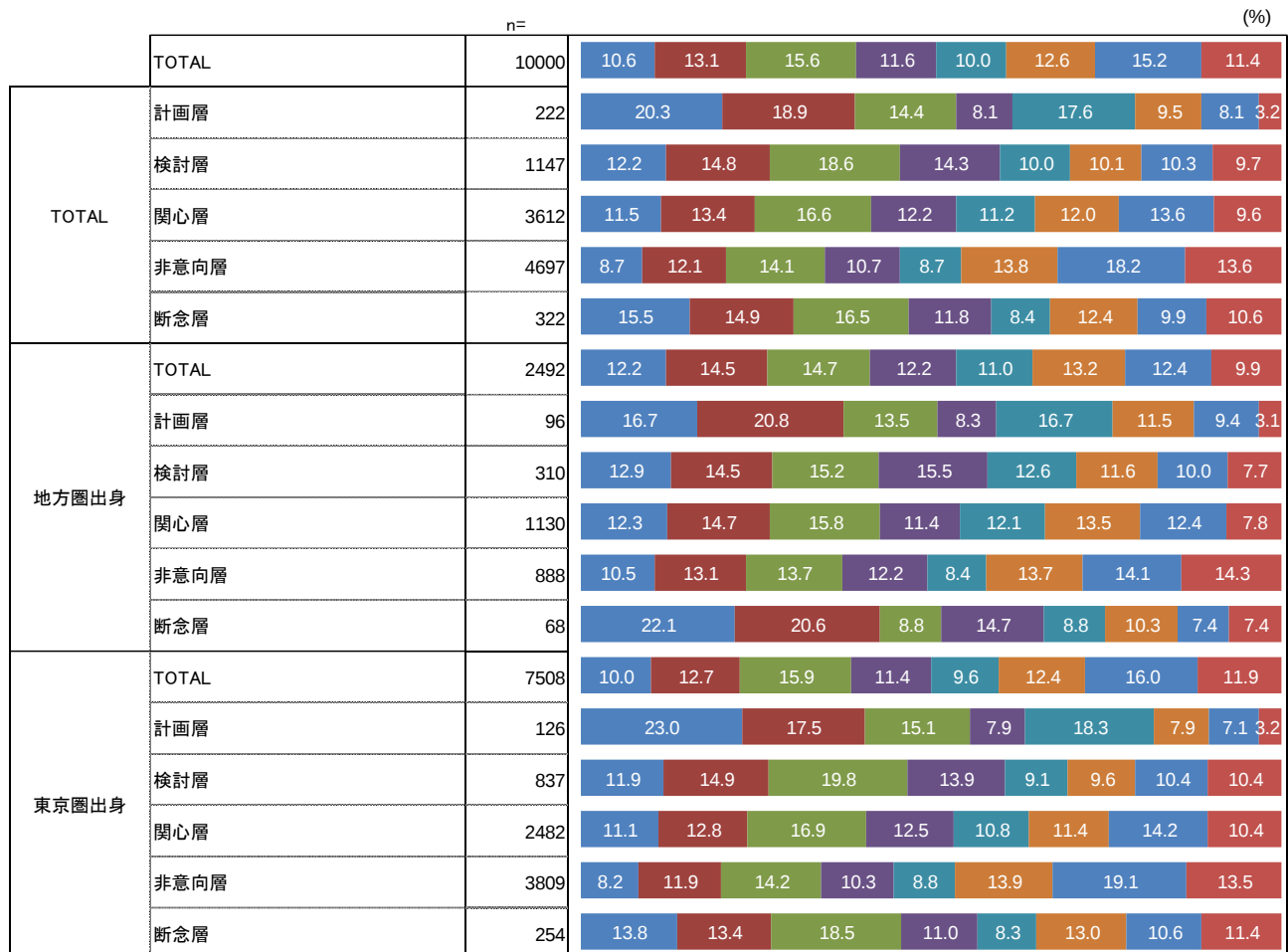
出身圏別にみると、地方圏出身は、全体では、30-39歳が27.6%、40-49歳が27.2%、20-29歳が23.1%、50-59歳が22.1%となっている。東京圏出身は、全体では、40-49歳が31.9%、30-39歳が25.1%、50-59歳が23.3%、20-29歳が19.6%となっている。

平均年齢（歳）をみると、地方圏出身者が39.9歳、東京圏出身者が40.8歳と大きな違いはみられない。層別にみると計画層の年齢が最も低く、非意向層の年齢が最も高くなっており地方圏出身、東京圏出身ともに移住意向が強まるほど平均年齢が低くなる傾向がみられる。

【性年代別】

3-6 回答者の性年代

■ 男性20-29歳 ■ 男性30-39歳 ■ 男性40-49歳 ■ 男性50-59歳 ■ 女性20-29歳 ■ 女性30-39歳 ■ 女性40-49歳 ■ 女性50-59歳



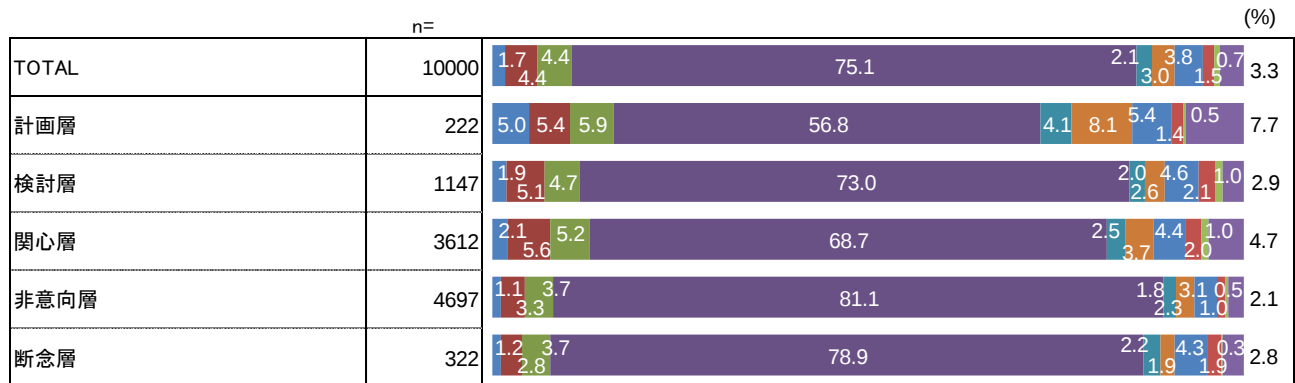
回答者の性年代は、全体では、男性 40-49 歳が 15.6%、女性 40-49 歳が 15.2%、男性 30-39 歳が 13.1%、女性 30-39 歳が 12.6%となっている。

出身圏別にみると、地方圏出身は、全体では、男性 40-49 歳が 14.7%、男性 30-39 歳が 14.5%、女性 30-39 歳が 13.2%、女性 40-49 歳が 12.4%となっている。東京圏出身は、全体では、女性 40-49 歳が 16.0%、男性 40-49 歳が 15.9%、男性 30-39 歳が 12.7%、女性 30-39 歳が 12.4%となっている。

【問3】あなたが20歳になるまでに合計で最も長く暮らした都道府県をお答えください。(地区区分別)

3-7 20歳になるまでに最も長く暮らした地域

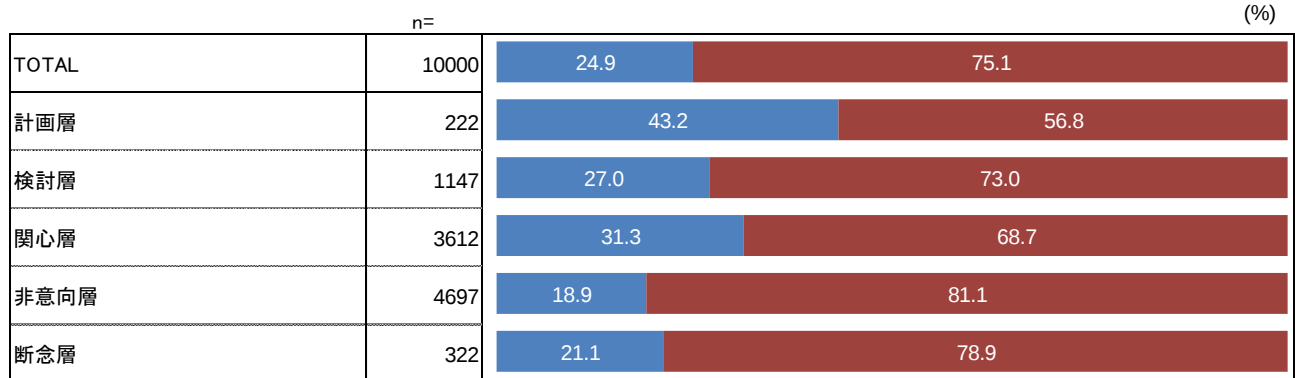
■北海道 ■東北 ■北関東・甲信 ■東京圏 ■北陸 ■東海 ■近畿 ■中国 ■四国 ■九州



20歳になるまでに合計で最も長く暮らした地域をみると、全体では、「東京圏」が75.1%と高くなっている。層別にみると「東京圏」は非意向層が81.1%、断念層で78.9%と高くなっている。

3-8 出身圏

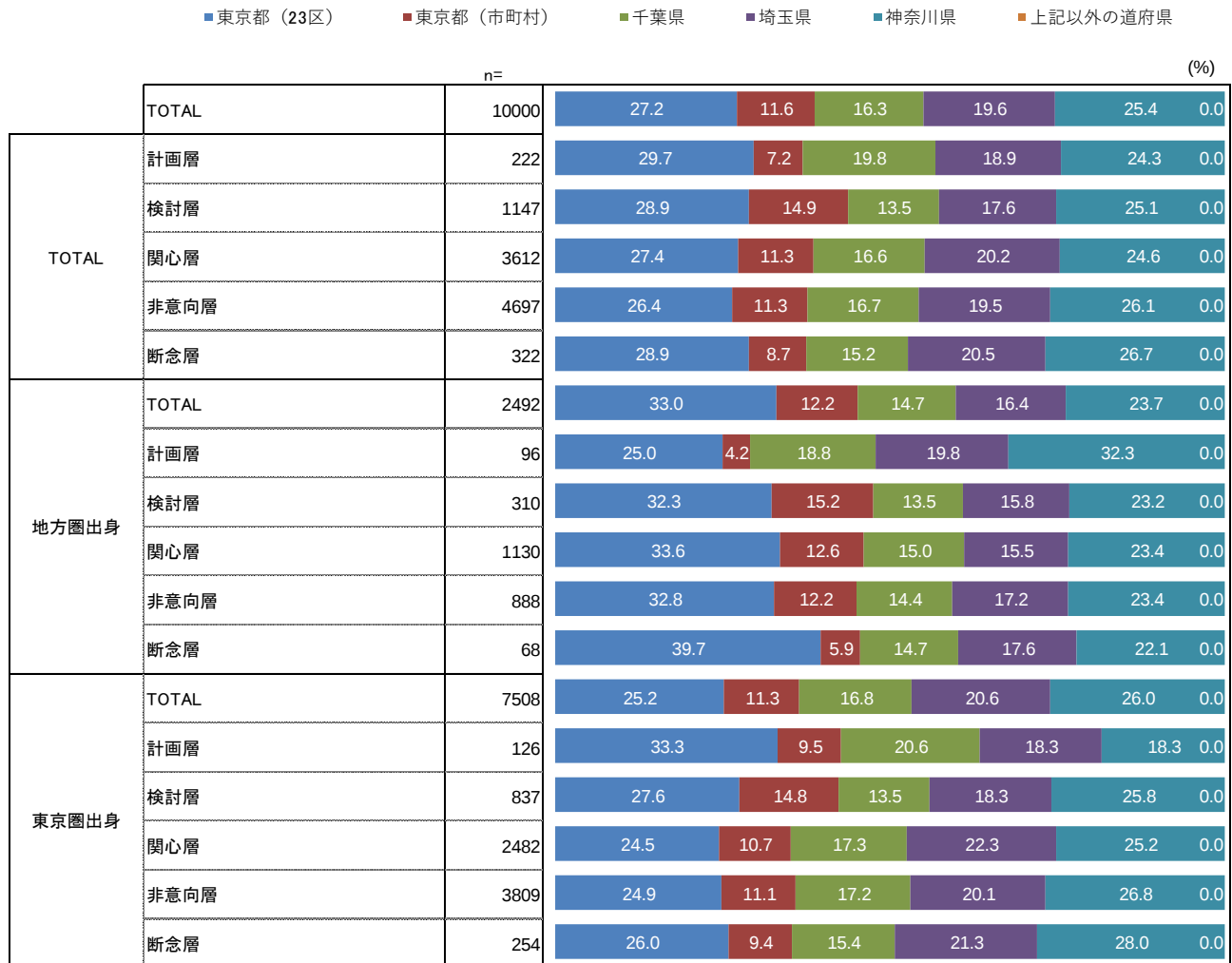
■地方圏出身 ■東京圏出身



出身圏は、全体では、「東京圏出身」が75.1%、「地方圏出身」は24.9%となっている。層別にみると、「東京圏出身」は非意向層が81.1%、「地方圏出身」は計画層が43.2%と高くなっている。

【問4】あなたが現在住んでいる都道府県をお選びください。

3-9 回答者の居住地



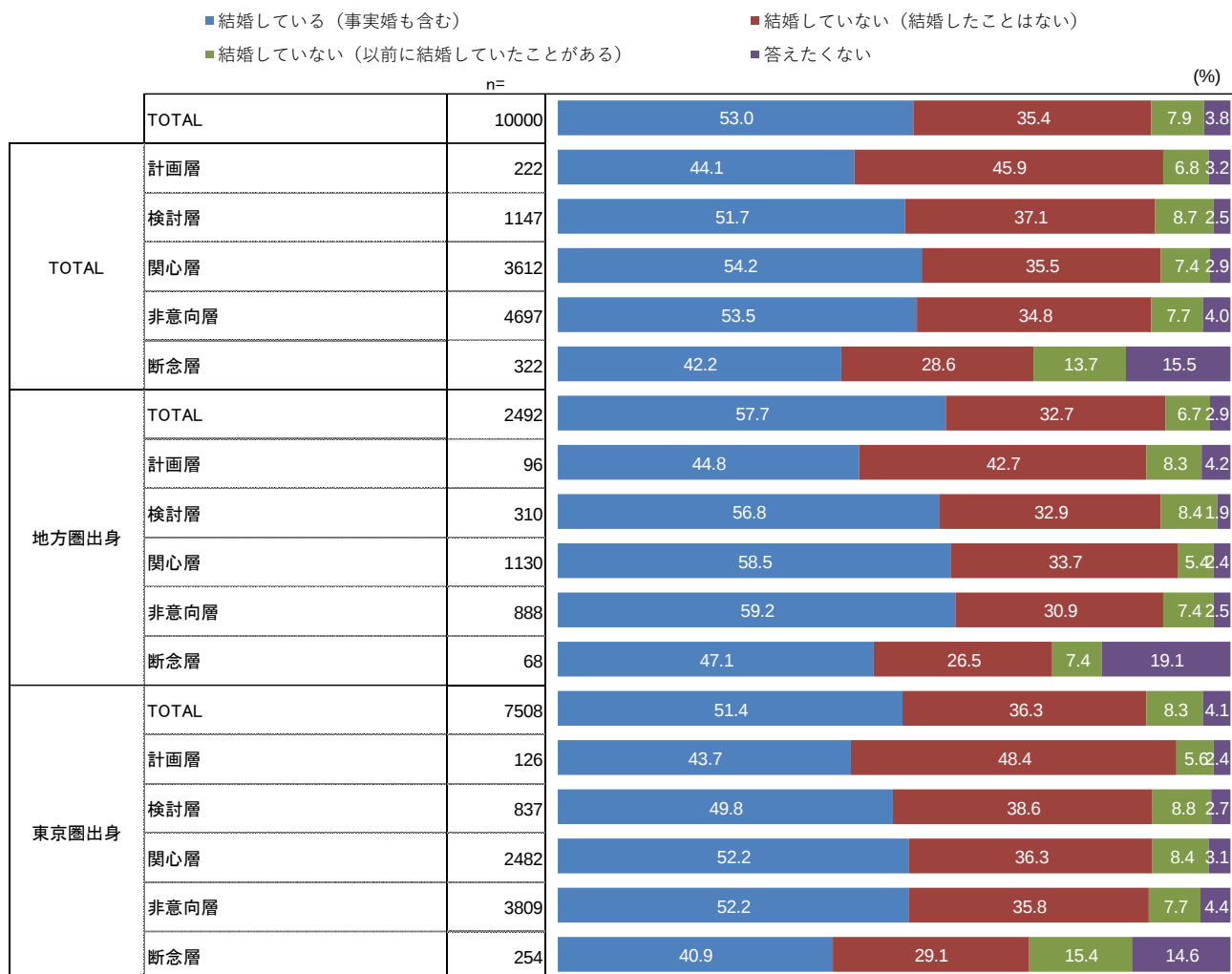
現在住んでいる都道府県は、全体では、「東京都（23区＋市町村）」が38.8%、「神奈川県」が25.4%となっている。層別にみると、「東京都（23区＋市町村）」がいずれの層でも3割を超える。

出身圏別にみると、地方圏出身は、全体では、「東京都（23区＋市町村）」が45.2%と高くなっている。計画層を除く全ての層で、「東京都（23区＋市町村）」が3割を超えている。

東京圏出身では、全体では、「東京都（23区＋市町村）」が36.5%となっている。層別にみると、計画層及び検討層は「東京都（23区＋市町村）」が4割を超えている。

【問6】現在、結婚していますか。

3-10 婚姻状況



婚姻状況は、全体では、「結婚している（事実婚も含む）」が53.0%となっている。層別にみると、関心層は「結婚している（事実婚も含む）」が54.2%、計画層は「結婚していない（結婚したことはない）」が45.9%とやや高くなっている。

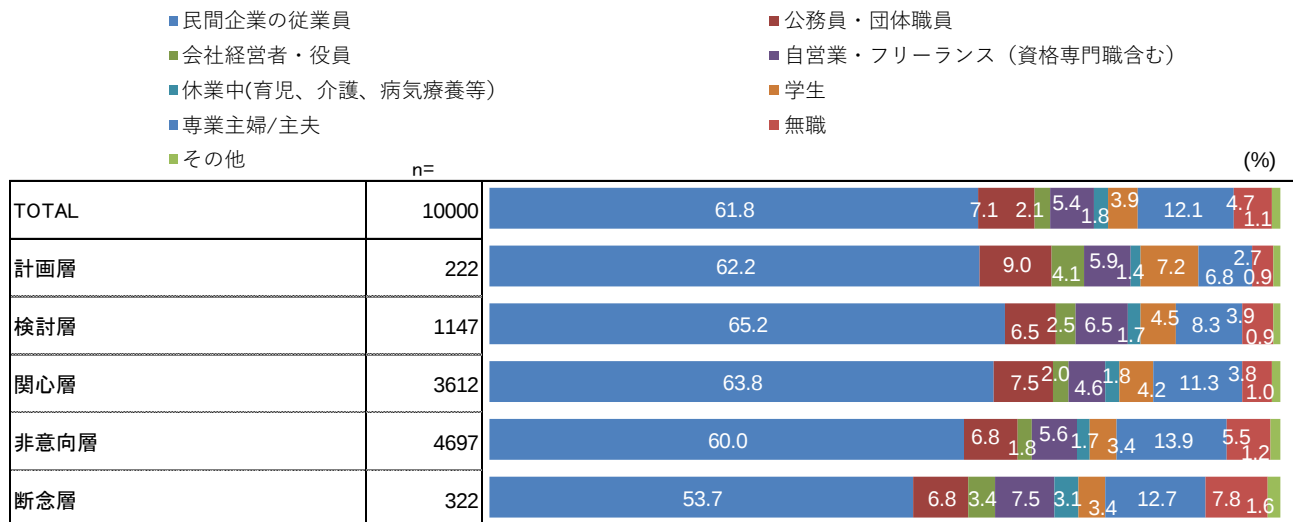
出身圏別にみると、地方圏出身は、「結婚している（事実婚も含む）」が全体で57.7%となっており、層別では非意向層で59.2%となっている。また、「結婚していない（結婚したことはない）」と答えた人は、計画層で42.7%となっている。

東京圏出身は、「結婚している（事実婚も含む）」が全体で51.4%となっている。層別にみると、「結婚していない（結婚したことはない）」は、計画層で48.4%となっている。

地方圏出身は、東京圏出身と比較し、全体では「結婚している（事実婚も含む）」が6.3%pt高い。

【問7-1】就労の状況について最も近いものをお答えください。(あなたご自身)

3-11 回答者の就労状況

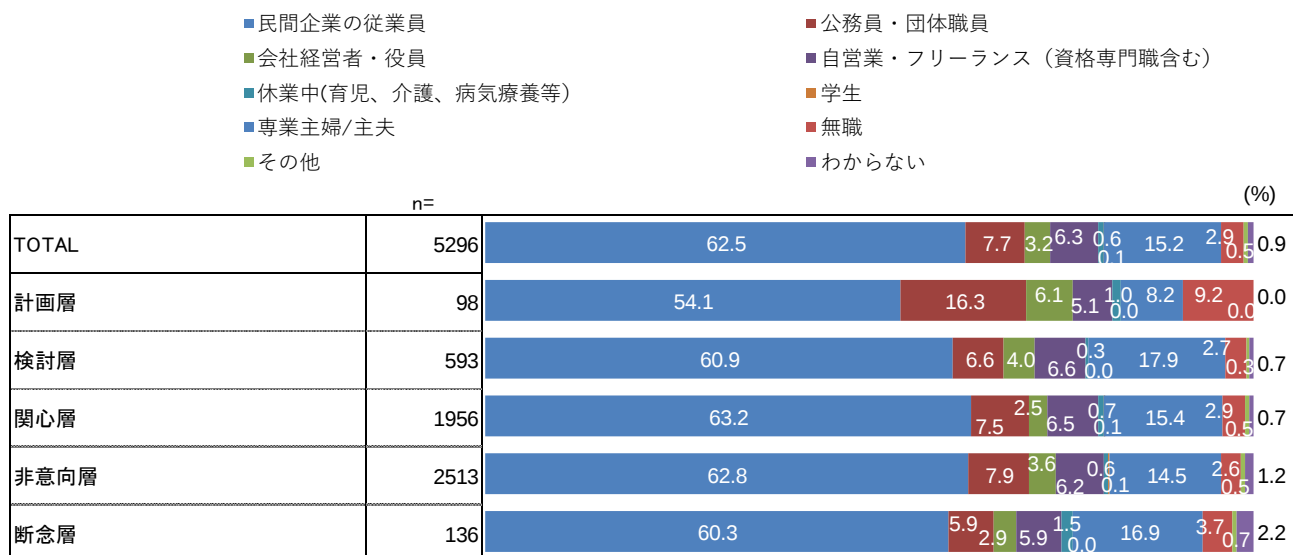


回答者自身の就労の状況は、全体では、「民間企業の従業員」が 61.8%と高くなっている。層別にみると、計画層では就労している人の割合が高く、就労している人ほど検討段階が高くなっている。

【問7-2】就労の状況について最も近いものをお答えください。(あなたの配偶者・パートナー)

※問6で、「1.結婚している(事実婚も含む)」と回答した人のみ。

3-12 配偶者・パートナーの就労状況

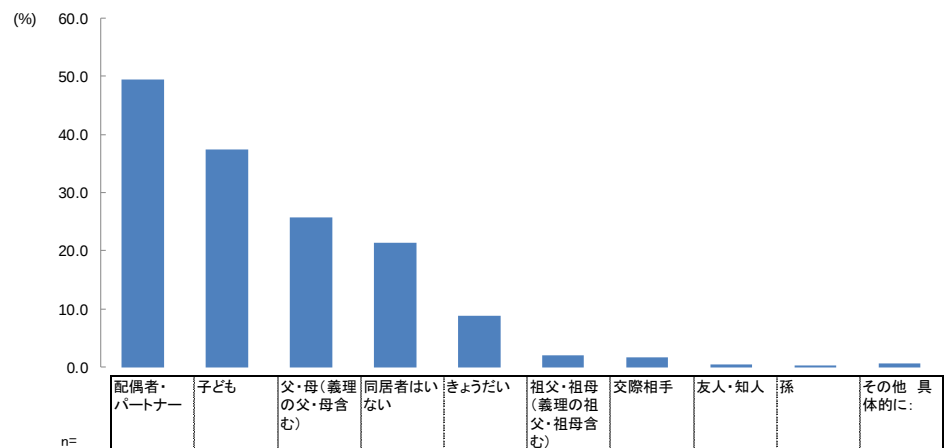


配偶者・パートナーの就労状況は、全体では、「民間企業の従業員」が 62.5%と高くなっている。層別にみると、計画層は「公務員・団体職員」が 16.3%、「無職」が 9.2%と高くなっている。

【問8】あなたが現在同居している方をお答えください。あてはまるものをすべてお選びください。

※配偶者は・パートナーは、問6で「1. 結婚している(事実婚も含む)」と回答した人のみ。

3-13 現在の同居者



		n=	配偶者・ パートナー	子ども	父・母(義理 の父・母含 む)	同居者はい ない	きょうだい	祖父・祖母 (義理の祖 父・祖母含 む)	交際相手	友人・知人	孫	その他 具 体的に:
	TOTAL	10000	49.4	37.4	25.8	21.4	8.9	2.0	1.6	0.4	0.3	0.7
TOTAL	計画層	222	39.2	22.5	19.4	40.1	8.1	1.4	0.9	0.9	0.0	0.9
	検討層	1147	46.8	33.2	25.3	23.5	8.5	1.2	2.5	0.6	0.2	0.7
	関心層	3612	50.7	36.7	23.1	22.6	8.4	1.9	1.7	0.6	0.2	0.5
	非意向層	4697	50.4	40.1	28.2	18.9	9.5	2.2	1.3	0.2	0.2	0.7
	断念層	322	38.2	30.4	28.6	24.5	9.6	3.4	1.6	0.6	2.2	1.9
地方圏出身	TOTAL	2492	53.7	38.0	4.7	35.5	2.0	0.3	2.7	0.4	0.1	0.5
	計画層	96	38.5	21.9	1.0	55.2	2.1	0.0	0.0	1.0	0.0	1.0
	検討層	310	52.9	36.1	6.5	34.2	1.6	0.3	4.8	0.3	0.3	0.6
	関心層	1130	54.4	37.7	4.1	35.5	1.8	0.4	2.7	0.4	0.1	0.2
	非意向層	888	55.5	41.6	5.0	33.7	1.9	0.3	2.4	0.5	0.0	0.6
	断念層	68	42.6	29.4	7.4	38.2	7.4	0.0	2.9	0.0	1.5	2.9
東京圏出身	TOTAL	7508	48.0	37.2	32.8	16.7	11.3	2.5	1.2	0.4	0.3	0.7
	計画層	126	39.7	23.0	33.3	28.6	12.7	2.4	1.6	0.8	0.0	0.8
	検討層	837	44.6	32.1	32.3	19.5	11.0	1.6	1.7	0.7	0.1	0.7
	関心層	2482	49.0	36.3	31.7	16.7	11.4	2.5	1.2	0.7	0.3	0.7
	非意向層	3809	49.2	39.7	33.6	15.4	11.2	2.7	1.1	0.1	0.2	0.7
	断念層	254	37.0	30.7	34.3	20.9	10.2	4.3	1.2	0.8	2.4	1.6

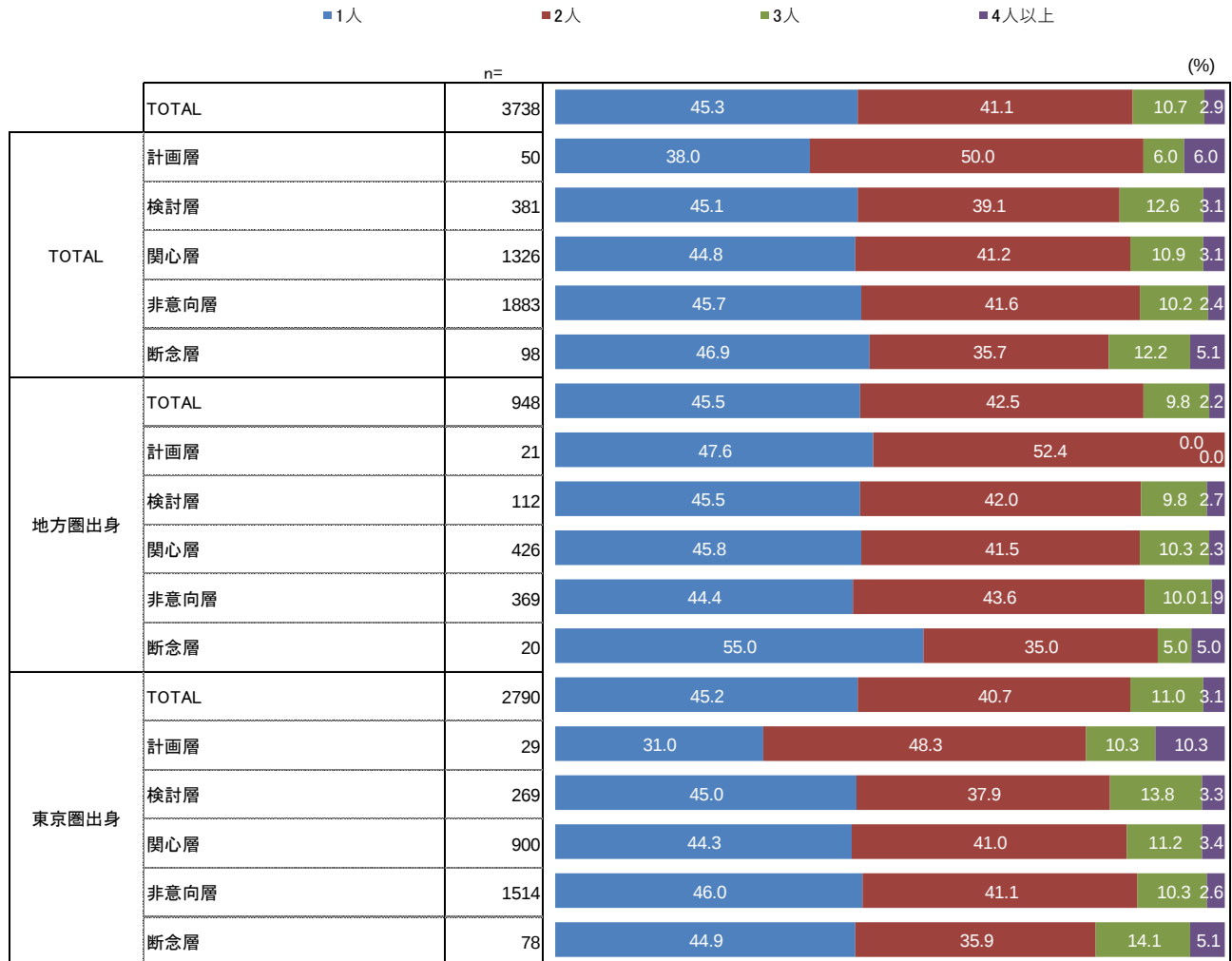
現在の同居者は、全体では、「配偶者・パートナー」が49.4%と最も高く、次いで「子ども」が37.4%となっている。層別では「同居者はいない」が計画層で40.1%と高くなっている。

出身圏別にみると、地方圏出身では、「同居者はいない」がいずれの層でも3割を超えており、特に計画層では55.2%と高くなっている。

東京圏出身では、「父・母（義理の父・母含む）」がいずれの層でも3割を超えている。

【問9】あなたが現在同居しているお子さまは何人いますか。※問8で、「8.子ども」と回答した人のみ。

3-14 現在同居している子どもの人数



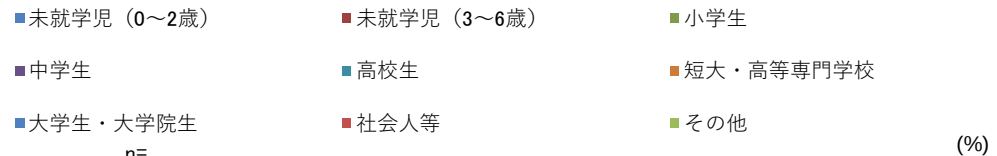
現在同居している子どもの人数は、全体では、「1人」が45.3%となっており、「2人」は41.1%となっている。層別にみると、計画層は「2人」が50.0%とやや高くなっている。

出身圏別にみると、大きな違いは見られない。

※n数が30未満の場合、参考での掲載とする。

【問 10－1】あなたと同居しているお子さまの学齢をお答えください。2人以上の場合は、一番上のお子さまと一番下のお子さまの学齢をお答えください。（一番上の子）※問8で、「8.子ども」と回答した人のみ。

3-15 現在同居している、一番上の子どもの学齢



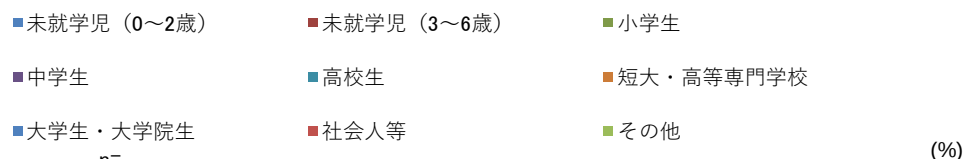
	n=	(%)
TOTAL	3738	13.2 15.9 22.7 10.6 9.8 1.3 10.0 16.3 0.2
計画層	50	26.0 26.0 14.0 4.0 10.0 4.0 10.0 2.0
検討層	381	11.5 15.7 26.8 10.0 9.4 1.0 10.5 14.7 0.3
関心層	1326	12.4 16.8 23.2 10.3 10.3 1.8 9.9 15.1 0.1
非意向層	1883	13.3 14.8 22.1 11.1 9.7 1.0 10.0 17.8 0.2
断念層	98	20.4 21.4 16.3 11.2 5.1 1.0 10.2 14.3 0.0

現在同居している子どもの学齢（一番上の子）は、全体では、「小学生」が22.7%と高くなっている。層別に見ると、計画層では、「未就学児（0～2歳）」、「未就学（3～6歳）」がともに26.0%と高くなっている。

【問 10－2】あなたと同居しているお子さまの学齢をお答えください。2人以上の場合は、一番上のお子さまと一番下のお子さまの学齢をお答えください。（一番下の子）

※問8で、「8.子ども」を回答した人、かつ、問9で「1.1人」以外を回答した人のみ。

3-16 現在同居している一番下の子どもの学齢

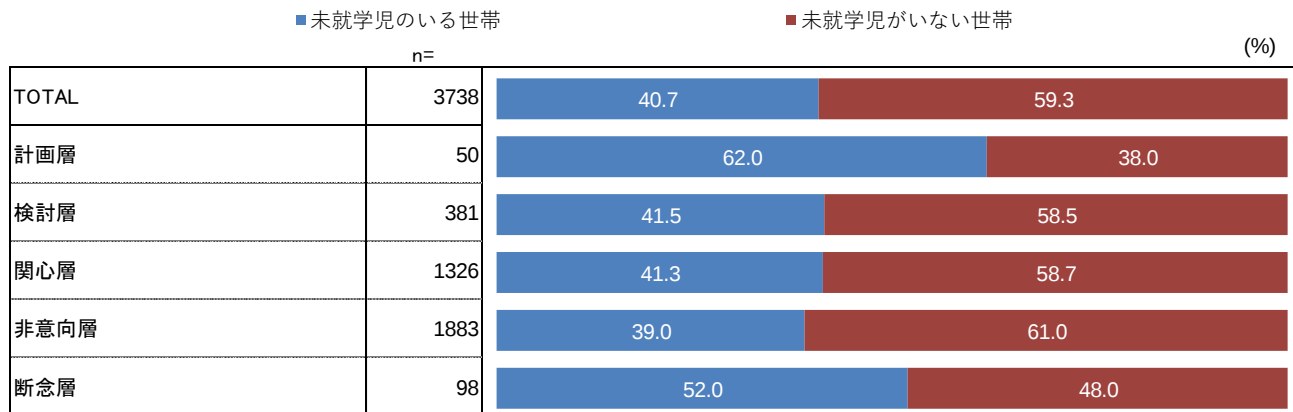


	n=	(%)
TOTAL	2046	20.6 20.1 24.4 10.7 9.4 1.1 7.3 6.3 0.2
計画層	31	29.0 22.6 25.8 3.2 19.4 0.0
検討層	209	25.4 21.1 23.9 8.6 7.7 0.5 5.7 0.5
関心層	732	21.2 20.4 25.4 10.8 9.6 1.2 5.9 5.5 0.1
非意向層	1022	18.5 19.7 24.1 11.6 9.0 1.2 8.8 6.9 0.2
断念層	52	28.8 21.2 17.3 1.9 15.4 0.0 7.7 7.7 0.0

現在同居している子どもの学齢（一番下の子）は、全体では、「小学生」が24.4%と高くなっている。層別に見ると、「未就学児（0～2歳）」は計画層が29.0%、断念層が28.8%と高くなっている。

【未就学児のいる世帯】※問8で、「8.子ども」と回答した人のみ。

3-17 未就学児の有無

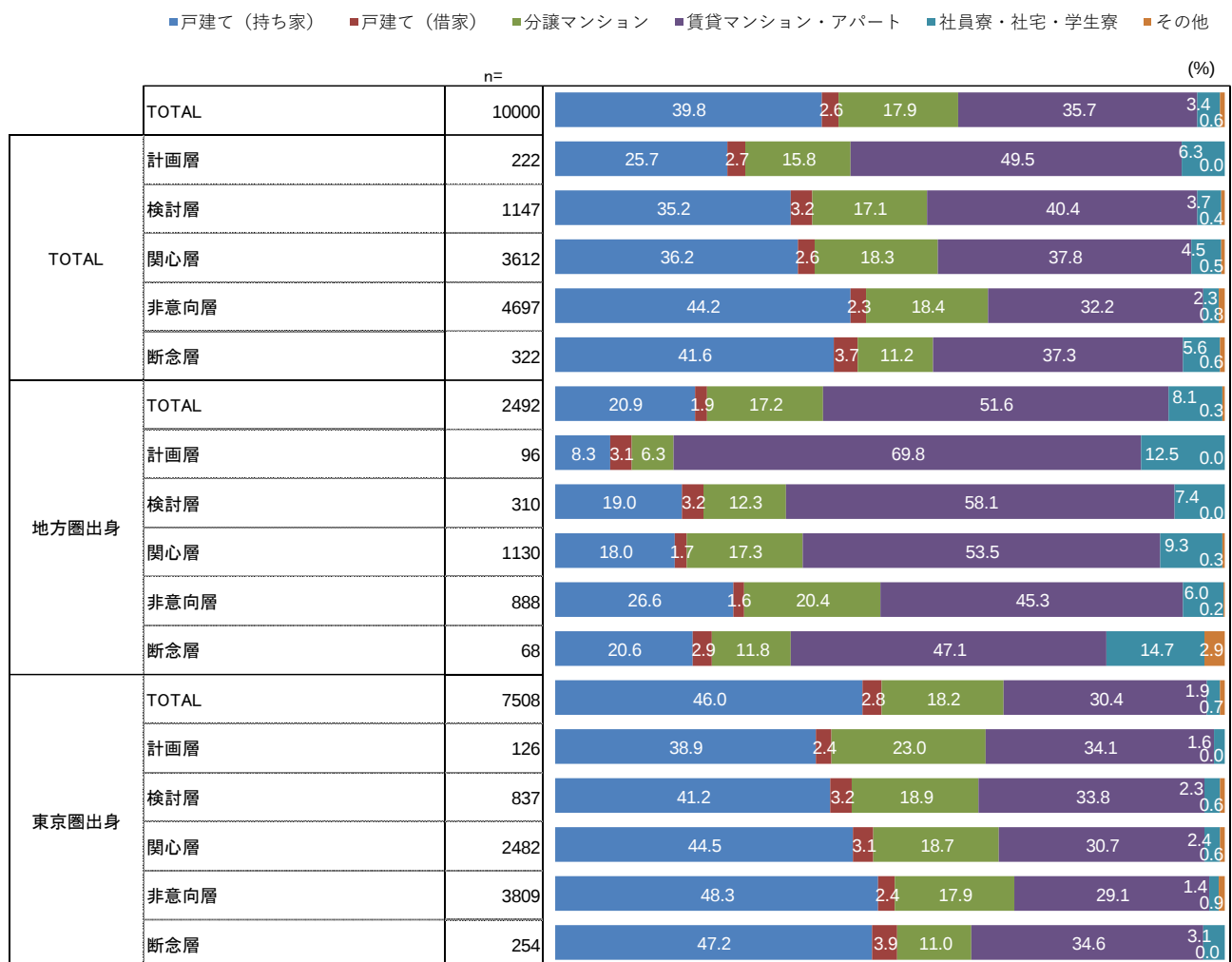


未就学児の有無については、全体では、「未就学児のいない世帯」が 59.3%、「未就学児のいる世帯」が 40.7%となっている。

層別にみると、「未就学児がいる世帯」は計画層が 62.0%と高くなっている。

【問 11】あなたの住居形態をお答えください。

3-18 住所形態



現在の住居形態は、全体では、「戸建て（持ち家）」が 39.8%、「賃貸マンション・アパート」が 35.7%と高くなっている。層別では検討段階が上がるほど「戸建て（持ち家）」が低くなり、「賃貸マンション・アパート」が高くなる傾向がみられる。

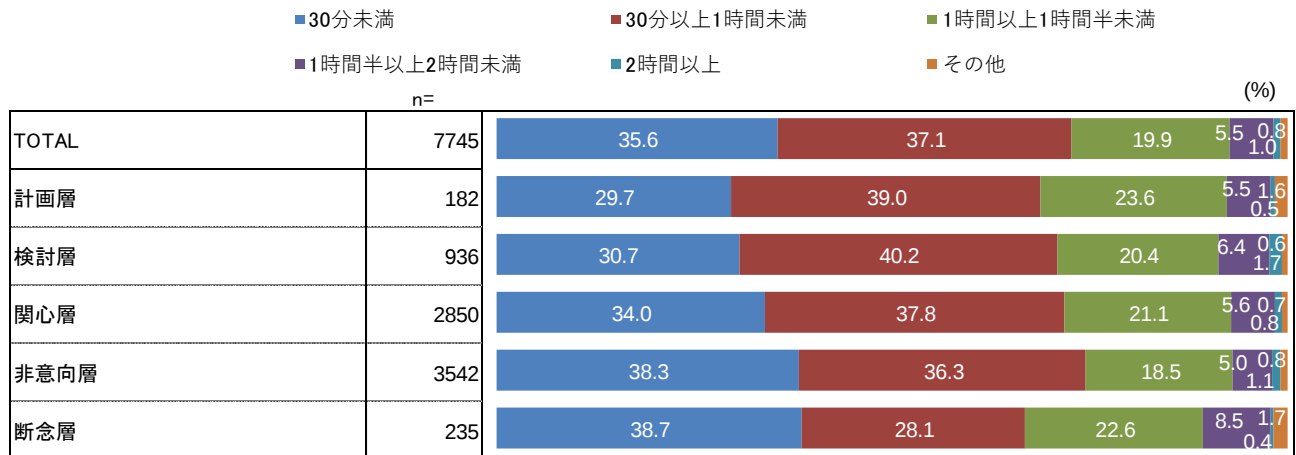
出身圏別にみると、地方圏出身では、全体では、「戸建て（持ち家）」が 20.9%と低くなっており、「賃貸マンション・アパート」が 51.6%と高くなっている。

東京圏出身では、全体では、「戸建て（持ち家）」が 46.0%と高くなっており、「賃貸マンション・アパート」が 30.4%となっている。

東京圏出身は、地方圏出身と比較し、全体では「戸建て（持ち家）」が 25.1%pt 高い。

【問 12】あなたは、通勤時間にどれくらいかけていますか。自宅から主な従業地までの所要時間をお答えください。
※問7で「8.休業中(育児、介護、病気療養等)」、「9.学生」、「10.専業主婦/主夫」、「11.無職」以外を回答した人のみ。

3-19 通勤時間

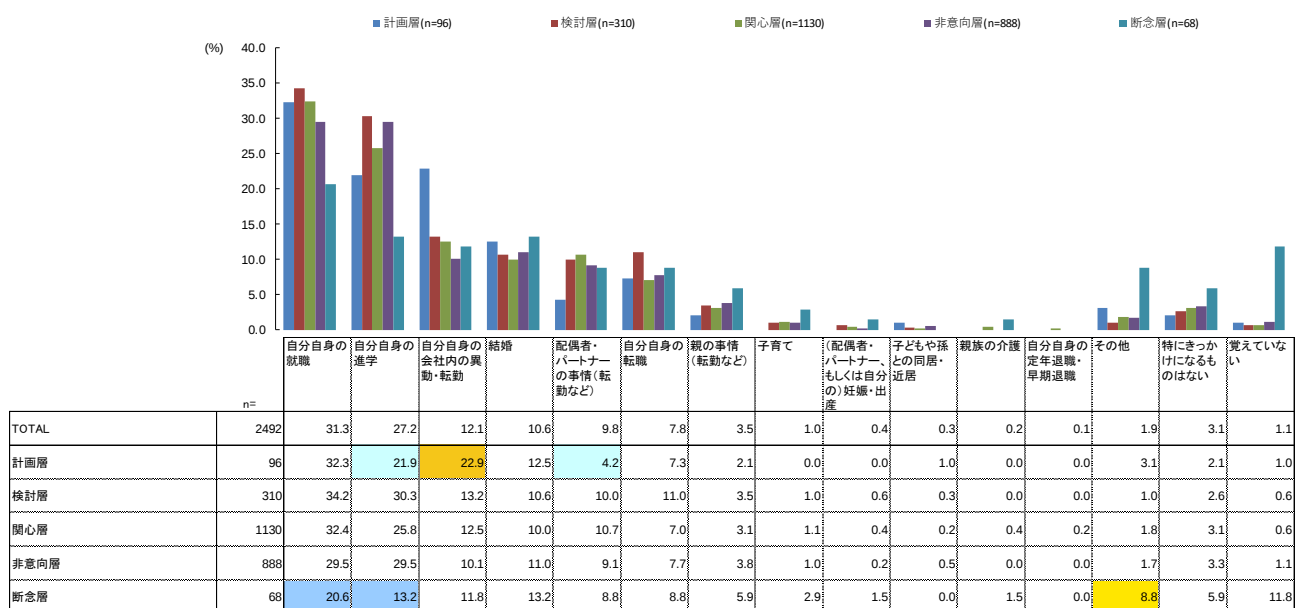


通勤時間は、全体では、「30 分以上 1 時間未満」が 37.1%、「30 分未満」が 35.6%と高くなっている。層別にみると、「30 分未満」は、断念層が 38.7%と高く、検討段階が高いほど通勤時間が長い傾向がみられる。

【問 13】あなたが東京圏(東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県)で暮らすことになったきっかけ／上京したきっかけは何ですか。あてはまるものをすべてお選びください。東京圏と地方圏の間で何度か移住をしている方は直近のきっかけについてお答えください。

※問3で「11.埼玉県」、「12.千葉県」、「13.東京都」、「14.神奈川県」以外を回答したのみ。

3-20 東京圏で暮らすことになったきっかけ



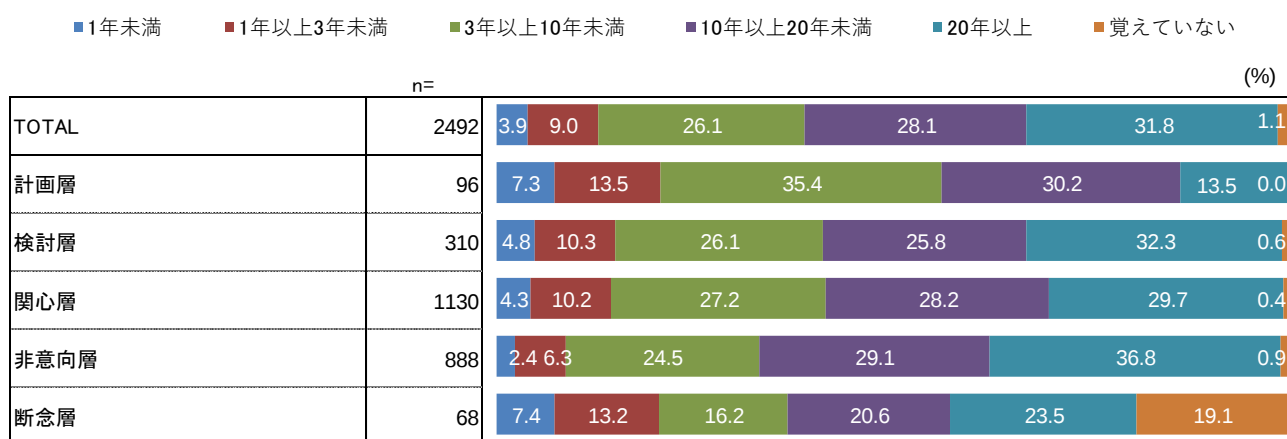
東京圏で暮らすことになったきっかけは、全体では、「自分自身の就職」が 31.3%と最も高く、次い

で、「自分自身の進学」が27.2%と続いている。層別にみると、「自分自身の会社内の異動・転勤」が計画層で22.9%と高くなっている。

【問 14】あなたは東京圏(東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県)に来て何年ですか。東京圏と地方圏の間で何度か移住をしている方は合計の期間についてお答えください。

※問3で「11.埼玉県」、「12.千葉県」、「13.東京都」、「14.神奈川県」以外を回答したのみ。

3-21 東京圏在住期間

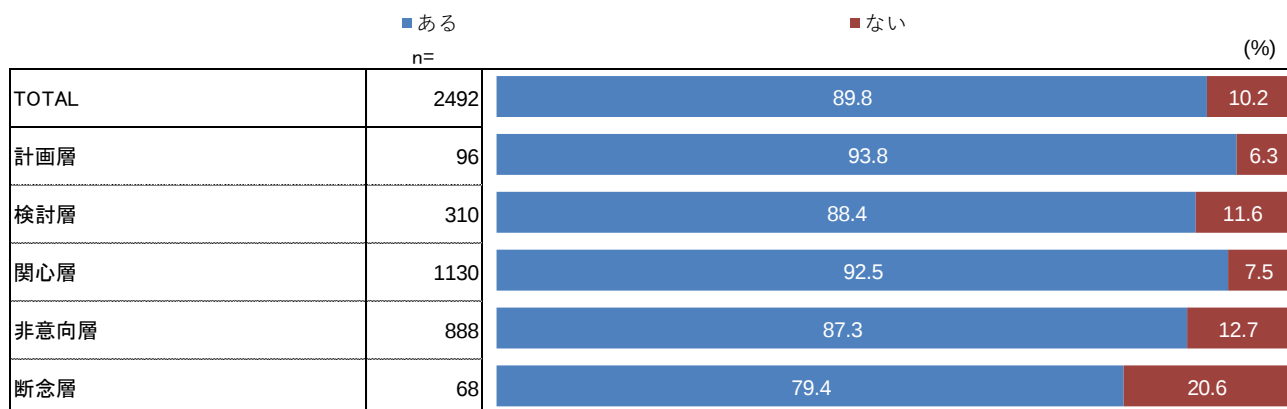


東京圏の在住期間は、全体では、「20年以上」が31.8%、「10年以上20年未満」が28.1%となっている。層別にみると、検討段階が高いほど在住期間は短い傾向がみられる。

【問 15】あなたは現在、帰省する帰省先(実家)はありますか。

※問3で「11.埼玉県」、「12.千葉県」、「13.東京都」、「14.神奈川県」以外を回答したのみ。

3-22 帰省先の有無



帰省先の有無は、全体では、「ある」が89.8%となっている。層別にみると、「ある」は計画層が93.8%とやや高くなっている。

【問 16】あなたが日常の生活でよく見たり、聞いたりするメディアを3つまでお答えください。

3-23 日常接触メディア

(%) 100.0
90.0
80.0
70.0
60.0
50.0
40.0
30.0
20.0
10.0
0.0

テレビ WEB(スマートフォン) WEB(PC) 新聞 ラジオ 屋外・交通広告 雑誌 タウン誌 その他 具体的に:

		n=	テレビ	WEB(スマートフォン)	WEB(PC)	新聞	ラジオ	屋外・交通広告	雑誌	タウン誌	その他 具体的に:
TOTAL	TOTAL	10000	89.4	84.8	33.3	18.9	11.2	9.0	8.0	1.5	0.2
	計画層	222	86.0	86.5	39.6	13.5	8.1	10.4	8.6	1.8	0.9
	検討層	1147	87.2	87.1	39.4	21.3	12.6	10.7	10.6	1.9	0.2
	関心層	3612	90.3	87.4	32.2	17.2	12.0	10.4	7.8	1.3	0.2
	非意向層	4697	89.8	83.2	32.7	20.1	10.2	7.6	7.4	1.4	0.2
	断念層	322	81.7	68.9	28.9	15.5	12.4	7.5	9.9	2.8	0.3
地方圏出身	TOTAL	2492	87.5	88.4	38.0	15.3	8.2	11.3	9.3	1.6	0.2
	計画層	96	83.3	91.7	43.8	8.3	7.3	13.5	7.3	2.1	1.0
	検討層	310	88.4	89.0	38.1	21.0	10.0	12.3	14.2	2.3	0.0
	関心層	1130	88.9	90.2	37.8	14.4	9.0	11.5	9.6	1.6	0.3
	非意向層	888	86.5	87.3	37.8	15.4	6.5	10.7	7.5	1.2	0.2
	断念層	68	79.4	66.2	33.8	13.2	8.8	8.8	7.4	2.9	0.0
東京圏出身	TOTAL	7508	90.0	83.6	31.8	20.0	12.1	8.3	7.6	1.5	0.2
	計画層	126	88.1	82.5	36.5	17.5	8.7	7.9	9.5	1.6	0.8
	検討層	837	86.7	86.4	39.9	21.4	13.5	10.2	9.3	1.8	0.2
	関心層	2482	91.0	86.1	29.6	18.5	13.3	9.9	7.0	1.2	0.2
	非意向層	3809	90.6	82.3	31.5	21.1	11.1	6.9	7.4	1.4	0.2
	断念層	254	82.3	69.7	27.6	16.1	13.4	7.1	10.6	2.8	0.4

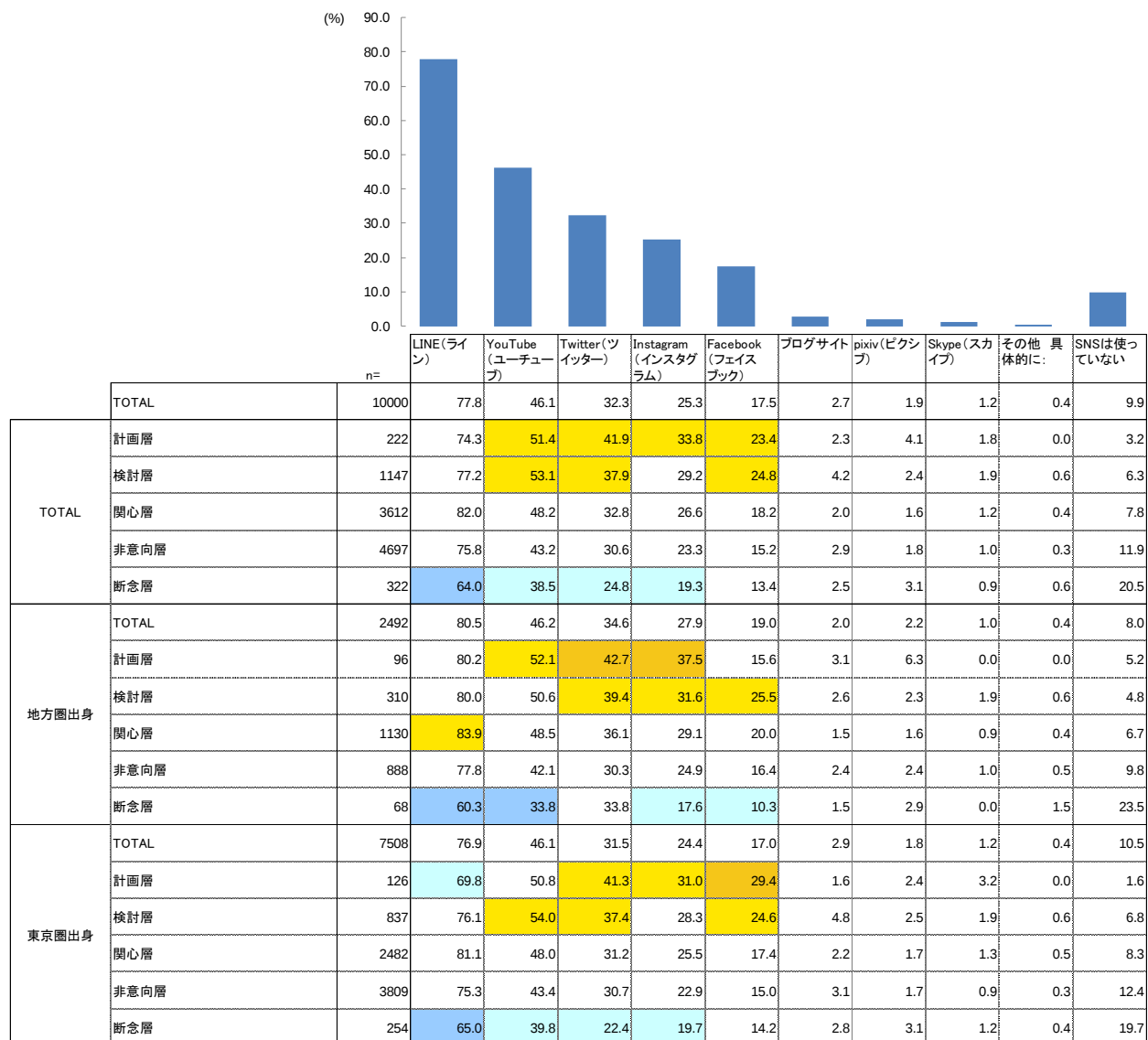
日常の生活でよく見たり、聞いたりするメディアは、全体では、「テレビ」が 89.4%と最も高く、次いで「WEB(スマートフォン)」が 84.8%と続いている。層別にみると、「WEB(PC)」は計画層が 39.6%、検討層が 39.4%とやや高くなっている。

出身圏別にみると、地方圏出身では、「WEB(スマートフォン)」は計画層が 91.7%、関心層が 90.2%と高く、「WEB(PC)」は計画層が 43.8%と高くなっている。

東京圏出身では、「WEB(PC)」は検討層が 39.9%と高くなっている。

【問 17】あなたがよく使う SNS を3つまでお答えください。

3-24 よく使うSNS



よく使う SNS は、全体では、「LINE (ライン)」が 77.8%と最も高く、次いで「YouTube (ユーチューブ)」が 46.1%と続いている。層別にみると、「YouTube (ユーチューブ)」は検討層が 53.1%、次いで計画層が 51.4%、「Twitter (ツイッター)」は計画層が 41.9%、次いで検討層が 37.9%と高くなっている。断念層は、「SNS は使っていない」が 20.5%と高くなっている。

出身圏別にみると、地方圏出身は、全体では、「LINE (ライン)」が 80.5%、「YouTube (ユーチューブ)」が 46.2%と高くなっている。層別にみると、「LINE (ライン)」は関心層が 83.9%と高くなっている。

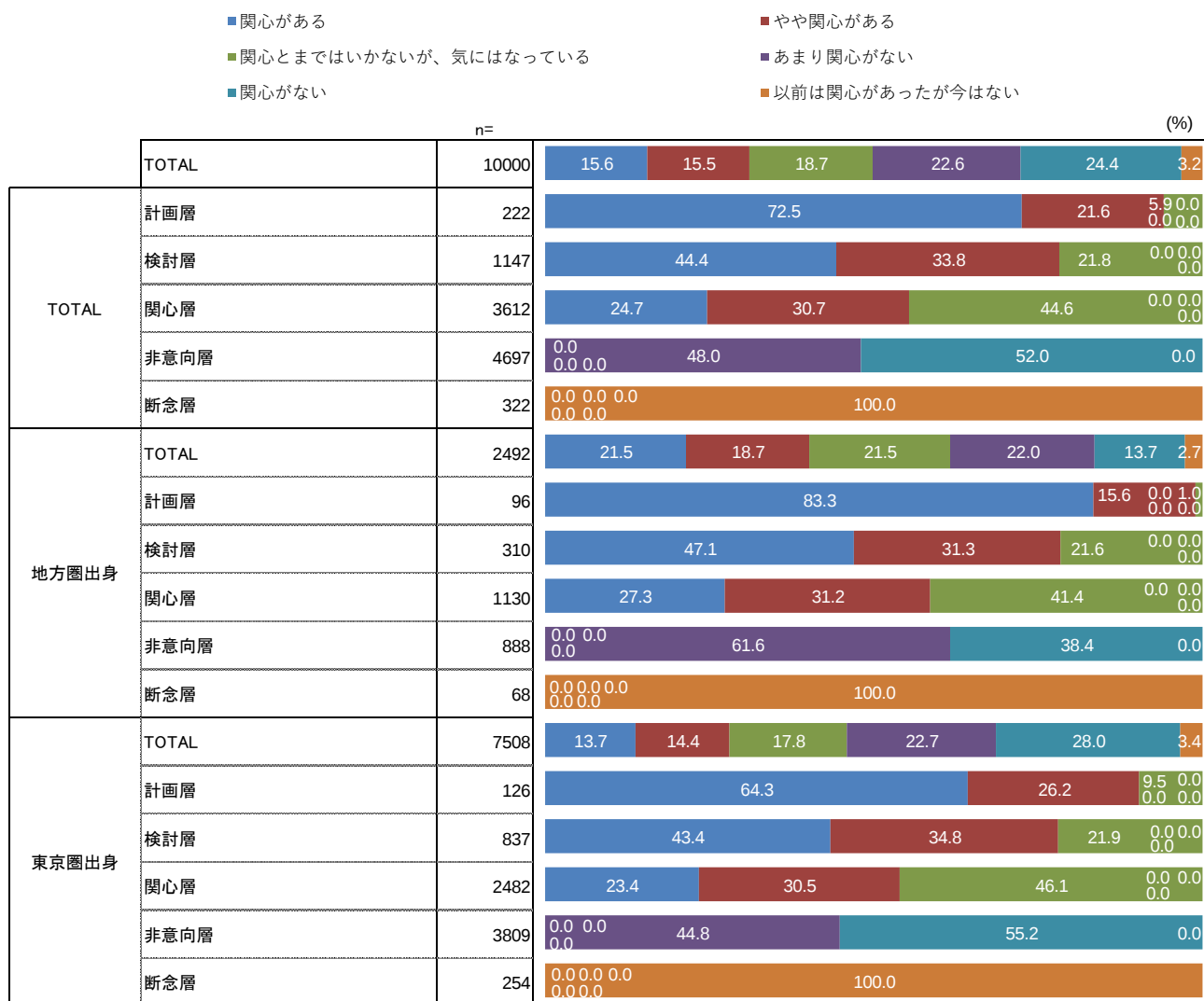
「YouTube (ユーチューブ)」、「Twitter (ツイッター)」、「Instagram (インスタグラム)」はいずれも計画層が高く、それぞれ 52.1%、42.7%、37.5%となっている。

東京圏出身は、全体では、「LINE (ライン)」が 76.9%、「YouTube (ユーチューブ)」が 46.1%と高くなっている。層別にみると、「YouTube (ユーチューブ)」は検討層が 54.0%と高くなっている。「Twitter (ツイッター)」、「Instagram (インスタグラム)」、「フェイスブック (facebook)」はいずれも計画層が

高く、それぞれ 41.3%、31.0%、29.4%となっている。

【問 18】あなたは地方圏(東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県以外の道府県)に暮らすことについて関心がありますか。

3-25 地方圏で暮らすことへの関心



地方圏に暮らすことへの関心の有無については、全体では、「関心あり」(「関心がある」(15.6%)、「やや関心がある」(15.5%)、「関心とまではいかないが、気にはなっている」(18.7%)の合計)は49.8%となっている。

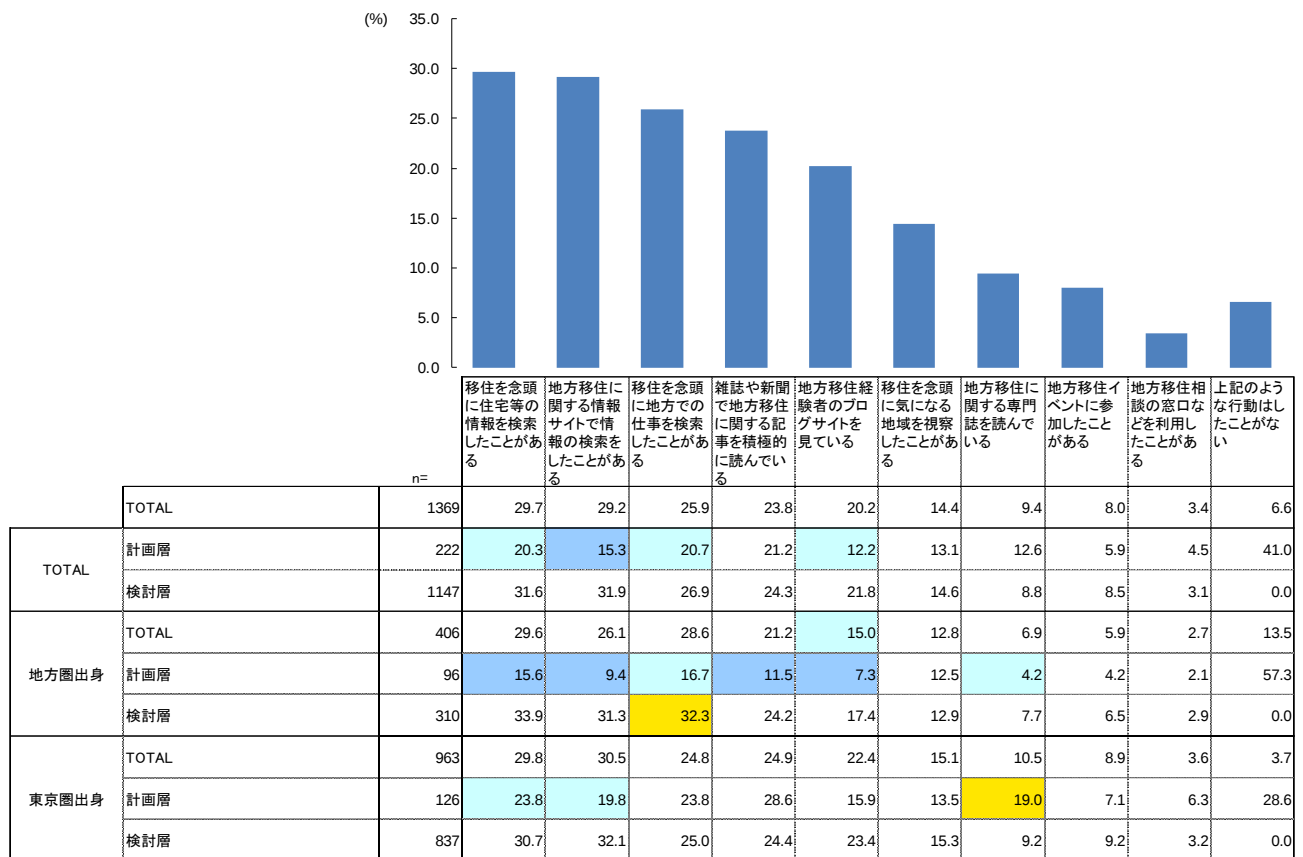
出身圏別にみると、地方圏出身は、全体では、「関心あり」(「関心がある」(21.5%)、「やや関心がある」(18.7%)、「関心とまではいかないが、気にはなっている」(21.5%)の合計)は61.7%となっている。

東京圏出身は、全体では、「関心あり」(「関心がある」(13.7%)、「やや関心がある」(14.4%)、「関心とまではいかないが、気にはなっている」(17.8%)の合計)は45.9%となっている。

地方圏出身は、東京圏出身と比較し、全体では「関心がある」の割合が7.8%pt高くなっている。

【問 19】あなたは地方に暮らすことを目的に下記のような行動をしたことはありますか。あてはまるものをすべてお選びください。※問 18 で「1.関心がある」、「2.やや関心がある」、「3.関心とまではいかないが、気にはなっている」のいずれかを回答した人のみ。

3-26 移住に関する行動状況



地方に暮らすことを目的とした行動については、全体では、「移住を念頭に住宅等の情報を検索したことがある」が 29.7%と最も高く、次いで「地方移住に関する情報サイトで情報の検索をしたことがある」が 29.2%と続いている。層別にみると、「地方移住に関する情報サイトで情報の検索をしたことがある」、「移住を念頭に住宅等の情報を検索したことがある」は検討層が高く、いずれも 3 割を超えている。

出身圏別にみると、地方圏出身は、全体では、「移住を念頭に住宅等の情報を検索したことがある」が 29.6%、「移住を念頭に地方での仕事を検索したことがある」が 28.6%となっている。層別にみると、「移住を念頭に住宅等の情報を検索したことがある」、「移住を念頭に地方での仕事を検索したことがある」、「地方移住に関する情報サイトで情報の検索をしたことがある」は検討層が高く、いずれも 3 割を超えている。

東京圏出身は、全体では、「地方移住に関する情報サイトで情報の検索をしたことがある」が 30.5%、「移住を念頭に住宅等の情報を検索したことがある」が 29.8%となっている。層別にみると、「地方移住に関する情報サイトで情報の検索をしたことがある」、「移住を念頭に住宅等の情報を検索したことがある」は検討層が高く、いずれも 3 割を超えている。「地方移住に関する専門誌を読んでいる」は計画層が 19.0%と高くなっている。また、東京圏出身は、地方圏出身と比較し、全体では「地方移住経験者のブログサイトを見ている」の割合が 7.4%pt 高くなっている。

【問 20】あなたは Q19 で回答したような行動をいつからしていますか。※問 19 で「10.上記のような行動はしたことがない」以外を回答した人のみ。

3-27 移住に関する行動期間

■5年以上前 ■5年未満、3年以上 ■3年未満、1年以上 ■1年未満 ■覚えていない

			(%)				
n=							
	TOTAL	1278	23.7	16.6	27.1	21.8	10.9
TOTAL	計画層	131	25.2	22.1	19.8	30.5	2.3
	検討層	1147	23.5	16.0	27.9	20.7	11.9
地方圏出身	TOTAL	351	23.4	14.2	27.6	25.6	9.1
	計画層	41	19.5	12.2	24.4	39.0	4.9
	検討層	310	23.9	14.5	28.1	23.9	9.7
東京圏出身	TOTAL	927	23.8	17.5	26.9	20.3	11.5
	計画層	90	27.8	26.7	17.8	26.7	1.1
	検討層	837	23.4	16.5	27.8	19.6	12.7

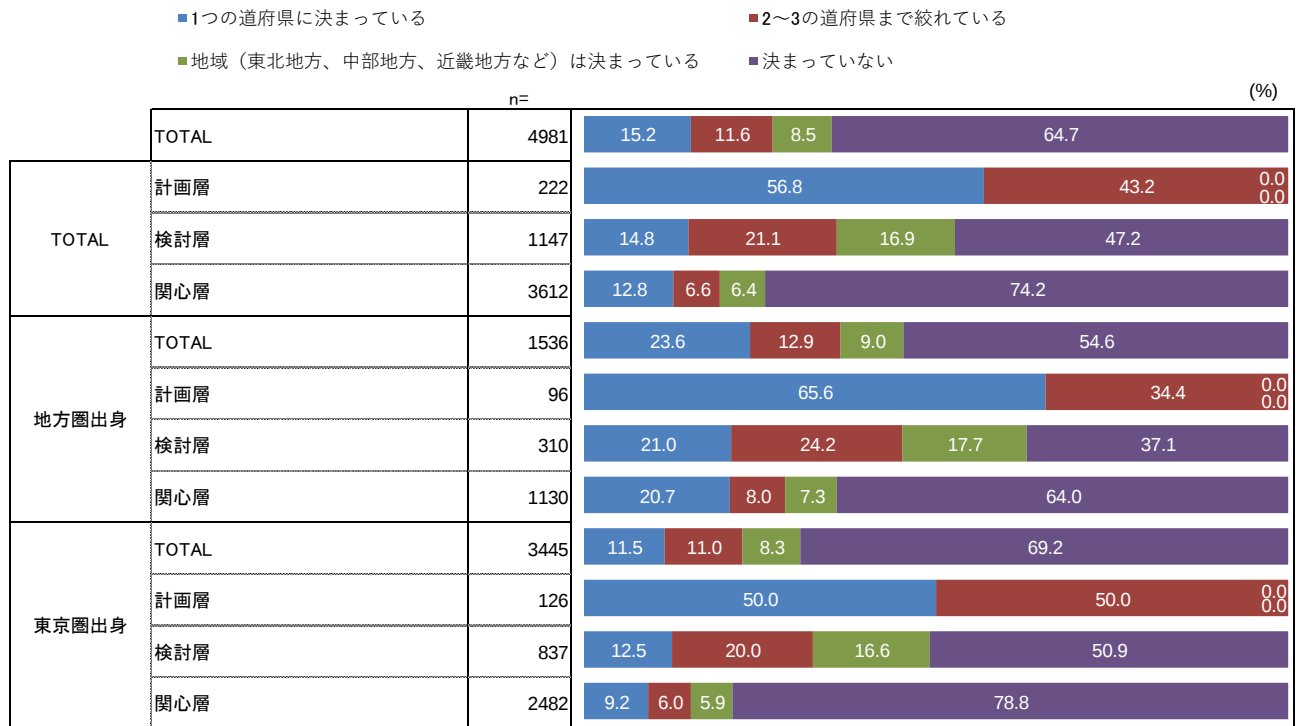
移住に関する行動を始めた期間については、全体では、「3年未満、1年以上」が27.1%、「5年以上前」が23.7%となっている。層別にみると、計画層では「1年未満」が30.5%と高くなっている。

出身圏別にみると、地方圏出身は、全体では、「3年未満、1年以上」が27.6%、「1年未満」が25.6%となっている。層別にみると、計画層では「1年未満」が39.0%と高くなっている。

東京圏出身では、全体では、「3年未満、1年以上」が26.9%、「5年以上前」が23.8%となっている。層別にみると、地方圏出身の計画層で「1年未満」が39.0%と高くなっており、移住に関する行動期間が短くなっていることがわかる。

【問 21】あなたは具体的に移住する地方圏（東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県以外の道府県）の候補はありますか。※問 18 で「1.関心がある」、「2.やや関心がある」、「3.関心とまではいかないが、気にはなっている」のいずれかを回答した人のみ。

3-28 移住先の候補の有無



具体的に移住する地方圏の候補の有無については、全体では、「決まっていない」が64.7%、「1つの道府県に決まっている」が15.2%となっている。層別にみると、計画層では「1つの道府県に決まっている」が56.8%、関心層では「決まっていない」が74.2%と高くなっている。

出身圏別にみると、地方圏出身は、全体では、「決まっていない」が54.6%、「1つの道府県に決まっている」が23.6%となっている。層別にみると、計画層は「1つの道府県に決まっている」が65.6%、関心層は「決まっていない」が64.0%と高くなっている。

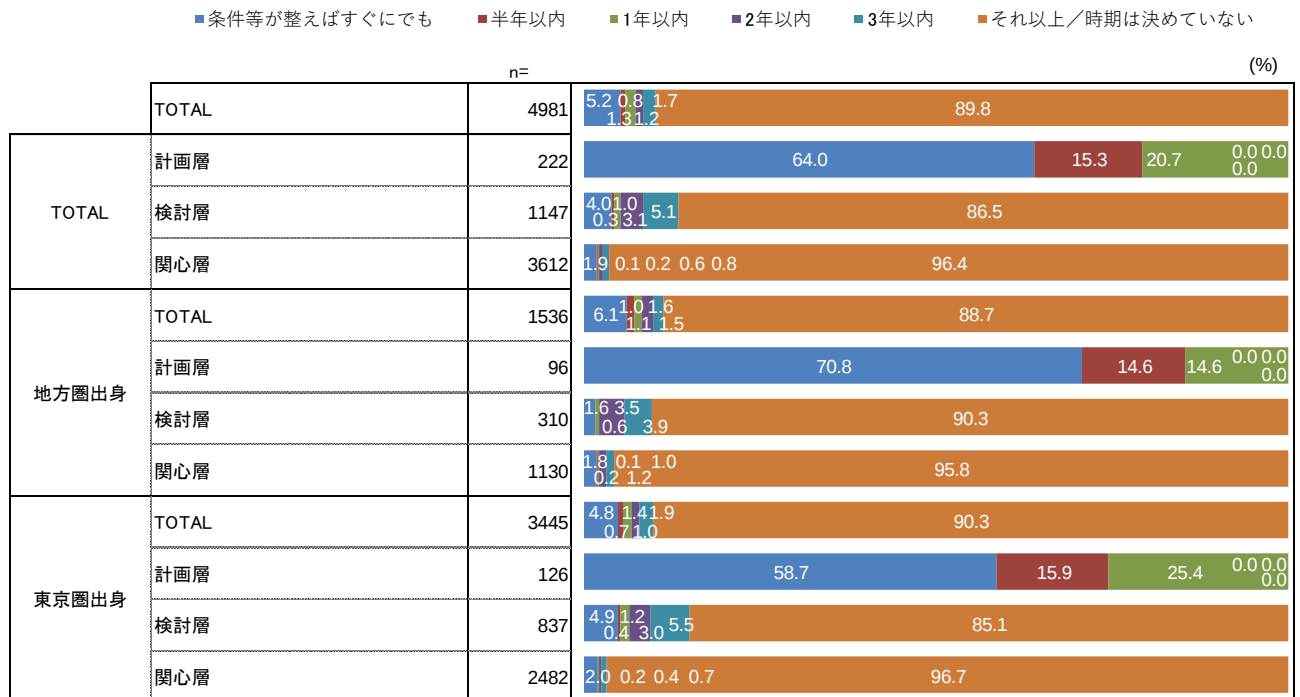
東京圏出身は、全体では、「決まっていない」が69.2%、「1つの道府県に決まっている」が11.5%となっている。層別にみると、計画層は、「1つの道府県に決まっている」と「2～3の道府県まで絞れている」が、それぞれ50.0%となっている。関心層は「決まっていない」が78.8%と高くなっている。

地方圏出身は、東京圏出身と比較し、全体では「1つの道府県に決まっている」が12.1%pt高い。

【問 22】あなたは具体的に移住する時期は決まっていますか。

※問 18 で「1.関心がある」、「2.やや関心がある」、「3.関心とまではいかないが、気にはなっている」のいずれかを回答した人のみ。

3-29 移住時期



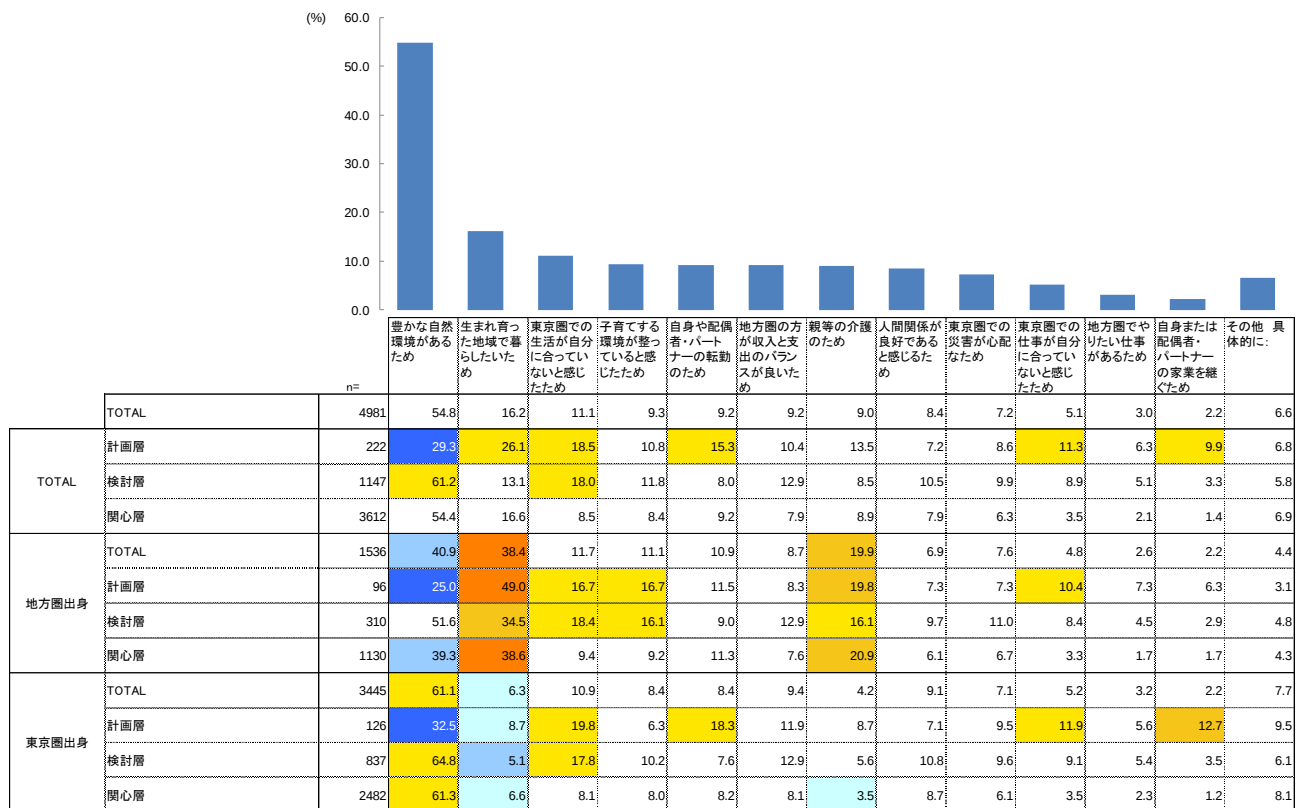
具体的に移住する時期は、全体では、「それ以上/時期は決めていない」が 89.8%と高くなっている。層別にみると、検討層と関心層は「それ以上/時期は決めていない」がそれぞれ8割を超えているが、計画層は「条件が整えばすぐにでも」が 64.0%となっている。

出身圏別にみると、地方圏出身及び東京圏出身ともに、全体では、「それ以上/時期は決めていない」が9割前後となっている。層別にみると、「条件等が整えばすぐにでも」が、地方圏出身の計画層は 70.8%となっているが、東京圏出身の計画層は 58.7%とやや低くなっている。

【問 23】あなたが地方圏での暮らしを検討する理由は何ですか。あてはまるものをすべてお選びください。

※問 18 で「1.関心がある」、「2.やや関心がある」、「3.関心とまではいかないが、気にはなっている」のいずれかを回答した人のみ。

3-30 地方圏での暮らしを検討する理由



地方圏での暮らしを検討する理由は、全体では、「豊かな自然環境があるため」が54.8%と最も高く、次いで「生まれ育った地域で暮らしたいため」が16.2%と続いている。層別にみると、検討層は「豊かな自然環境があるため」が61.2%、計画層は「生まれ育った地域で暮らしたいため」が26.1%と高くなっている。

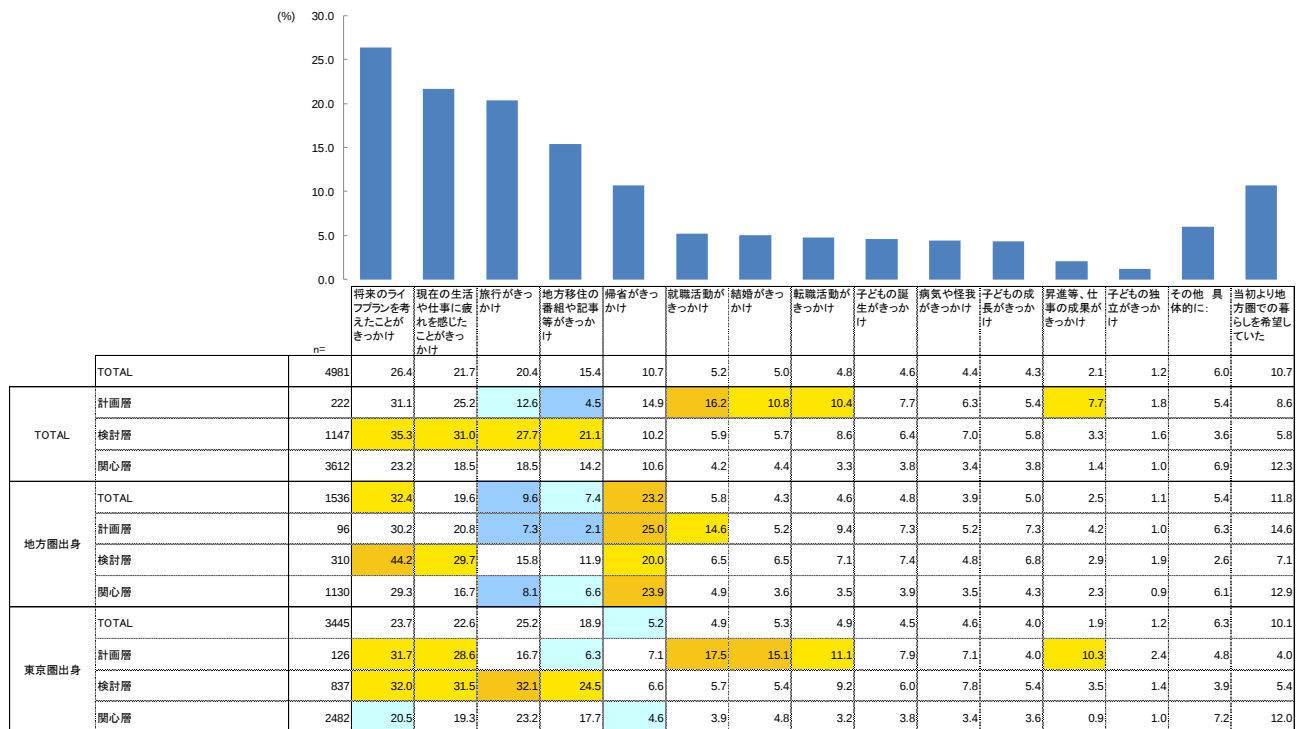
出身圏別にみると、地方圏出身は、全体では、「豊かな自然環境があるため」が40.9%、「生まれ育った地域で暮らしたいため」が38.4%と高くなっている。層別にみると、計画層は「生まれ育った地域で暮らしたいため」が49.0%と高くなっている。また、「親等の介護のため」はいずれの層でも2割前後と高くなっている。

東京圏出身は、全体では、「豊かな自然環境があるため」が61.1%と突出して高くなっている。層別にみても、「豊かな自然環境があるため」は検討層が64.8%、関心層が61.3%と高くなっているが、計画層は、「豊かな自然環境があるため」は32.5%となっている。計画層は、「自身や配偶者・パートナーの転勤のため」が18.3%、「自身または配偶者・パートナーの家業を継ぐため」が12.7%と高くなっている。

【問 24】あなたが地方圏での暮らしを意識したきっかけについてお答えください。

※問 18 で「1.関心がある」、「2.やや関心がある」、「3.関心とまではいかないが、気にはなっている」のいずれかを回答した人のみ。

3-31 地方圏での暮らしを意識したきっかけ



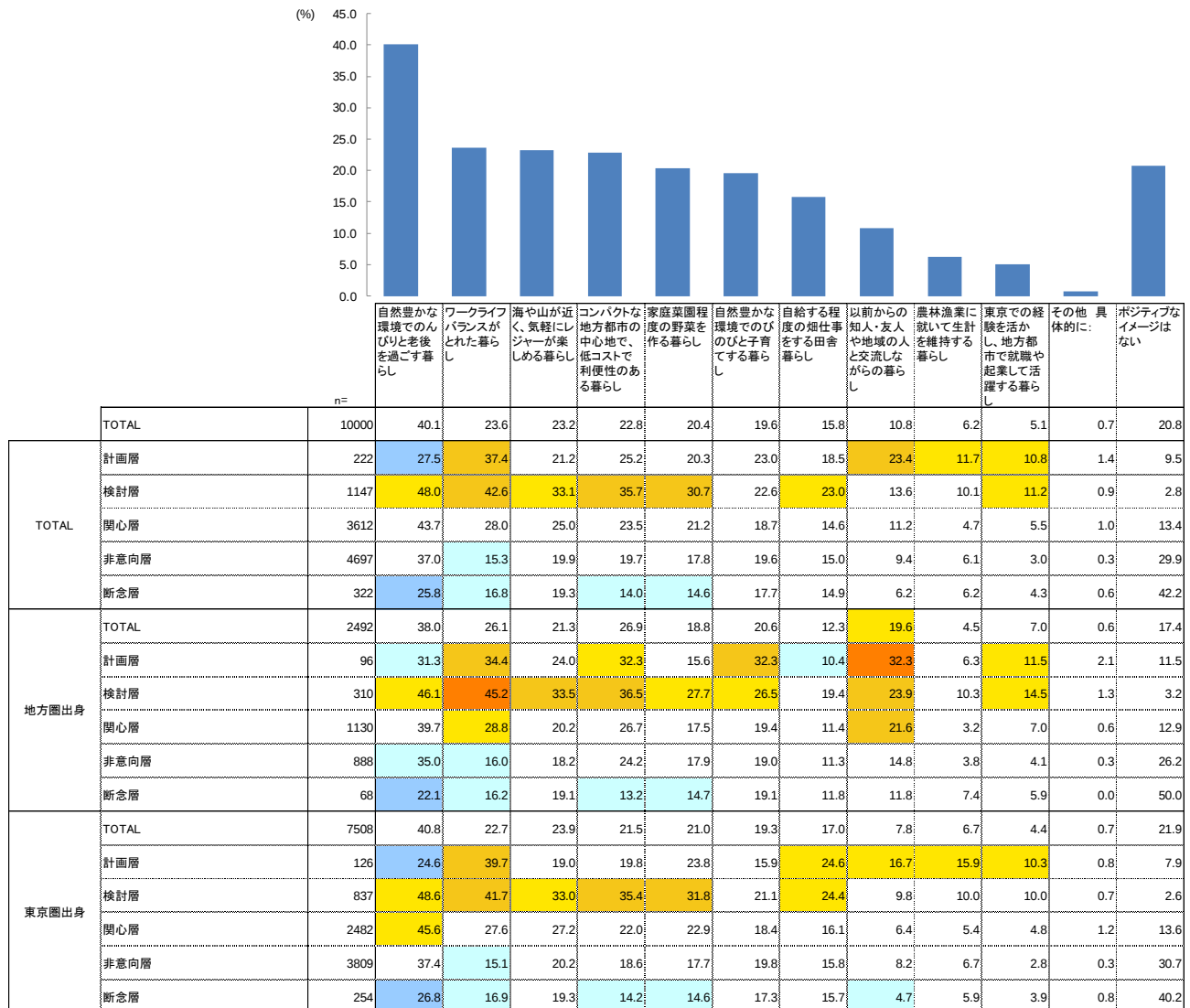
地方圏での暮らしを意識したきっかけは、全体では、「将来のライフプランを考えたことがきっかけ」が26.4%と最も高く、次いで「現在の生活や仕事に疲れを感じたことがきっかけ」が21.7%と続いている。層別にみると、検討層は「将来のライフプランを考えたことがきっかけ」が35.3%、計画層は「就職活動がきっかけ」が16.2%と高くなっている。

出身圏別にみると、地方圏出身は、全体では、「将来のライフプランを考えたことがきっかけ」が32.4%、「帰省がきっかけ」が23.2%と高くなっている。層別にみると、検討層は「将来のライフプランを考えたことがきっかけ」が44.2%と高くなっている。また、「帰省がきっかけ」はいずれの層でも2割を超えている。

東京圏出身は、全体では、「旅行がきっかけ」が25.2%、「将来のライフプランを考えたことがきっかけ」が23.7%と高くなっている。層別にみると、検討層は「旅行がきっかけ」が32.1%、計画層は「就職活動がきっかけ」が17.5%、「結婚がきっかけ」が15.1%と高くなっている。

【問 25】あなたは地方圏での暮らしに対してどのようなポジティブなイメージがありますか。あてはまるものをすべてお選びください。

3-32 地方圏での暮らしに対してのポジティブイメージ



地方圏での暮らしに対するポジティブなイメージは、全体では、「自然豊かな環境でのんびりと老後を過ごす暮らし」が40.1%と最も高く、次いで「ワークライフバランスがとれた暮らし」が23.6%と続いている。層別にみると、「ワークライフバランスがとれた暮らし」は検討層が42.6%、計画層が37.4%と高くなっている。また、検討層は「コンパクトな地方都市の中心地で、低コストで利便性のある暮らし」(35.7%)、「家庭菜園程度の野菜を作る暮らし」(30.7%)、計画層は「以前からの知人・友人や地域の人と交流しながらの暮らし」(23.4%)が高くなっている。

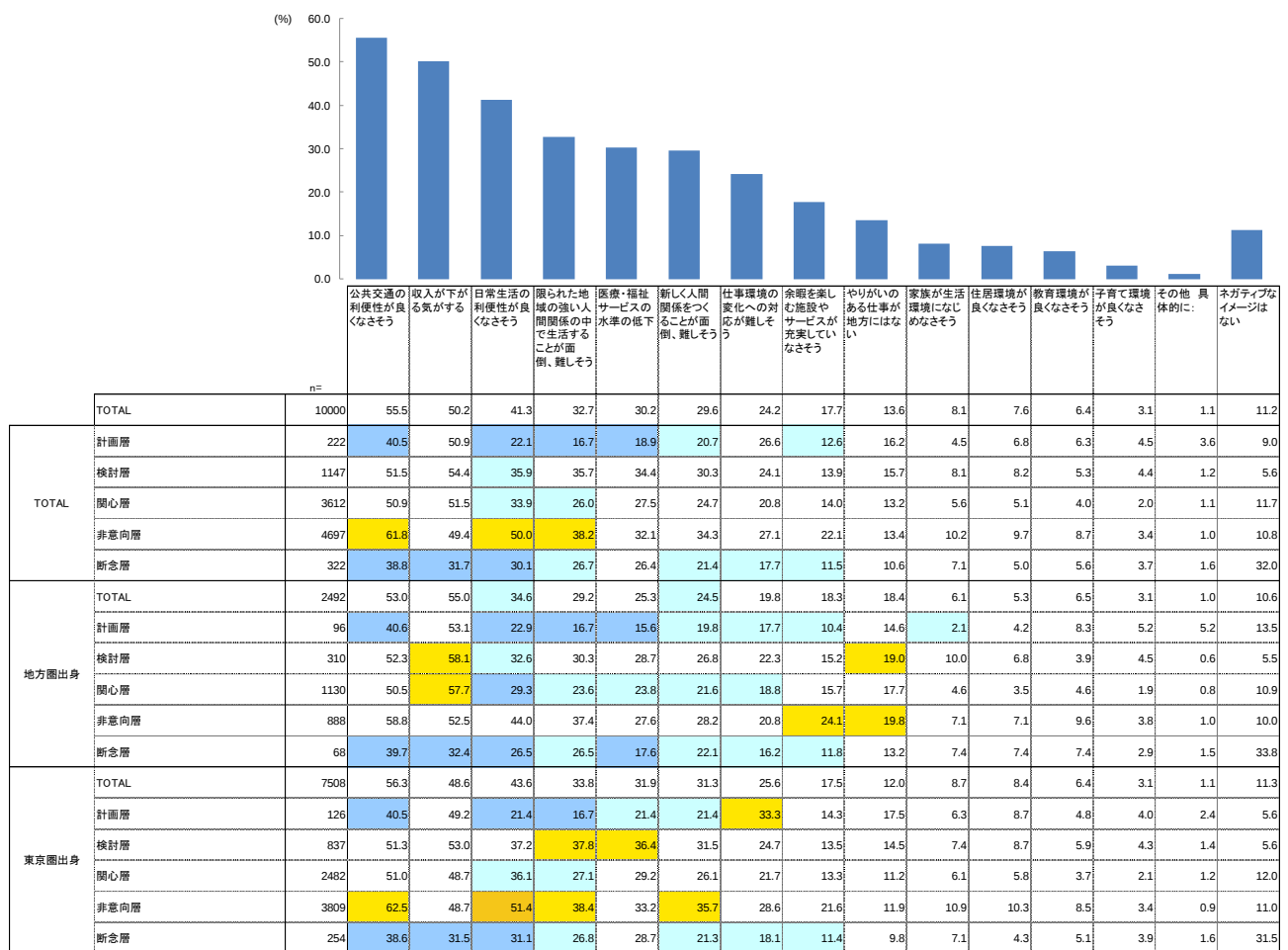
出身圏別にみると、地方圏出身は、全体では、「自然豊かな環境でのんびりと老後を過ごす暮らし」が38.0%、「コンパクトな地方都市の中心地で、低コストで利便性のある暮らし」が26.9%となっている。層別にみると、検討層は「ワークライフバランスがとれた暮らし」が45.2%、計画層は「以前からの知人・友人や地域の人と交流しながらの暮らし」が32.3%と高くなっている。

東京圏出身は、全体では、「自然豊かな環境でのんびりと老後を過ごす暮らし」が40.8%、「海や山が

近く、気軽にレジャーが楽しめる暮らし」が 23.9%となっている。層別にみると、「ワークライフバランスがとれた暮らし」は検討層が 41.7%、計画層が 39.7%と高くなっている。また、検討層は「コンパクトな地方都市の中心地で、低コストで利便性のある暮らし」が 35.4%、「家庭菜園程度の野菜を作る暮らし」が 31.8%と高くなっている。

【問 26】あなたは地方圏での暮らしに対してどのようなネガティブなイメージがありますか。あてはまるものをすべてお選びください。

3-33 地方圏での暮らしに対してのネガティブイメージ



地方圏での暮らしに対するネガティブなイメージは、全体では、「公共交通の利便性が良くなさそう」が 55.5%と最も高く、次いで、「収入が下がる気がする」が 50.2%と続いている。層別にみると、非意向層は「公共交通の利便性が良くなさそう」(61.8%)、「日常生活の利便性が良くなさそう」(50.0%)、「限られた地域の強い人間関係の中で生活することが面倒、難しそう」(38.2%)が高くなっている。

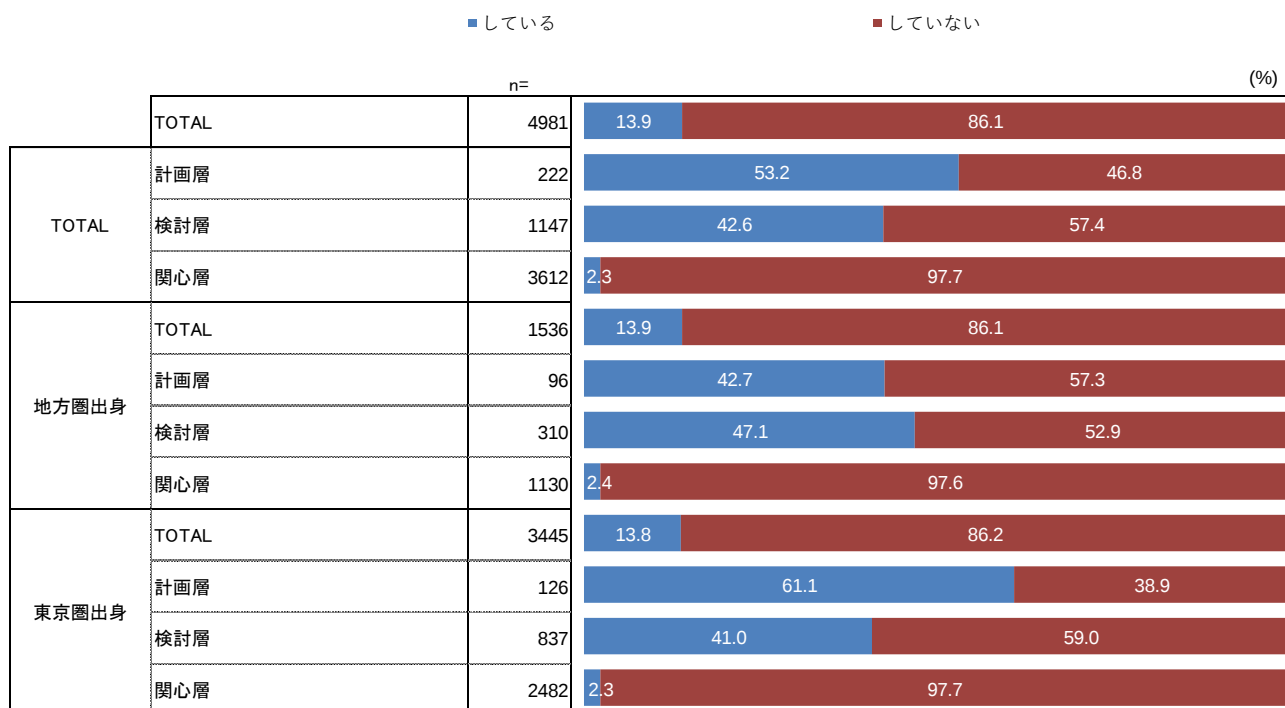
出身圏別にみると、地方圏出身は、全体では、「収入が下がる気がする」が 55.0%、「公共交通の利便性が良くなさそう」が 53.0%と高くなっている。層別にみると、「収入が下がる気がする」は検討層が 58.1%、関心層が 57.7%と高くなっている。また、非意向層は「余暇を楽しむ施設やサービスが充実してない」が 24.1%、「やりがいのある仕事がない」が 19.8%と高くなっている。

東京圏出身は、全体では、「公共交通の利便性が良くなさそう」が 56.3%、「収入が下がる気がする」が 48.6%と高くなっている。層別にみると、非意向層は「日常生活の利便性が良くなさそう」が 51.4%と高くなっている。

【問 27】あなたは地方圏に暮らすために情報収集をしていますか。

※問 18 で「1.関心がある」、「2.やや関心がある」、「3.関心とまではいかないが、気にはなっている」のいずれかを回答した人のみ。

3-34 地方圏に暮らすための情報収集行動

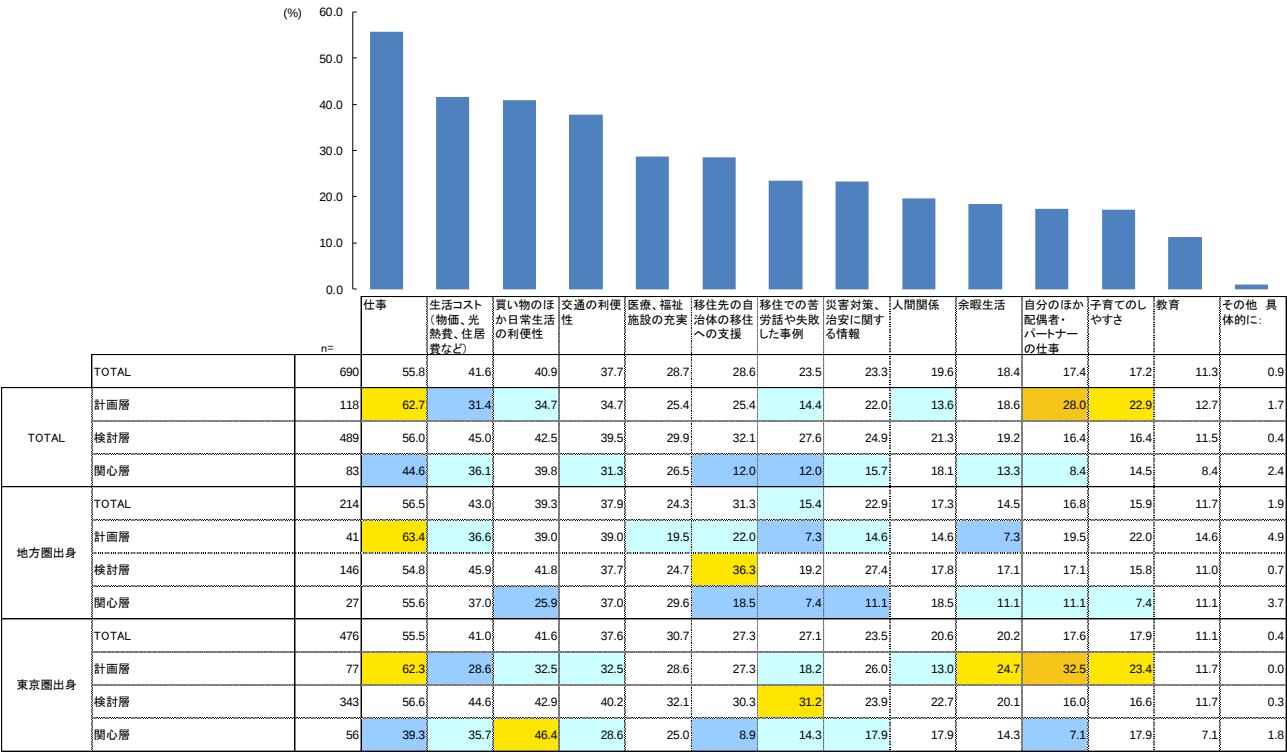


地方圏に暮らすための情報収集については、全体では、「していない」が 86.1%となっている。層別にみると、「している」は計画層が 53.2%、検討層が 42.6%となっており、関心層は「していない」が 97.7%となっている。

出身圏別にみると、地方圏出身及び東京圏出身ともに、全体では、「していない」が 8割台となっている。層別にみると、「している」が、地方圏出身の計画層は 42.7%となっているが、東京圏出身の計画層は 61.1%とやや高くなっている。

【問 28】あなたが実際に収集している情報の内容は何ですか。あてはまるものをすべてお選びください。
※問 27 で「1.情報収集をしている」と回答した人のみ。

3-35 情報収集の内容



実際に収集している情報の内容は、全体では、「仕事」が 55.8%と最も高く、次いで「生活コスト（物価、光熱費、住居費など）」が 41.6%と続いている。層別にみると、計画層は「仕事」（62.7%）、「自分のほか配偶者・パートナーの仕事」（28.0%）、「子育てのしやすさ」（22.9%）が高くなっている。

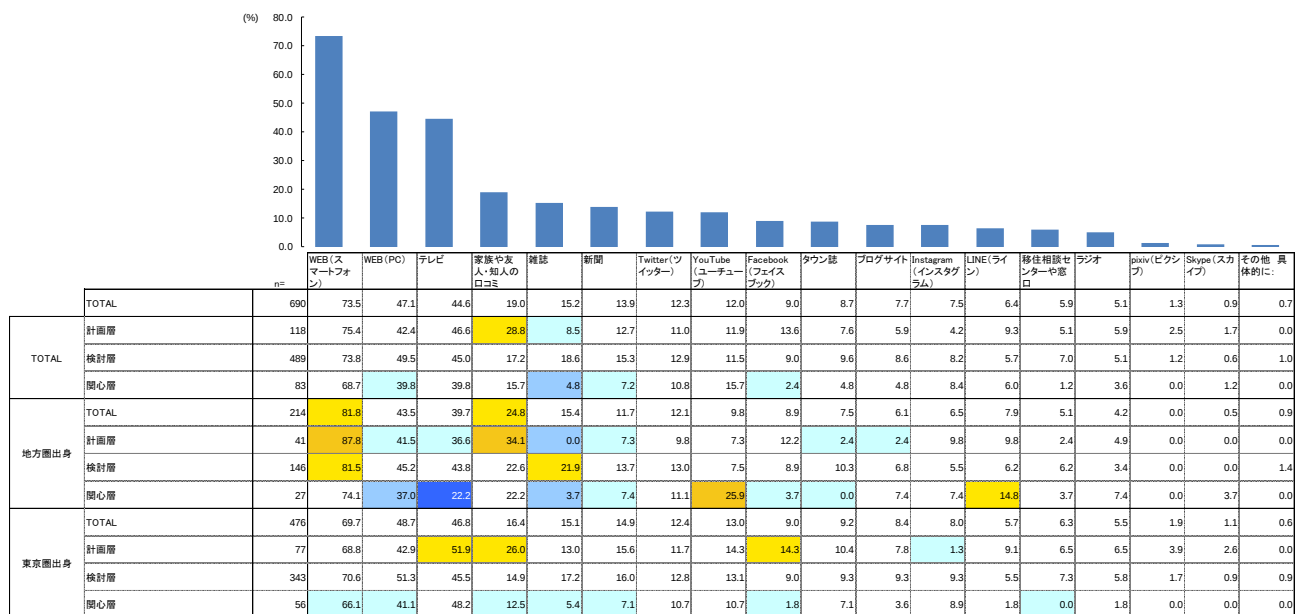
出身圏別にみると、地方圏出身は、全体では、「仕事」が 56.5%、「生活コスト（物価、光熱費、住居費など）」が 43.0%と高くなっている。層別にみると、計画層は「仕事」が 63.4%、検討層は「移住先の自治体の移住への支援」が 36.3%と高くなっている。

東京圏出身は、全体では、「仕事」が 55.5%、「買い物のほか日常生活の利便性」が 41.6%と高くなっている。層別にみると、計画層は「自分のほか配偶者・パートナーの仕事」が 32.5%と高くなっている。

※ n 数が 30 未満の場合、参考での掲載とする。

【問 29】あなたが地方圏で暮らすための情報収集に使用している手段は次のうちどれですか。あてはまるものをすべてお選びください。※問 27 で「1.情報収集をしている」と回答した人のみ。

3-36 情報収集に使用している手段



地方圏で暮らすための情報収集に使用している手段は、全体では、「WEB (スマートフォン)」が73.5%と最も高く、次いで「WEB (PC)」が47.1%と続いている。層別にみると、計画層で「家族や友人・知人の口コミ」が28.8%とやや高くなっている。

出身圏別にみると、地方圏出身は、全体では、「WEB (スマートフォン)」が81.8%と高く、「家族や友人・知人の口コミ」も24.8%とやや高くなっている。

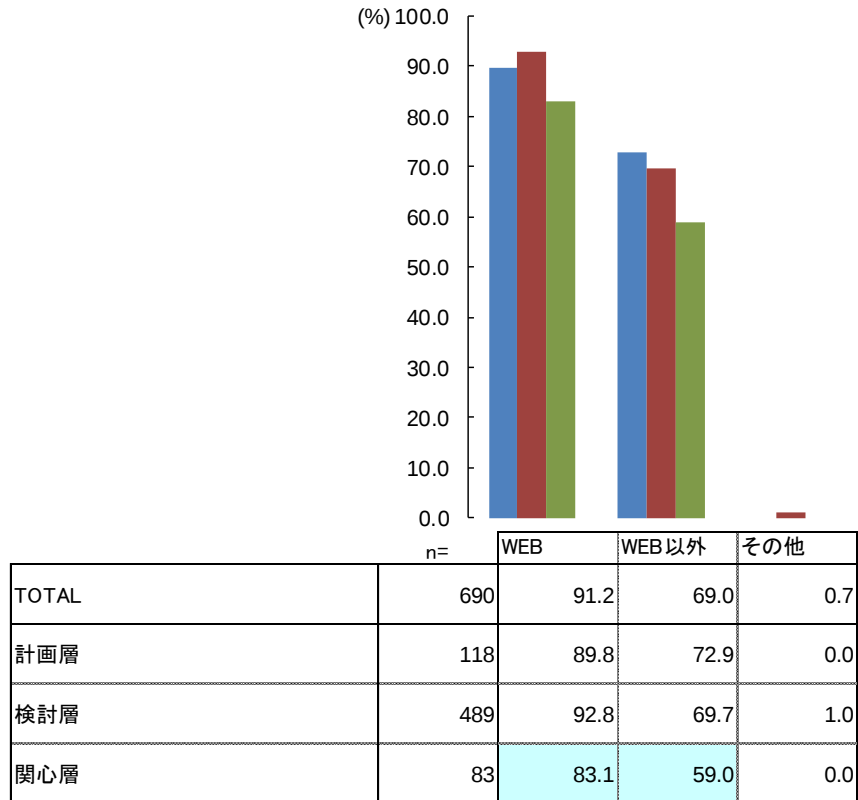
東京圏出身は、層別では、計画層で「テレビ」(51.9%)、「家族や友人・知人の口コミ」(26.0%)がやや高くなっている。

※n数が30未満の場合、参考での掲載とする。

【情報媒体別】

3-37 情報収集に使用している手段(情報媒体別)

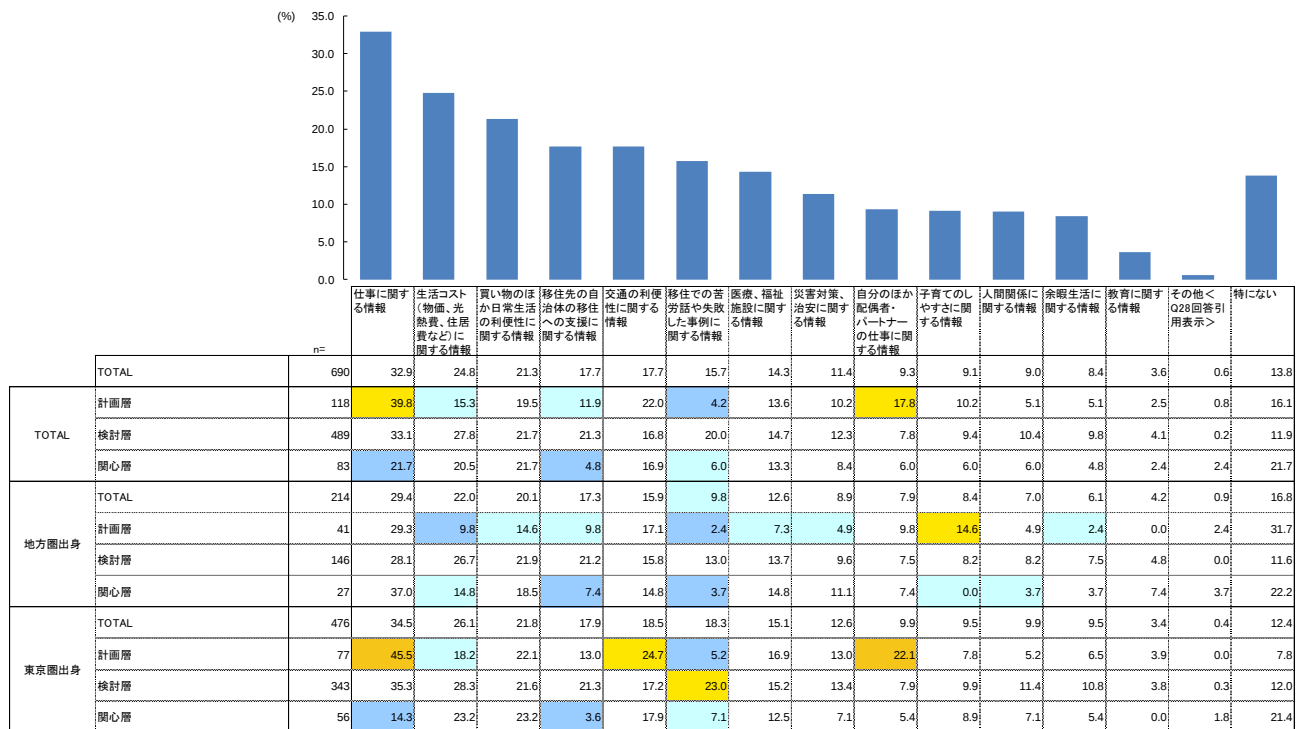
■ 計画層(n=118) ■ 検討層(n=489) ■ 関心層(n=83)



情報収集にしている媒体をWEB かWEB 以外でみると、全体では、「WEB」は91.2%、「WEB 以外」は69.0%となっている。

【問 30】収集した情報の中で、有益な情報はどれでしたか。あてはまるものをすべてお選びください。
 ※問 28 で回答した選択肢のみ。※問 27 で「1.情報収集をしている」と回答した人のみ。

3-38 収集した情報の中で、有益な情報



収集した情報の中で有益な情報は、全体では、「仕事に関する情報」が32.9%と最も高く、次いで「生活コスト（物価、光熱費、住居費など）に関する情報」が24.8%と続いている。層別にみると、計画層は「仕事に関する情報」が39.8%、「自分のほか配偶者・パートナーの仕事に関する情報」が17.8%となっており、仕事に関する情報がやや高くなっている。

出身圏別にみると、地方圏出身は、層別では、「地方での苦労話や失敗した事例に関する情報」（9.8%）の割合がやや低くなっている。また計画層では、「子育てのしやすさに関する情報」が14.6%とやや高くなっている。

東京圏出身は、層別では、計画層で「仕事に関する情報」（45.5%）、「自分のほか配偶者・パートナーの仕事に関する情報」（22.1%）が高くなっている。

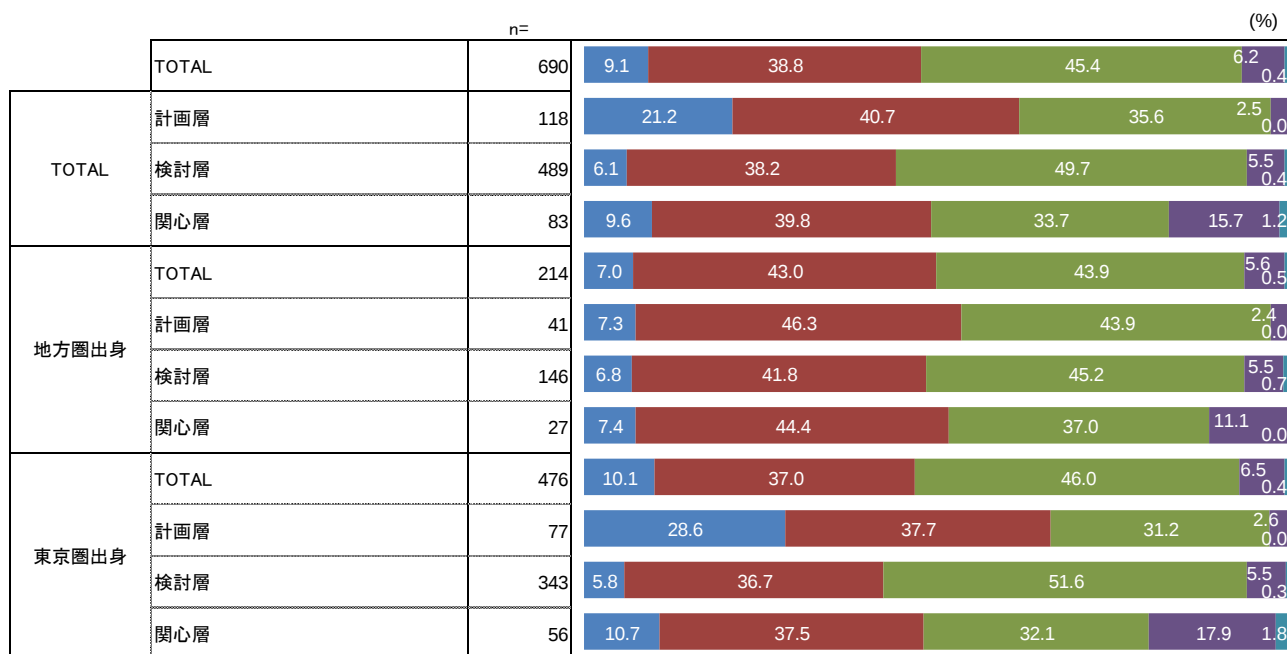
※n数が30未満の場合、参考での掲載とする。

【問 31】あなたの情報収集についての満足度をお答えください。

※問 27 で「1.情報収集をしている」と回答した人のみ。

3-39 情報収集についての満足度

- 必要な情報はほぼ収集できており満足している
- いくつか足りない情報はあるが、おおむね満足している
- 発信されている情報が少なく、あまり満足できていない
- ほしい情報が全く収集できない
- その他 具体的に：



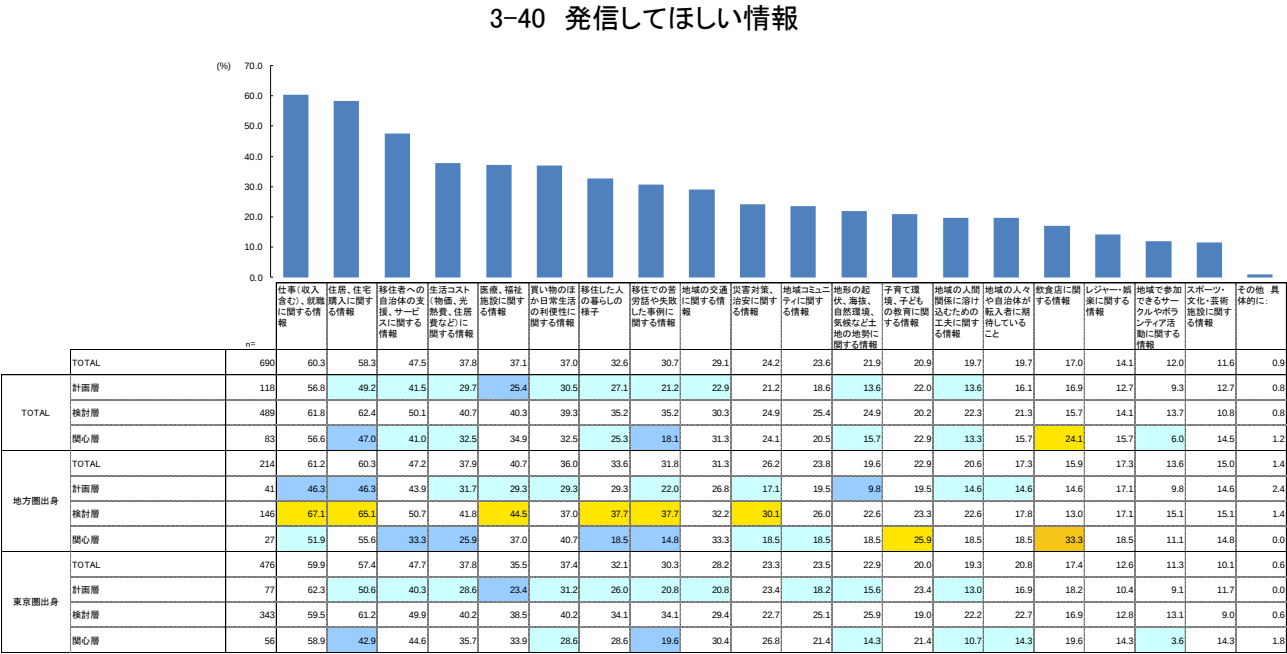
情報収集についての満足度は、全体では、「発信されている情報が少なく、あまり満足できていない」が 45.4%、「いくつか足りない情報はあるが、おおむね満足している」が 38.8%と高くなっている。層別にみると、計画層では、満足している傾向がみられる。

出身圏別にみると、地方圏出身では、大きな違いはみられない。

東京圏出身は、層別では、計画層は、「必要な情報はほぼ収集できており満足している＋いくつか足りない情報はあるが、おおむね満足している」の合計が 66.3%と高くなっている。

※ n 数が 30 未満の場合、参考での掲載とする。

【問 32】情報収集するにあたり、発信してほしい情報は次のうちどれですか。あてはまるものをすべてお選びください。※問 27 で「1.情報収集をしている」と回答した人のみ。



情報収集するにあたって発信してほしい情報は、全体では、「仕事（収入含む）、就職に関する情報」が 60.3%と最も高く、次いで「住居、住宅購入に関する情報」が 58.3%と続いている。層別にみると、計画層で全体的に低い傾向がみられる。関心層で「住居、住宅購入に関する情報」（47.0%）、「移住での苦労話や、失敗した事例に関する情報」（18.1%）が低くなっている。

出身圏別にみると、地方圏出身の検討層では、全体的に高い傾向がみられる。

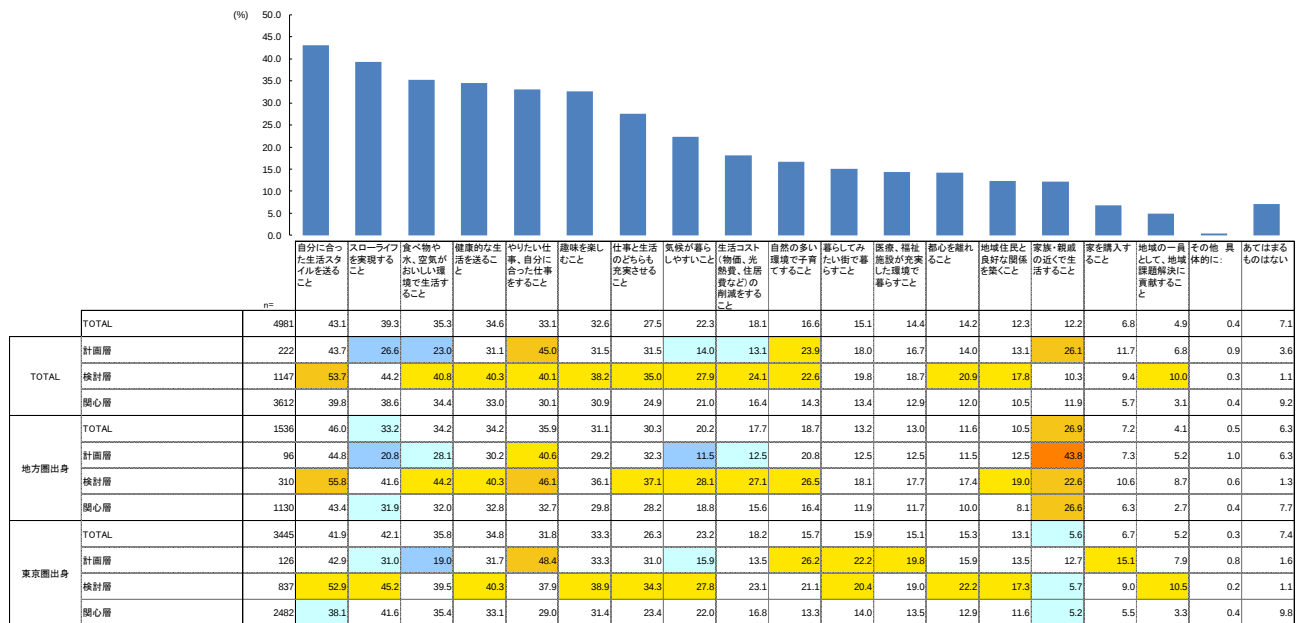
東京圏出身の計画層及び関心層は全体的に低い傾向がみられる。

※n 数が 30 未満の場合、参考での掲載とする。

【問 34】あなたが移住先で期待するライフスタイル、移住先で実現したいことは何ですか。あてはまるものをすべてお選びください。

※問 18 で「1.関心がある」、「2.やや関心がある」、「3.関心とまではいかないが、気にはなっている」のいずれかを回答した人のみ。

3-41 移住先で期待するライフスタイルや実現したいこと



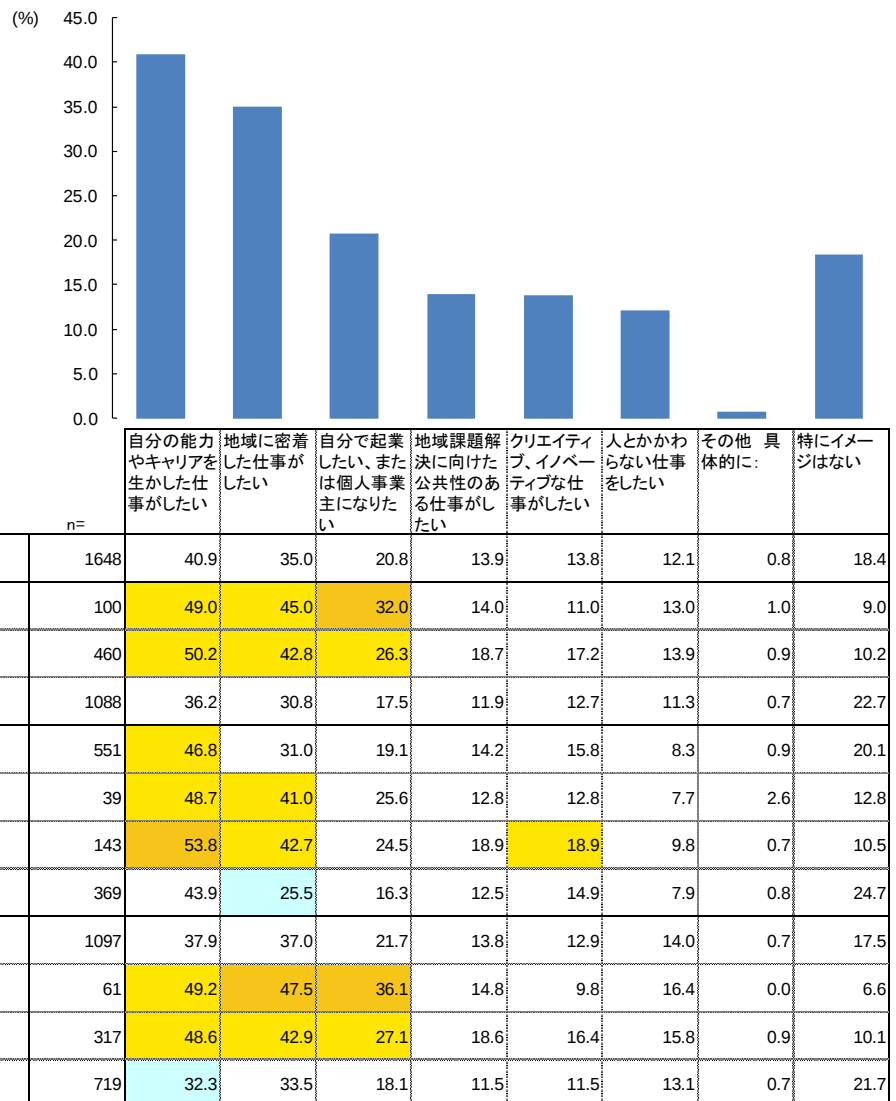
移住先で期待するライフスタイル、移住先で実現したいことは、全体では、「自分に合った生活スタイルを送ること」が43.1%と最も高く、次いで「スローライフを実現すること」が39.3%と続いている。層別にみると、検討層で「自分に合った生活スタイルを送ること」(53.7%)など全体的に高い傾向となっている。

出身圏別にみると、地方圏出身の層別では、計画層は「家族・親戚の近くで生活すること」が43.8%と高くなっている。一方、計画層は、「スローライフを実現すること」(20.8%)や「気候が暮らしやすいこと」(11.5%)が低くなっている。

東京圏出身は、全体では、「家族・親戚の近くで生活すること」が5.6%と低くなっている。層別にみると、計画層は「やりたい仕事、自分に合った仕事をする」が48.4%と高くなっている。

【問 35】あなたが地方圏でやりたい仕事のイメージとして近いものはどれですか。あてはまるものをすべてお選びください。※問 34 で、「1.やりたい仕事、自分に合った仕事をする」と回答した人のみ。

3-42 地方圏でやりたい仕事のイメージ



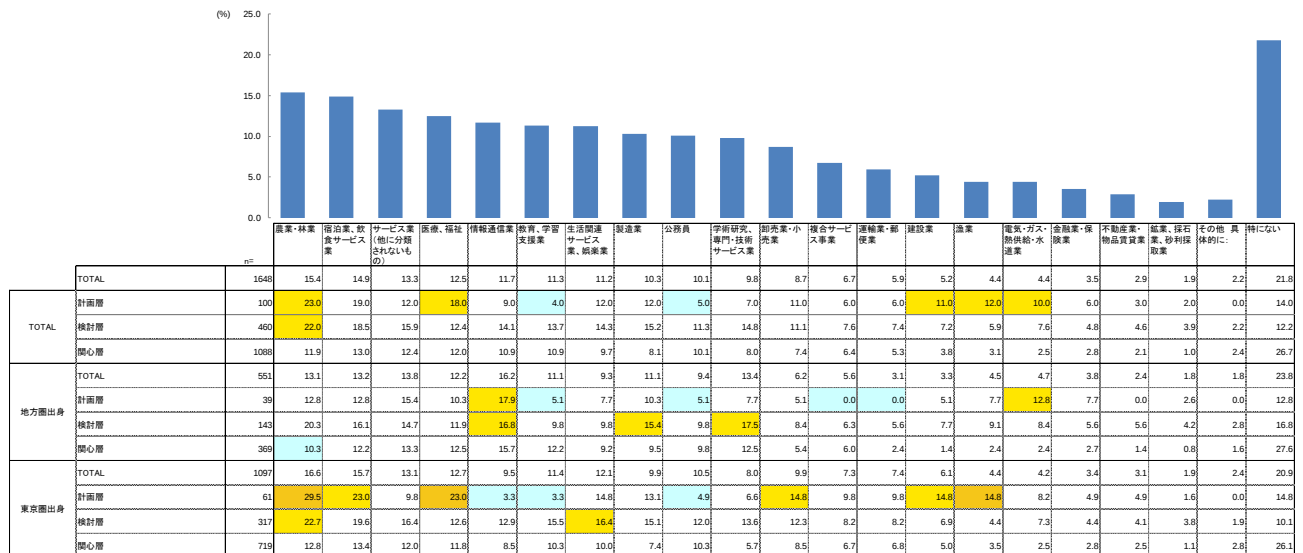
地方圏でやりたい仕事のイメージは、全体では、「自分の能力やキャリアを生かした仕事がしたい」が40.9%と最も高く、次いで「地域に密着した仕事がしたい」が35.0%と続いている。層別にみると計画層で「自分で起業したい、または個人事業主になりたい」(32.0%)が高くなっている。

出身圏別にみると、地方圏出身は、全体では、「自分の能力やキャリアを生かした仕事がしたい」(46.8%)が高くなっている。

東京圏出身は、層別では、計画層は「地域に密着した仕事がしたい」(47.5%)、「自分で起業したい、または個人事業主になりたい」(36.1%)が高くなっている。また、関心層は、「自分の能力やキャリアを生かした仕事がしたい」(32.3%)がやや低くなっている。

【問 36】あなたが地方圏でやりたい業種は何ですか。あてはまるものをすべてお選びください。※問 34 で、「1. やりたい仕事、自分に合った仕事をする」と回答した人のみ。

3-43 地方圏でやりたい業種



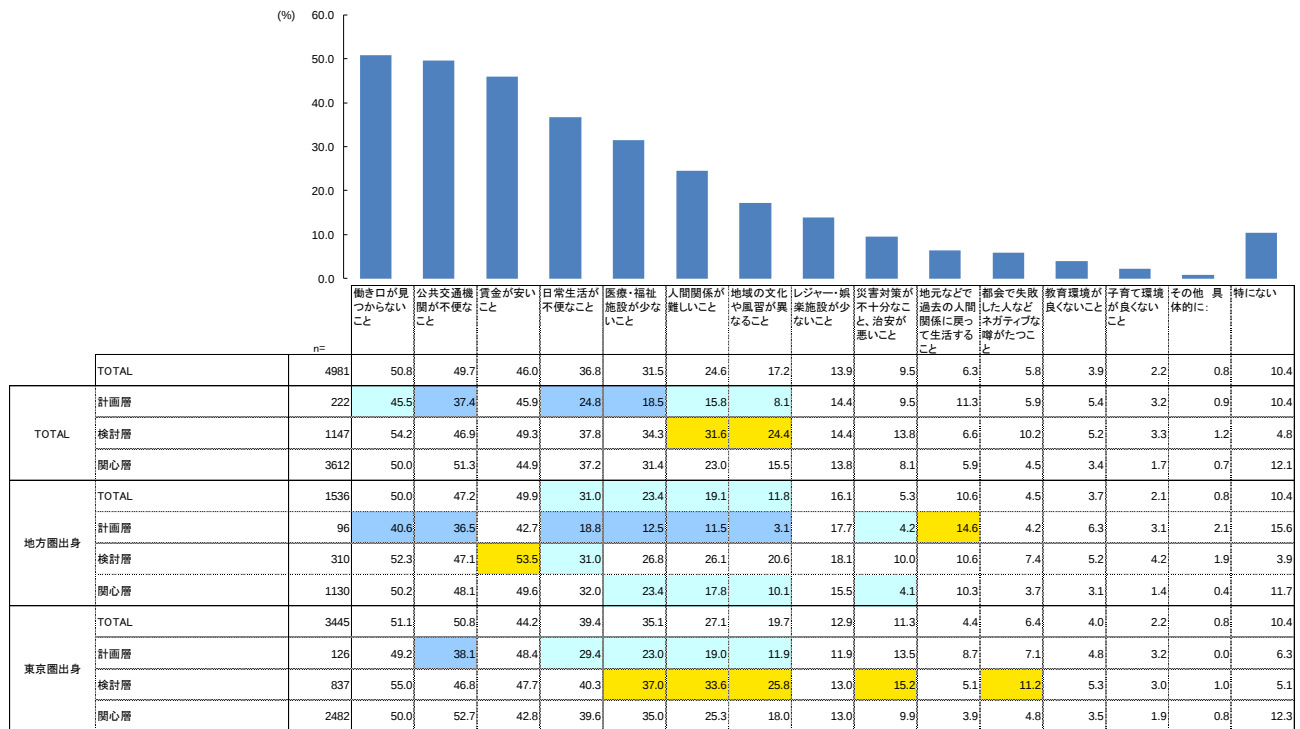
地方圏でやりたい業種は、全体では、「特になし」が 21.8%と高くなっている。やりたい業種として挙げられた中では、「農業・林業」が 15.4%と最も高く、次いで「宿泊業・飲食サービス業」が 14.9%と続いている。

出身圏別にみると、地方圏出身の層別では、「情報通信業」が計画層で 17.9%、検討層で 16.8%とやや高くなっている。「サービス業（他に分類されないもの）」は検討層で 15.4%となっている。また、関心層では、「農業・林業」（10.3%）がやや低くなっている。

東京圏出身は、層別にみると、「農業・林業」が計画層で 29.5%、検討層で 22.7%とやや高くなっている。計画層では、「医療・福祉」（23.0%）、「漁業」（14.8%）も高くなっている。

【問 37】あなたが地方圏へ移住することへの不安や懸念点はどれですか。あてはまるものをすべてお選びください。※問 18 で「1.関心がある」、「2.やや関心がある」、「3.関心とまではいかないが、気にはなっている」のいずれかを回答した人のみ。

3-44 地方圏へ移住することへの不安や懸念点



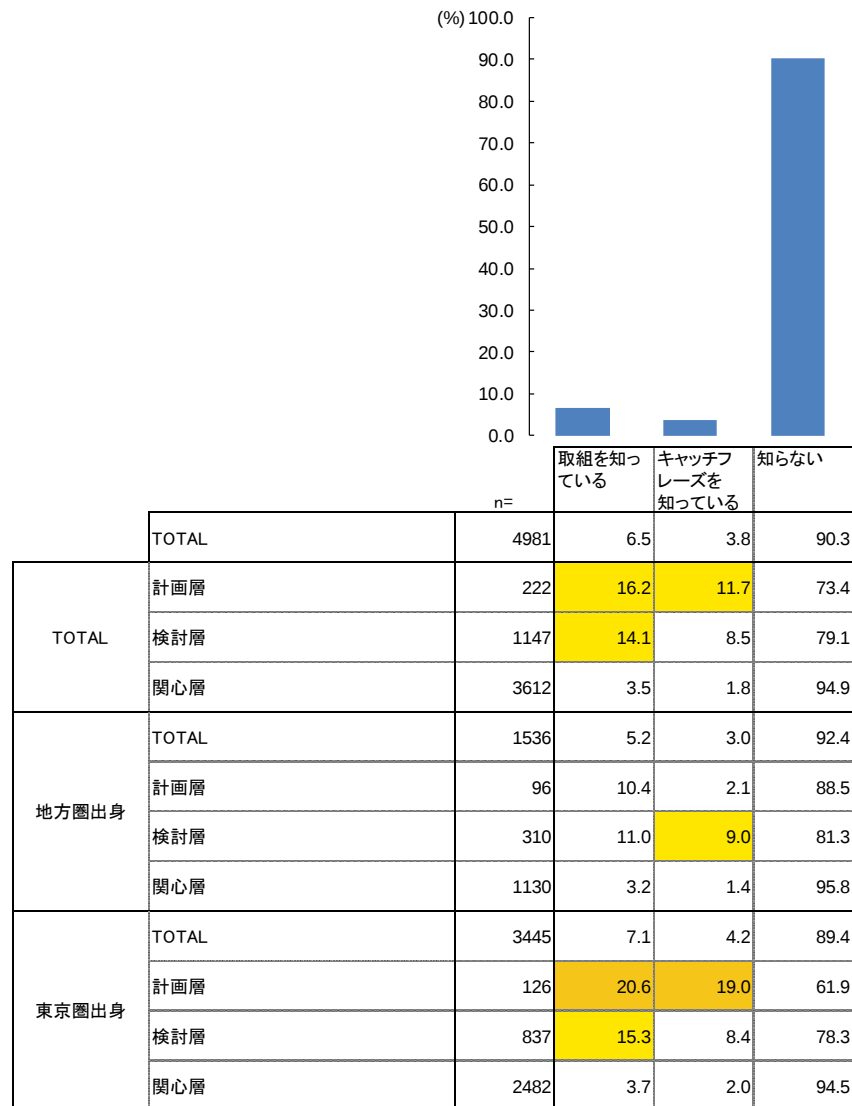
地方圏へ移住することへの不安や懸念点は、全体では、「働き口が見つからないこと」が 50.8%と最も高く、「公共交通機関が不便なこと」(49.7%)、「賃金が安いこと」(46.0%)と続いている。層別にみると、計画層では「公共交通機関が不便なこと」(37.4%)、「日常生活が不便なこと」(24.8%)、「医療・福祉施設が少ないこと」(18.5%)がやや低くなっている。

出身圏別にみると、地方圏出身の計画層では、全体的に低いものの「地元の人間関係に戻って生活すること」(14.8%)がやや高くなっている。

東京圏出身の検討層では、「医療・福祉施設が少ないこと」(37.0%)、「人間関係が難しいこと」(33.8%)、「地域の文化や風習が異なること」(25.8%)等がやや高くなっている。

【問 38】地方移住に関連して、地方公共団体が支援している取組やキャッチフレーズを知っていますか。あてはまるものをすべてお選びください。※問 18 で「1.関心がある」、「2.やや関心がある」、「3.関心とまではいかないが、気にはなっている」のいずれかを回答した人のみ。

3-45 地方移住に関連して、地方公共団体が支援している取組やキャッチフレーズの認知



地方移住に関連した地方公共団体が支援している取組やキャッチフレーズの認知度は、全体では、「知らない」が90.3%となっている。一方、「取組を知っている」は6.5%、「キャッチフレーズを知っている」は3.8%となっている。層別にみると、計画層でいずれも高くなっている。

出身圏別にみると、東京圏の計画層で、「取組を知っている」が20.6%、「キャッチフレーズを知っている」が19.0%と高くなっている。

【問 39】地方移住に関連して、地方公共団体の取組で印象に残っている取組は何ですか。あてはまるものをすべてお選びください。※問 38 で、「1.取組を知っている」と回答した人のみ。

3-46 地方移住に関連して、地方公共団体の取組で印象に残っている取組



地方移住に関連した地方公共団体の取組で印象に残っている取組は、全体では、「住宅（家賃・リフォーム等）に関する補助」が66.0%と最も高く、次いで「引っ越し費用の補助」、「田舎暮らし体験」がともに45.7%と続いている。層別では、ばらつきがみられ、計画層で「住宅（家賃・リフォーム等）に関する補助」（41.7%）、「空き家体験」（19.4%）等が低くなっている。一方、「医療費助成」（30.6%）が高くなっている。

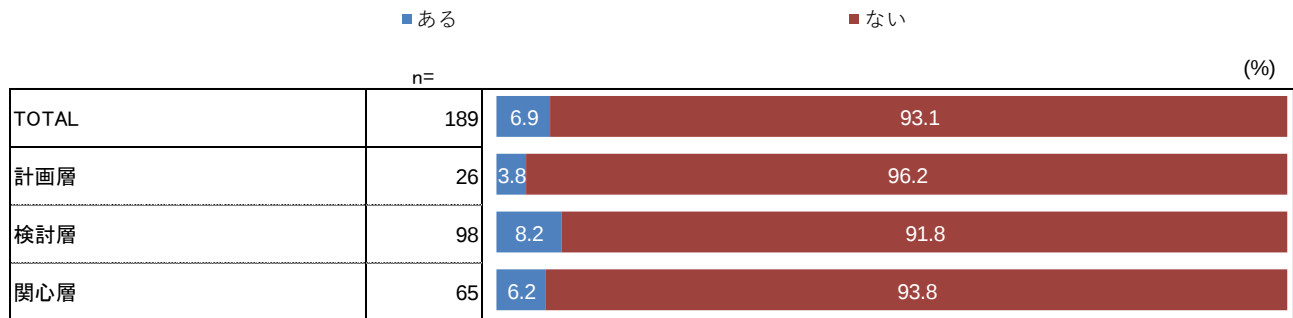
出身圏別にみると、地方圏出身は、全体では、「田舎暮らし体験」が33.8%と低くなっている。

東京圏出身は、層別にみると、関心層は「空き家体験」が56.5%と高くなっている。

※n数が30未満の場合、参考での掲載とする。

【問 40】地方移住に関連して、印象に残っている地方公共団体のキャッチフレーズはありますか。
※問 38 で、「2.キャッチフレーズを知っている」と回答した人のみ。

3-47 地方移住に関連して、印象に残っている地方公共団体のキャッチフレーズ

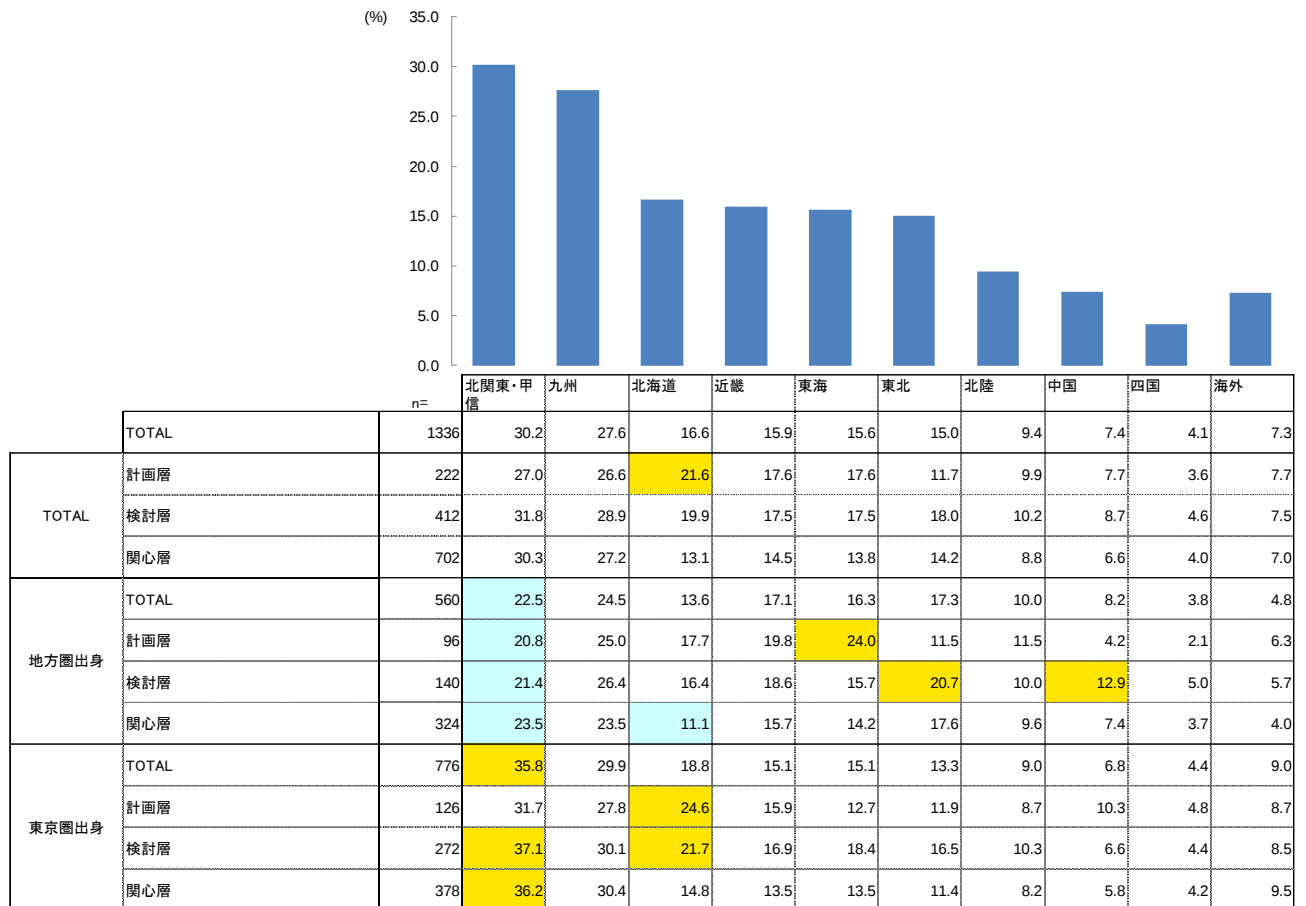


地方移住に関連して、印象に残っている地方公共団体のキャッチフレーズの有無については、全体では「ある」が6.9%、「ない」が93.1%となっている。層別にみても、大きな違いは見られない。

※ n 数が 30 未満の場合、参考での掲載とする。

【問 41】具体的な移住先の候補としている道府県をご選択ください。(3つまで)※集計は地域ブロック
 ※問 21 で、「1.1つの道府県に決まっている」、「2.2～3の道府県まで絞れている」のいずれかを回答した人のみ。

3-48 移住先の候補としている地域(道府県)



具体的な移住先の候補としている地域(道府県)は、全体では、「北関東・甲信」が 30.2%と最も高く、次いで「九州」が 27.6%と続いている。層別にみると、計画層は「北海道」が 21.6%と高くなっている。

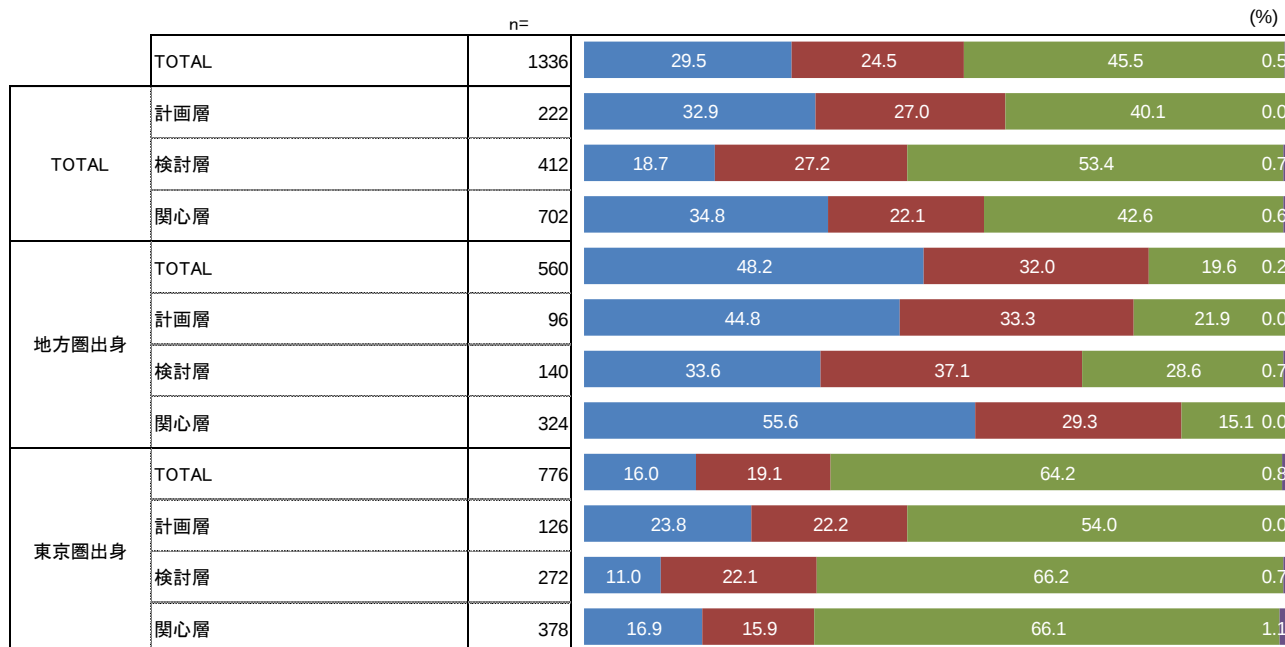
出身圏別にみると、地方圏出身は、全体では、「九州」が 24.5%、「北関東・甲信」が 22.5%と高くなっている。層別にみると、計画層は「東海」が 24.0%と高くなっており、検討層は「東北」(20.7%)、「中国」(12.9%)が高くなっている。

東京圏出身は、全体では、「北関東・甲信」が 35.8%、「九州」が 29.9%と高くなっている。層別にみると、「北関東・甲信」は検討層が 37.1%、関心層が 36.2%と高くなっている。「北海道」は計画層が 24.6%、検討層が 21.7%と高くなっている。

【問 43】移住先の候補はあなた自身または配偶者・パートナーの出身地も入っていますか。

3-49 移住先の候補に出身地も入っているか

■ 出身地のみが候補となっている ■ 出身地も候補の1つとして考えている ■ 出身地は候補に入っていない ■ その他



移住先の候補に回答者自身または配偶者・パートナーの出身地も入っているかについては、全体では、「出身地は候補に入っていない」が45.5%、「出身地のみが候補となっている」が29.5%、「出身地も候補の1つとして考えている」が24.5%となっている。層別にみると、検討層は「出身地は候補に入っていない」が53.4%と高くなっている。

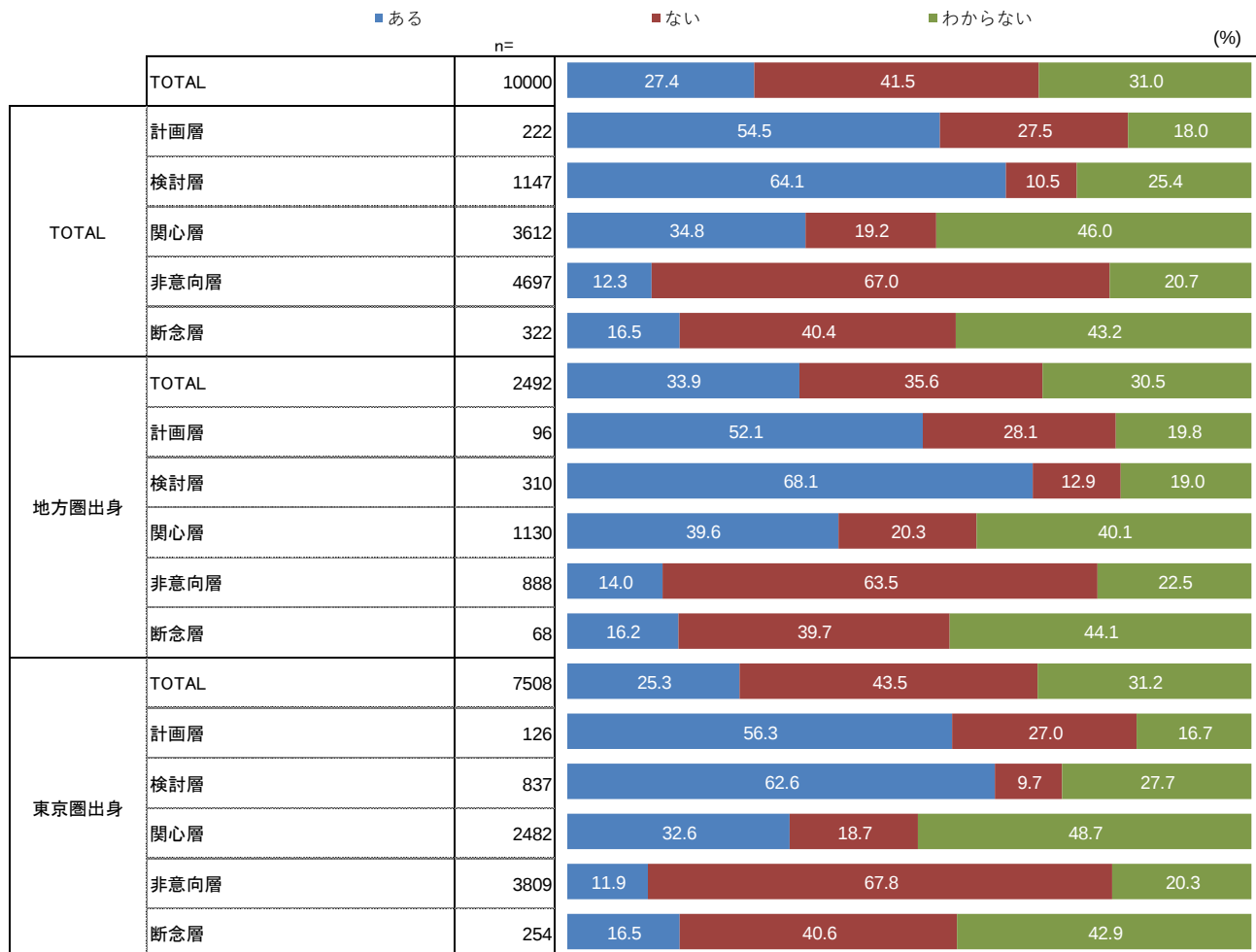
出身圏別にみると、地方圏出身は、全体では、「出身地のみが候補となっている」が48.2%、「出身地も候補の1つとして考えている」が32.0%となっている。層別にみると、関心層では「出身地のみが候補となっている」が55.6%と高くなっている。

東京圏出身は、全体では、「出身地は候補に入っていない」が64.2%と高くなっている。層別にみると、いずれの層でも「出身地は候補に入っていない」が5割を超えている。

また、東京圏出身の「出身地」は東京圏であるため、配偶者・パートナーの出身地である可能性に注意されたい。

【問 44】あなたは東京圏（東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県）を除く道府県で移住するかどうかにかかわらず、興味・関心を抱いている地域はありますか。

3-50 移住にかかわらず興味・関心を抱いている地域の有無



東京圏（東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県）を除く道府県で移住するかどうかにかかわらず、興味・関心を抱いている地域の有無については、全体では、「ない」が 41.5%、「ある」が 27.4%となっている。層別にみると、「ある」は検討層が 64.1%、計画層が 54.5%と高くなっている。「ない」は非意向層が 67.0%と高くなっている。

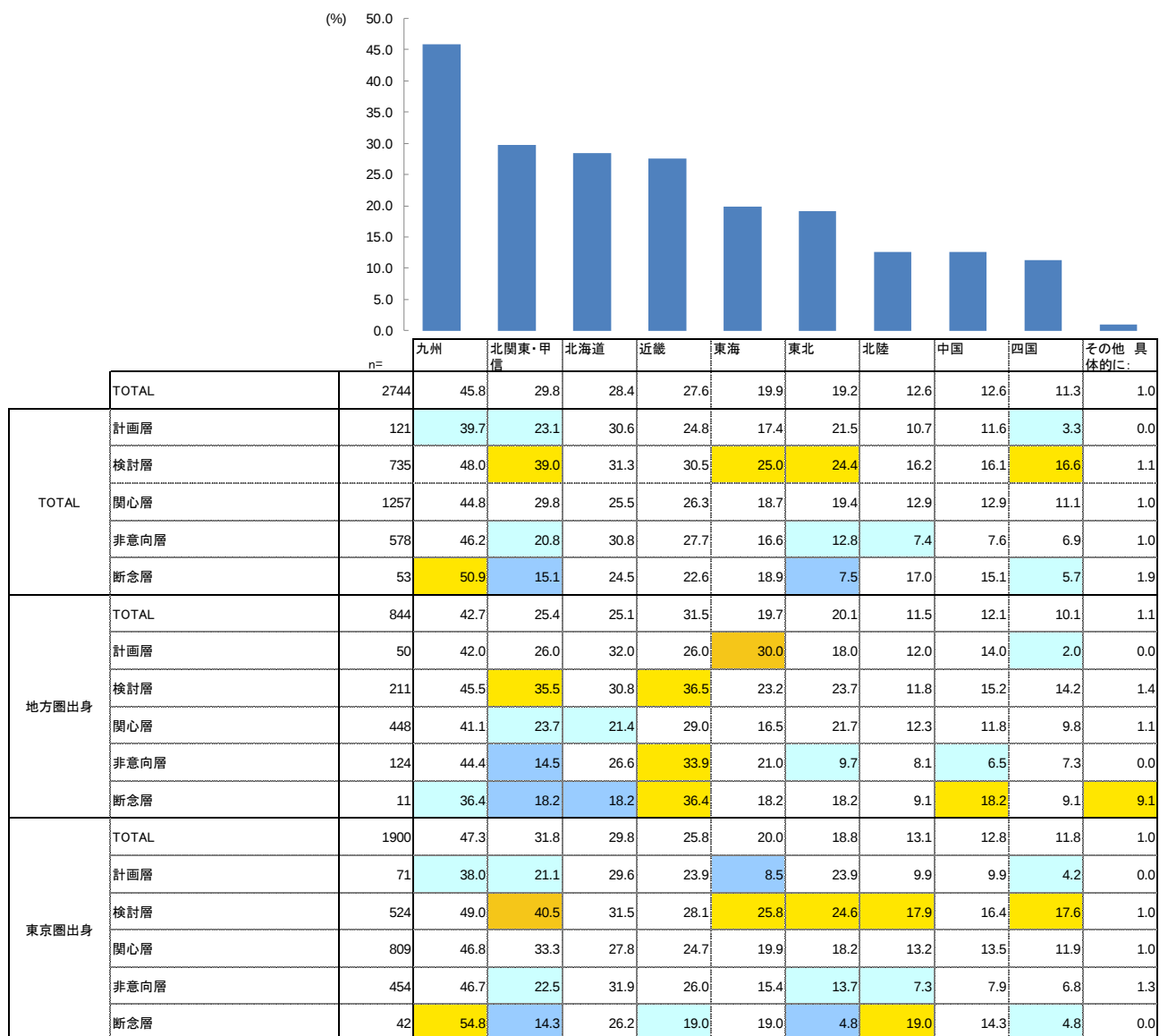
出身圏別にみると、地方圏出身は、全体では、「ない」が 35.6%、「ある」が 33.9%となっている。

東京圏出身では、全体では、「ない」が 43.5%、「ある」が 25.3%となっている。層別にみると、地方圏出身及び東京圏出身ともに、「ある」は検討層及び計画層が高く、「ない」は非意向層が高くなっている。

【問 45】あなたが興味・関心を抱いている地域はどれですか。あてはまるものをすべてお選びください。Q44 で、東京圏(東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県)を除く道府県で移住するかどうかにかかわらず、興味・関心を抱いている地域は「ある」と答えた方にお伺いします。※集計は地域ブロック

※問 44 で「1.ある」と回答した人のみ。

3-51 興味・関心を抱いている地域



興味・関心を抱いている地域は、全体では、「九州」が 45.8%と最も高く、次いで「北関東・甲信」が 29.8%と続いている。層別にみると、検討層は「北関東・甲信」(39.0%)、「東海」(25.0%)、「東北」(24.4%)が高くなっている。

出身圏別にみると、地方圏出身は、全体では、「九州」が 42.7%、「近畿」が 31.5%と高くなっている。層別にみると、計画層は「東海」(30.0%)、検討層は「近畿」(36.5%)、「北関東・甲信」(35.5%)が高くなっている。「近畿」は、検討層(36.5%)、非意向層(33.9%)が高くなっている。

東京圏出身は、全体では、「九州」が 47.3%、「北関東・甲信」が 31.8%と高くなっている。層別にみ

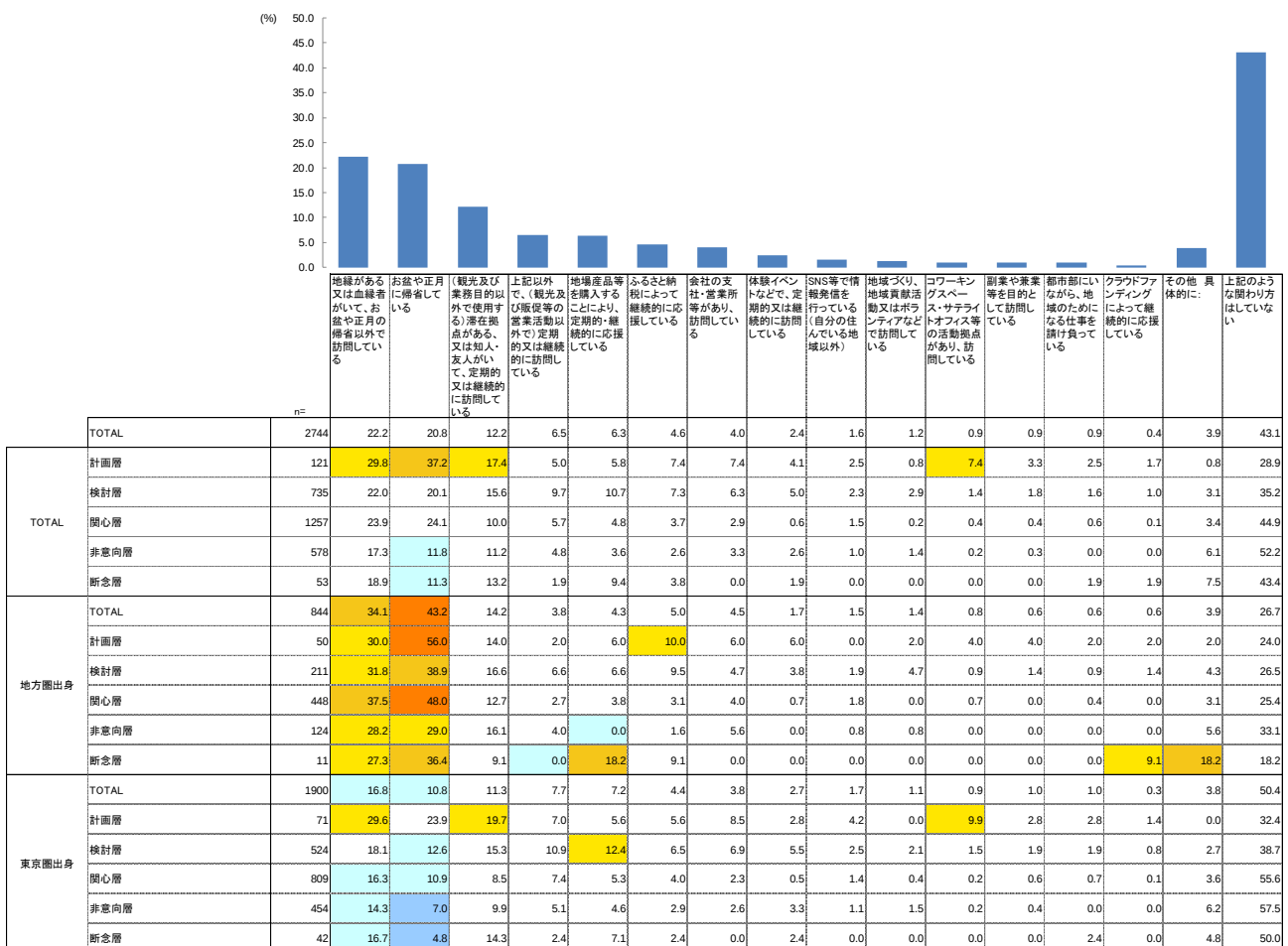
ると、検討層は「北関東・甲信」（40.5%）、断念層は「九州」（54.8%）が高くなっている。

※n数が30未満の場合、参考での掲載とする。

【問46】あなたは興味・関心のある地域とどのように関わっていますか。あてはまるものをすべてお選びください。

※「問44で1.ある」と回答した人のみ。

3-52 興味・関心ある地域との関わり方



興味・関心のある地域との関わり方は、全体では、「地縁がある又は血縁者がいて、お盆や正月の帰省以外で訪問している」が22.2%と最も高く、次いで「お盆や正月に帰省している」が20.8%と続いている。層別にみると、計画層は、「お盆や正月に帰省している」（37.2%）、「地縁がある又は血縁者がいて、お盆や正月の帰省以外で訪問している」（29.8%）、「（観光及び業務目的以外で使用する）滞在拠点がある、又は知人・友人がいて、定期的又は継続的に訪問している」（17.4%）が高くなっている。

出身圏別にみると、地方圏出身は、全体では、「お盆や正月に帰省している」が43.2%、「地縁がある又は血縁者がいて、お盆や正月の帰省以外で訪問している」が34.1%と高くなっている。層別にみると、「お盆や正月に帰省している」、「地縁がある又は血縁者がいて、お盆や正月の帰省以外で訪問している」はいずれの層でも高くなっている。

東京圏出身は、全体では、「地縁がある又は血縁者がいて、お盆や正月の帰省以外で訪問している」が16.8%、「お盆や正月に帰省している」が10.8%となっている。層別にみると、計画層は「地縁がある又は血縁者がいて、お盆や正月の帰省以外で訪問している」（29.6%）、「（観光及び業務目的以外で使用する）滞在拠点が

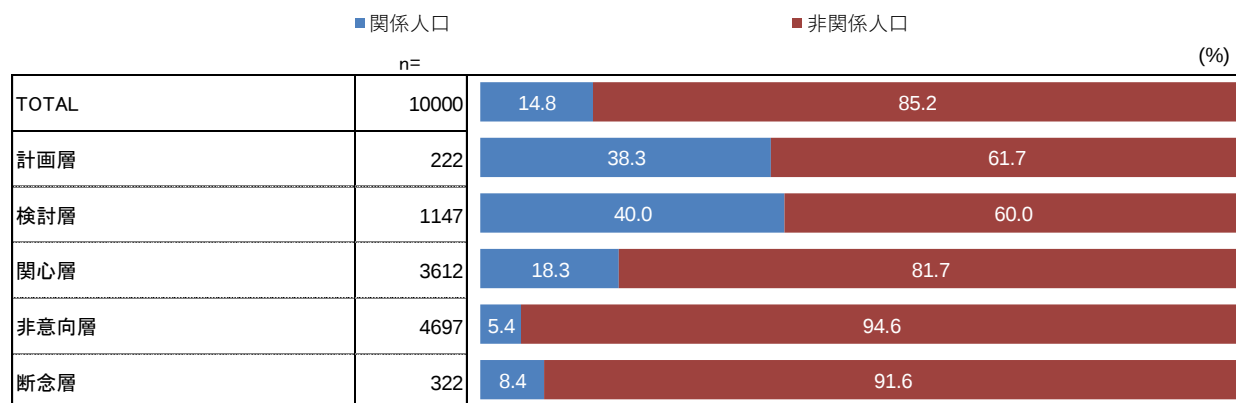
ある、又は知人・友人がいて、定期的又は継続的に訪問している」(19.7%)が高くなっている。

※n数が30未満の場合、参考での掲載とする。

問46の回答をベースに下記①から⑭のを選択した人を関係人口と定義をして全体での出現率を集計。

- ①地縁がある又は血縁者がいて、お盆や正月の帰省以外で訪問している地域
- ②お盆や正月に帰省を行っている地域
- ③(観光及び業務目的以外で使用する)滞在拠点がある又は知人・友人がいて、定期的又は継続的に訪問している特定の地域
- ④コワーキングスペース・サテライトオフィス等の活動拠点があり、訪問している特定の地域
- ⑤会社の支社・営業所等があり、訪問している特定の地域
- ⑥副業や兼業等を目的として訪問している特定の地域
- ⑦体験イベントなどで、定期的又は継続的に訪問している特定の地域
- ⑧地域づくり、地域貢献活動又はボランティアなどで訪問している特定の地域
- ⑨ふるさと納税によって継続的に応援している特定の地域
- ⑩クラウドファンディングによって継続的に応援している特定の地域
- ⑪地場産品等を購入することにより、定期的・継続的に応援している特定の地域
- ⑫都市部にいながら、地域のためになる仕事を請け負っている特定の地域
- ⑬SNS等で情報発信を行っている特定の地域(自分の住んでいる地域以外)
- ⑭上記の他、(観光及び販促等の営業活動以外で)定期的又は継続的に訪問している特定の地域

3-53 関係人口



関係人口の出現率をみると、全体で「関係人口」は14.8%、非関係人口は85.2%である。

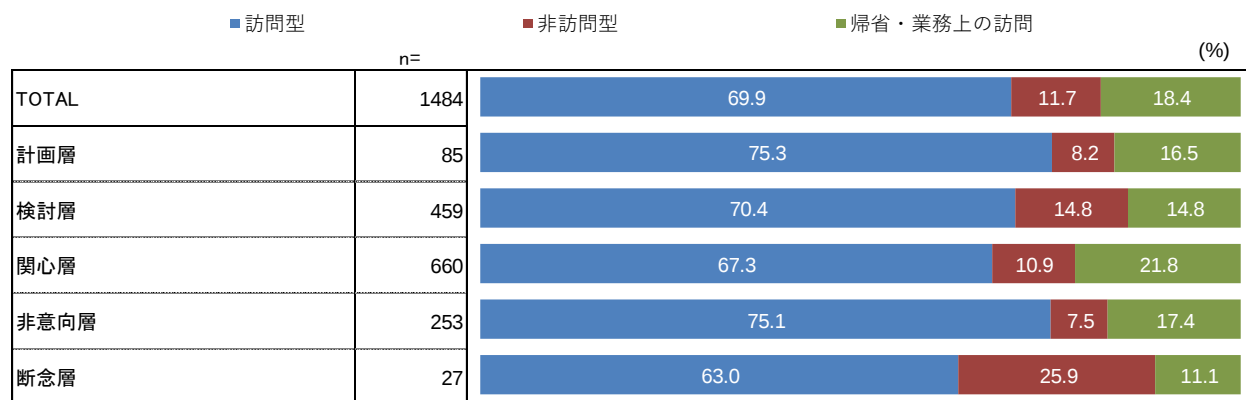
層別にみると概ね関係人口は、検討段階に比例して増える傾向がみられる。

問 46 の回答をベースに【訪問型】と【非訪問型】を定義し集計、なお訪問型と非訪問型の選択を両方選んでいる場合は【訪問型】を優先して集計。

※関係人口のみ

【訪問型】	
①地縁がある又は血縁者がいて、お盆や正月の帰省以外で訪問している地域	
③(観光及び業務目的以外で使用する)滞在拠点がある又は知人・友人がいて、定期的又は継続的に訪問している特定の地域	
④コワーキングスペース・サテライトオフィス等の活動拠点があり、訪問している特定の地域	
⑥副業や兼業等を目的として訪問している特定の地域	
⑦体験イベントなどで、定期的又は継続的に訪問している特定の地域	
⑧地域づくり、地域貢献活動又はボランティアなどで訪問している特定の地域	
⑭上記の他、(観光及び販促等の営業活動以外で)定期的又は継続的に訪問している特定の地域	
【非訪問型】	
⑨ふるさと納税によって継続的に応援している特定の地域	
⑩クラウドファンディングによって継続的に応援している特定の地域	
⑪地場産品等を購入することにより、定期的・継続的に応援している特定の地域	
⑫都市部にいながら、地域のためになる仕事を請け負っている特定の地域	
⑬SNS等で情報発信を行っている特定の地域(自分の住んでいる地域以外)	
【帰省・業務上の訪問】	
②お盆や正月に帰省を行っている地域	
⑤会社の支社・営業所等があり、訪問している特定の地域は含まない	

3-54 (関係人口)訪問型・非訪問型



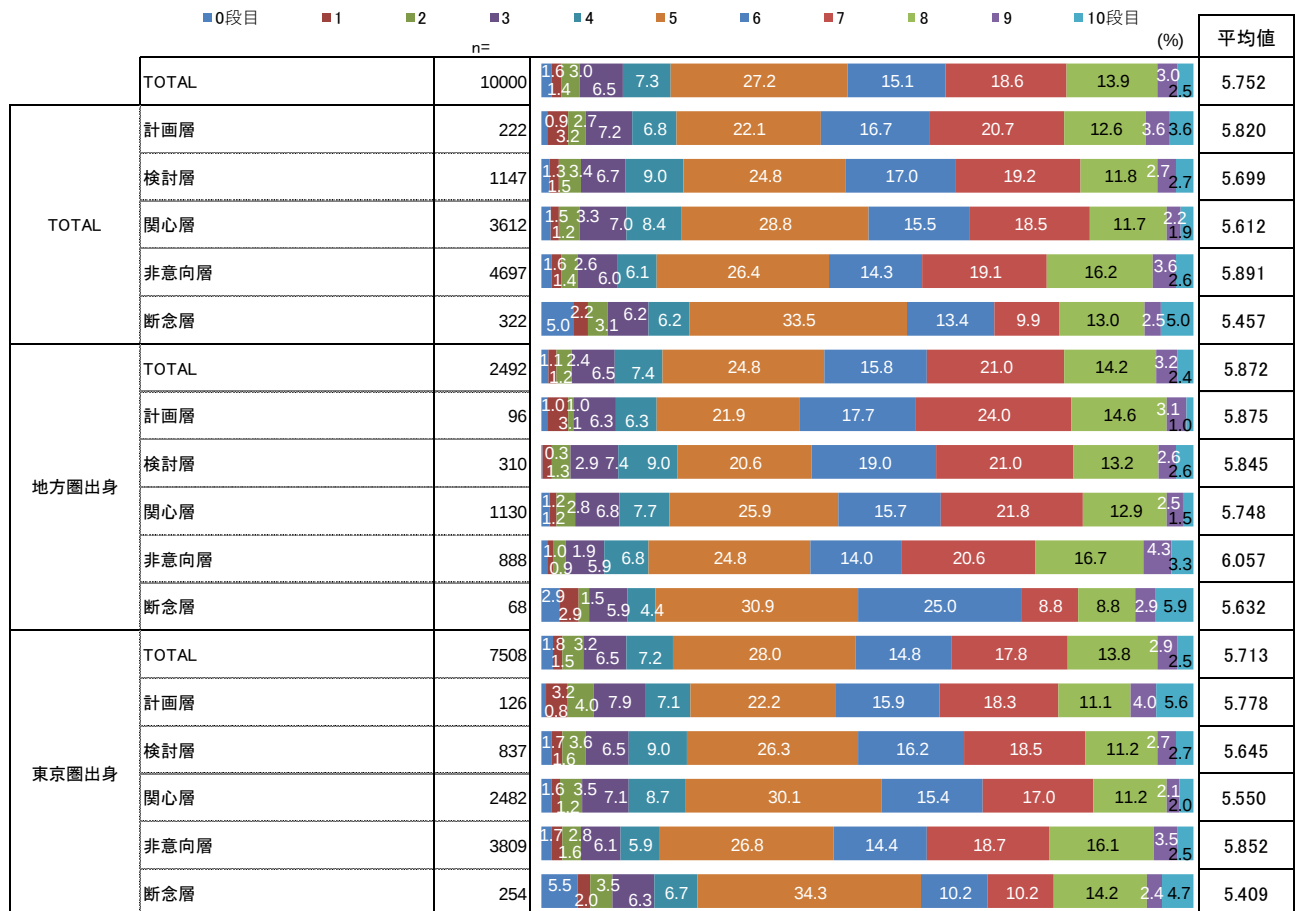
問 46 の回答をベースに【訪問型】と【非訪問型】をみると、「訪問型」は 69.9%、「帰省・業務上の訪問」は 18.4%、「非訪問型」は 11.7%となっている。

層別にみると、関心層は「帰省・業務上の訪問」が 21.8%とやや高くなっている。

※n 数が 30 未満の場合、参考での掲載とする。

【問 47】あなたが、ご自分で感じている生活全般の幸福度についてお答えください。あなたの前にはしごがある
とします。「あり得る最悪の人生」を梯子の 0 段目、「あり得る最高の人生」を梯子の 10 段目と考えた場合、あ
なたは今はしごの何段目にいると思いますか。0～10 段でお答えください。

3-55 生活全般の幸福度



生活全般の幸福度は、全体の平均値は 5.752pt となっている。層別にみると、非意向層が 5.891pt、計画層が 5.820pt と高くなっている。

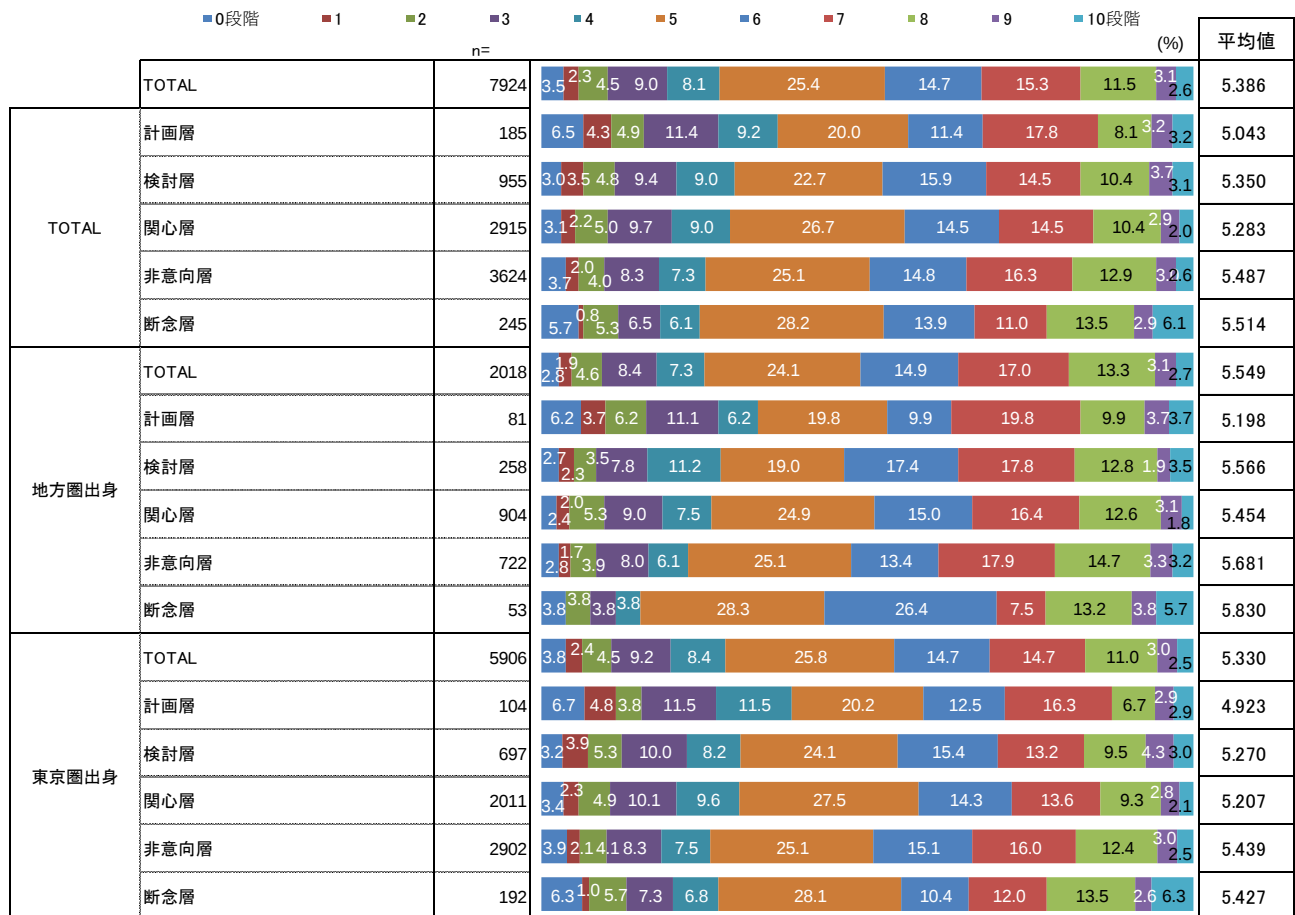
出身圏別にみても同様に、平均値は、地方圏出身では非意向層が 6.057pt、計画層が 5.875pt、東京圏出身では非意向層が 5.852pt、計画層が 5.778pt と高くなっている。

※本設問の回答を「計画層及び検討層」と「関心層」に分けて t 検定を行ったところ、信頼度 95% の水準で有意となった。

※「幸福度」とは、国際連合の「世界幸福度報告書」に採用されている主観的指標であり、その測定のために用いられている「キャントリルの梯子 (the Cantril ladder)」の質問を本調査においても使用した。回答者は、「ありうる最悪の人生」を梯子の 0 段目、「ありうる最高の人生」を梯子の 10 段目と考えた場合、現在自分がその梯子の何段目にいるのかを答えることにより、「理想の人生」に対する現在の達成度を回答している。

【問 48】あなたがご自分で感じている仕事に関する満足度についてお答えください。「不満」を 0、「満足」を 10 とした場合、あなたの仕事への満足度を 10 段階でお答えください。※問7で「9.学生」、「10. 専業主婦/主夫」、「11.無職」以外を回答した人のみ。

3-56 仕事に関する満足度

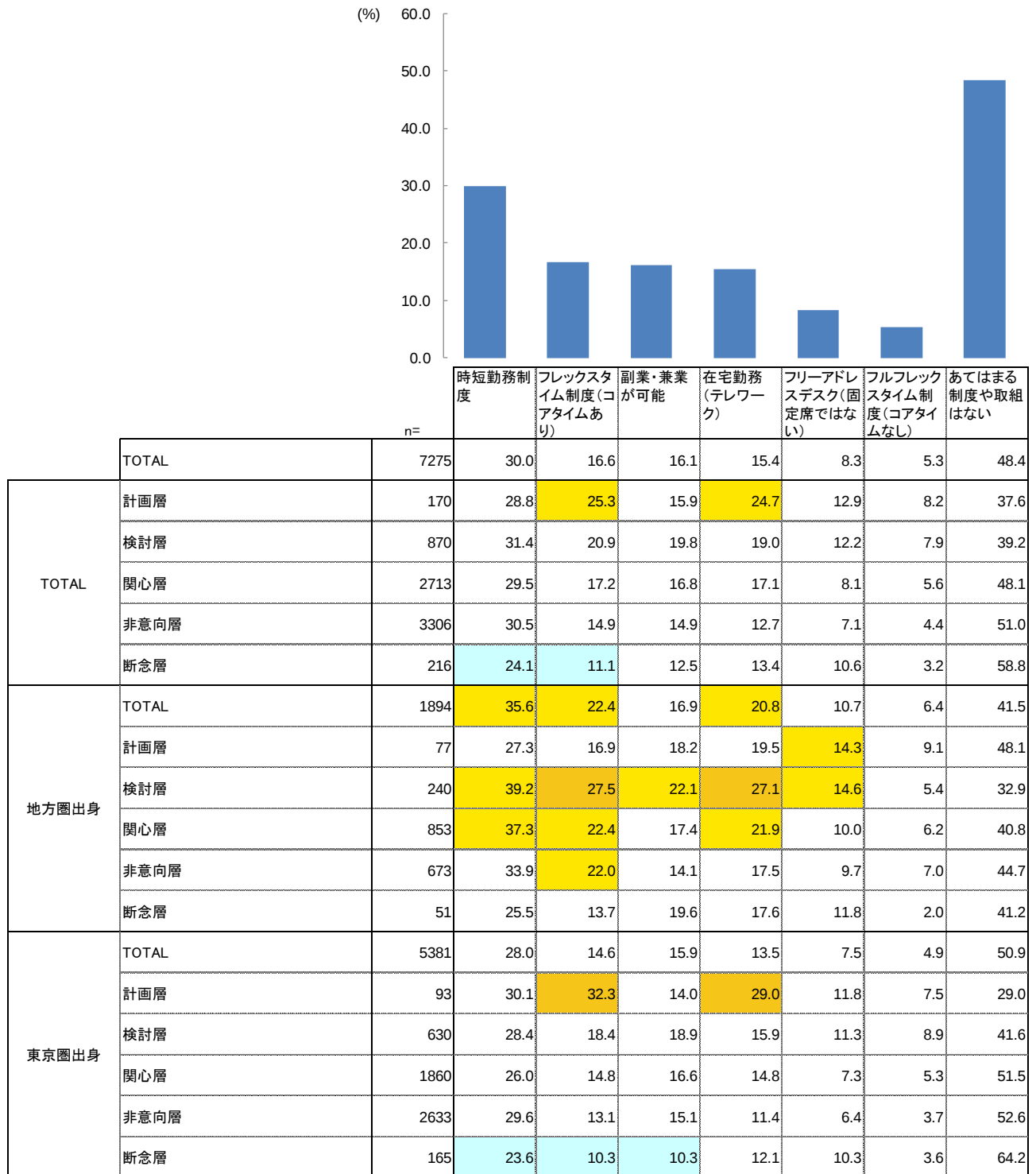


仕事に関する満足度は、全体の平均値は 5.386pt となっている。層別にみると、断念層が 5.514pt、非意向層が 5.487pt と高くなっている。

出身圏別にみると、平均値は、地方圏出身では断念層が 5.830pt、非意向層が 5.681pt、東京圏出身では非意向層が 5.439pt、断念層が 5.427pt と高くなっている。

【問 49】あなたの所属する企業や団体では下記のような制度や取組はありますか。あてはまるものをすべてお選びください。※問7で「7.自営業、フリーランス(資格専門職含む)」、「9.学生」、「10. 専業主婦/主夫」、「11.無職」、「12.その他」以外を回答した人のみ。

3-57 回答者が所属する企業や団体での制度や取組



所属する企業や団体にある制度や取組は、全体では、「時短勤務制度」が 30.0%と最も高く、次いで「フレックスタイム制度(コアタイムあり)」が 16.6%と続いている。また、「あてはまる制度や取組はない」は 48.4%と高くなっている。層別にみると、計画層は「フレックスタイム制度(コアタイムあり)」

が 25.3%、「在宅勤務（テレワーク）」が 24.7%と高くなっている。

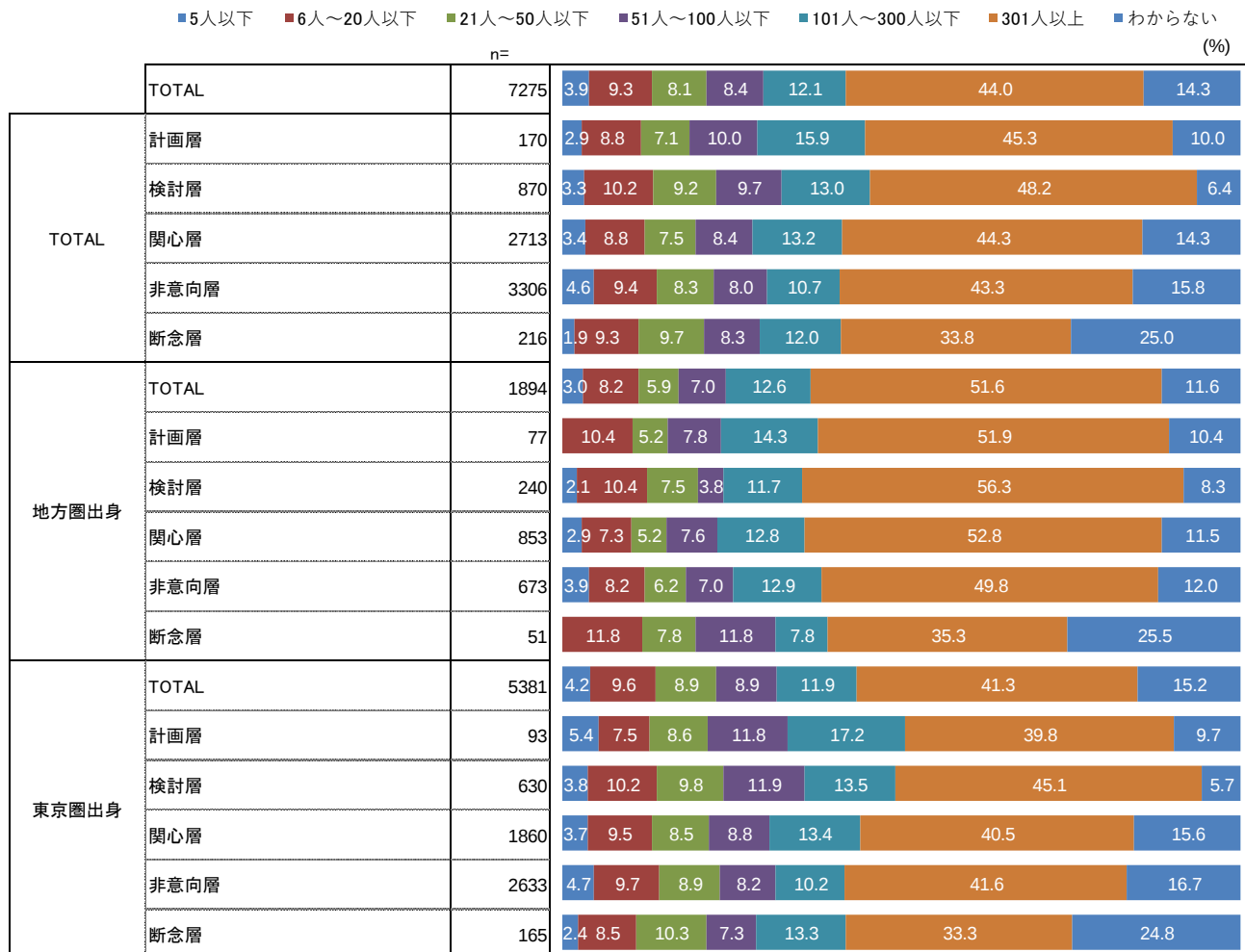
出身圏別にみると、地方圏出身は、全体では、「時短勤務制度」が 35.6%、「フレックスタイム制度（コアタイムあり）」が 22.4%と高くなっている。層別にみると、検討層は「時短勤務制度」（39.2%）、「フレックスタイム制度（コアタイムあり）」（27.5%）、「在宅勤務（テレワーク）」（27.1%）、「副業・兼業が可能」（22.1%）が高くなっている。「フリーアドレスデスク（固定席ではない）」は、検討層が 14.6%、計画層が 14.3%と高くなっている。

東京圏出身は、全体では、「時短勤務制度」が 28.0%、「副業・兼業が可能」が 15.9%となっている。層別にみると、計画層は「フレックスタイム制度（コアタイムあり）」が 32.3%、「在宅勤務（テレワーク）」が 29.0%と高くなっている。

【問 50】あなたの所属する企業や団体の規模をお答えください。（企業規模別）

※問7で「7. 自営業、フリーランス（資格専門職含む）」、「9. 学生」、「10. 専業主婦/主夫」、「11. 無職」、「12. その他」以外を回答した人のみ。

3-58 回答者の所属する企業や団体の規模



所属する企業や団体の規模は、全体では、「301 人以上」が 44.0%と高くなっている。層別にみると、断念層のみが、「301 人以上」が 3 割台となっている。

出身圏別にみると、全体では、「301 人以上」が地方圏出身は 51.6%、東京圏出身は 41.3%となっている。層別にみると、地方圏出身及び東京圏出身ともに、大きな違いはみられない。

5. 出現率(関心層)に関する考察

関心層の属性をみたところ、性別では関心層以上ではいずれも男性が女性を上回っている。また年代別では20代が関心層の割合が高くなっており、年代が上がるにつれ減少していく傾向がみられる。性・年代別にみると男性、女性ともに年代が上がるにつれ関心層の割合は減少していくものの、女性のほうが減少の幅が大きくなっている。

配偶者の有無及び子どもの有無にみると、配偶者の有無では関心層に大きな差は見られないが、子どもの有無別にみると「子どもなし」が「子どもあり」より関心層の割合が高くなっている。

3-59 属性×各層の出現率(全体)

< (全体) 属性×各層の分析 >

			(%)				
		n=	計画層	検討層	関心層	非意向層	断念層
性別	TOTAL	10000	2.2	11.5	36.1	47.0	3.2
	男性	5091	2.7	13.5	38.0	42.1	3.7
性別	女性	4909	1.7	9.4	34.2	52.0	2.7
年代別	20-29歳	2051	4.1	12.4	39.9	39.8	3.8
	30-39歳	2575	2.4	11.1	35.7	47.4	3.4
	40-49歳	3075	1.6	10.8	35.5	49.4	2.8
	50-59歳	2299	1.1	12.0	34.1	49.7	3.1
性・年代別	男性20-29歳	1056	4.3	13.3	39.2	38.5	4.7
	男性30-39歳	1313	3.2	12.9	36.8	43.4	3.7
	男性40-49歳	1560	2.1	13.7	38.3	42.6	3.4
	男性50-59歳	1162	1.5	14.1	37.9	43.2	3.3
	女性20-29歳	995	3.9	11.6	40.6	41.2	2.7
	女性30-39歳	1262	1.7	9.2	34.5	51.5	3.2
	女性40-49歳	1515	1.2	7.8	32.5	56.4	2.1
	女性50-59歳	1137	0.6	9.8	30.3	56.3	3.0
配偶者の有無	未婚	4326	2.7	12.1	35.9	46.1	3.1
	結婚している (事実婚も含む)	5296	1.9	11.2	36.9	47.5	2.6
	答えたくない	378	1.9	7.7	27.5	49.7	13.2
子どもの有無	子どもあり	3474	1.4	10.2	35.6	50.4	2.4
	子どもなし	1822	2.7	13.1	39.5	41.9	2.9
子どものうち 就学児の有無	子どもあり (未就学児童)	1481	2.0	10.4	35.9	48.3	3.3
	子どもあり (未就学児童以外)	1993	1.0	10.1	35.4	51.9	1.7

地方圏出身者に絞り関心層の属性をみたところ、性別では関心層以上ではいずれも男性が女性を上回っている。また年代別では20代～40代まで同程度で推移している。性・年代別にみると男性では40代が最も高くなっているが、女性では年代が上がるにつれ関心層の割合は減少していく傾向がみられる。

配偶者の有無及び子どもの有無にみると、配偶者の有無では関心層に大きな差は見られない。子どもの有無別にみると「子どもなし」が「子どもあり」より関心層の割合が高く、また子どもの成長段階においても「未就学児の子ども」が「未就学児以外の子ども」より高くなっている。

3-60 属性×各層の出現率(地方出身者)

< (地方圏出身者) 属性×各層の分析 >

		n=	(%)				
			計画層	検討層	関心層	非意向層	断念層
性別	TOTAL	2492	3.9	12.4	45.3	35.6	2.7
	男性	1334	4.3	13.5	46.0	32.9	3.4
	女性	1158	3.4	11.2	44.6	38.8	2.0
年代別	20-29歳	576	5.6	13.7	47.9	29.2	3.6
	30-39歳	689	4.5	11.8	46.2	34.5	3.0
	40-49歳	677	3.2	11.5	47.1	36.5	1.6
	50-59歳	550	2.0	13.1	39.5	42.7	2.7
性・年代別	男性20-29歳	303	5.3	13.2	45.9	30.7	5.0
	男性30-39歳	361	5.5	12.5	46.0	32.1	3.9
	男性40-49歳	367	3.5	12.8	48.8	33.2	1.6
	男性50-59歳	303	2.6	15.8	42.6	35.6	3.3
	女性20-29歳	273	5.9	14.3	50.2	27.5	2.2
	女性30-39歳	328	3.4	11.0	46.3	37.2	2.1
	女性40-49歳	310	2.9	10.0	45.2	40.3	1.6
	女性50-59歳	247	1.2	9.7	35.6	51.4	2.0
配偶者の有無	未婚	982	5.0	13.0	45.0	34.6	2.3
	結婚している (事実婚も含む)	1438	3.0	12.2	46.0	36.6	2.2
	答えたくない	72	5.6	8.3	37.5	30.6	18.1
子どもの有無	子どもあり	911	2.2	12.0	44.8	39.0	2.1
	子どもなし	527	4.4	12.7	48.0	32.4	2.5
子どものうち 就学児の有無	子どもあり (未就学児童)	436	3.7	12.8	47.0	33.3	3.2
	子どもあり (未就学児童以外)	475	0.8	11.2	42.7	44.2	1.1

東京圏出身者に絞り関心層の属性をみたところ、性別では関心層以上ではいずれも男性が女性を上回っている。また年代別では20代がやや高くなっているが、30代～50代まで同程度で推移している。性・年代別にみると男性では20代が最も高くなっており、次いで50代となっている。女性では年代が上がるにつれ関心層の割合は減少していく傾向がみられるが、20代から30代にかけての差が大きくなっている。

配偶者の有無及び子どもの有無にみると、配偶者の有無では関心層に大きな差は見られない。子どもの有無別にみると「子どもなし」が「子どもあり」より関心層の割合が高くなっている。

3-61 属性×各層の出現率(東京圏出身者)

< (東京圏出身者) 属性×各層の分析 >

			(%)				
		n=	計画層	検討層	関心層	非意向層	断念層
	TOTAL	7508	1.7	11.1	33.1	50.7	3.4
性別	男性	3757	2.1	13.5	35.2	45.4	3.8
	女性	3751	1.2	8.8	30.9	56.1	2.9
年代別	20-29歳	1475	3.5	11.9	36.7	44.0	3.8
	30-39歳	1886	1.7	10.9	31.8	52.1	3.6
	40-49歳	2398	1.2	10.6	32.2	53.0	3.1
	50-59歳	1749	0.8	11.6	32.5	51.9	3.3
性・年代別	男性20-29歳	753	3.9	13.3	36.5	41.7	4.6
	男性30-39歳	952	2.3	13.1	33.3	47.7	3.6
	男性40-49歳	1193	1.6	13.9	35.1	45.4	3.9
	男性50-59歳	859	1.2	13.5	36.2	45.9	3.3
	女性20-29歳	722	3.2	10.5	37.0	46.4	2.9
	女性30-39歳	934	1.1	8.6	30.3	56.5	3.5
	女性40-49歳	1205	0.7	7.2	29.3	60.5	2.2
	女性50-59歳	890	0.4	9.8	28.9	57.6	3.3
配偶者の有無	未婚	3344	2.0	11.9	33.2	49.5	3.4
	結婚している (事実婚も含む)	3858	1.4	10.8	33.6	51.5	2.7
	答えたくない	306	1.0	7.5	25.2	54.2	12.1
子どもの有無	子どもあり	2563	1.1	9.6	32.3	54.4	2.5
	子どもなし	1295	2.0	13.2	36.0	45.7	3.1
子どものうち 就学児の有無	子どもあり (未就学児童)	1045	1.3	9.4	31.3	54.6	3.3
	子どもあり (未就学児童以外)	1518	1.0	9.7	33.1	54.3	1.9

第4章 グループインタビューによる意識調査

1. 調査設計

東京圏（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県。以降、1都3県）在住の若年層（20～39歳）を対象に、Uターン（Jターン含む）、Iターン、関係人口に関する意識やニーズ・ウォンツ、ストレス等を把握し、彼らの地方への関心を高めるために有効な広報戦略に資する情報の収集・分析を目的にグループインタビューを実施した。

特に、大学等への進学時や、就職時に東京圏へ転入した女性については、「転入しても戻らない」という傾向が示唆されていることから、その理由の解明及び意識変容のきっかけ把握を重視し、女性に比重を置いたグループ構成とした。

グループ構成は、3タイプ（U／Jターン、Iターン、関係人口）×4層（非意向層、関心層、検討層、関係人口実施層）とし、非意向層において「東京圏へ転入しても戻らない」要因の解明を行うこととした。また、関心層は、内閣官房/内閣府が新たに制作する予定の「地方暮らしの魅力を伝えるWEBサイト」への誘導及び移住関連情報収集行動を促す対象として、検討層は、より具体的に移住を計画する層へ移行させるために効果的なコンテンツを提供していく対象として、関係人口実施層は、特定地域との関わりのきっかけや今後の意向などから移住につながる可能性を探る移住検討予備軍として設定し、それぞれの目的に応じたインタビュー・フローを作成した。

以下の3点をポイントに調査設計を行った。

- **移住に関する各層を定量的に定義し、定義に合致する確度の高い対象者を招集**

第3章の定量調査（移住等に関するアンケート調査）で、各層を定義付けするために使用した設問を、グループインタビューの対象者抽出のためのスクリーニング調査でも使用することで、定量調査から定性調査まで一貫通貫で分析可能となるよう、厳密なグループ構成を実現した。

- **広報戦略策定に資する具体的表現方法や文言のヒントを収集**

事前に、先行して行った定量調査の結果等から、主に関心層に対して「移住への気づき」を与えるためのコンセプト案（仮説）を作成・呈示し、広報でのメッセージの方向性を確認できるインタビュー・フローとした。また、移住者呼び込みに一定の成果を出している自治体等の広報関連施策の事例等を収集し、具体的な表現内容や広報手段を刺激材料として対象者に例示することで、有効な媒体だけでなく、そのコンテンツ（表現内容や文言）にまで踏み込んだ意見を聴取した。

- **対象者には事前にご自身のカスタマージャーニーを作成いただくように依頼**

本テーマは個人の思考や現在の環境などが大きく影響するテーマであるため、当日、円滑かつ有効性のあるインタビューとするため、事前に参加者にはご自身の移住への検討ステップ（カスタマージャーニー）を作成していただくよう依頼。これにより自身の振り返りが進み、考えが整理されるとともにモデレーターの対象者理解にもつながり、インタビューの活性化にも寄与した。

調査手法	グループインタビュー
標本抽出方法	株式会社アスマークのモニターより下記条件に合致する方をリクルート
調査対象	〈共通条件〉 ・ 20～39 歳の男女個人 ・ 東京圏（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県）在住 ※出身地（20 歳になるまでに、合計で最も長く暮らした道府県）に偏りが無いよう留意する 〈グループ条件〉 ① Uターン／Jターン・非意向層 ・ 出身地が東京圏以外で、東京圏以外に実家がある人 ・ 地方圏への移住に関して興味関心のない人 ② Uターン／Jターン・関心層 ・ 出身地が東京圏以外で、東京圏以外に実家がある人 ・ 具体的な考えはないが、出身地もしくは近隣の市町や道府県への移住に若干の興味関心がある人 ③ Uターン／Jターン・検討層* ・ 出身地が東京圏以外で、東京圏以外に実家がある人 ・ 具体的な移住関連情報収集等の活動をしており、移住先候補の地域が決まってい、今後 3～5 年以内に出身地もしくは近隣の市町や道府県への移住を予定・検討している人 ④ Iターン・関心層 ・ 出身地が東京圏の人 ・ 具体的な考えはないが、東京圏以外への移住に若干の興味関心がある人 ⑤ Iターン・検討層* ・ 出身地が東京圏の人 ・ 具体的な移住関連情報収集等の活動をしており、移住先候補の地域が決まってい、今後 3～5 年以内に東京圏以外への移住を予定・検討している人 *③ ⑤の検討層の「移住先候補の地域が決まってい、今後 3～5 年以内に移住を予定・検討している」という条件については、該当者の少なさから、最終的には条件緩和を行い、「移住先候補が決まっていない人」「移住時期が決まっていない人」も対象とした。 ⑥ 関係人口・実施層 ・ 東京圏以外で、移住に関わらず興味関心を持っている地域がある人 ・ 興味関心のある地域との関わり方で、以下、2019 年度国土交通省実施の関係人口に関する調査（地域との関わりについてのアンケート）における「関わりのある地域」に関する 13 の項目のうちのいずれかに該当する人（ア～キ、スのうちいずれか 1 つ以上を必ず含む）

	ア. いつか住んでみたいと思っている イ. 地縁がある又は血縁者がいて、お盆や正月の帰省以外で訪問している ウ. (観光及び業務目的以外で使用する) 滞在拠点がある又は知人・友人がいて、定期的又は継続的に訪問している エ. コワーキングスペース・サテライトオフィス等の活動拠点があり、訪問している オ. 副業や兼業等を目的として、訪問している カ. 体験イベントなどで、定期的又は継続的に訪問している キ. 地域づくり、地域貢献活動又はボランティアなどで訪問している ク. ふるさと納税によって継続的に応援している ケ. クラウドファンディングによって継続的に応援している コ. 地場産品等を購入することにより、定期的・継続的に応援している サ. 都市部にいながら、特定の地域のためになる仕事を請け負っている シ. SNS 等で、特定の地域(自分の住んでいる地域以外)の情報発信を行っている ス. 上記の他、(観光及び販促等の営業活動以外で) 定期的又は継続的に訪問している なお、属性については、第3章の定量調査(移住等に関するアンケート調査)結果速報から、移住意向に影響を与える要素として、「子どもの有無」が確認されたため(未・既婚での差はなかった)、上記6層それぞれで、「未婚女性」「既婚・子あり女性」「未婚+既婚・子なし男性」の3属性を対象とした。																																			
調査数と グループ構成	グループ数は、6層×3属性=18グループとし、1グループ6名、計108名を対象とした。 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th><th>男性</th><th>女性</th><th>合計</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">Uターン/ Jターン</td><td>①非意向層</td><td>未婚+既婚子なし 1Gr</td><td>未婚 1Gr、 既婚子あり 1Gr</td><td>3Gr</td></tr> <tr> <td>② 関心層</td><td>未婚+既婚子なし 1Gr</td><td>未婚 1Gr、 既婚子あり 1Gr</td><td>3Gr</td></tr> <tr> <td>③ 検討層</td><td>未婚+既婚子なし 1Gr</td><td>未婚 1Gr、 既婚子あり 1Gr</td><td>3Gr</td></tr> <tr> <td rowspan="2">Iターン</td><td>④ 関心層</td><td>未婚+既婚子なし 1Gr</td><td>未婚 1Gr、 既婚子あり 1Gr</td><td>3Gr</td></tr> <tr> <td>⑤ 検討層</td><td>未婚+既婚子なし 1Gr</td><td>未婚 1Gr、 既婚子あり 1Gr</td><td>3Gr</td></tr> <tr> <td>関係人口</td><td>⑥ 実施層</td><td>未婚+既婚子なし 1Gr</td><td>未婚 1Gr、 既婚子あり 1Gr</td><td>3Gr</td></tr> </tbody> </table>						男性	女性	合計	Uターン/ Jターン	①非意向層	未婚+既婚子なし 1Gr	未婚 1Gr、 既婚子あり 1Gr	3Gr	② 関心層	未婚+既婚子なし 1Gr	未婚 1Gr、 既婚子あり 1Gr	3Gr	③ 検討層	未婚+既婚子なし 1Gr	未婚 1Gr、 既婚子あり 1Gr	3Gr	Iターン	④ 関心層	未婚+既婚子なし 1Gr	未婚 1Gr、 既婚子あり 1Gr	3Gr	⑤ 検討層	未婚+既婚子なし 1Gr	未婚 1Gr、 既婚子あり 1Gr	3Gr	関係人口	⑥ 実施層	未婚+既婚子なし 1Gr	未婚 1Gr、 既婚子あり 1Gr	3Gr
		男性	女性	合計																																
Uターン/ Jターン	①非意向層	未婚+既婚子なし 1Gr	未婚 1Gr、 既婚子あり 1Gr	3Gr																																
	② 関心層	未婚+既婚子なし 1Gr	未婚 1Gr、 既婚子あり 1Gr	3Gr																																
	③ 検討層	未婚+既婚子なし 1Gr	未婚 1Gr、 既婚子あり 1Gr	3Gr																																
Iターン	④ 関心層	未婚+既婚子なし 1Gr	未婚 1Gr、 既婚子あり 1Gr	3Gr																																
	⑤ 検討層	未婚+既婚子なし 1Gr	未婚 1Gr、 既婚子あり 1Gr	3Gr																																
関係人口	⑥ 実施層	未婚+既婚子なし 1Gr	未婚 1Gr、 既婚子あり 1Gr	3Gr																																

	合計	6Gr	12Gr	18Gr
実施時間	1グループあたり2時間程度			
調査課題	① Uターン/Jターン・非意向層 ・地元（出身地）もしくは近隣市町・道府県で暮らそうと思わない理由は何か、東京圏に住み続けたい理由は何か（地元に対するネガが強いのか、東京圏の魅力が強いのか） ・思い描く「地方」のイメージはどのようなものか（自分の地元よりも都会なのか田舎なのか、都市部から遠く離れた田舎を想定しているのか、東京よりも田舎だがそこそこ栄えている都市（指定都市、中核市レベル？等）をイメージしているのか…等） ・今後、関心層へ移行させるきっかけとなること、必要なことは何か ② Uターン/Jターン・関心層 ・地元（出身地）もしくは近隣市町・道府県を含む地方圏への移住に興味関心を持つようになったきっかけは何か ・現在、関心層に留まる理由（具体的な計画段階に進む障壁となっているもの）は何か ・今後、検討層へ移行させるきっかけとなること、必要なことは何か ③ Uターン/Jターン・検討層 ・地元（出身地）もしくは近隣市町・道府県を含む地方圏への移住を意識し、移住に向けて活動をするようにならなかったきっかけは何か ・現在、検討層に留まる理由（具体的な計画段階に進む障壁となっているもの）は何か ・今後、計画層へ移行させるきっかけとなること、必要なことは何か ④ Iターン・関心層 ・地方圏への移住に興味関心を持つようになったきっかけは何か ・地方圏の魅力、東京圏の不満はどのようなものか ・現在、関心層に留まる理由（具体的な計画段階に進む障壁となっているもの）は何か ・今後、検討層へ移行させるきっかけとなること、必要なことは何か ⑤ Iターン・検討層 ・地方圏への移住を意識し、移住に向けて活動をするようになったきっかけは何か ・地方圏の魅力、東京圏の不満はどのようなものか ・現在、検討層に留まる理由（具体的な計画段階に進む障壁となっているもの）は何か ・今後、計画層へ移行させるきっかけとなること、必要なことは何か ⑥ 関係人口・実施層 ・「関わりのある地域」に関心を持ったきっかけは何か			

	・現在の活動内容の詳細はどのようなものか ・関係人口を増やすために必要なことは何か
インタビュー項目(テーマ)	<全グループ共通> I. 普段の暮らし・仕事、移住経験について 1)現在の暮らし・ライフスタイル、仕事、家族について ・仕事の満足度 ・幸福度（生活の満足度）、休日の過ごし方 ・〔子あり女性〕家事・育児分担、子育て環境の満足度 ・生活で重視する点、大切にしていること、譲れないこと ・〔子あり女性〕子どものために心がけていること など ① U/Jターン・非意向層 II. 「東京」への期待価値・魅力の把握 『東京圏での暮らし』『理想の東京ライフ』というテーマで、写真を選ぶ」というワークを実施し、一人ひとりに説明をしてもらうことで、どんな要素が、どんな理想・魅力につながっていくのか、そうした生活が実現できるのは東京圏だけなのか等を深掘り III. 東京に留まり続ける理由、地元に戻らない理由とライフヒストリー ・出生以降、現在までの移転等の経験、各移転の理由 ・上京理由・時期 ・将来的に地元（出身地）やその近くに戻る意向の有無とその理由 ・出身地への思いについて（好き嫌い、感情） など ②③④⑤ U/Jターン、Iターン・関心層 / 検討層 I. ライフヒストリーについて ・出生以降、現在までの移転等の経験、各移転の理由 ・上京理由・時期 ・〔U/Jのみ〕将来的に地元（出身地）やその近くに戻る意向の有無とその理由 ・出身地への思いについて（好き嫌い、感情） など II. 移住意向、移住生活(期待、ネガ、イメージ)について 1)移住意向について ・移住に興味を持ったきっかけ、タイミング 2)思い描く移住後の暮らしについて ・移住先候補の地域について ・移住後の暮らしのイメージ、仕事のイメージ（変えたい、変えたくない） ・移住するに際しての不安・心配、懸念点 3)移住検討関連行動について ・移住に興味を持ってから行った情報収集等具体的行動 ・検討行動において、困ったこと、不便に思ったこと、足りない情報 ・数年後の移住の確率と、移住に踏み出せない理由（障壁）

Ⅲ. 移住意向喚起のためのコンセプト等の評価

1) コンセプト評価

P. 「東京生活の疲れや悩みを地方生活で解消してみませんか。」

(今、東京で悩んでいる人・疲れている人に呼びかける)

R. 「豊かな自然の近くで働く・遊ぶという生き方をしてみませんか。」

(自然の中の暮らしに憧れている人に呼びかける)

U. 「ほどよい自然で、意外と都会 そんな場所で暮らしてみませんか。」

(都市生活と自然に触れる生活をバランス良く得たい人に呼びかける)

S. 「子育ての不安・不満を地方で解消してみませんか。」

(東京での子育てに不安を感じた人に呼びかける)

[U/Jのみ] T. 「あなたの帰りを心待ちにしている人達がいる地元で暮らしてみませんか。」 (Uターン者を泣き落とす)

2) 自治体等の施策(プロモーション)認知・評価

ア「都会の過剰なサービスがない暮らし」

イ「子育てと仕事を両立できる暮らし」

ウ「満員電車のない、自然と共にある暮らし」

エ「なじみのある人たちがそばにいる暮らし」

3) コンテンツの「見せ方」評価

A. 「客観的なデータ（東京との比較）で見せる」

B. 「地方に移住した普通の人たちがリアルに語る」

C. 「レポーターや著名人がプロ目線で語る」

D. 「受入側の地元（地域）の人が、丁寧に語る」

⑦ 関係人口・実施層

I. 関係人口・実施の詳細、メディア接触関連行動について

1) 関係人口・実施の詳細について

- ・ 関わりのある地域について
- ・ 関わり方・活動の具体的な内容詳細
- ・ 関わりを持つようになったきっかけ、理由、接触メディア
- ・ 関わりの継続化・深化の経緯
- ・ 関わりのある地域への移住意向について

2) 関係人口・実施のメディア等関連行動について

- ・ 地域に興味を持ってから関わりを持つまでの具体的行動
- ・ 現在のような関わりが確立した、継続化している決め手
- ・ 関係人口が増えるためのきっかけや刺激

※Gr8、16、17 は、新型コロナウイルスの影響によりグループインタビュー形式での実施が中止となり、メールにより聴取項目（5問以内）を送付し、回答をいただく形とした。

聴取項目は、以下のとおり。

【I ターン・関心層 未婚女性】

1. 移住に興味を持った最初のきっかけ、理由とその時期（今から●年前など）

「地方（東京圏以外）での生活もありかも」と東京圏以外での暮らしの可能性が頭をよぎった理由。

例：東京でやるべきことはやりつくしたと思った、東京の通勤ラッシュがイヤになった、ワークライフバランスを重視した生活を送りたい、将来を考えたとき、このままでいいのだろうか…と漠然と不安になった、こっぴどくフラれたトラウマから逃れるため誰も知らないところに行きたいと思った、地方を取り上げた番組を見た、出張や旅行で地方を訪れたときその土地での生活に魅力を感じた…等

2. -1 移住したい、あるいはしてもいいと思う地域はどのようなところか、とその理由

（●●のようなまち、●●ができるまち といったイメージでも、具体的な地域や都道府県・市町村名でも）

⇒何らかの縁やゆかりのある地域か、それはどんな縁か、縁もゆかりもない地域の場合、なぜその地域が移住先候補となるのか。

例：祖父母の家があり何度か通って人のあたたかさが良かった、旅行で1週間滞在したとき暮らしやすかった、友人が移住してとても幸せそうに暮らしている…等

2. -2 また、移住先として思い描く地方のイメージはどのようなものか

（都市部から遠く離れた田舎を想定しているのか、東京よりも田舎だがそこそこ栄えている都市をイメージしているのか（指定都市、中核市レベル？）

例：県庁所在都市、歩いて15分以内に電車の駅があるまち、森や川に囲まれ隣家が30mくらいは離れていて車で15分ほどで電車の駅があるまち…等

3. 2～3年後に移住する確率（●%など）と、いま一步移住に本気になれない理由、移住に踏み切れない最大の障壁となっているもの

4. 以下4つのコンセプト（切り口）それぞれについて、移住への興味を起こさせる、地方（東京圏以外）の生活ってありかも…と思わせるという観点で、「ご自分にとって（世間一般的にどうかということではなく）」響くか否か、それぞれ5段階（響く、やや響く、あまり響かない、響かない、自分とは関係ない）で表すとしたらどれを選ぶか。可能であればその理由や、切り口に対するご意見を記載。ご自分にとって、最も響くコンセプトはどれか。

P. 「東京生活の疲れや悩みを地方生活で解消してみませんか。」

（今、東京で悩んでいる人・疲れている人に呼びかける）

	R.「豊かな自然の近くで働く・遊ぶという生き方をしてみませんか。」 (自然の中の暮らしに憧れている人に呼びかける) U.「ほどよい自然で、意外と都会 そんな場所で暮らしてみませんか。」 (都市生活と自然に触れる生活をバランス良く得たい人に呼びかける) S.「子育ての不安・不満を地方で解消してみませんか。」 (東京での子育てに不安を感じている人に呼びかける) 5. 移住について情報検索した際に、得られる「コンテンツの『見せ方』として、どのようなものが、「ご自分にとって」興味をひくか、欲しい情報か。以下の4種類の中から選び、理由などについてコメントをいただく。 また、これらを「動画」で見せるのはどうか？動画のほうがいいか？についても聴取。 ※同率1位などで2つ選択することも可。 A.「客観的なデータ（東京との比較）で見せる」 ⇒資料A. 例：地方での生活コスト（金額）と東京での生活コストを並べて表示…等 B.「地方に移住した普通の人たちが、移住生活をリアルに語る」 ⇒資料B. 例：さまざまな年齢・性別の人たちの移住者インタビュー集…等 C.「著名人が地域の魅力を語る」 例：吉本興業の「住みます芸人」、要潤による「うどん県（香川県）」の魅力 ⇒参考例 URL：イクケン 香川県（要潤） https://www.youtube.com/watch?v=NgdKktMAE0c&feature=emb_logo D.「受入側の地元（地域）の人が、地元の仕事・遊び・生活を丁寧に語る」 ⇒資料D. 例：ご自分と同世代の複数の人が、住んでいる地元の暮らしの様子を語り合う…等 ・上記C. のような「動画」で見せることについて （あり、動画のほうがいい…など） ※世間一般の人が、ではなく「ご自分にとって」どうか、という視点で聴取。
--	--

	【関係人口・実施層 男性及び未婚女性】 1. 東京圏（1都3県）や通勤・通学先以外で、興味・「関わりのある」地域があるという点について、その地域はどんなところか（「出身地：20歳になるまでに最も長く暮らした都道府県」かどうか）、関わり方・活動の具体的な内容詳細（期間・頻度、同行者、1回の訪問の滞在時間、主な交通手段、移動にかかる所要時間、訪問先での滞在場所、過ごし方など） ※複数地域ある場合は地域毎に。また地域同士の共通点・関係性 例：地縁がある又は血縁者がいてお盆や正月の帰省以外で訪問している、（観光及び業務目的以外で使用する）滞在拠点がある又は知人・友人がいて定期的又は継続的に訪問している、コワーキングスペース・サテライトオフィス等の活動拠点があり訪問している、副業や兼業等を目的として訪問している、体験イベントなどで定期的又は継続的に訪問している、地域づくり、地域貢献活動又はボランティアなどで訪問している…等 2. そのような関わりを持つようになったきっかけ、理由、接触メディア（地域への関心が先か、関与が先（元々はむしろ関心がなかったが関与するうちに…）か） 具体的にどのような「場」や「人」がきっかけとなったか。 例：かつて住んでいた、職場や学校などに通っていたことがある、仕事の関係で訪れたことがある、親族、友人・知人が住んでいる（いた）、友人・知人等が訪れている、友人・知人等に誘われた、つながりをサポートする人や機関等から紹介を受けた、観光・レジャー、ボランティア、ゼミ合宿、地域体験モニターなどで訪れたことがある、地域に対して憧れや好感、関心、共感を持った、メディア（テレビ、雑誌）等を通じて得た情報に興味をわいた、ふるさと納税やクラウドファンディング等を通じて興味をわいた…等 3. 関わりが継続したり、深まったりしていったきっかけはどのようなことか（観光・消費的な関わりか、地域メンバー・身内的な関わりか/地域の人からどのような扱いを受けた か 例：お客さんの扱い から→ 地域の中間的な扱い へ 等） 例：環境が気に入った、お祭りが楽しかった、地域プロジェクトに携われた、その地域の人に良くしてもらった…等 4. 今後の関わり方の変化の有無（意向、希望）と、その理由 いつかは移住したいという気持ちはあるか、移住につながる可能性。 例：地域の人とのコミュニケーションを深めたい、より多くの人とのつながりを持ちたい、いろいろな分野の活動に参加したい、地域のためになることにチャレンジしたい、地域での趣味やライフワークを充実させたい、概ね5年以内の移住や就労などを考えたい、いま以上の関係性は求めている、今後、関係性は続けにくい、続かないと思う…等
--	---

	5. 当該地域に興味を持つてからのメディア関連の具体的行動（具体的に何をしたかなど） 例：何かで調べた，当該地域の SNS コミュニティに参加した，旅行に行った人におすすめした，SNS に情報発信をした…等
--	---

2. 調査概要

➤ 調査目的：

東京圏（1都3県）在住の若年層（20～39歳）を対象に、「地方移住」をテーマとしてUターン（Jターン含む）、Iターン、関係人口に関する意識やニーズ・ウォンツ、ストレス等を把握し、彼らの地方への関心を高めるために有効な広報戦略に資する情報の収集・分析を目的として行う。

➤ 調査方法：

グループインタビュー（座談会形式）

➤ 調査地域：

東京圏（1都3県）

➤ 調査対象と調査日時：

1グループ5～6人×18グループ 計104人

Gr 1		未婚 + 既婚・子なし男性	6名	2020年2月16日（日）	15:30-17:30
Gr 2	U/Jターン 関心層	未婚女性	6名	2020年2月15日（土）	10:00-12:00
Gr 3		既婚・子あり女性	6名	2020年2月15日（土）	13:00-15:00
Gr 4		未婚 + 既婚・子なし男性	6名	2020年2月24日（月）	13:00-15:00
Gr 5	U/Jターン 検討層	未婚女性	6名	2020年2月16日（日）	10:00-12:00
Gr 6		既婚・子あり女性	6名	2020年2月22日（土）	10:00-12:00
Gr 7		未婚 + 既婚・子なし男性	6名	2020年2月23日（日）	13:00-15:00
Gr 8	Iターン 関心層	未婚女性	5名	2020年3月2日（月）～3月9日（月）※	
Gr 9		既婚・子あり女性	5名	2020年2月16日（日）	13:00-15:00
Gr10		未婚 + 既婚・子なし男性	5名	2020年2月22日（土）	13:00-15:00
Gr11	Iターン 検討層	未婚女性	6名	2020年2月24日（月）	10:00-12:00
Gr12		既婚・子あり女性	6名	2020年2月24日（月）	15:30-17:30
Gr13		未婚 + 既婚・子なし男性	5名	2020年2月23日（日）	15:30-17:30
Gr14	U/Jターン 非意向層	未婚女性	6名	2020年2月22日（土）	15:30-17:30
Gr15		既婚・子あり女性	6名	2020年2月23日（日）	10:00-12:00
Gr16		未婚 + 既婚・子なし男性	6名	2020年3月2日（月）～3月9日（月）※	
Gr17	関係人口 実施層	未婚女性	6名		
Gr18		既婚・子あり女性	6名	2020年2月15日（土）	15:30-17:30

※Gr8、16、17は、新型コロナウイルスの影響によりグループインタビュー形式での実施が中止となり、メールにより聴取項目（5問以内）を送付し、回答をいただく形とした。

※P88の調査設計におけるインタビュー項目（テーマ）内、Ⅲ．移住意向喚起のためのコンセプト等の評価 1) コンセプト評価 について、調査初日の2月15日の呈示コンセプトの反応から、より受容性が高いと思われるコンセプト（表現）に変更、16日以降は変更したコンセプトを呈示した。

【調査グループと該当コンセプト】

Gr 1～2

P.「東京生活の疲れや悩みを解消する方法があります。」

Q.「将来への漠然とした不安を解消する方法があります。」

R.「豊かな自然の近くで働く・遊ぶという生き方をしてみませんか。」

S.「子育ての不安・不満を解消する方法があります。」

T.「あなたの帰りを心待ちにしている人達がいる地元で暮らしてみませんか。」 ※U／J ターンのみ

Gr 4 ～ 6

P' .「東京生活の疲れや悩みを解消してみませんか。」

Q' .「将来への漠然とした不安を解消してみませんか。」

R.「豊かな自然の近くで働く・遊ぶという生き方をしてみませんか。」

S' .「子育ての不安・不満を解消してみませんか。」

T.「あなたの帰りを心待ちにしている人達がいる地元で暮らしてみませんか。」 ※U／J ターンのみ

Gr 7、8、11、13～16

P' .「東京生活の疲れや悩みを地方生活で解消してみませんか。」

R.「豊かな自然の近くで働く・遊ぶという生き方をしてみませんか。」

U.「ほどよい自然で、意外と都会 そんな場所で暮らしてみませんか。」

S' .「子育ての不安・不満を地方で解消してみませんか。」

T.「あなたの帰りを心待ちにしている人達がいる地元で暮らしてみませんか。」 ※U／J ターンのみ

➤ 実施会場：

赤坂リマーク インタビュールーム（東京都港区赤坂 2-4-1 白亜ビル 6 階）

3. 調査結果

(1) U/Jターン・関心層

【グループ・プロフィール Gr1：未婚＋既婚・子なし男性】

4-1 グループ・プロフィール Gr1

	1-A	1-B	1-C	1-D	1-E	1-F
年齢	33歳	38歳	20歳	30歳	25歳	36歳
居住地	神奈川県大和市 (田園都市線 つきみ野)	神奈川県川崎市 中原区 (JR南武線 武蔵新城)	千葉県柏市 (JR常磐線南柏)	東京都世田谷区 (田園都市線 用賀)	埼玉県入間市 (西武池袋線 元鍛冶)	埼玉県川口市 (京浜東北線 西川口)
住居形態	賃貸マンション・ アパート ローン無し	賃貸マンション・ アパート ローン無し	賃貸マンション・ アパート ローン無し	賃貸マンション・ アパート ローン無し	賃貸マンション・ アパート ローン無し	賃貸マンション・ アパート ローン無し
職業	会社員(正社員・ 事務系)／ 現場作業	会社員(正社員・ 事務系)／ 航空関係経理	大学生	会社員(正社員・ 事務系)／ 電材卸売業営業	会社員(正社員・ 事務系)／ 機械(製造業)、 経理	会社員(正社員・ 事務系)／ ガス
勤務地	高座渋谷	新橋	金町	新橋	所沢	王子
同居家族	一人暮らし	一人暮らし	一人暮らし	一人暮らし	一人暮らし	一人暮らし
趣味・関心事	映画鑑賞、アロ マテラピー	買い物、水泳、カ フェで読書、ジム でトレーニング	水泳、鉄道	スマホゲーム、 漫画、ボーイ活、 YouTube動画関 覧、投資、口座 開設した	国内旅行、ス ポーツ観戦(野 球)	サイクリング、食 べ歩き
閲覧番組、 Webサイト・ ブログ、 読書紙・雑誌	・ガキの使いやあ らへんで ・BOOTH ・POPEYE	・月曜から夜ふ かし、アメー ク！などバラエ ティ番組 ・Yahoo! ・Tarzan	・ニュースや天気 予報、ワイド ショーなど幅広く ・YouTube、 SUUMOの物件 サイト	・ザ・鉄腕 DASH!!、ニュース ウォッチ9 ・デイリーポータ ルZ、マネーの達 人、Yahoo!ニュー ス	YouTube	・ZIP! ・Yahoo!
東京圏 居住歴	10年以上20年 未満	10年以上20年 未満	1年以上3年未満	10年以上20年 未満	1年未満	10年以上20年 未満
出身地	兵庫県	大阪府豊能町	高知県高知市	広島県東広島市	長野県安曇野市	新潟県新潟市
移住先候補 地域(都道府 県)	兵庫、鳥取	長野、長崎、 熊本、鹿児島、 沖縄	岡山、山口、 香川、愛媛、 高知	茨城、京都、 大阪、広島	長野	群馬、新潟
移住先候補 地域の規模	人口5万人未満 の 町村レベル	人口5万人未満 の 町村レベル	人口5万人以上 の市レベル 人口5万人未満 の町村レベル	人口5万人以上 の市レベル 人口5万人未満 の町村レベル	人口5万人以上 の市レベル 人口5万人未満 の町村レベル	人口5万人以上 の市レベル 人口5万人未満 の町村レベル

【グループ・プロフィール Gr2：未婚女性】

4-2 グループ・プロフィール Gr2

	2-A	2-B	2-C	2-D	2-E	2-F
年齢	30歳	28歳	31歳	26歳	30歳	32歳
居住地	東京都品川区 南品川 (京浜急行線 新馬場)	東京都世田谷区 (小田急線 成城学園前)	東京都八王子市 打越町 (京王線北野)	神奈川県川崎市 川崎区 (東海道線川崎)	東京都大田区 (東急池上線池上)	東京都中野区 (丸ノ内線新中野)
住居形態	賃貸マンション・ アパート ローン無し	賃貸マンション・ アパート ローン無し	賃貸マンション・ アパート ローン無し	家族の持ち家 (戸建て)	賃貸マンション・ アパート ローン無し	賃貸マンション・ アパート ローン無し
職業	会社員(契約・ 派遣・嘱託)／ 電波・事務	会社員(正社員・ 事務系)／ サービス・イベント 制作	会社員(正社員・ 事務系)／ 建設	会社員(正社員・ 事務系)／ 医療	会社員(正社員・ 事務系)／ 不動産	自由業・フリーラン ス／ 福祉
勤務地	品川	九段下	虎ノ門	丸の内	丸の内	新宿
同居家族	一人暮らし	一人暮らし	一人暮らし	父母、弟	一人暮らし	一人暮らし
趣味・関心事	散歩、読書 手を動かしている いろいろと作ることが好き	スポーツ観戦が好きで箱根駅伝は必ず見る。実際に見に行くこともある YouTubeを見る	プロレス観戦、サッカー観戦、お笑い、ライブ観覧	旅行、バドミントン、ヨガ、甘いものを食べること、食べ歩き	旅行、散歩、食べ歩き、映画・舞台・音楽鑑賞	旅行、ヨガ(再開)、ランニング
閲覧番組、Webサイト・ブログ、閲読紙・雑誌	・水曜どうでしょう、 チョコちゃんに叱られる！ ・antenna ・暮らしの手帖	・ニュース、バラエティ番組 ・SNS各種、LIDS、 まとめサイト ・LDK	・月曜から夜ふかし、 ネタバレ、東大王 ・プロレスリング NOAH公式、 Yahoo! ・週刊プロレス、 美人百花	・マツコの知らない 世界、路線バスで 寄り道の旅 ・Instagram、 Twitter	・セブンルール、断 ちごはん、アナ ザースカイ ・Instagram、 Yahoo! ・with、JJ、MORE	・ドラマ全般 ・コスメ系サイト・ ブログ ・ファッション、 インテリア雑誌
東京圏 居住歴	3年以上10年 未満	10年以上20年 未満	10年以上20年 未満	10年以上20年 未満	3年以上10年 未満	10年以上20年 未満
出身地	北海道帯広市	茨城県	愛知県蒲郡市	群馬県	佐賀県	静岡県藤枝市
移住先候補 地域(都道府県)	北海道、茨城、 栃木、群馬	茨城、栃木、 山梨	北海道、岐阜、 静岡、愛知、 三重	群馬、大阪、 兵庫		静岡、沖縄
移住先候補 地域の規模	人口5万人以上の 市レベル 人口5万人未満の 町村レベル	人口5万人以上の 市レベル 人口5万人未満の 町村レベル	人口5万人以上の 市レベル 人口5万人未満の 町村レベル	人口5万人以上の 市レベル 人口5万人未満の 町村レベル	人口5万人以上の 市レベル 人口5万人未満の 町村レベル	人口5万人未満の 町村レベル

【グループ・プロフィール Gr 3：既婚・子あり女性】

4-3 グループ・プロフィール Gr3

	3-A	3-B	3-C	3-D	3-E	3-F
年齢	34歳	30歳	36歳	35歳	30歳	32歳
居住地	東京都北区神谷 (JR京浜東北線 東十条)	神奈川県横浜市 金沢区六浦南 (東急逗子線六浦)	東京都北区 (山手線田端)	東京都小平市 (西武新宿線 花小金井)	東京都清瀬市 中清戸 (西武池袋線清瀬)	千葉県浦安市 (京葉線新浦安)
住居形態	賃貸マンション・ アパート ローン無し	賃貸マンション・ アパート ローン無し	社宅 ローン無し	戸建て持ち家 ローン有り	賃貸マンション・ アパート ローン無し	不明 ローン無し
職業	会社員(正社員・ 事務系)／ ホテル	公務員／教員 (育休中)	専業主婦 (4月から銀行で パート)	専業主婦	専業主婦	専業主婦
勤務地	蒲田 (夫は浜松町)	長野県元善光寺 (夫は横須賀)	大手町	(夫は銀座)	(夫は川越)	(夫は天王洲アイ ル)
同居家族	夫、3歳息子、 1歳息子	夫、1歳息子	夫、5歳娘、 3歳息子	夫、9歳息子、6歳 息子、0歳息子	夫、4歳息子、 2歳息子	夫、4歳息子、 2歳娘
趣味・関心事	ものをつくること。 メイク、美容チェッ ク	自分で食べるため のお菓子作り。息 子が好きそうな教 育テレビを見る 散歩	旅行、ママ友と飲 むこと、おいしいも のを食べること	コーヒーを飲むこ と、豆を選ぶこと	ドラマを観ること。 チョコレートや甘い ものを食べること、 散歩、寝ること	ディズニーが大好 きでディズニーに よく行く
閲覧番組、 Webサイト・ ブログ、 読書紙・雑誌	・世界の果てまで イッテQ、音楽特番 ・Yahoo!、 ZOOTOWN	・スッパリ、チョコ ちゃんに叱られる!、 激レアさんを連れて きた。、ドキュメント 72時間 ・Yahoo!、アットホ ーム、SUUMO、 YouTube、Amazon ・オレンジページ	・カンブリア宮殿 ・Instagram、 Amebaブログ ・VERY	・マツコの知らない 世界、幸せ!ボン ビーガール ・Instagram	・沸騰ワード10、ド ラマ ・辻希美のブログ	・バラエティ番組、 ドラマ
東京圏 居住歴	10年以上20年 未満	1年以上3年未満	3年以上10年 未満	3年以上10年 未満	3年以上10年 未満	1年以上3年未満
出身地	兵庫県	富山県	京都府	北海道札幌市	兵庫県	香川県
移住先候補 地域(都道府 県)	大阪、兵庫	北海道、富山、 石川、長野、 岐阜	京都、大阪	北海道、京都、 兵庫、福岡、 沖縄	京都、大阪、 兵庫	福岡
移住先候補 地域の規模	人口5万人以上の 市レベル	人口5万人以上の 市レベル 人口5万人未満の 町村レベル	人口5万人以上の 市レベル	人口5万人以上の 市レベル	人口5万人以上の 市レベル	人口5万人以上の 市レベル

①ライフヒストリー(地元(出身地)への思い、東京への思い)について

◆上京理由

大学進学が8名、夫の仕事の都合・転勤が5名、就職（配属）が4名、高校時に親の都合で引っ越しが1名／全18名中。

「東京に行く」ことが目的の上京者は3/18名と少なく、そのうち東京への憧れ・魅力からは2名、趣味（好きなバンドの追っかけ）のために1名。そのほかの者は、東京へのこだわりはなく、やりたいことや学びたい科目・学力に合う学校がある、あるいは職場の配属先がたまたま東京だったから、という者が多い。既婚・子あり女性では、東京に行きたくて上京した者はいない。

地元で進学や就職ができなかったためというケースもある。大学進学においては、地元での就職に有利であったり、世間体が良い・箔がつくのが地元（近県も含む）の国立大学か東京の私立大学という地方特有の価値観があり、東京への進学者が多くなる一因となっている。

代表的な発言

「地元の国立大か、都内の私大。国立大がダメで、私大に行った。地元の国立大は地元の就職に有利。田舎あるあるで、『あの大学出てるんだ、じゃあ。』ということで就職が決まる。地元が茨城県なので、地元の国立大か東京の私大が1番わかりやすいし、先輩も同級生も同じような感じ。」(28歳・未婚女性)

「芸事を目指して上京した。芸能関係のレッスン所があるのが東京。」(33歳・男性)

◆地元への思い

地元から離れたかった者は少なく、いつか地元に戻りたいと思う者が過半数と多い。

離れたかった理由は、地元の「固定した人間関係」や、地元は「何もない」から。

地元から離れたかった理由は、1日の行動が周り中に知られるといった、地元の狭く固定した人間関係の窮屈さや、親の厳しさ・干渉から逃れたい、自立したい（一人暮らしがしたい）というものが大きい。

また、何もない地元（田舎）からとにかく都会に出たかったという者もあり、その対極として何でもあっておしゃれな町・東京があり、憧れにつながっている。（この場合、必ずしも東京でなければならぬわけではないが、地元から最もアクセスが良い大都市が東京だった、身内が住んでおり住居に困らず安心だった等の理由から東京が選ばれている。）

代表的な発言

「田舎すぎて。人間関係が固定されすぎて辟易していた。1日の行動や情報が周りに伝わりやすい。」(28歳・未婚女性)

「親が厳しかったので、厳しさから離れたかった。一人暮らしがしたいと思った。」(31歳・未婚女性)

「地元が何もないので、ときどき旅行で東京に来たときに、駅と駅もすぐ歩けるし、どこに行っても何でもあるのが魅力に感じた。」(25歳・男性)

地元に戻りたい理由は、「地元への好意」＋東京に対するネガティブ

もともと東京にこだわりがない者が多いため、地元に戻りたい者も多く、戻りたい理由としては、地元への好意が前提としてあり、加えて東京に対するネガティブがあることによる。

地元への好意は、家族・親戚の仲の良さや幼なじみ等地元の友達との良好な関係性・関係性の強さ、

自分を形成してくれた場所・ルーツといった思い、自分が生まれ育った風景や土地の雰囲気への好意（原風景）から醸成されている。

暮らすことで蓄積されてきた**東京生活のネガティブ**として、人混みや満員電車、物価の高さ、病院の長い待ち時間などがあり、これらと対照的な自然、のんびりした空気、落ち着く感じ、温かみ、（アウトドアなどの）趣味を楽しめる、同じ費用で広い家が持てるといった地元の魅力が相まって「地元に戻りたい」気持ちが高まる。親の病気や加齢をきっかけに家族のケア・サポートのために戻りたいと考える者も比較的多い。

また、京都、兵庫、札幌など都市部出身者では、地元で不便を感じたことがなく、適度な自然やのんびりした雰囲気など“ちょうどいい”感じが東京以上の魅力と認識されている。

代表的な発言

「いずれ地元に戻りたい。都会のぎすぎすしたのに慣れない。自然豊かな地元に戻りたい。自分をつくりあげたのは地元だから。自分のルーツ的な。」(26 歳・未婚女性)

「親戚がみんな高知県。親戚仲がいいので、みんな集まるときに参加できないのは寂しい。東京はものがあつたり、交通の便がいいのはあるけど、都会では感じられない山とか地元が多くて、祖父母も山で畑仕事していて、長期休暇で行くといいなと思う。人が多くて電車で座れなかったり、人混みが嫌。」(20 歳・男性)

「札幌に住んでいて不便と思ったことがない。東京に憧れていたことはあるが、札幌がちょうどいい。東京は人多すぎたり、狭いというイメージ。」(35 歳・既婚子あり女性)

地元以外の地域に関心があり地元には戻りたくない理由は、「地元のネガティブ」が大きい

一方、地元に戻りたくない者の理由は、地元に対するネガティブの強さに起因する傾向が強い。

地元に対するネガティブは、上記「地元から離れたかった理由」と共通しており、地元の友達等人間関係に良い思い出がない、厳しい親をはじめとした人間関係の煩わしさ、1 日で噂が広まるようなコミュニティの狭さによる不自由さ・窮屈さ（⇨東京の魅力：どこで何をしても気にされない、人目を気にすることなく自由に行動できる精神的な楽さ、さっぱりした人間関係）、不便すぎる交通などド田舎であること（⇨東京の魅力：交通の利便性、出かける場所の多さ）などが大きい。

地元に対するネガティブの強さは、**地元に戻りたくても戻れない要因**ともなっており、根強く残る古い価値観（例：結婚適齢期、女性は仕事に出ず家を守るもの…等）がはびこる地元には、周囲からの詮索に耐えられる「理由・大義名分」がないと帰りにくいという状況がある。それゆえ、地元近くの都市部など J ターンの意向が強くなる。

代表的な発言

「いつか九州に帰ろうと思ってたが、今独身で楽しいのは東京に住んでいるからだと気づいた。今 30 代で、九州に帰ると周りが結婚したり環境が変わったりして帰りづらい。あれこれ言われないう状態になったら帰りたい。」(30 歳・未婚女性)

「地元に戻りたいけど、今のこの歳で戻るとするのは肩身が狭い。ずっと仕事はしたいけど、地元に戻ることで、女性は家にいるものだ根強く残っているので、そういうのは苦しいかなと思う。地元の友達とも疎遠。」(32 歳・未婚女性)

「いろんな噂が1日で広まるのはきついな。コミュニティが狭い。」(38 歳・男性)

◆東京の魅力

住んでみると想像していた以上に住みやすい、知り合いもできた、とポジティブに。

上京前後のギャップとして、東京は、知り合いがおらず孤独、犯罪が多い・殺伐としている等で怖い、人が多く住む場所ではない、などネガティブなイメージを持つ者が多かったが、住んだ場所が下町や畑などもある閑静な住宅街などであったり、友人もすぐにできたりすることで、意外と住みやすい、というポジティブな印象に変化した者が多い。

代表的な発言

「来てみたら畑があって以外と閑静な住宅街で、駅も近くて便利で住みやすい。住んでたマンションも同い年の人も多いので友達もできた。道が狭いのが怖かった。行く場所がたくさんある。」(35 歳・既婚子あり女性)

②移住意向及び移住を阻む障壁について、移住検討行動について

◆移住に興味を持ったきっかけ

出張や転勤・帰省で地方の魅力に触れて、及びテレビで移住の魅力を感じて。

もともと東京に良いイメージがなかったり、東京へのこだわりが強くないなどで、上京時からいつかは地元に戻るという意識がある中で、出張や転勤・帰省で、地方の自然が近い暮らしや住みやすさ、温かい人柄などの魅力を肌で感じたり、テレビで自分らしく生きる移住者や移住支援制度を知って、移住に興味を持つ者が多い。

地元まつわる身近な人たちの変化や出来事などが、自分の将来を意識させ、地元を強く意識するきっかけとなるケースも散見される。

- ・出張や転勤で現地を訪れて：訪れた土地の住民の人柄、人混みのなさ、自然に近い住まいなど地域の魅力や住みやすさを感じて
- ・地元まつわる身近な人に触れて：帰省したとき、親戚が家を建てる話を聞いて、同じ地元出身の友達の多くがUターンしてしまい交流する友達がなくなってしまっ
- ・移住者の情報に触れて：テレビや雑誌等で地方都市に移住して自分らしさを見つけた人や移住者向けの手厚い支援制度に触れるなど、移住の魅力を身近に感じて
- ・身近な人の地方生活に触れて：仲間が移住して
- ・趣味を楽しめる：好きなサッカーチームのホームタウンを訪れるなどして日常的に趣味を楽しむことの価値を感じて

既婚・子あり女性では、夫が転勤族である者が多いため、東京に住み続ける意識は希薄で移住に抵抗がなく、「どこで定住するか」に関心がある。また一部に、子どもを育てるなら田舎（地方）という漠然とした意識もある。

代表的な発言

「ドキュメンタリー番組とかで、地方都市に行って私自身を見つけたというのを見ると、ありがたと思う。」(38 歳・男性)

「親戚が家を建てる話になって、その具体的な話を聞いて、憧れた。」(20 歳・男性)

「学生の頃から地元に戻るか東京で就職するか迷っていて、結局こちらで就職して出張が多いので、いろんなところに行くと住みやすそうだなとか、素敵なところだなと気づいたことが考えるきっかけとなった。人柄や都内ほど人混みの喧騒がないとか、地方都市部の魅力を肌で感じると、こういう町も素敵だなと思う。」(28 歳・未婚女性)

「改めて実家に帰ったときに落ち着く。のんびりしている空気とか感じる。都会なのに自然があるのがいい。山もあって海も近くて、それが恋しくて帰りたいと思う。東京と変わらず不便もない。」(34 歳・既婚子あり女性)

◆移住後の暮らしイメージ、移住先として思い描く地方のイメージ、移住先に求める条件

仕事は変えず、自然に触れたり趣味を楽しめる暮らし。

具体的な生活イメージを持っている者は少ないが、仕事においては、一部に起業したい者、地方ならではの仕事をイメージする者がいるものの大半は現在の仕事（事務系の職種）を大きく変えることは考えていない。また、男性では、現在の生活水準を維持できる収入を重視する者も多い。

移住先として思い描く地方のイメージは、人により、求める田舎度合い（自然度合い）に差はあるが大半は中核市レベル以上をイメージしており、田舎暮らしを求める者も、都心へのアクセスが良いことが必須となっている。

移住先に求める要素

- ・なじみがある：地元のほかゆかりのある地域、知り合いがいて集まったり交流したりすることができる。
- ・都心へのアクセス：都心部にアクセスしやすいド田舎（長野や静岡）、都心部から離れすぎではないほどの田舎。
- ・生活の利便性：幼稚園や学校、病院、店舗などある程度施設が揃い生活環境が整った、生活しやすい都市。
- ・趣味が楽しめる：海が近いなど日常的に趣味を楽しめる、自然と触れ合える。

代表的な発言

「そこまで田舎じゃないところ。中心部から離れすぎでないところ。」(36 歳・男性)

「海が近いところ。釣りが好きだから。」(30 歳・男性)

「政令指定都市が理想。すごい田舎も素敵だとは思けど、いざ生活するとなると、どうなんだろうという感じ。」

(28 歳・未婚女性)

「今より自然と触れ合える生活。移住しても今の仕事の環境を変えたくない。」(26 歳・未婚女性)

「事務の仕事をしていて、よほどの田舎でなければあると思う。給与面は今よりも下がると困るのでそれなりにもらえる都市圏かなと思う。」(34 歳・既婚子あり女性)

◆移住に際しての不安、懸念

「仕事」に関する不安が大きい。

現職と同様の仕事があるか、生活水準を維持する収入を確保できるか等「仕事」に関する不安が大きい。地方の生活コストが下がることを示唆しても、収入低下への懸念が大きい。

そのほか、病院の有無など。

代表的な発言

「収入面について。減るんじゃないかとか物価の関係とか、移住先での仕事が継続できるのかということ。」(25 歳・男性)

「自分の希望に合った仕事や人間関係について。調べてみても求人の内容と違うこともあると思うので。」(25 歳・男性)

「地元(愛知県蒲郡市)でもあまり就職先はないのかなと思う。」(31 歳・未婚女性)

◆移住の確度

40%の1名と80%の1名以外は、リアリティが低い。

40%の1名（男性）は、自身の地元（兵庫）に近い鳥取（友人の地元）に移住した友人から詳しく話を聞くだけでなく、実際に現地に足を運び、暮らしぶりや自治体の手厚い支援などの実態を体感している。

既婚女性は総じて夫の意向によるところが大きく、リアリティは低い。その中で、80%の1名は、夫と合意しており確度が高くなっている（地元(京都)近くに夫の会社の支店があり、今でも東京と行き来しており、夫の仕事の都合が付くことによる）。

代表的な発言

「低めかな。地元に行つての収入面も全然準備ができていない。漠然と興味はあるけど、全然動いていない。」(30歳・男性)

「可能性は0。もともと転勤族で一番長かったのは博多。転勤で行く可能性はあるので、夫はそこで移住したいと言っている。

自分も東京よりは博多のほうが(地元香川に)近いし、そっちだったら移住してもいいかなと思う。」(32歳・既婚子あり女性)

「戻るとしたら今ではない。家庭を持ったら、親が近くにいたらありがたいとかそういうイメージ。1人で戻るイメージがない。」

(32歳・未婚女性)

◆移住の障壁

移住せざるを得ない切迫した状況がない。(移住はそれだけ物理的・精神的労力が大きい一大事)

現在の生活に大きな不満があるわけではないため、どうしても移住したい・移住せざるを得ない切実なきっかけ・理由・事情がないとなかなか移住に踏み切れないという者が多い。

具体的には、現在勤務する会社の倒産や親の病気、震災など切迫した状況、結婚・出産などライフステージの変化など。

また、古い価値観の残る地元に戻っても、詮索等に耐えうる自身の状態、大義名分（結婚したから、専門性を身につけ個人事業主として働くから…等）が必要という声もあった。

既婚・子あり女性では、夫の意向（特に仕事内容・収入へのニーズ）が大きく、自分の意思だけでは決められない状況がある。

代表的な発言

「会社が潰れたら。会社のほうで何かあったら。強制力のあるイベントがないと(親のこととか)動かない。今はそこまで緊迫した場面ではない。」(30歳・男性)

「何かが起きないと考える部分もない。何かが起きたというのは、地震だったり、結婚とかしたりしたら、考えるかも。」

(36歳・男性)

「今の生活の安定の部分と地方での生活を天秤にかけたときに、まだ全然今の生活のほうが重い。地方に行く思い切りに価値を見出せていない。今の生活を捨てきれない。逆に会社を首になったとか、失恋したときとかのほうがきっかけになるかも。」

(28歳・未婚女性)

「主人の仕事が1番大きくて、夫が稼いでくれているので。東京とは待遇が全然違う。お給料も福利厚生も。やりたいことも選べる。自分もレベルアップできるのが東京だと言っている。」(30歳・既婚子あり女性)

◆移住検討行動

特に何もしていない人もおり、具体的な検討行動はあまりしていない。

イベント参加や移住者の話を聞くのも自主的にというより偶然の要素が大きい。

- ・インターネット検索：求人情報
- ・移住イベント参加：都心でたまたま通りかかった移住フェアに参加
- ・SNS、ブログ：YouTube で町の特徴を見る
- ・Uターン者の話を聞く、など。

代表的な発言

「新宿や銀座で、村おこしのイベント、移住フェアをたまたま通りかかって。求人情報はあまりが興味なかった。見ても物足りなさを感じたと思った。」(38 歳・男性)

「たまに U ターンで戻った人の話を聞くくらい。移住の興味がわくほどの話ではない。」(36 歳・男性)

「仕事を探した。」(30 歳・既婚子あり女性)

「特に何もしていない。まだこの暮らしが好きだから。」(25 歳・男性)

◆足りない情報、求める情報

自治体等のサポート体制、移住後の人生プラン（事例）、家や土地等の価格など。

能動的・積極的に情報収集をしていないため、インターネット検索などで調べられることが多い。

代表的な発言

「どういう支援・援助があるのかということと、実際移住したあとの人生プランの話。」(30 歳・男性)

③移住意向喚起のためのコンセプト等の評価

◆移住喚起コンセプト P～T 案に対する評価

※初日に実施した未婚女性、既婚・子あり女性の反応を見て、男性には表現を全て問いかけ調に変更したコンセプトを呈示しているため、グループにより呈示していないコンセプトについては、マトリクスのセルに斜線を表示している

◎＝大半が好反応もしくは相対評価で圧倒的支持、○＝概ね好反応、△＝条件付で好反応もしくは一部に否定的反応、×＝否定的反応、－＝否定はないが自分とは関係ないという反応、空欄＝反応なし or 希薄

4-4 U/Jターン関心層・コンセプト評価

	未婚+ 既婚子なし男性	未婚女性	既婚子あり女性
P 東京生活の疲れや悩みを解消する方法があります。		×	×
P' 東京生活の疲れや悩みを解消してみませんか。	×		
Q 将来への漠然とした不安を解消する方法があります。		×	×
Q' 将来への漠然とした不安を解消してみませんか。	△		
R 豊かな自然の近くで働く・遊ぶという生き方をしてみませんか。	◎	○	○
S 子育ての不安・不満を解消する方法があります。		—	×
S' 子育ての不安・不満を解消してみませんか。	—		
T あなたの帰りを心待ちにしている人達がいる地元で暮らしてみませんか。	△	△	◎

RとTに好反応。共に暮らしのイメージがわくわかりやすさが支持されている。

Rについては、切り口には好反応だが、「豊かな自然」からド田舎をイメージし懸念を抱く者も多く、適度な田舎度合いを表現するビジュアルなどの工夫が必要。

Tについては、個人の地元との関係性により反応が分かれ、実家の親と不仲であったり古い価値観に嫌悪感を抱く者には響かない。

P/P'、Q/Q'は、移住を想起しにくい点と、ネガティブな表現に否定的反応。

◆地方自治体等の移住プロモーション表現に対する評価

4-5 U/Jターン関心層・プロモーション評価

	未婚+ 既婚子なし男性	未婚女性	既婚子あり女性
ア 都会の過剰なサービスがない暮らし	×	×	—
イ 子育てと仕事を両立できる暮らし	○	○	◎
ウ 満員電車のない、自然と共にある暮らし	○	○	○
エ なじみのある人たちがそばにいる暮らし	×	×	×

イ、ウに好反応。

イ、ウとも、暮らしがイメージできるわかりやすさが支持され、イは都会感と自然のバランスの良さ、ウは楽しい暮らしを想起させる明るさ、ポジティブさに好反応。

◆コンテンツの「見せ方」に対するニーズ

4-6 U/Jターン関心層・コンテンツ評価

	未婚+ 既婚子なし男性	未婚女性	既婚子あり女性
A 客観的なデータ（東京との比較）で見せる	●	◎	◎
B 地方に移住した普通の人たちがリアルに語る	●	△	
C レポーターや著名人が地域の魅力を語る	●		
D 受入側の地元（地域）の人が、丁寧に語る	○	●	
（手段として）動画で見せる	×	×	×

※●＝段階に応じて全て必要、又は一部に支持あり

Aが具体的・实际的で信憑性があると支持が高い。

数値だけでなく、東京生活と比較した1日の生活の流れ等、現地での暮らしがイメージできる比較データへのニーズも見られた。

Dは地元のウェルカム感が感じられ、移住に気軽さを感じられる印象がある。

Bは、ニーズはあるが、良い面だけしか語られない、語る人の主観に左右される（自分とは感覚が違ふかもしれない）といった懸念が大きい。

また、地方ならではの産業ではなく、東京と変わらない一般的な仕事をしている移住者の話や、中途入社している地方移住者の情報、求人票を集めたパンフレット等こんなに仕事があるのだと思えるような情報など「仕事」の情報があれば参考になるという声が特に男性で多くあった。

動画へのニーズは低い。

(2) U/Jターン・検討層

【グループ・プロフィール Gr 4：未婚＋既婚・子なし男性】

4-7 グループ・プロフィール Gr4

	4-A	4-B	4-C	4-D	4-E	4-F
年齢	25歳	38歳	29歳	23歳	30歳	24歳
居住地	東京都世田谷区 (京王線 千歳烏山)	東京都江東区 (東西線木場)	東京都練馬区 (西武新宿線 武蔵関)	東京都世田谷区 (東横線 自由が丘)	埼玉県さいたま市 (京浜東北線 南浦和)	神奈川県相模原市 (小田急線 小田急相模原)
住居形態	賃貸マンション・ アパート ローン無し	賃貸マンション・ アパート ローン無し	賃貸マンション・ アパート ローン無し	社宅 ローン無し	賃貸マンション・ アパート ローン無し	賃貸マンション・ アパート ローン無し
職業	会社員(正社員・ 技術系)／ システムエンジニア	会社員(正社員・ 事務系)／ 金融関係事務系	会社員(正社員・ 事務系)／ 通信関係営業	会社員(正社員・ 事務系)／ システム系営業	パート・アルバイト ／ホテル接客	パート・アルバイト ／読書カフェの スタッフ
勤務地	霞が関	日比谷	恵比寿	秋葉原	上野	新宿
同居家族	一人暮らし	妻	妻	一人暮らし	一人暮らし	一人暮らし
趣味・関心事	スポーツ全般(陸上 競技、バスケットボ ール)、カラオケ、ボ ルダリング	国内外旅行、温泉 、スポーツ観戦(特に プロ野球)	音楽・映画鑑賞、釣 り、晩酌、サッカー観 戦、テレビ観戦、ラ イブに行くこと	釣り、スノーボード 、スポーツ、サウナ	フットサル、ジョギ ング、ショッピング、 散歩、旅行	プロ野球・サッカー 観戦、カラオケ、ゲ ーム、YouTube、温 泉、スパ
閲覧番組、 Webサイト・ ブログ、 読書・雑誌	・YouTube	・家ついていってイ イですか？ ・Yahoo!、Google、 Uターン・Iターンの 転職サイト ・日経新聞、日経 ヴェリタス	・アメトーク！ ・YouTube、ウイ スキー関連のサイ ト ・Pen	・ザ！鉄腕！DASH!! ・おきなわ島ぐらし (沖縄県公式移住 応援サイト) ・日経新聞	・アメトーク！、 WBS ・トラトレ(資産運 用チャレンジプロ グ)、ヒトサラ、ま とめサイト ・monoマガジン、 Safari	・水曜日のダウン タウン、ガキの使 いやあらへんで、 報道ステーション ・YouTube、Twitter
東京圏 居住歴	1年以上3年未満	10年以上20年 未満	1年以上3年未満	3年以上10年 未満	10年以上20年 未満	1年以上3年未満
出身地	宮城県大崎市	滋賀県大津市	北海道札幌市	栃木県宇都宮市	山梨県都留市	青森県西津軽郡
移住先候補 地域(都道府 県)	宮城	静岡、滋賀、 京都、福岡、 沖縄	北海道、長野、 香川、長崎、 沖縄	北海道、福岡、 沖縄	北海道、新潟、 長野、三重	北海道、青森、 宮城、秋田
移住先候補 地域の規模	人口5万人以上の 市レベル 人口5万人未満の 町村レベル	人口5万人以上の 市レベル 人口5万人未満の 町村レベル	人口5万人未満の 町村レベル	人口5万人以上の 市レベル	人口5万人以上の 市レベル	人口5万人以上の 市レベル 人口5万人未満の 町村レベル

【グループ・プロフィール Gr 5 : 未婚女性】

4-8 グループ・プロフィール Gr5

	5-A	5-B	5-C	5-D	5-E	5-F
年齢	23歳	34歳	29歳	31歳	23歳	30歳
居住地	東京都板橋区 (東武東上線大山)	東京都品川区 (横須賀線西大井)	東京都江東区 (都営新宿線 西大島)	東京都墨田区 (京成線曳舟)	東京都世田谷区 (小田急線経堂)	東京都世田谷区 (東横線学芸大学)
住居形態	賃貸マンション・ アパート ローン無し	賃貸マンション・ アパート ローン無し	賃貸マンション・ アパート ローン無し	賃貸マンション・ アパート ローン無し	社員寮 ローン無し	賃貸マンション・ アパート ローン無し
職業	会社員(正社員・ 事務系)／ 教育関係事務	会社員(正社員・ 事務系)／ IT	会社員(正社員・ 事務系)／ アパレル	会社員(正社員・ 事務系)／ 農業関係経理	会社員(正社員・ 事務系)／ ウィッグ製造販売	会社員(正社員・ 事務系)／ サービス業
勤務地	茗荷谷	神奈川新町	東京	丸の内	新宿御苑前	京橋
同居家族	一人暮らし	一人暮らし	一人暮らし	一人暮らし	一人暮らし	一人暮らし
趣味・関心事	ドラマ、映画鑑賞 インドア派でテレビ やYouTubeを見る	旅行、サッカー観 戦、写真、バスケッ トボール	ドラマ鑑賞、ウィン ドウショッピング インドア派で、休日 はゲームをしている	旅行、料理	散歩、読書、 映画・舞台鑑賞	旅行
閲覧番組、 Webサイト・ ブログ、 読書・雑誌	・ライブドアブログ ・るるぶ	・家、ついて行って イイですか？ ・旅行系のブログ ・BRUTUS、 POPEYE	・アメトーク！ ・グノシー	・OZ magazine	・しゃべくり007、VS 嵐 ・花とゆめ、美的	・しゃべくり007、 関ジャム ・ZOZOTOWN、 @cosme ・美的
東京圏 居住歴	3年以上10年 未満	10年以上20年 未満	3年以上10年 未満	3年以上10年 未満	1年未満	1年以上3年 未満
出身地	愛知県安城市	青森県	滋賀県彦根市	大阪府	広島県三原市	佐賀県
移住先候補 地域(都道府 県)	福島、愛知	北海道、青森、 香川、長崎、 沖縄	静岡、愛知、 滋賀、京都、 兵庫	山梨、大阪、 兵庫、香川、 福岡	兵庫、岡山、 広島、福岡、海外	福岡
移住先候補 地域の規模	人口5万人以上の 市レベル 人口5万人未満の 町村レベル	人口5万人以上の 市レベル 人口5万人未満の 町村レベル	人口5万人以上の 市レベル	人口5万人以上の 市レベル	人口5万人以上の 市レベル	人口5万人以上の 市レベル

【グループ・プロフィール Gr 6：既婚・子あり女性】

4-9 グループ・プロフィール Gr6

	6-A	6-B	6-C	6-D	6-E	6-F
年齢	25歳	37歳	33歳	39歳	33歳	32歳
居住地	東京都練馬区 (西武池袋線 石神井公園)	東京都世田谷区 (京王線千歳 烏山)	千葉県船橋市 (東葉高速線 東海神)	東京都練馬区 (西武池袋線 大泉学園)	千葉県市川市 (総武線市川)	東京都世田谷区 (田園都市線 池尻大橋)
住居形態	賃貸マンション・ アパート ローン無し	戸建て持ち家 ローン有り	賃貸マンション・ アパート ローン無し	賃貸マンション・ アパート ローン無し	戸建て持ち家 ローン有り	賃貸マンション・ アパート ローン無し
職業	現在は9月から 育休中。それま ではホテルの飲 食サービス	パート・アルバイト ／区役所事務	専業主婦	専業主婦	専業主婦	専業主婦
勤務地	溜池山王	世田谷				
同居家族	夫、0歳娘	夫、5歳息子	夫、3歳息子	夫、3歳息子	夫、4歳娘	夫、5歳息子、 2歳娘
趣味・関心事	音楽(ピアノ、打 楽器)、断捨離、 カフェ巡り ただし、今は育児 であまり時間が ない	ヨガ、食べ歩き、 体によさそうなも のを食べたりなど が好き	買い物、カラオ ケ、テレビ視聴、 ネットサーフィン	DVD鑑賞、ヒー ローショー、戦隊 グッズ	料理教室、アロ マ、2～3人の パーソナルなプチ イベント	音楽鑑賞、読 書、ヒーロー ショー、ヒーロー 番組 子供よりも詳し い。最前列で声 をかけたり、 キャラクターの個 性を把握している
閲覧番組、 Webサイト・ ブログ、 閲読紙・雑誌	・世界の果てまで イッテQ！などバ ラエティ番組、ヒ ルナンデス！ ・Amazon	・ボツンと一軒 家、住人十色～ 家数だけある 家族のカたち～ ・ネイティブメデ ィア、全国移住ナ ビ、京都の移住 イベント ・TURNS、あたら しい移住のカたち	・マツコ会議、今 夜くらべてみまし た、あいのり、ド ラマ全般 ・Yahoo!、有名人 ブログ(上位ラン キング) ・InRed	・Eテレ関連 ・VERY等ファッ ション誌のサイト ・VERY、STORY	・Yahoo!、 NewsPicks	・A-Studio、ZIP!、 マツコ会議、Eテ レ ・いこーよ(子ども とおでかけ情報)、 Gunosyな どのまとめニュー ス(アプリ) ・Mart、美ST、 CHANTO
東京圏 居住歴	3年以上10年未 満	3年以上10年未 満	3年以上10年未 満	10年以上20年 未満	10年以上20年 未満	3年以上10年未 満
出身地	大分県大分市	京都府京都市	広島県広島市	福岡県筑紫野 (ちくしの)市	富山県南砺(な んと)市	福島県会津若松 市
移住先候補 地域(都道府 県)	山口、福岡、 長崎、大分、 沖縄	栃木、群馬、 山梨、京都、 愛媛	三重、広島	福岡	富山	宮城、新潟
移住先候補 地域の規模	人口5万人以上 の市レベル 人口5万人未満 の町村レベル	人口5万人以上 の市レベル 人口5万人未満 の町村レベル	人口5万人以上 の市レベル	人口5万人以上 の市レベル	人口5万人以上 の市レベル	人口5万人以上 の市レベル 人口5万人未満 の町村レベル

①ライフヒストリー(地元(出身地)への思い、東京への思い)について

◆上京理由

就職(配属)が8名、大学進学が5名、転勤が2名、夫の転勤(2)・東京で働く夫との結婚(1)が3名/全18名中。

「東京に行く」ことが目的の上京者は10/18名と過半数で、そのうち東京への憧れ・魅力からは9名、視野を広げたくてが1名。

そのほかの者は、希望の仕事(会社)が東京にしかなかった、内定企業のうちやりたい仕事を選んだら東京だった、地元で専攻したい大学がなく就職に有利なのが都内の大学だった、学びたい地元大学にはどこにも受からず推薦で入れるのが東京の大学だった、という理由。

大学進学において、国公立なら地方、それ以外は東京、地元で就職する場合も都内の大学を出ているほうが有利で箔がつく、という価値観がある。

東京への憧れは、東京にしかないおしゃれな店や話題のスポット、最先端のファッションなどを報じるテレビ番組や雑誌、東京を舞台にしたドラマや映画の影響によるところが大きく、買い物・食事・遊ぶ場所、仕事は何でもあって何でも手に入る場所というイメージが憧れの中身となっている者が多い。

また、どうせ行くなら日本の中心である東京、日本で No. 1 の都市に身を置いてみたいという意識もある。東京に行けばなんとかなるといった漠然とした、見えない希望があるというイメージを持つ者もいる。

また、趣味のライブやコンサート、イベント等が東京でしか開催されない・東京の開催が多いからという物理的な理由で上京する者もいる。

代表的な発言

「憧れがあった。テレビに出ている人や、東京の街を舞台にしたドラマや映画を見て、栄えている場所に行きたいと思った。」
(23 歳・未婚女性)

「東京に漠然とした憧れがあった。おしゃれなカフェがあるとか、仕事が休みのときに行きたいライブに行けるとか。自分の好きなことができると思った。」(25 歳・既婚子あり女性)

「地元がそこそ田舎だったので、都会に憧れがあった。(大阪とかではなく東京なのは)東京が近いので。買いたいものが買える。イベントがあっても東京しかやっていない。おいしいご飯屋さんもある。」(23 歳・男性)

「今と違って派手な生活がしたいと思っていた。東京は日本の1番の都市なので、そこに自分の身を置いてみたいと思った。」
(31 歳・未婚女性)

「かなりの田舎出身なので、東京には見えない希望みたいなものがあると感じていた。根拠はないが、東京に行けばなんとかなると思っていた。大阪など他の都市も考えたが、やっぱり東京だと。No.1で日本の中心なので。」(24 歳・男性)

◆地元への思い

地元から離れたかった者は(既婚・子あり女性を除き)半数近くおり、いつか地元に戻るかもと思っている者もそれ以上に多い。 ※既婚・子あり女性で離れたかった/東京に行きたかった者は1人もいない。離れたかった理由は、地元の窮屈で、退屈な「狭いコミュニティ・世界」

地元から離れたかった理由は、出かけると必ず知り合いに会う・行動が町中に知られるといったコミュニティの狭さに起因する煩わしさ、小学校の人間関係がそのまま高校まで持ち上がっていく狭いコミュニティの中で自分の人生が終わってしまうという失望感、もっと広い世界を見たい、さまざまな価値

観に触れたいという欲求によるところが大きい。

また、田んぼ以外何もない、出かける場所が限られていて休日の過ごし方がワンパターンになり、つまらない地元に対して、東京は若いときに楽しいと覚えることの全てがあるという感覚がある。

地元（地方）には仕事がない・なさそうという声もある。

代表的な発言

「地元には何もないし、人が住むところではない。週末はイオンに行くしかなく、イオンに行ったら同窓会的な感じで誰か知り合いに必ず会う。佐賀の中心には住んでいたが、若いときに住んでも楽しいことがない。イオンに行って、そのあとガストに行って、デートも同じような感じで、そういうのは個人的にあまり楽しくないと思った。」(30 歳・未婚女性)

「自分の地元でも、遊びはモールに行ってそのあとファミレスが定番。誰かしらに会い、どこに行ったのか町中に筒抜け。」(23 歳・未婚女性)

「地元はコミュニティが狭い。中学校、高校の友達がいて、狭い世界の中で、自分の人生これで終わってしまうという気がしていたので、別の場所に行こうと思った。」(23 歳・男性)

「小学校のメンバーがそのまま中学校に上がる。高校の数もそんなにないので、グループができた小学校の関係性のまま高校に上がり、そのまま就職している。小学校の関係性がいまだに続いている。それが凄く嫌だった。ずっとこんなところにいるのかな、と思った。地元の友達と話しても価値観が合わない。もっと広い世界を見たいというのがあった。」(30 歳・男性)

「地元には愛着はあるし、戻りたい気もあるが、働くところがない。昔から元々地場に根付いているような、会社というより一次産業のような仕事しかない。正直、検索しても何も引っかからなかった。」(24 歳・男性)

地元に対するネガティブの強さは、**地元に戻りたくても戻れない要因**ともなっており、地元の閉鎖的な価値観や昔ながらの既成概念による詮索や噂話の対象となることを忌避する意識が大きい。

代表的な発言

「大学から東京に出させてもらっている身としては、戻ると心配されそう。コミュニティが狭いので、あれこれ噂される。」(23 歳・未婚女性)

「地元の人は新しい言葉や概念を知らなくて、情報を取り入れる習慣がないゆえに悪く言っていることもある。世間体ありきに縛られているのに疲れる。妹は平日休みの仕事をしているが、祖母は平日遊び歩いていると思っている。地元に戻ったとして、自分たちの間ではちゃんと成立しているのに、自分たちのライフスタイルなど知らないゆえに悪く言われるのが面倒。」(33 歳・既婚子あり女性)

◆東京の魅力

上京前後でポジティブ方向でのギャップが大きく、東京は「意外に住みやすい」。

選択肢の多さ、いろいろな経験ができることが魅力。

東京は暮らしてみると、都会一色ではなく下町や自然豊かな郊外などさまざまな特色のある町があり、いろいろな遊び方できて楽しめる、東京圏でも住む場所を選べば落ち着けて物価もあまり変わらない、知り合いがいなくても趣味などで出会った人たちとつながれて人が冷たいと覚えることもない、日本の真ん中としてさまざまな人が集まっているため出会いが充実しており、多様な価値観に触れることができ人生勉強になるなど、住んでみるとイメージしていたより暮らしやすい、選択肢が多くいろいろな経験ができる、とポジティブな印象が強くなる。住んでいるうちに居心地が良くなり、離れがなくなる町

といえる。

また、参加費無料のイベント等が多い、コンサート等平日仕事終わりに行ける、地元に行ったら出会えなかった趣味の友達等ができ交友関係が広がる、といった魅力が感じられている。

一方で、実際暮らしてみると、懂れていたお店等は行列していたりするので行っていない、生活コストが高くお金がないと望む生活ができない、上京当初は刺激・新鮮味があり楽しく遊びに出かけていたが、年数が経つにつれ楽に（疲れない）生活したい、という思いに変化していく者も多い傾向が見られる。

その中で、人の動きや空気感が急いでおらずマイペースで生活できるといった情緒的ベネフィット、東京に比べ同じ費用で良い家を買えるといった物理的ベネフィットなど地元（地方）の魅力が浮上してくる。

代表的な発言

「イメージは渋谷や新宿のようにキラキラしたイメージがあったが、郊外に行くと山があったり下町があったり暮らしやすそうな気づきはあった。」(29 歳・未婚女性)

「最初は新鮮味があり、遊びに行ったり楽しかったが、10 年ぐらい経つと徐々に地方がいいかと。東京が嫌というより、地方のほうが生活が楽でいいかなと思うようになった。人が多くないし、マンションを買うにしても、東京で出すお金を出したら地方なら相当いい物件が買えるな、とか。」(38 歳・男性)

「広島で出会った夫の転勤で出ることになったが、出たくなくて3ヵ月くらい大泣きしていた。寂しい思いをしたが前を向くことにして、仕事を探したり、友達をつくるようにして、今は住めば都で出たくなかった。東京はやはり日本の真ん中なので、いろいろな多くの人が集まっていて出会いも充実している。さまざまな視点、価値観があり、人生の中で勉強になる。地方は空気がいいなどの良さもあり、東京にずっとではないかもしれないが、過疎ではなく人がいてお友達も多く、習い事や出かける先など都会ならではの良さがあるので、今はこの環境での充実、経験をさせてあげたいと思っている。」(33 歳・既婚子あり女性)

「こっちに来て地元の良さに気づいた。子どもがいるということもあるが、時間が2、3倍速く進んでいる。何でもながら作業だし、肩に力が入っている感じがある。選択肢が多く情報を得られるのは都会の良さだが、人間関係や競争など疲れるところがある。地元に戻るとほっとする。何も考えなくていい。都会は便利だが人も多くて、時々息が詰まる。」(37 歳・既婚子あり女性)

②移住意向及び移住を阻む障壁について、移住検討行動について

◆移住に興味を持ったきっかけ

旅行や、自身・身内の転機、偶然地元の変化・進化に気づいて。

上京時からずっと顕在・潜在的に地元への意識があって、旅行に行ったときや、転職、親の心配などを契機に地元への意識が喚起されるという傾向がうかがえる。

また、地元の友人の話や会社のセミナーなどでたまたま、地元を抱いていた負の感覚を変えるような地元の変化などを知り、住みやすさを感じて、というケースも見られる。

- ・旅行に行って：人の温かさや自然と共存する生活に触れて
- ・親を心配して：親の体調が悪く心配で、親が間もなく定年で
- ・偶然の、地元を意識する出来事やイベント参加：会社のセミナーでたまたま地元の町おこしイベントをやっていて、勤務会社の東京支社がなくなるということで転職を考えたとき、通りがかりにやっていた移住イベントにインセンティブ目当てで参加して
- ・身近な人の地方生活に触れて：友達が地方で暮らす様子を聞いて

・移住者の情報に触れて：テレビ番組で自分と同様の境遇の移住者の生活を見聞きして
など、知る手段は異なるが、具体的・現実的に、地方での暮らしやすさを身近に感じて、というきっかけがある。

・子育てのため、子どものためを思って：子どもが保育園に入れなかったとき（地元で保育園に入れて
両親のサポートを受けよう）、子どもが幼稚園に入るとき（田舎暮らしを体験させたい）

代表的な発言

「旅行や釣りで島に 1 週間くらい行くことがあり、民泊に泊まったりするのだが、東京から脱サラして船宿みたいなものをやっている人がいた。そうか、住めるんだ、普通のサラリーマンでもできるんだと感じた。自然と共存した生活が羨ましいと感じた。お金を払う娯楽よりも、そのほうが自分に合っていると感じていいなと思った。」(23 歳・男性)

「親のことが心配で。長男なので、東京に出てくるときからゆくゆくは戻るつもりだったが、体調が悪いので何かあったとき駆けつけられる近くがいいかと。」(24 歳・男性)

「最初のきっかけは、あるミュージアムで実際に移住しましたという人たちの時間の流れ方とかをグラフにしていた。時間の流れや速さが違うんだと思ったのと、実際ネットで調べるようになったのと、国内旅行に行っていていいなと思う場所が福岡の糸島がいいと思った。何度か行ってゲストハウスの人に聞いたり、ゲストハウス自体が移住サポートをしているところが多い。」

(31 歳・未婚女性)

「もともといつかは地元に戻ると、出てくるときから考えていて、割と最近になって転職した友人の話を聞いたりして、早めに行動しようと思った。」(23 歳・未婚女性)

「大きなきっかけは、祖父がなくなったこと。父は受け継いできたものを守りたいという話をするようになった。実家は高齢化率 75%を超えるような街で、69 歳の祖母が会合で一番の若手。自分が子どもの頃に山を走り回っていたことなど、そういう良さを多くの人に知ってもらえるようにしたい。町おこしとまではいかないかもしれないが、人を呼べるような仕事ができればいいと考えた。」(25 歳・既婚子あり女性)

◆移住後の暮らしイメージ、移住先として思い描く地方のイメージ、移住先に求める条件

現在の生活スタイルや便利な生活環境を大きく変えずに住む場所だけ変えたい。

現在の生活やある程度便利な生活環境を維持したい者がほとんどであるため、移住先として思い描く地方のイメージも、近隣県まで含む地元に近い（実家に帰りやすい）中核市以上の都市、あるいは県庁所在地レベル。移住フェア等に出展しているような自治体は、自分の求める地方とは違う（田舎な）印象という声もあった。

一部に、夫婦で自分たちの店を開業したい、趣味の釣りを仕事にするような生活をしたいなど地方ならではのライフスタイルを希望する者がいるが、多くは仕事（職種）は変えず広い家に住み、早く帰宅し家庭菜園やアウトドアレジャーを楽しむような、よりプライベートの時間を充実させるプラスαな生活をイメージしている。

移住先に求める要素

- ・なじみがある：友人・知人がいる、配偶者の地元、旅行で滞在して住みやすさを感じた
- ・仕事がある：自分がやってきて仕事のスキルが生かせる、やってきた仕事がある
- ・田舎過ぎない：鉄道が通っていて集合住宅がある
- ・趣味が楽しめる環境がある
- ・子育て環境と生活利便性が両立：空気の良い環境で買い物・進学先・病院等がある程度揃っていて両

親も近くに住んでいる

代表的な発言

「営業の仕事は同じでも、今のように 22 時頃帰るのではなく、18、19 時に終わって帰って、広い土地を持って、犬を広いところで走らせてあげたい、というイメージはある。」(29 歳・男性)

「実際に住みたいのは地方都市。東京でいえば八王子くらいの規模。家の周囲は畑があったりという田舎をイメージしている。」(30 歳・男性)

「移住イベントに参加しているところが、地方の都市にある街ではなく、ガチ田舎で、希望と違った。住むなら県でも栄えているところがいい。」(30 歳・未婚女性)

「広島市内、もしくは友人が就職している大阪とかそのあたり、誰かしら知っている人がいるところ。」(23 歳・未婚女性)

「彦根市に帰ってもいいけど、大津市がいい。彦根よりも栄えていて、京都に近い。」(29 歳・未婚女性)

「福岡市内はとてもいい。まとまった中であって、バスも発達していて、ミーハーなので新しいものもすぐ取り入れられる。東京のいいところをきゅつとまとめたのが福岡市。年を取ると利便性が大事で、ごちんまりした中で生活できるのがいい。」

(39 歳・既婚子あり女性)

◆移住に際しての不安、懸念

(主に男性) 仕事(職種はある? 収入減?)、(主に未婚女性) 調べるほどマイナス情報が出てくる、(主に既婚・子あり女性) 収入・生活水準の低下。

男性では、移住先で今と同様の仕事ややりたい仕事が見つかるのか、生活水準はどうなるのかといった仕事にまつわることで、未婚女性では、ネットで調べるほどマイナス情報が出てくるので移住意向が減退するといったこと、既婚・子あり女性では男性同様、(夫の) 収入の低下やそれによる生活水準の低下を懸念する者が多い。

代表的な発言

「自分がやってきた仕事が転職で生かせそうか、そういう仕事があるかどうか。」(38 歳・男性)

「調べるほどマイナスな情報も出てくるので、身動きができない。」(31 歳・未婚女性)

「生活水準が落ちるのは避けたい。ある程度生活レベルを保てると見込めないと移住に踏み切れない。ネットなどに書いてることも本当にそうか分からない。」(33 歳・既婚子あり女性)

◆移住の確度

2～3年後に 70～80%の 2 名以外は、2～3年後と考えてはいるが確度は高くない。

男性で、2～3年後に 70～80%、20 代のうち(6 年以内)に 95%と、かなり現実的な者が数名いる。そのほか多くは 2～3年後と考えている者はいるが確度は高くない。

5 年以上先、わからない、夫の定年後(既婚・子あり女性)というリアリティが低い者もいる。確度 70～80%の者のネックは仕事で、すぐには辞められないということと、今と同等の条件の仕事が見つかるのかが不安要素となっている。

代表的な発言

「70～80%。今の仕事をすぐに辞めるというわけにはいかない。転職するにしても、生活水準がどうなるのかと思うと、今の会社で希望を出して話す。」(29 歳・男性)

「2、3 年後ということだったら 50%くらい。障壁になっているのは、大阪のほうに異動できるのか。仮に転職するとしたら、やりたい仕事出来るのか。」(38 歳・男性)

「転職したばかりなので、今の仕事が嫌になって転職しようと思うタイミングがきたら。今の仕事を続けるとしたら、転職のタイミングではなく、結婚するときかなと思う。」(30 歳・未婚女性)

「現実的に考えたら 20 年後くらいかな。」(39 歳・既婚子あり女性)

◆移住の障壁

男性は仕事が最大のネック。女性は地元のネガティブ要因が大きい。

男性は、移住確度の高い者も仕事をすぐに辞められない、転職で現在と同じような条件の仕事が見つかるか、生活水準を維持できるのかが懸念材料となっている。現在の充実した職場環境を捨てる踏ん切りがつかない、別の新しい仕事を経験したい意向があり選択肢があるのが東京、といった声が聞かれた。

女性は、移住資金のほか、地元要因が大きい。休日を楽しめる環境がない、実家の両親（現在の距離感が良い）や地元の友人（会話が合わない）との関係性、閉鎖的な環境、など。関心層と同様、地元の狭いコミュニティによる詮索や噂話にも耐え得る自身の状況、帰ってきたことが納得される大義名分が必要という声がある。

既婚・子あり女性は、夫次第という者が多く、自分に決定権がない状況である。

代表的な発言

「今は長いプロジェクトに関わっているので、すぐには辞められない。不安要素としては、仕事。今と同じような条件のものが見つかるのか。」(25 歳・男性)

「主には金銭面。今の仕事を辞めて生活が維持できるのか。」(23 歳・男性)

「地元は買い物するところや、出かけるところが少ない。休日を楽しめるようなところが充実したら帰りたと思うかも。地元に残っている人たちは親世代。絶対に青森から出ませんという人たちだから割と閉鎖的。」(34 歳・未婚女性)

「東京に行って戻ってくると、戻らざるを得ない理由があって戻ってきたのかなと噂されるようなコミュニティがあるので、自分が何かしら力をつけて戻るか、結婚や必ず地元でないといけない理由がないと戻れない。自信を持って帰れる状況にならないと、ただ転職で戻っただけでも周りにワケありと思われる。」(30 歳・未婚女性)

◆移住検討行動

仕事・物件検索、SNS・ブログで移住者の話。移住イベントへの参加も多い。

地方に住むなら戸建てという意識が強く、家賃ではなく戸建ての物件情報を調べる人が多い。

- ・インターネット検索：仕事情報（一般的な事務系の仕事があるか、給料、福利厚生、会社の伸び率）、物件情報・家賃相場、路線図、現地の駅前開発の進捗具合、移住者を募集している地域、移住しやすい土地の口コミ、人気の移住地等のまとめサイト
- ・ブログ、SNS：移住者ブログ・SNS、移住関連 SNS、移住イベント参加者 SNS（いろいろな移住関連イベントに参加している人をフォロー）、地方に移住した昔の同僚の SNS
- ・知人から直接話を聞く：現地に住む友達から話を聞く
- ・イベント参加：移住フェア
- ・現地訪問：地元に戻ったとき移住者の住まいや移住者が開いたカフェなどを見に行く、旅行に行く、

ゲストハウスの人の話を聞く（移住サポートの有無、公共交通機関の発達具合）

・そのほか：ふるさと納税、など。

代表的な発言

「最初にやったのは戸建ての物件情報を調べること。地方に住むなら一軒家を持つのが自分の中にあつたので。」(30 歳・男性)

「地元でどの程度の戸建てが手に入るか。地元は田舎なので注文戸建てが普通。」(33 歳・既婚子あり女性)

「仙台市のお話を友人から聞いたり、物件を調べたり、どんな仕事があるかを調べたり。」(25 歳・男性)

「移住した人のブログを見たり、昔一緒に働いていた人が地方に住んでいて、その人の SNS を見ている。」(34 歳・未婚女性)

「移住フェアに行ったり、気に入ったところに旅行とか行ったり、路線図を見たりとか。」(29 歳・未婚女性)

「自分と同じ条件で情報発信している人が見つけにくい。男で今は東京にいて、収入はこれくらいだと絞ると出てこない。」

(23 歳・男性)

◆足りない情報、求める情報

移住生活のデメリット、同世代の普通の人の移住生活の様子。

移住生活で困ったこと等のデメリット、移住者の移住活動情報（仕事の探し方等転職活動について、給料について、良かったこと・悪かったことについての生声）、自分と同じ属性の普通の人の移住生活の様子の情報（一般的な企業の事務系の仕事で地方で働いているという情報）・移住に関する情報発信をしている人が見つけにくい、同一の基準で各地域を一覧比較できるサイトがない（移住ポータルサイトはあるが各地域の移住サイトへ飛ぶ必要がある）、受入側の情報（移住者の多寡、移住者（よそ者）に対するスタンス、自治体活動等への参加の多さなど）など。

インターネットでは移住に関する良い話しか出てこない、情報の真偽が不明という声が多い。

代表的な発言

「自分と同じ条件で情報発信している人が見つけにくい。男で今は東京にいて、収入はこれくらいだと絞ると出てこない。」

(23 歳・男性)

「同じような境遇で転職先も普通でどういう暮らしをしているのかというリアルな情報があまり見つけられていない。普通の暮らしの様子が知りたい。」(23 歳・未婚女性)

「移住イベントで紹介される人は自営業でカフェを開きましたとかいう情報が多く、普通に一般企業で（今の自分と同じような仕事で）地方で働いているという情報がない。地域おこし協力隊や起業には興味がない。住む場所を変えただけで、仕事は今やっている営業事務をやりたいだけ。」(30 歳・未婚女性)

「良いところしか書いていないので実際のところは分からない。また、ポータルサイトはあるが、各都道府県の移住サイトに飛ばないといけなくて比較がしにくい。簡単にできない。個々で作っているのと同じ基準がない。まとめて比較して見られるものがあるといい。自分の求めている条件を入れると、いくつかお勧めの地域が出てくるとか。」(30 歳・男性)

「東京と本当の田舎はギャップがあるので、果たして移住したとき本当に受け入れられるのか、あらぬ噂を立てられるのではないのかという不安はある。受け入れる側がどういう価値観を持っているのか、受け入れ OK な人ばかりじゃない。むしろネガティブな意見を聞きたい。」(32 歳・既婚子あり女性)

③移住意向喚起のためのコンセプト等の評価

◆移住喚起コンセプトP～T案に対する評価

※初日に実施した未婚女性、既婚・子あり女性の反応を見て、2日目以降、コンセプトの表現を変更及び1案追加して呈示しているため、グループにより呈示していないコンセプトについては、マトリクスのセルに斜線を表示している

◎＝大半が好反応もしくは相対評価で圧倒的支持、○＝概ね好反応、△＝条件付で好反応もしくは一部に否定的反応、×＝否定的反応、－＝否定はないが自分とは関係ないという反応、空欄＝反応なし or 希薄

4-10 U/Jターン検討層・コンセプト評価

	未婚+ 既婚子なし男性	未婚女性	既婚子あり女性
P' 東京生活の疲れや悩みを（地方生活で*）解消してみませんか。	○	×	－
Q' 将来への漠然とした不安を解消してみませんか。		×	
R 豊かな自然の近くで働く・遊ぶという生き方をしてみませんか。	◎	×	○
U ほどよい自然で、意外と都会 そんな場所で暮らしてみませんか。	×		◎
S' 子育ての不安・不満を（地方で*）解消してみませんか。	×	×	×
T あなたの帰りを心待ちにしている人達がいる地元で暮らしてみませんか。	△	○	△

*は、男性および既婚子あり女性のみ呈示

属性によって反応が分かれるが、概ねRとTに好反応。

Rは、仕事がありそうなイメージが良い、自然の近くで働くイメージができ共感する切り口が支持されている。未婚女性は、地元よりも更に田舎をイメージし、「豊かな自然」の田舎度合いに対する懸念が強い。

Tは、個人の地元との関係性により反応が分かれ、地元との人間関係が良好な場合は好反応。

また、男性では、Pに実感する部分があり共感できる、地方でゆっくりしたい気分フィットすると、切り口として一定の支持を集めた。ただし、ネガティブで漠然とした表現には否定的。

◆地方自治体等の移住プロモーション表現に対する評価

4-11 U/Jターン検討層・プロモーション評価

	未婚+ 既婚子なし男性	未婚女性	既婚子あり女性
ア 都会の過剰なサービスがない暮らし	×	×	×
イ 子育てと仕事を両立できる暮らし	○	○	×
ウ 満員電車のない、自然と共にある暮らし	△	×	△
エ なじみのある人たちがそばにいる暮らし	○	×	△

イに好反応。

既婚・子あり女性を除き、イが、移住生活に幸せ感がある、背景に写っているマンションから田舎度合いが高くないことが感じられると好反応。既婚・子あり女性は、マンションの広告のようで目新しさがないと不評。

ウは、ロハス生活を想起させるなど反応は悪くないが、写真が高齢女性ばかりなので自分が生活するイメージが持てない、色合い等デザイン的に田舎の良さを消してしまっているなどの点で不評。

◆コンテンツの「見せ方」に対するニーズ

4-12 U/Jターン検討層・コンテンツ評価

	未婚+ 既婚子なし男性	未婚女性	既婚子あり女性
A 客観的なデータ（東京との比較）で見せる	○	○	◎
B 地方に移住した普通の人たちがリアルに語る	○	○	○
C レポーターや著名人が地域の魅力を語る			
D 受入側の地元（地域）の人が、丁寧に語る		●	
（手段として）動画で見せる			

※●＝一部に支持あり

AとBの組合せに対するニーズが高い。

Bについては、自分と同じような境遇の一般的な事務仕事をしている普通の人たちが移住のメリット・デメリット両方とも語っているものを希望。

先に移住者の生の声で「移住」の気持ちを固め、候補地が絞り込まれたらその土地のデータを東京と比較する、漠然としているときにデータで比較をして、候補地が絞れたら移住者の生の声を聞くといった、ステップに応じた使い方を挙げる声もあった。

動画に対しては反応が薄い。

(3)1ターン・関心層

【グループ・プロフィール Gr 7：未婚＋既婚・子なし男性】

4-13 グループ・プロフィール Gr7

	7-A	7-B	7-C	7-D	7-E	7-F
年齢	36歳	34歳	29歳	36歳	34歳	25歳
居住地	東京都八王子市 (京王線北野)	神奈川県横浜市 都筑区 (横浜市営地下鉄 線センター南)	千葉県船橋市 (総武線西船橋)	神奈川県茅ヶ崎市 (東海道線辻堂)	神奈川県茅ヶ崎市 (相模線香川)	千葉県千葉市緑区 (外房線鎌取)
住居形態	戸建て持ち家 ローン有り	賃貸マンション・ アパート ローン無し	分譲マンション ローン有り	賃貸マンション・ アパート ローン無し	賃貸マンション・ アパート ローン無し	戸建て持ち家 ローン有り
職業	会社員(正社員・ 事務系)／ 福祉サービス 介護・事務	会社員(正社員・ 事務系)／ IT営業	専門職(医師等)／ 医療・カウンセリング	会社員(正社員・ 技術系)／ 高層マンション 設備管理	会社員(正社員・ 事務系)／ アパレル販売	会社員(契約・ 派遣・嘱託)／ 旅行・事務
勤務地	八王子	渋谷	下総中山	新橋	桜木町	京橋
同居家族	父母	一人暮らし	妻	一人暮らし	母	父母、姉
趣味・関心事	ドライブ、カラオ ケ、ドラム演奏、作 曲、アニメの聖地 巡礼	国内温泉旅行、ゴ ルフ	スポーツクライミ ング、登山、料理、英 会話、ロッククライ ミング	ゲームセンター、 海岸通りや都内を 散歩、水泳、プロ 野球、アニメ聖地 巡礼	ショッピング、ドライ ブ	海外旅行、ツーリ ング、一人飲み
閲覧番組、 Webサイト・ ブログ、 読書紙・雑誌	・バラいろダンディ ・Yahoo!、Twitter ・WeROCK、 BURRN! JAPAN	・全力脱カタイ ムズ、報道ステー ション ・Yahoo!ニュース、 ・AERA、DIME	・news zero、世界の 果てまでイッテQ！ ・YAMA HACK(登山 情報配信)、 MAMMUT公式サイト (クライミング用品公 式通販サイト)MEN'S EX、 ROCK & SNOW(登 山界の最先端を紹 介)	・アメトーク！ ・セガ、NAVER	・クルマでいこう！ (テレビ神奈川) ・Yahoo!、Amazon ・スタンスマガジン (オトナのシャコタ ン応援誌)	・ZIP! ・Instagram、 YouTube ・men's FUDGE
東京圏 居住歴	20年以上	20年以上	20年以上	20年以上	20年以上	20年以上
出身地	東京都八王子市	東京都日野市	千葉県	埼玉県	神奈川県茅ヶ崎市	千葉県千葉市
移住先候補 地域(都道府 県)	茨城、富山、 山梨、長野、 静岡	山形、石川、 山梨、京都	山梨、長野、 静岡、京都、 大阪	静岡、愛知	北海道、山梨、 静岡、京都、 沖縄	北海道、愛知、 大阪、福岡、 大分
移住先候補 地域の規模	人口5万人以上の 市レベル 人口5万人未満の 町村レベル	人口5万人以上の 市レベル 人口5万人未満の 町村レベル	人口5万人以上の 市レベル 人口5万人未満の 町村レベル	人口5万人以上の 市レベル 人口5万人未満の 町村レベル	人口5万人以上の 市レベル 人口5万人未満の 町村レベル	人口5万人以上の 市レベル 人口5万人未満の 町村レベル

【グループ・プロフィール Gr 8：未婚女性】

4-14 グループ・プロフィール Gr8

	8-A	8-B	8-C	8-D	8-E
年齢	22歳	26歳	36歳	30歳	35歳
居住地	埼玉県宮代町 (東京スカイツリー ライン線姫宮)	東京都大田区 (東急池上線池上 駅)	東京都文京区 (東京メトロ丸の内 線茗荷谷駅)	千葉県松戸市 (北総線松飛台駅)	東京都新宿区 (JR総武線大久保 駅)
住居形態	戸建て持ち家 ローン有り	戸建て持ち家 ローン有り	賃貸マンション・ アパート ローンなし	戸建て持ち家 ローン有り	賃貸マンション・ アパート ローンなし
職業	会社員 (正社員・事務系)/ 病院	会社員 (正社員・事務系)/ 食品卸	会社員(契約・ 派遣・嘱託/ 事務)/ リース	公務員・団体職員/ 官公庁	会社員 (正社員・事務系)/ IT(カスタマーサ ポート)
勤務地	春日部	蒲田	東京	新鎌ヶ谷	池袋
同居家族	父母、祖母	父母、妹	一人暮らし	兄	交際相手
趣味・関心事	料理、お菓子づくり	ホットヨガ、旅行、 カラオケ、読書、音 楽鑑賞	ダンス、K-POP、ス トレッチ、筋トレ、温 泉、飲み会	ウォーキング、酒、 料理、カレー	旅行、料理
閲覧番組、 Webサイト・ ブログ、 読読紙・雑誌	・ドラマいろいろ、 月曜から夜ふかし ・ことりっふ ・sweet、美人百花	・世界の果てまで イッテQ、モヤモヤさ まあ〜ず2、 ・化粧品(コスメ・スキ ンケア)などの比較 サイト	・世界の果てまで イッテQ、テセウスの船 ・Instagram、為替	・黒ねこくろあん観 察日記	・明石家さんまの 出る番組、幸せ!ボ ンビーガール、 ・Instagram ・美的
東京圏 居住歴	20年以上	20年以上	20年以上	20年以上	20年以上
出身地	埼玉県	東京都	神奈川県	千葉県	千葉県
移住先候補 地域(都道府 県)	愛知、京都、 兵庫、奈良	茨城、栃木、群馬	新潟、静岡、沖縄	広島、福岡	静岡、沖縄
移住先候補 地域の規模	人口5万人以上の 市レベル 人口5万人未満の 町村レベル	人口5万人以上の 市レベル 人口5万人未満の 町村レベル	人口5万人以上の 市レベル 人口5万人未満の 町村レベル	人口5万人以上の 市レベル 人口5万人未満の 町村レベル	人口5万人以上の 市レベル 人口5万人未満の 町村レベル

【グループ・プロフィール Gr 9：既婚・子あり女性】

4-15 グループ・プロフィール Gr9

	9-A	9-B	9-C	9-D	9-E
年齢	24歳	32歳	30歳	27歳	33歳
居住地	東京都足立区 (京成線京成関屋)	千葉県柏市 (東武野田線初石)	東京都北区 (山手線田端)	千葉県船橋市高根町 (東葉高速線飯山満)	埼玉県さいたま市桜区 (埼京線与野本町)
住居形態	賃貸マンション・ アパート ローン無し	戸建て持ち家 ローン有り	賃貸マンション・ アパート ローン無し	戸建て持ち家 ローン有り	戸建て持ち家 ローン有り
職業	会社員(正社員・ 事務系)／ 不動産	会社員(正社員・ 事務系)／ アパレル営業(育休 中)	会社員(正社員・ 事務系)／ 損害保険	専業主婦	専業主婦
勤務地	恵比寿	中目黒	恵比寿		
同居家族	夫、2歳息子	夫、2歳娘、0歳息子、 犬1匹	夫、0歳息子	夫、2歳息子	夫、4歳娘、0歳娘
趣味・関心事	ボクシングフィットネ ス、お笑い	ショッピング(服、雑貨 etc)	水泳、アニメ	DIY、子供がアクティブ になったのでアンデル セン公園に行って遊ぶ	読書、散歩、幼稚園の 習い事無料体験、英会 話、寝相アート
閲覧番組、 Webサイト・ ブログ、 読雑誌・雑誌	・アメトーク！、水曜日 のダウンタウン ・Instagram、Twitter ・anan、美的	・アメトーク！などのバ ラエティ番組 ・Yahoo!	・テレビは持っていない ・Twitter、dアニメスト ア ・東洋経済、週刊ダイ ヤモンド	・旅番組 ・Instagram	・ポツンと一軒家、秘密 のケンミンshow ・Amebaブログ
東京圏 居住歴	20年以上	20年以上	3年以上10年未満	20年以上	20年以上
出身地	東京都	千葉県	埼玉県	埼玉県	埼玉県
移住先候補 地域(都道府 県)	北海道、京都、 大阪、兵庫、沖縄	茨城	北海道	茨城、栃木、群馬	北海道、奈良、福岡、 沖縄
移住先候補 地域の規模	人口5万人以上の市レ ベル 人口5万人未満の町村 レベル	人口5万人以上の市レ ベル	人口5万人以上の市レ ベル	人口5万人以上の市レ ベル	人口5万人以上の市レ ベル

※インタビュー非実施の未婚女性に対しては、移住に興味を持ったきっかけ、移住候補地、移住確度と移住の障壁、コンセプト評価、コンテンツ評価の5項目のみメールで聴取

①ライフヒストリー(地元(出身地＝東京圏)への思い)について

◆地元（東京圏）への思い

地元特別な感情はなく好きでも嫌いでもないフラットな感覚の者が多い。

東京圏内で移転している者も多いため、地元特別な思い入れがなく好きでも嫌いでもないという者が多いが、嫌いというネガティブな感情を抱いている者はほとんどいない。

東京圏でも郊外居住者（千葉など）は、地方出身者と同様、東京（都心）への憧れ・コンプレックスがある。

また、東京で暮らし通勤したりして初めて初めて地元が落ち着く、心が休まる（東京は心が疲れる）など改めて地元の良さに気づくという声が聞かれた。

地元が好きという者の好意は、自分を育ててくれた町という思い、実際に落ち着ける・肩ひじ張らずにいられるといった思いから醸成されている。

代表的な発言

「もともと松伏に住んでいて、今船橋だが、大して変わらない。好きも嫌いもない。」(27 歳・既婚子あり女性)

「学生時代には東京コンプレックスがあって、東京に住みたいと思っていて、やっぱり千葉と東京は違うと思っていて、新宿区に2年くらい住んだが、住んでみると思っていたのとは違った。都会の生活は味わえたが、なんだか落ち着かなくて心休まる瞬間があまりないような気がして、実家に帰ると周りに高い商業施設もないただの住宅街なのに落ち着く感じがした。」(29 歳・男性)

②移住意向及び移住を阻む障壁について、移住検討行動について

◆移住に興味を持ったきっかけ

旅行きっかけが多い。未婚女性では、東京生活に疲れを感じて、も多い。

旅行で地方ののんびりした空気や開放感に触れたり、実際に移住した人の話や身近な地方生活者の暮らしぶりに触れてというケースが多い。既婚・子あり女性では、テレビ等で田舎の子育てや、田舎の子どもがのびのび育つ環境・子どもの純粋さなどを見て、という者が多い。

- ・旅行に行って：のんびりできそう、疲れなさそうと感じて、空が広く景色がいい、空気や水がおいしいなどからストレスから解放される感覚があって、景観やおいしい食べ物、温泉（趣味）に触れて
- ・身近な人の地方生活に触れて：祖父母の家など家族・親戚の地方での暮らしに触れて（犬を放し飼い、おいしいクラフトビール、祖父母の家に行き満員電車のない東京以外の暮らしに憧れて、祖父母の実家に行ったときのローカルCMなどから感じる温かみ）、地方に移住する同僚の話を聞いて（リモートワークができ、東京と同じ給料というのがとても良い）
- ・移住者の情報に触れて：テレビ番組の移住した人の特集を見て、テレビで東京に新幹線通勤している地方生活者を見て
- ・趣味を楽しめる：新しく始めた趣味で地方に行く頻度が多くなり、いつでも趣味を楽しめる環境に惹かれて
- ・東京生活に疲れて：関東での生活と人間関係が煩わしいと感じリセットしたくなって、都内でのせわしない生活にふと疲れを感じて

代表的な発言

「旅行に行った時。沖縄が好きで5、6回行って、こちらの海よりきれいだし、空もきれいだったり、住んでる人たちや雰囲気

が急いでいないので、こういうところに住めたらいいなあと思う。ゆったりしていて疲れなさそう、のんびりできそう。」(34 歳・男性)

「曾祖父が岩手と岡山に住んでいて、犬を放し飼っている。千葉の実家ではそんなことできないので、そういう環境がいいなと思うのと、おいしいクラフトビールがつくられている環境がいい。同僚が来年から香川県に移住するという話を聞いた時にもいいなと思った。」(25 歳・男性)

「都内でのせわしない生活に疲れをふと感じ、『地方で生活したらもう少しゆとりのある生活ができるのかもな』と地方での暮らしの可能性が頭をよぎった。」(35 歳・未婚女性)

「テレビで田舎の子どもたちを見ると純粋だなと。自分が高校のときとか冷めた性格だったので、田舎だと無邪気に育つのかなと思った。田舎だとせかせかせしないのかなと思って。」(24 歳・既婚子あり女性)

◆移住後の暮らしイメージ、移住先として思い描く地方のイメージ、移住先に求める条件

仕事もライフスタイルも大きくは変えない暮らし。

仕事は変えず、ライフスタイルも大きくは変えないが、休日に趣味（クライミング、音量を気にせず音楽・演奏を楽しむ）を存分に楽しんだり自然の中で過ごしたり、家庭菜園や庭で BBQ、キャンプ等、地方ならではの生活を楽しむイメージを持っている。

移住先として思い描く地方のイメージは、山や川、畑など自然はあるが、近くにスーパーや商業施設、病院もあり、公共交通機関がある程度充実していて車がなくても生活できる、不便を感じない（電車が 1 時間に 4 本はある等）都市。また、街中がガヤガヤしておらず、歴史的な風情がありゆったりと暮らせるが交通の便は悪くない町など、自然の代わりに歴史的風情を求める者もいるが、いずれも「交通の利便性」が要件となっている。

都市規模は県庁所在地や中核市レベルをイメージしている（具体的には長野県松本市、那覇市郊外など）。

一部に、自然環境を重視し車とバイクが必須で自力で移動する場所、という声もある。

また、函館など、町の名前を聞いてピンとくる、ある程度知名度のある都市という者もいた。

移住先に求める要素

東京圏にしか住んだことがない者は、どこに行ってもなじみがないので東京からのアクセスが良いところならどこでもよいという声が多い。また、旅行や仕事でさまざまな土地に行く経験が豊富で、ある程度町のイメージがあり、良さも体感しているため、縁のない地域に抵抗がない者も多い。

- ・なじみがある：叔母が住んでいる、大学に通っていた、何回か旅行に行ったことがあり街並みや食べ物などが好き
- ・仕事があり家賃が安い：仕事も見つけられそうで家賃が東京の半分くらい
- ・趣味が楽しめる地域

代表的な発言

「ライフスタイルは今のスタイルを保ちたいが、休日の活動などでとにかく山へ行きたい、自然の中で過ごしたい。」(29 歳・男性)

「音楽をやっているのでスタジオ専用の部屋をつかって、ドラムセットを心おきなく叩いても苦情が来ないみたいなのをしたい。」(36 歳・男性)

「街中がガヤガヤしておらず、ゆったりと暮らせる街。歴史的な風情がありながら、交通の便は悪くない。」(22 歳・未婚女性)

「ベースの暮らしは変わらず、近くに小さい川があったら。今の家には庭があるけど狭いので、庭でバーベキューとかキャンプをやるのはちょっとできないので、そういうことができる場所があったり、庭も広くてそういうことができたらいいなと思う。」(32 歳・既婚子

あり女性)

「東京だったら電車を 1 本逃しても大丈夫だが、岩手とか愛知だと 1 本逃したら 20 分待つとかなかなか電車が来ない。車を使わなくても交通の便がいい所。」(36 歳・男性)

「中核都市くらいをイメージ。きれいな川が流れている。」(34 歳・男性)

「理想は福島郡山みたいなところ。新幹線が止まる駅があるところ。メイン通りにスーパーがあるが、裏に行くと小川があったりする。薬局、ホームセンター、病院があればいい。」(27 歳・既婚子あり女性)

「東京から行ける場所なら馴染みがなくても、どこに行っても馴染みがないので。」(32 歳・既婚子あり女性)

◆移住に際しての不安、懸念

地方ならではの濃い（イメージのある）人間関係、人付き合いに不安がある。

地方ならではのしきたりや慣習にどの程度従わなければいけないのか、自分に対する詮索や干渉、行動が筒抜けになる等、地方ならではの人間関係、人付き合いに不安を感じている。

代表的な発言

「自分の家族だけが千葉に暮らしていて一族は京都。奈良寄りの京都で村のような田舎で、法事などに行くと全くしきたりがわからず何もできずに居心地が悪い、肩身の狭い思いをして帰ってくるのが慣例で、そういう、地域ならではの慣習や、外の人に対してどれくらい求めてくるのかわからないのが怖い。」(29 歳・男性)

「地方の人達は家族ぐるみで情報を共有する傾向が強く、その地域で何々さん家の何々さんが何をしたというようなのが筒抜けで、年齢を告げ独身だと言うと早く結婚しろとか大きなお世話なことを言われたりして、人の精神に土足で踏み込んでくるみたいな要素がマイナスポイントで不安。」(36 歳・男性)

◆移住の確度

65%の 1 名以外は 30%以下で、時期もだいぶ先のイメージ。

移住するかどうか分からないなど移住のリアリティは低い。65%の 1 名（未婚女性）は、交際相手の転勤の可能性による。

既婚・子あり女性に至っては、可能性があるとしたら定年後という者が多く、数年後の移住の可能性はほぼゼロに近い。

代表的な発言

「だいぶ先のイメージで、移住するかどうか分からない。」(男性全員)

「30%。仕事の心配と、親や友達が近くにいなくなることが心配。」(35 歳・未婚女性)

「今は 0。子育てするなら東京。病院まで近い、勤務先に近い。自分たちの老後なら可能性は 0 ではない。」(30 歳・既婚子あり女性)

◆移住の障壁

利便性のある東京生活を捨てるほど、地方生活に大きな魅力を見出せていない。

現在の生活に大きな不満があるわけではないため、利便性のある東京生活を捨て切れない、全て捨ててまで移住する理由も心意気もないという意識がうかがえる。

男性では、肉体労働系など限られた仕事しかないイメージを持つ（あるいは実際調べてみて実感とし

て感じる) 者もいる。

一部に、身近な人から地方での具体的な生活の話を聞いている者がいるものの、移住検討行動の大半はインターネット検索に留まり、移住生活・地方生活のリアル、具体的な暮らしのイメージを持っていないことも要因と考えられる。

ほかには、移住資金・蓄え、親や友人と離れて生活する不安・心細さ、妻や母親等自分一人の意思では決められない状況(既婚・子あり女性では、夫の仕事(内容・収入)に大きく縛られ、それを变えてまでどうしても移住したいという理由・事情がない)などが障壁となっている。

代表的な発言

「地方は土地も広くて、確かにいいなと思うけど、結局向こうに行っても仕事があるのかというのがネックになっている。収入面で今と同じだけ稼げるかと言われたら絶対違うので無理かなと思う。国に払う税金は、向こうのほうは家賃が安くてもいろんなものが一律変わらないから、その辺がどうなんだろうと思う。」(34 歳・男性)

「事務の仕事はなく、ガテン系か農業。」(36 歳・男性)

「向こうで生活する具体的なイメージがまだできていないというのと、まだ独身だが、結婚相手ができた時に相手と折り合いをつけることも含めて踏み出せていない。」(34 歳・男性)

「実際、今の生活を全部捨ててまで移住する心意気も理由もない。」(30 歳・未婚女性)

「今の便利さは捨てられないけど、老後はもっと柔らかくゆったりとした気持ちになるかもしれない。」(30 歳・既婚子あり女性)

「親と離れて生活するのが心配。」(26 歳・未婚女性)

「夫の年収ベースで生活しているから、夫の年収がキープできないと。収入が減っても、かかってくるお金も減るわけではないから、たとえば保険でも地方だから安くなるわけでもないし。」(27 歳・既婚子あり女性)

◆移住検討行動

仕事・家賃検索、生活費・交通の便など生活環境を調べる(移住者ブログ、友人の話)。

- ・インターネット検索：就職・転職サイトで仕事探し、不動産サイトで家賃、家購入を前提に土地価格、生活コスト、自然やアウトレットの有無など住環境、ふるさと納税サイトで電車の本数といった交通の便など生活環境、教育レベル等の子育て環境、自治体の子育て支援の充実度
- ・身近な人の地方生活の話：移住候補地に暮らしている後輩や友達の話(毎月の生活費等)を聞く、候補地出身者に住み心地を聞く
- ・移住者ブログ・本：移住者の暮らしの詳細や移住資金を見る
- ・現地で調査：現地のコンビニの求人誌で仕事・収入情報、など。

代表的な発言

「仕事探しをまずした。マイナビである程度地名を入れて(岩手)、どういう会社があるかを調べた。今やってる仕事とかけ離れているものが多い。」(34 歳・男性)

「SUUMO とかで、マンションやアパートの家賃を調べて、特に自分は名古屋市の駅近くに住みたいと思っているので、少なくとも 5 万以下でなど条件が合ったものを「お気に入り」にしておく。」(36 歳・男性)

「後輩に話を聞いたのがスタートだったのと、長野生まれの友達もいるので出身者に住み心地の良さなどを聞いたり、その人達から見て松本市はどうかなどを聞いてみたり、移住者のブログを見たり、賃貸の家賃を調べてみたりしている。」(29 歳・男性)

「寒冷地の暖房費などリアルなお金のこと。祖父母と母が北海道で育ってどうだったかという話は聞いた。」

(30 歳・既婚子あり女性)

「高校の同級生で広島に嫁いでいる人がある。Instagram で子どもの写真を上げていて、連絡して広島はどうか聞いたら何もないと言っていた。専業主婦をしていて、毎日がつまらない、ただ子どもがかわいいだけの生活と言っていた。職場で地方から出てきている人に聞いても、東京がいいに決まっているという。何でも揃っていると便利とか。」(24 歳・既婚子あり女性)

◆足りない情報、求める情報

普通の仕事をしている同世代の移住者情報や、都会と地方の生活比較

同世代の働き盛りが普通の仕事に就いて移住している情報、都会と地方の生活を比較したシミュレーション（収入は減るが快適性はアップ等）など。

代表的な発言

「見たところ、向こうで店を出すなど事業をしている、夫婦でカフェや美容院出したとか、定年になったから夫婦で移住したとかで、働き盛りで向こうに行って新しい仕事を始めたとかの情報が少ない。普通の仕事でやり繰りしているのかどうかをもう少し知りたい。」(34 歳・男性)

「都会でのやり繰りと、地方に移住してきたらこのくらい得とか年間でこのくらい違うけど快適に暮らせますみたいなシミュレーションみたいなのがあればいい。」(36 歳・男性)

③移住意向喚起のためのコンセプト等の評価

◆移住喚起コンセプト P～T 案に対する評価

※初日に実施した未婚女性、既婚・子あり女性の反応を見て、2 日目以降、コンセプトの表現を変更及び 1 案追加して呈示しているため、グループにより呈示していないコンセプトについては、マトリクスのセルに斜線を表示している

◎＝大半が好反応もしくは相対評価で圧倒的支持、○＝概ね好反応、△＝条件付で好反応もしくは一部に否定的反応、×＝否定的反応、－＝否定はないが自分とは関係ないという反応、空欄＝反応なし or 希薄

4-16 1ターン関心層・コンセプト評価

	未婚+ 既婚子なし男性	未婚女性	既婚子あり女性
P' 東京生活の疲れや悩みを（地方生活で*）解消してみませんか。	○	○	×
Q' 将来への漠然とした不安を解消してみませんか。			×
R 豊かな自然の近くで働く・遊ぶという生き方をしてみませんか。	○	△	◎
U ほどうい自然で、意外と都会 そんな場所で暮らしてみませんか。	◎	◎	
S' 子育ての不安・不満を（地方で*）解消してみませんか。	－	△	×

*は、男性および未婚女性のみに呈示

U が最も好反応。R も比較的好反応で、P にも一定の支持あり。

U は、リアリティがあり、地方でも今の生活と大きく変わらず快適に暮らせるという具体的な生活イ

メージがわき、地方と都会の「いいとこどり」がイメージできる。東京圏出身者にとって自然の中での暮らしが始められやすいイメージ（急に田舎暮らしだとギャップが大きそう）で移住生活のハードルが下がる。

Rも、移住後の暮らしをイメージしやすく、のんびり暮らしたいという自分の気持ちとフィットする。一部に、「豊かな自然」が野生動物が出る田舎をイメージさせ、ややネガティブという意見あり。

Pは、既婚・子あり女性を除き、共感できると切り口として支持はあるが、ネガティブな表現には否定的。地方には地方の悩みや苦労がある、東京にいるから疲れているとは限らないし東京には東京の良いところがあるといった意見もある。

◆地方自治体等の移住プロモーション表現に対する評価

4-17 Iターン関心層・プロモーション評価

	未婚+ 既婚子なし男性	未婚女性	既婚子あり女性
ア 都会の過剰なサービスがない暮らし	×		×
イ 子育てと仕事を両立できる暮らし	△		○
ウ 満員電車のない、自然と共にある暮らし	○		×
エ なじみのある人たちがそばにいる暮らし	—		—

イに比較的好反応。

男性ではウ、既婚・子あり女性ではイに好反応。

ウは、実際に暮らしている人の声が暮らしをイメージしやすく、明るさやポジティブさがより良い環境を求めて移住するという気持ちとマッチする。

イは、メッセージがシンプルでわかりやすく移住後の暮らしをイメージしやすいと好印象ではあるが、男性にとっては自分とは関係ないというイメージが強い。

◆コンテンツの「見せ方」に対するニーズ

4-18 Iターン関心層・コンテンツ評価

	未婚+ 既婚子なし男性	未婚女性	既婚子あり女性
A 客観的なデータ（東京との比較）で見せる	○		◎
B 地方に移住した普通の人たちがリアルに語る	○		○
C レポーターや著名人が地域の魅力を語る			
D 受入側の地元（地域）の人が、丁寧に語る		○	
（手段として）動画で見せる	○	○	

AとBのニーズが高い。

Aは実際的で参考になる、Bは、一部に、移住者インタビュー等は白々しいという意見あり。
未婚女性は、同世代のさまざまな人の地元の仕事や生活が参考になり、暮らしの様子が想像しやすいとDを支持。

動画は、コンテンツの内容や検討の段階によって必要度が変わる、と積極的な支持者は少ないが、長い文章を読むのは疲れるので、動画で説明してくれると頭に入りやすいという声もある。（ビジュアルリテラシーが高い世代ならでは）

(4)Iターン・検討層

【グループ・プロフィール Gr10：未婚＋既婚・子なし男性】

4-19 グループ・プロフィール Gr10

	10-A	10-B	10-C	10-D	10-E
年齢	32歳	27歳	30歳	36歳	25歳
居住地	東京都多摩市 (京王線多摩センター)	千葉県千葉市 中央区仁戸名町 (京成線大森台)	千葉県八街市 (総武本線八街)	千葉県市川市 (東西線妙典)	東京都世田谷区 (小田急線千歳船橋)
住居形態	不明 ローン無し	戸建て持ち家 (親の家) ローン無し	戸建て持ち家 (親の家) ローン無し	社宅 ローン無し	賃貸マンション・ アパート ローン無し
職業	会社員(正社員・ 技術系)／ 清掃業(労務職)	会社員(契約・ 派遣・嘱託)／ 人材派遣、販売、接客	会社員(正社員・ 事務系)／ イベント警備	会社員(正社員・ 事務系)／ 昇降機の法人営業	会社員(契約・ 派遣)／ 通信、営業
勤務地	多摩センター	大森台	水道橋	丸の内	代官山
同居家族	一人暮らし	祖母、父母、弟、妹	父母	妻	一人暮らし
趣味・関心事	コーヒー焙煎、自然散 策	ウォーキング、卓球、 少林寺拳法	旅行、水泳、野球観 戦、外国語学習、ウィ ンドショッピングしなが ら簡単なものを食べる	エレキギター、ジムで 汗を流す、ドライブ	旅行、温泉に行く、音 楽
閲覧番組、 Webサイト・ ブログ、 読読紙・雑誌	・孤独のグルメ ・YouTube ・Safari	・帰れマンデー見つけ 隊!!、ポゾンと一軒家 ・地方自治体のWebサ イト ・旅行雑誌	・NHKスペシャル、 ニュース全般 ・Yahoo!ニュース、 Twitter、楽天市場 ・日経新聞、週刊文 春、週刊新潮	・帰れマンデー見つけ 隊!!、孤独のグルメ、テ セウスの船(ドラマ) ・日経電子版、Yahoo! ニュース、ゲッターズ 飯田の開運メッセージ ・BIGtomorrow	テレビはない
東京圏 居住歴	20年以上	1年以上3年未満	20年以上	20年以上	20年以上
出身地	東京都多摩市	千葉県千葉市	千葉県八街市	東京都町田市	神奈川県川崎市
移住先候補 地域(都道府 県)	茨城、山梨、長野、 静岡、沖縄	茨城、栃木、新潟、 高知、沖縄	石川、鳥取、高知、 長崎、鹿児島	福島、茨城、栃木、 群馬、新潟	長野
移住先候補 地域の規模	人口5万人以上の市レ ベル 人口5万人未満の町村 レベル	人口5万人以上の市レ ベル 人口5万人未満の町村 レベル	人口5万人未満の町村 レベル	人口5万人以上の市レ ベル 人口5万人未満の町村 レベル	人口5万人以上の市レ ベル

【グループ・プロフィール Gr11：未婚女性】

4-20 グループ・プロフィール Gr11

	11-A	11-B	11-C	11-D	11-E	11-F
年齢	26歳	26歳	20歳	37歳	24歳	30歳
居住地	東京都中野区野方 (西武新宿線野方)	神奈川県川崎市幸区那加幸町 (JR線 川崎)	神奈川県中郡大磯町 (東海道線大磯)	東京都中野区 (丸ノ内線中野坂上)	東京都足立区 (東武線西新井)	東京都文京区 (丸ノ内線後楽園)
住居形態	賃貸マンション・アパート ローン無し	賃貸マンション・アパート ローン無し	戸建て持ち家 ローン無し	分譲マンション ローン無し	賃貸マンション・アパート ローン無し	分譲マンション ローン有り
職業	会社員(正社員・事務系)／ IT系事務	会社員(正社員・事務系)／ IT系事務	大学生	会社員(正社員・事務系)／ ビルメンテナンス事務	会社員(正社員・事務系)／ イベント関係総務	会社員(正社員・事務系)／ メーカー営業
勤務地	飯田橋	川崎	明大前	国分寺	新橋	上野御徒町
同居家族	一人暮らし	交際相手	祖父母、母	母	父母	父母、弟
趣味・関心事	ホットヨガ、映画・音楽鑑賞、古着屋巡り	競馬、カメラ、アニメ、カフェ巡り	ゴルフ、カフェ巡り	料理、ライブ・コンサートに行く、一人飲み	一人国内旅行、プロ野球観戦、サウナ、競馬	海外旅行、スキー
閲覧番組、Webサイト・ブログ、 閲覧紙・雑誌	・水曜日のダウンタウン、世界の果てまでイッテQ！ ・NAVERまとめ、RETRIP(旅行・おでかけメディア) ・sweet、ことりっふ	・みんなのKEIBA・netkeiba.com、SUUMO、転職サイト	・カンブリア宮殿・25ans(ヴァンサンカン)	・アメトーク！、世界はほしいモノにあふれてる ・ホットペッツパービューティー	・スポーツ中継、あさイチ、チョコちゃんに叱られる！ ・スポーツナビ、美容系サイト ・LDK the Beauty	・世界はほしいモノにあふれてる ・旅行会社のWebサイト ・with
東京圏居住歴	20年以上	20年以上	20年以上	20年以上	20年以上	20年以上
出身地	埼玉県さいたま市	東京都府中市	神奈川県湘南	東京都杉並区	東京都足立区	東京都文京区
移住先候補地域(都道府県)	北海道、新潟、富山、石川、京都	北海道、宮城、群馬、静岡、愛知	京都、大阪、広島、沖縄	石川、沖縄	北海道	北海道
移住先候補地域の規模	人口5万人以上の市レベル 人口5万人未満の町村レベル	人口5万人以上の市レベル	人口5万人以上の市レベル	人口5万人以上の市レベル 人口5万人未満の町村レベル	人口5万人以上の市レベル	人口5万人以上の市レベル

【グループ・プロフィール Gr12：既婚・子あり女性】

4-21 グループ・プロフィール Gr12

	12-A	12-B	12-C	12-D	12-E	12-F
年齢	35歳	33歳	37歳	29歳	30歳	35歳
居住地	神奈川県横浜市 港北区 (東急東横線 綱島)	東京都品川区 (山手線大崎)	千葉県船橋市湊町 (総武線船橋)	東京都品川区 (山手線目黒)	東京都江戸川区 (都営新宿線船堀)	東京都杉並区 (井の頭線高井戸)
住居形態	賃貸マンション・ アパート ローン無し	賃貸マンション・ アパート ローン無し	賃貸マンション・ アパート ローン無し	分譲マンション ローン有り(夫)	賃貸マンション・ アパート ローン不明	分譲マンション ローン有り
職業	会社員(契約・ 派遣・嘱託)／ 貿易関連事務	会社員(正社員・ 事務系)／ 教育支援(総務)	会社員(正社員・ 事務系)／ 建築(営業)	会社員(正社員・ 事務系)／ 都市ガス(原料調 達)	会社員(正社員・ 事務系)／ 金融	専業主婦
勤務地	馬車道	東京	江戸川区	港区	千代田区	
同居家族	夫、9歳娘、3歳娘	夫、6歳娘	夫、0歳息子	夫、1歳息子	夫、1歳娘	夫、5歳息子、2歳 娘
趣味・関心事	旅行、音楽(ピアノ をひく)、ライブに 行く、料理	温泉旅行、ヨガ、ス キューバダイビン グ	一人旅行、ドライブ	パン屋さん巡り、散 歩	国内・海外旅行、 ミュージカル鑑賞	ピアノをひく
閲覧番組、 Webサイト・ ブログ、 読書紙・雑誌	・世界の果てまで イッテQ！ ・Yahoo!ニュース、 LINEニュース、沖 縄の不動産サイ ト、食べログ ・sweet、LDK、 andGIRL	・ニュース番組全 般 ・Instagram、 Twitter、@cosme ・美人百花	・チョコちゃんに叱ら れる！ ・くるねこくるねこ 大和による、保護 猫の里親探し等漫 画で紹介するプロ グ、ホリカンさん の子育てブログ 「空回り母ちゃん の日々」 ・ひよこクラブ	・セブンルール、ガ イアの夜明け ・SUUMO、食べロ グ ・MAQUIA	・幸せ！ボンビー ガール ・Yahoo! ・ひよこクラブ	・プラタモリ、ドキュメ ント72時間、有吉の お金発見 突撃！カ ネオくん、池上彰の ニュース そうだった のか!! ・Rakuten Fashion、 ・レッツエンジョイ東 京、ナチュラルサイ エンス、デリッシュ キッチン、クラシル、 クックパッド、サン キュ！、Oggi、anan、 日経ウーマン
東京圏 居住歴	20年以上	20年以上	20年以上	20年以上	10年以上20年 未満	20年以上
出身地	神奈川県横浜市	東京都文京区	千葉県柏市	神奈川県横浜市	千葉県千葉市	千葉県松戸市
移住先候補 地域(都道府 県)	沖縄	京都、大阪、 広島、香川、 福岡	北海道、茨城、 大阪	青森、石川、 長野、島根	北海道、沖縄	茨城
移住先候補 地域の規模	人口5万人以上の 市レベル	人口5万人以上の 市レベル 人口5万人未満の 町村レベル	人口5万人以上の 市レベル 人口5万人未満の 町村レベル	人口5万人以上の 市レベル 人口5万人未満の 町村レベル	人口5万人以上の 市レベル 人口5万人未満の 町村レベル	人口5万人以上の 市レベル

①ライフヒストリー（地元（出身地＝東京圏）への思い）について

◆地元（東京圏）への思い

ほとんどの人が好意的。交通の利便性、娯楽・イベント・店、情報、多様な人、あらゆるものが揃っている万能性が魅力。成長できる場所との認識も。

一方で、使いこなせきれない便利さ、何でも簡単に手に入るため感動がなくなる、欲望がむき出しになっている戦場であり疲れる、人が多くてせわしない、困ったときに助けてもらえない、我関せずの希薄な人間関係、など東京に長く住んでいるからこそ蓄積していくネガティブな面も感じている者が多い。

郊外出身者は、海が近く静かで穏やかな時間が流れている、治安が良く住みやすい、など地元で地方出身者と同様の思いを持つ者も多く、また、国会、多くの大企業やテレビ局があり、全ての中心、物事が決定される場所として、東京に身を置くことへの憧れがある者もいる。

代表的な発言

「恵まれた場所だと思う。地方からわざわざ東京に来る人がいっぱいいるのに、最初から東京にいれば万能だと思う。自分の見たいイベントもだいたい全部東京だったりする。しかし最近は行きたい所には全て行って、東京の便利さを自分で使いこなせない感じになってきた。ここ3、4年はどちらかといえば田舎の良さを今求めている。」（32歳・男性）

「東京はなんでも揃っているがゆえに簡単に手に取れて感動がなくなる。ただ安定はしてると思う、失業してもすぐ見つかる。」（27歳・男性）

「東京であることのメリットは成長できること。いろんな人と出会えたり、いろんな場所や情報があるので、いろんな情報を得て自分を良くしていくことができる場所と思うけれど、しんどい。1回ボキッとなった瞬間にもうゲームオーバーみたいな。」（25歳・男性）

「便利なので好き。オフィス街がまわりにあるので静か。平日は賑やか。飲んだ時に帰りやすく便利。」（30歳・未婚女性）

「好き。治安がいい。大國魂神社も近くにあって、競馬場もあるし、人もいいし町もいい。」（26歳・未婚女性）

「町の雰囲気が気に入っているのと利便性。羽田に近く、日本中どこにでも行きやすい。」（33歳・既婚子あり女性）

②移住意向及び移住を阻む障壁について、移住検討行動について

◆移住に興味を持ったきっかけ

旅行きっかけが多く、出張や転勤も比較的多い。加えて、身近な人の移住が気持ちを後押し。

普段から何となく東京のせわしなさや競争の激しい殺伐さ、過剰な便利さへの疑問などを感じているところに、旅行や出張、転勤、祖父母の家へ行った等の際に、地方のゆっくりした時間の流れ方や人の温かさに触れることで、地方の魅力がより強く意識される（東京のネガティブ面に改めて気づかされる）という傾向がうかがえる。

- ・旅行や祖父母の家に行ったとき：空気・風・きれいな海など自然に癒されて、自然や落ち着きを気に入って、のんびりした空気や人の温かさに触れて、東京は人が多くせわしないと感じていて、時間がゆっくりと流れている暮らしが気楽でいいなと思って、都会の過剰な便利さの必要性に疑問を抱いて、子連れで東京生活は肩身の狭い思いをすることが多いと感じていたときに、地方で子連れの母親へのやさしさに触れて、意外にいろいろなものがあり食べ物おいしく物価が安いと感じて
- ・身近な人の地方生活に触れて：友達が山梨に移住して楽しそうに暮らしているのを見て、友達夫婦が沖縄に移住したという話を聞いて、地方出身の同僚たちの田舎での経験話を聞きうらやましいと感じて、地方の趣味の仲間とイベント等で会う機会に話を聞いて

- ・地方生活をリアルに感じて：奥多摩から2時かけて通勤している同僚を知り、生活できるリアリティ（ある程度インフラは整備されており、インターネットがあるので情報等から断絶される不安もない）を感じて
- ・移住者の情報に触れて：旅番組等テレビ番組などで東京からの地方移住者を見て
- ・実際に滞在して：転勤時に地方の住みやすさを実感して、出張で頻繁に通った経験から、温かみのある接客や東京のようにせかせかしない穏やかな土地柄に触れて、趣味等で定期的に通っている地域が自然があり交通の便も良く家賃も安いことに良さを感じて
- ・生活が変化するとき：大学卒業後一人暮らしをしようと考えたとき、生活コストや不便さ等総合的に考えたら都内にこだわることはないと思って

代表的な発言

「今の暮らしはせわしないというか、人も多い。もともと埼玉なので結構人混みには慣れていたが、たまに旅行とかに地方とかに行くと、こういう暮らしいいなと憧れる。」(26歳・未婚女性)

「友人が山梨に移住したのがきっかけ。人と人のつながりが都内にないものを味わえて温かみがあり、毎日楽しそうに暮らしている。旅行が好きで、山梨がよく行く場所の1つで、山梨が好きになったというもある。」(36歳・男性)

「一社目の仕事で北海道や東北によく出張で行っていた。少なくとも週に1回は行っていて、札幌に年の3分の1は居るくらいだった。そこで飲食や買い物をするお店の方たちの対応が東京よりも優しいし、穏やかで温かみがある接客だと感じるが多かったのがきっかけの一つ。」(30歳・未婚女性)

「もともと沖縄に旅行に行くのが好き。仲のいい友達が夫婦で沖縄に移住したというのを聞いて、一気に身近に感じた。旅行も好きだし沖縄も好きだし、友達の話を聞いたり(どうしてそう思ったのに興味がわいた)、SNSにアップする写真を見て身近に具体的なイメージを持ってきたのがきっかけ。」(34歳・既婚子あり女性)

◆移住後の暮らしイメージ、移住先として思い描く地方のイメージ、移住先に求める条件

ライフスタイル・仕事はそのままに、働き方を柔軟に、という暮らしをイメージ。

フリーランスなど働き方は変えても仕事（職種）は変えず、ライフスタイルも大きくは変えないが、家庭菜園や釣りなどのアウトドア、大音量でギター演奏など趣味を気軽に満喫する暮らしをイメージしている者が多い。

一部の、仕事も現在のライフスタイルも変えたい者は、パソコン1台で趣味を仕事にし（例：コーヒーや、ハーブを栽培してハーブティーを販売）、自然を楽しむ暮らし、脱サラして飲食業、在宅ワークと農業などハイブリッドな働き方、などをイメージ。

移住先として思い描く地方のイメージは、名古屋、仙台、札幌など政令指定都市か、長野など中核市レベル。バス・電車が走っていて徒歩10分圏内もしくは車ですぐの距離にコンビニや大型スーパーがあり、車・バス・電車で1時間以内に東京や大阪に行けるターミナル駅や空港があるアクセスの良い都市。

ある程度“栄えている”都市のイメージも同様（例：現在の住まいや実家のある川崎市や湘南と同等）。

移住先に求める要素

直接に限らず、友人・知人を通して何らかの関わりがある地域や、旅行に行って気に入った地域という者が多い。交通の便が良いこと（特に東京へのアクセス）も要件として挙げる者が多い。

- ・なじみがある、関わりがある：親戚が住んでいる、祖父母の家がある（長野）、彼女の地元（新潟）、

- 友人が移住して勧めている（山梨）、夫の会社で仲良くなった家族の転勤先
- ・旅行で行って気に入った：沖縄、山梨（台風が避けるという気候面、趣味に紐つき水がおいしい）
 - ・交通の便が良い：東京へのアクセスが良い（新幹線のアクセスが良い）、実家（東京圏）が近い
 - ・ほど良く便利でほど良く田舎、ある程度経済が栄えていて仕事がありそうなイメージ：鹿児島、長崎、高知、鳥取
 - ・ある程度自然があって東京と違う環境：京都、石川
 - ・好きな海の近く：鎌倉、館山、海辺
 - ・知名度がある：札幌、仙台、名古屋
 - ・適度に都内の情報が入ってくる観光地など、よそ者に慣れているウェルカムな姿勢がある

代表的な発言

「今まで営業と販売をやってきたので、それ関係のフリーランスをイメージしている。普段は自宅でパソコンでオフィスワークをして、週に1度とか月に何度か都心に行って会議をしたり営業したりを考えている。近所を気にせず思い切りギターを弾いたりしたい。」(36歳・男性)

「家庭菜園とか釣りとかアウトドアをあまりやってこなかったのでもってやりたい。余暇の時間は今までできなかったことをやりたい。」(30歳・男性)

「30%。仕事の心配と、親や友達が近くにいなくなるのが心配。」(35歳・未婚女性)

「今の仕事ではないかな。在宅で仕事かなと思う。ハイブリッドな感じでやりたい。農業も専業ではなくできる範囲でやってみたい。」(33歳・既婚子あり女性)

「スーパーとコンビニは必須。郊外にあるイオンやイトーヨーカドーが好きで、その中に絶対に本屋がないといけな。書店があるかないか、そして書店の規模がその町の文化レベルを決めるバロメーターの1つだと聞いたことがあり、自分もそう思う。本屋は、トレンド、流行、社会問題が分かるので好き、というもある。車・電車・バスで1時間以内にターミナル駅や空港に行けて、そこから東京や大阪に行ければいい。」(30歳・男性)

「名古屋とか仙台とか札幌。関東から出ても多少は栄えているところというイメージ。」(26歳・未婚女性)

「多少は栄えているところ。錦とか北新地とか、割とショッピングモールがあるようなところ。」(20歳・未婚女性)

「石川県・沖縄。何回か旅行で行っているが、沖縄は暖かいし、のんびりしていてあまり働いてる人がいない、働かなくても大丈夫みたいな人がいて、ここにいれば暮らしていけるかなと思う。石川県は親戚がほぼいるので安心だし、家も選ばなければあるので。」(37歳・未婚女性)

◆移住に際しての不安、懸念

仕事、地方の人間関係の濃度、行政の支援体制などさまざま。既婚・子あり女性は、子どもに関して。

仕事があるか、地方の人間関係（自治体活動等への参加の強制度合い、濃すぎても東京と変わらない希薄さでもなくほどよい距離感か）、行政の支援体制、本当に暮らしやすいか、自分の求める条件と合致するのか等が不安なのでお試し移住ができるとよい、など。

既婚・子あり女性は、学校や学力レベル、教育水準、子どもが転校して順応できるか、小さい子ども連れで移住した話をあまり聞かない、など子どもに関する懸念が大きい。

代表的な発言

「仕事があるかどうか。職があっても安定しているかどうか。それがなければ生活を維持できないので、1番の不安。」(30歳・男性)

「町内会とかが本当に嫌なので、その部分は東京のほうがいいくらいなので、そこはよく調べて何も強制がない所にする。」

(32 歳・男性)

「行政がどれくらいバックアップしてくれるのか。田舎だと子どもを産んだりすると補助金などバックアップしてくれるところが増えていくが、そういうのがどのくらいあるのかを知りたい。」(27 歳・男性)

「住む場所が本当に自分が求めているものと合致しているのか不安。本当に暮らしやすいのかや、気候など合っているのかなど。それを確かめる手段として、お試し移住とかできるといい。」(33 歳・既婚子あり女性)

「学校とかレベルとかどんな感じなのか。学力の面でどうなんだろうと。」(35 歳・既婚子あり女性)

◆移住の確度

男性を除き、半数以上が 20%以下と低い。

男性では、3～5 年後を予定している者が多く、ある程度リアリティがある者もいる。

女性では、2～3 年後に 50%という者が 3 名いるが、顧客を獲得して出向できるようになったら、仕事を確保したら、一人暮らしのタイミングで、など時期は流動的。また、結婚、出産等ライフステージが変わったときを想定するなど、リアリティは低い。

既婚・子あり女性は、2 人の子どもの卒業のタイミングである 3 年後に 50～60%という 1 名を除き、リアリティがなく、数年後の移住確率はほぼゼロ。(移住先で求める仕事のイメージも、現在とは別の、せっかくならやったことのない地方・地域ならでの仕事にチャレンジしたいといった半ば夢物語的でリアリティがない)

代表的な発言

「5 年後くらい。気持ちは今すぐにでも移住したいくらいだが、現実を見た時にある程度の資金が必要なので 5 年は必要かなと思う。妻とも話していて賛成してくれている。」(36 歳・男性)

「休職したこともあり、資金がないので低い。ライフステージが変わったときに確率が上がるかなと思う。」(26 歳・未婚女性)

「直近の 2～3 年後なら 0%。子どもが学校に入ると難しくなるのかと思う。確率がほんと上がるのが 20 年後。」(30 歳・既婚子あり女性)

◆移住の障壁

仕事（まず確保できなければ…、見つかるか、など）と移住資金

一般的な仕事があるか、仕事を辞めても次の仕事が見つかるかなどの懸念と、転職したいと思ったときの仕事の選択肢があるのかどうか、といった仕事に関して、また、移住資金が貯まっていないことを障壁に挙げる者が多い。

そのほかは、東京にいる家族が心配なことや将来の親の介護とその時の経済力、受入先の人間関係の濃度が不明な点、行政の支援の程度、自然災害・災害時の対応・対策の心配、家族や友人と離れる寂しさなど、自分の事情、受入側の要件が挙げられた。

既婚・子あり女性は、夫の仕事、子どもの学校・友達関係をどうするかなど家族の意向・調整があり、自分一人の意思では決められない点が障壁となっている。

代表的な発言

「仕事と、行政がどれくらい支援してくれるか。仕事もなくはないと思うが、あってももしそこがなくなった時にどうするかという問題。」

「タ張で炭坑がなくなって行政が破綻したという例もあるし怖い。仕事があっても第一次産業しかない感じ。」(27 歳・男性)

「経済と人間関係。今は移住に関する資金が全くないし、行った先でいくらいかかるのかや、便利な点不便な点がどんなところかというリサーチが足りていない。人間関係的なものでいうと、向こうで住んだことがないので、周りの人間関係がどうなるのか。」(25 歳・男性)

「お金の問題と、今はバイアスのかかったブロガーの情報しかないので、実際がよく見えない。お金はうん百万円とか、150 万円くらいは必要だと思う。」(26 歳・未婚女性)

「自分の、向こうでやりたい仕事の資格が取れるか。家族の調整(夫の仕事をどうするか、子どもの学校をどうするか)。」(29 歳・既婚子あり女性)

◆移住検討行動

家賃・物件価格検索、現地調査が多い。そのほか、行政の支援体制（助成金）、移住者の話（知人、ブログ・SNS）など。

- ・インターネット検索：仕事、不動産サイト・アプリで家賃、マンション価格、必要な移住資金、どんな移住支援があるか、車がなくても生活できるか、町の情報、待機児童などをキーワード検索
- ・現地で調査：転職活動で現地で受験した際に物件を見る、現地に住んでいる取引先の人の具体的な話を聞く、駅に置いてある情報誌や地方新聞で情報収集、父の住む現地の折込チラシで物件価格や食料品の価格を見る、旅行に行って役所に有効求人倍率や最低賃金、マンションの価格帯などをヒアリング、家族で現地に長期滞在して生活に近い過ごし方をし、移住生活をリアルに体験
- ・移住イベントに参加：通りがかりにイベントに参加、移住フェア・セミナーで行政担当者と話す、移住した友人夫婦から勧められた東京開催の移住セミナーに参加
- ・身近な人の話：移住した友人に子育てのしやすさや環境面を聞く
- ・移住者ブログ・SNS：移住者のリアルを調べる
- ・移住関連雑誌：物件価格（相場）、『ソトコト』『TURNS』などを読む、『自遊人』の特集を読む、旅行雑誌を見る、など。

代表的な発言

「仕事を調べたり、近しい人の話を聞いたり。」(27 歳・男性)

「移住の雑誌で、家がいくらくらいか、物件がどのくらいで売り出されているかなどの情報を見ている。」(25 歳・男性)

「地方に移るとなると、まず家賃の話からになると思うので、アプリで気になるところの家賃を調べてみたりした。SUUMO とか有名なところのアプリで、駅から何分などの希望を入れて検索。」(26 歳・未婚女性)

「父が一人で暮らしている石川県に帰ったときに、新聞のアパートやマンションのチラシを見てこんなに広くて安いんだと思ったり、いろんな食品関係のチラシをみて相場を見たり。」(37 歳・未婚女性)

「最初は「移住 沖縄」で調べた。旅行と移住だと違うと思うので。市ごとに見たり、待機児童とか調べたり。あとは移住した友達に実際に育てやすさや環境面を聞いてみたら、イメージしやすかった。」(34 歳・既婚子あり女性)

「移住されている方のブログや雑誌、決まったサイト(SNS の知り合いの知り合いとか)を見る。移住した人が実際どうなのかというのに興味があって見ている。」(33 歳・既婚子あり女性)

◆足りない情報、求める情報

自分と同じような境遇の一般的な人の移住情報（特に仕事に関して）や、良い話ばかりでなくネガティブな情報。

仕事の情報、自分と同じ境遇の人が東京から移住した話（特にどんな仕事をしているか、リアルな就職情報）、移住のデメリット・悪い情報、リアルな生活コスト（寒冷地の燃料代など）、東京圏と移住候補地の住民税や支援制度などを一覧で比較できるサイト、など。

代表的な発言

「移住したがこういう人が残念ながら合わなくて都内に戻っていったなど、悪い情報もオープンにしてほしい。」（36 歳・男性）

「仕事の情報があまりない。転職期間中に、東京駅の近くで北海道の企業の合同説明会があったが、枠も少ないし、HP が分かりづらく検索しにくかった。」（24 歳・未婚女性）

「東京にいた人が移住したというような、同じ境遇の人の話を知りたいと思ってブログを覗くと、ブロガーだったりして特殊なので、その他大勢の人はどういう働き口を見つけたとか、そういう話がなかなか出てこない。」（26 歳・未婚女性）

「30 代のリアルな就職情報（働くママさん情報）は分からなかった。地方は元々求人数が少ないし、年齢が行くほど難しい。」（37 歳・既婚子あり女性）

③移住意向喚起のためのコンセプト等の評価

◆移住喚起コンセプトP～U案に対する評価

◎＝大半が好反応もしくは相対評価で圧倒的支持、○＝概ね好反応、△＝条件付で好反応もしくは一部に否定的反応、×＝否定的反応、－＝否定はないが自分とは関係ないという反応、空欄＝反応なし or 希薄

4-22 Iターン検討層・コンセプト評価

	未婚+ 既婚子なし男性	未婚女性	既婚子あり女性
P' 東京生活の疲れや悩みを地方生活で解消してみませんか。	○	△	×
R 豊かな自然の近くで働く・遊ぶという生き方をしてみませんか。	◎	○	◎
U ほどよい自然で、意外と都会 そんな場所で暮らしてみませんか。	◎	◎	○
S' 子育ての不安・不満を地方で解消してみませんか。	△	－	×

U、Rが好反応で、Pも、既婚・子あり女性を除き比較的好反応。

Uは、職（文明世界）住（自然）近接感があり仕事の選択肢が多くあるイメージ、都会暮らしの人が最初のステップに移住する先として良いイメージで移住をライトにとらえられるなど好反応。「ほどよい自然、ほどよい都会」でもいいのでは、という意見あり。

Rは、具体的で情景が浮かび、前向きで移住後のプラスαな生活をイメージしやすい、共感できる、と好反応。一方で、「豊かな自然」に山奥といった懸念を抱く、移住生活に自然は求めている、よくある感じといった声もある。

Pは、疲れていて気持ちに余裕がない自分にとって共感する部分があり、気持ちが病んでいるときは響く。ただし、ネガティブな表現には否定的で、疲れや悩みを地方に逃避することで解消するという方

向より、今の生活より更に良くするために行くというプラス方向の表現のほうがいいという意見あり。

◆地方自治体等の移住プロモーション表現に対する評価

4-23 Iターン検討層・プロモーション評価

	未婚+ 既婚子なし男性	未婚女性	既婚子あり女性
ア 都会の過剰なサービスがない暮らし	△	×	×
イ 子育てと仕事を両立できる暮らし	○	△	△
ウ 満員電車のない、自然と共にある暮らし	△	×	○
エ なじみのある人たちがそばにいる暮らし	△	×	×

イに比較的好反応。

イは背景の写真と合わせ、生活をイメージしやすい。ただし、今住んでいるところと全く同じような感じ、地方ではなく東京圏内の町のイメージといった声がある。

ウは、印象的で、風や鳥や風景が自然を感じさせてよいが、写真が中年女性ばかりで男性がないので仕事がないイメージや普通に仕事をしている人は歓迎されないイメージがある。

◆コンテンツの「見せ方」に対するニーズ

4-24 Iターン検討層・コンテンツ評価

	未婚+ 既婚子なし男性	未婚女性	既婚子あり女性
A 客観的なデータ（東京との比較）で見せる	○	○	◎
B 地方に移住した普通の人たちがリアルに語る	◎	◎	
C レポーターや著名人が地域の魅力を語る			
D 受入側の地元（地域）の人が、丁寧に語る	●	○	
（手段として）動画で見せる	○	○	

※●＝一部に支持あり

AとBのニーズが高い。

Bは、良いことばかりでなく、移住生活の大変なところ等、ほどよくネガティブな部分、うまくいかなかった事例なども知りたいという要望が多い。

また、Bだけでなく、Dの地元の人の声とも比較したい、Dのほうが地域の嘘偽りない生活がわかりそうといった意見もある。

動画で見せることについては、良いとの反応。

(5)U/Jターン・非意向層

【グループ・プロフィール Gr13：未婚＋既婚・子なし男性】

4-25 グループ・プロフィール Gr13

	13-A	13-B	13-C	13-D	13-E
年齢	25歳	27歳	32歳	33歳	34歳
居住地	神奈川県相模原市 (横浜線相模原)	埼玉県鴻巣市 (高崎線吹上)	千葉県船橋市 (総武線西船橋)	埼玉県さいたま市 浦和区 (京浜東北線北浦和)	埼玉県八潮市 (つくばエクスプレス 線八潮)
住居形態	賃貸マンション・ アパート ローン無し	賃貸マンション・ アパート ローン無し	賃貸マンション・ アパート ローン無し	分譲マンション ローン有り	賃貸マンション・ アパート ローン無し
職業	会社員(正社員・ 事務系)／ 商社営業	会社員(正社員・ 技術系)／ 医薬品製造・品質管理	会社員(正社員・ 技術系)／ オフィスビルの修復管 理	会社員(契約・ 派遣・嘱託)／ コンビニの運輸・配送 助手	会社員(正社員・ 事務系)／ IT関係総務事務
勤務地	新横浜	鴻巣市	中野区	朝霞市	東京都中央区
同居家族	一人暮らし	一人暮らし	妻	母	一人暮らし
趣味・関心事	カラオケ、野球・サッ カーなどのスポーツ観 戦、少林寺拳法	ランニング、音楽鑑賞、 カラオケ、料理、お酒を 飲むこと、ライブ・コン サートに行く	音楽・映画鑑賞、カラ オケ、ドライブ、ディス クユニオン巡り、バス ケットボール	ファッション、食べ歩き	ガジェット、車、食べる こと、リラックマ
閲覧番組、 Webサイト・ ブログ、 読読紙・雑誌	・月曜から夜ふかし、ガ キの使いやあらへん で、モヤモヤさまぁ～ ず ・ロケットニュース24、 キニ速(2ちゃんねるま とめサイト)	・水曜日のダウンタウ ン、月曜から夜ふかし ・Instagram、YouTube、 Twitter、Amazonプライ ム ・週刊少年マガジン、 週刊少年サンデー	・フリースタイルダン ジョン、情報ライブ ミヤ ネ屋 ・Instagram、YouTube、 Facebook、Twitter、 LINEニュース、Yahoo! 知恵袋	・アメトーク！、しゃべ り007 ・Instagram、 Facebook、LINE、メル カリ、ラクマ、PayPayフ リマ、ヤフオク！、 ZOZOTOWN、楽天市 場、Amazon ・Safari、SENSE	・NHKニュース7 ・Impress Watch、 Yahoo!ニュース、ヤフ オク！、価格.com ・Goods Press
東京圏 居住歴	3年以上10年未満	20年以上	10年以上20年未満	10年以上20年未満	10年以上20年未満
出身地	愛媛県松山市	群馬県藤岡市	茨城県日立市	山口県防府市	福島県いわき市

【グループ・プロフィール Gr14：未婚女性】

4-26 グループ・プロフィール Gr14

	14-A	14-B	14-C	14-D	14-E	14-F
年齢	22歳	23歳	23歳	28歳	28歳	37歳
居住地	東京都足立区 (千代田線北千住)	神奈川県横浜市 青葉区市ヶ尾町 (田園都市線 市が尾)	千葉県船橋市 (京成線船橋競馬 場)	東京都世田谷区 (田園都市線 二子玉川)	神奈川県川崎市 高津区 (田園都市線 高津)	東京都調布市 (京王線飛田給)
住居形態	戸建て持ち家 ローン無し	賃貸マンション・ アパート ローン有り	賃貸マンション・ アパート ローン無し	寮 ローン無し	賃貸マンション・ アパート ローン無し	賃貸マンション・ アパート ローン無し
職業	専業主婦	会社員(正社員・ 事務系)／ 玩具・営業補佐	会社員(契約・ 派遣・嘱託)／ 運送関係派遣事務	会社員(正社員・ 事務系)／ 金融関係企画・事 務	会社員(正社員・ 事務系)／ 福祉業施設の事務	会社員(契約・ 派遣・嘱託)／ アパレルメーカー 事務、貿易関係の 仕事
勤務地		池袋	品川	品川	人形町	六本木一丁目
同居家族	交際相手	一人暮らし	一人暮らし	一人暮らし	一人暮らし	一人暮らし
趣味・関心事	音楽、テレビ視聴、 チアリーディング、 器械体操、ネイル、 カラオケ、ジグ ソーパズル	アニメ鑑賞、好きな アーティストのライ ブに行く	スマホゲーム、絵 を描く	ランニング、水泳、 英会話	旅行、ダンス・ライ ブに行く、音楽フェ スに行く	一人旅行(海外)、 買い物、テレビ・映 画・音楽鑑賞
閲覧番組、 Webサイト・ ブログ、 読書紙・雑誌	・笑点、チョコちゃん に叱られる!、月 曜から夜ふかし ・Instagram、メルカ リ、Amazon、ヨドバ シドットコム	・ZIP!、関ジャニ∞ クロニクル、月曜 から夜ふかし、テレ ビ千鳥 ・VOGUE GIRL(し いたけ占い)	・アニメ ・心理テスト ・週刊ジャンプ、週 刊マガジン	・めざましテレビ(朝 の身支度時のみ)最 近はリアルタイムで のテレビ視聴をあまり していない ・DMM英会話、英会 話イーオンスクール ブログ ・特定の読書誌はな い。美容院等で気にな るものを閲覧	・ねほりんばほり ん、さまぁ〜ず×さ まぁ〜ず ・コスメブログ(お めらすさん・他韓 国コスメ系)、LIPS (コスメ・メイク・化 粧品のクチコミ検 索アプリ)	・世界まる見え! テレビ特捜部、世 界ふしぎ発見!、 報道ステーション ・まめきちまめこさ んのブログ(絵日 記ブログ「まめきち まめこねートの日 常」)、@cosme ・FUDGE、LDK
東京圏 居住歴	1年未満	3年以上10年 未満	3年以上10年 未満	3年以上10年 未満	10年以上20年 未満	10年以上20年 未満
出身地	茨城県つくば市	福岡県北九州市	長崎県長崎市	山梨県西八代郡	長野県上水内郡 飯綱町	群馬県藤岡市

【グループ・プロフィール Gr15：既婚・子あり女性】

4-27 グループ・プロフィール Gr15

	15-A	15-B	15-C	15-D	15-E	15-F
年齢	31歳	33歳	35歳	35歳	36歳	36歳
居住地	東京都大田区 (多摩川線沼辺)	東京都練馬区 (西武新宿線 武蔵関)	埼玉県さいたま市 (京浜東北線 さいたま新都心)	神奈川県川崎市 (小田急線生田)	東京都江東区 (半蔵門線住吉)	神奈川県横浜市 港北区 (横浜市営地下鉄 グリーンライン線 高田)
住居形態	賃貸マンション・ アパート ローン無し	戸建て持ち家 ローン有り	分譲マンション ローン有り	戸建て持ち家 ローン有り	分譲マンション ローン有り	戸建て持ち家 ローン有り
職業	パート・アルバイト ／福祉・調理補助 (介護施設)	専業主婦	専業主婦	専業主婦	専業主婦	専業主婦
勤務地	川崎					
同居家族	夫、4歳娘	夫、6歳娘	夫、5歳息子、2歳 娘	夫、7歳息子、4歳 息子	夫、2歳息子、0歳 娘	夫、7歳娘、 5歳娘
趣味・関心事	国内・海外旅行、ド ラマ鑑賞、海外の 事情や景色	娘とパン作り、ジェ ルネイル、飲み歩 き、娘の文房具の 手提げ袋などを作 る	買い物、公園で遊 ぶ	スキンケア、美容、 メイク、飼い猫と遊 ぶ	旅行(子どもが生 まれるまではほぼ 毎年海外旅行に 行っていた。主に アジア、子どもが 生まれてからは国 内中心)	旅行、ドライブ、カ ラオケ、テニス(月 2回程度)、映画鑑 賞
閲覧番組、 Webサイト・ ブログ、 読読紙・雑誌	・世界の果てまで イッテQ!、THE突 破ファイル、月曜 から夜ふかし ・グノシー、 Yahoo!、LINEの ニュース ・LDK、サン キュ!、Mart、 BAILA	・アメトーク!、マツ コ&有吉 かりそめ天 国、内村さまあ〜ず ・楽天、Amazon、 ディズニーストア、 LEGO、収納に関す るWebやブログ ・料理本・収納本な ど美容院にある雑誌	・ヒルナンデス!、ラ イオンのグータッチ ・コクーンシティ(さい たま新都心にある ショッピングモール のサイト)、かけみや (ほしいも工房のサ イト)、優木まおみの Instagram	・バラエティ番組、 ドラマ、水曜日のダ ウンタウン、10の秘 密(ドラマ) ・Instagram(#美 容、#マイホームア カウント)、@cosme ・美的、オレンジ ページ、Mart	・アナザースカイ、 マツコの知らない 世界、カンブリア宮 殿 ・レシピブログ、楽 天、Yahoo!ニュー ス ・sweet	・民放ドラマ全般、 ZIP!、クイズ番組 ・Instagram、メルカ リ、ZOZOTOWN ・LEE、オトナミュー ズ、Mart
東京圏 居住歴	10年以上20年 未満	10年以上20年 未満	10年以上20年 未満	10年以上20年 未満	3年以上10年 未満	10年以上20年 未満
出身地	山梨県韮崎市	栃木県那須塩原市	秋田県大館市	熊本県熊本市	宮城県仙台市	新潟県新潟市

①ライフヒストリー(地元(出身地)への思い、東京への思い)について

◆上京理由

大学進学が10名、就職5名、夫の転勤2名／全17名中。

「東京に行く」ことが目的の上京者は11/18名と多く、そのうち東京への憧れ・魅力からは9名、趣味のためが1名、とにかく実家(両親の不仲)を出たく地元との交通の便が良いのが東京だったが1名。そのほかの者は、東京へのこだわりは弱く、地元には偏差値の高い大学しかなく栄養系の大学がほとんど東京にある、高校が付属の行きたい大学が東京、音楽をやるなら東京と言われて、などの理由から。どうせ地元を出るなら、首都である東京という感覚もある。また、さまざまな大都市の中から東京が選ばれる要因は、地元からの距離の近さ(アクセスの良さ)のほか、大阪など関西の人や言葉が苦手という声が散見された。

代表的な発言

「どうせ地元を出るなら、東京に行きたかった。大阪も大きい町だけど、どうせなら首都。」(25歳・男性)

親の転勤で住んでいたことがある、親族が住んでいる/住んでいたことがある、何度も来たことがあるなど、なじみがあることが更に上京を後押しするケースも散見され、東京暮らしを経験した親から薦められるというケースもある。

東京への憧れは、テレビや雑誌等の情報はほとんどが東京発信で、そこで描かれるおしゃれで華やかな生活によって醸成される。

◆地元への思い

地元から離れたかった者が多い。東京への憧れ以上に、地元へのネガティブが強い。

地元は退屈、閉鎖的な価値観が窮屈、仕事がない。

地元から離れたかった理由は、何もなく退屈な地元比べて何でもあり華やかな東京への憧れもあるが、主に女性で、地元の古く閉鎖的な価値観・慣習に対する窮屈さから、地元・実家から離れたかった者が多い。

幼少時から社会人まで人間関係が変わらない地元の狭いコミュニティの中で成長する過程で、東京に住む親戚や東京出身の職場の同僚などからもたらされる外の世界の情報や多様な考え方・価値観に触れることで、一種のカルチャーショックを受け、地元ずっと居続けると自分がスポイルされてしまうというような危惧を覚え「この狭い世界から出たい」という思いが強くなる。

地元の閉鎖的な価値観を感じる時期は、東京の親族や高校間の交流などで、自分のいる世界が一般的でも当たり前でもなく、もっと違う世界(考え方・価値観)があることに気づき、自分が身を置くコミュニティに疑問を感じ始める中学～高校時であることが多い。

また、地元には仕事がないと認識されており、イメージではなく実際に探した上で、自分の希望する仕事(業種)や生活水準を満たすような収入の仕事はない、給料が低いという者が多い。(仕事への意識は特に男性で強い)

生活コストとのバランスについても、実際東京で暮らしてみても、家賃と家は高いが生活コストはそれほど変わらないか、かえって東京のほうが安い、生活コストの差より給与の差のほうが大きく相殺できない、車の維持費など東京よりかかるものがあるといった実感を持つ者が多い。

代表的な発言

「地元には仕事はない。就職活動していたときもあまり仕事がなかった。」(27 歳・男性)

「希望に合う自分の生活水準を満たすような仕事は田舎だとない。副業も見つけづらい。地元に戻った時に求人を見たことがあるが、給料も低いしあまりない。」(33 歳・男性)

「地元では、女の子として生まれたからにはいつか結婚して、ここに住んで子ども育ててと言われてきて、その通りに過ごす友達も見てきたけど、自分はそう思えなかった。」「貿易関係や英語を使った仕事がしたいけど、地元のほうは探したけど仕事がない。給料が低い。」(37 歳・未婚女性)

「上京して 10 年だけど、圧倒的に関わり合う人の種類が違う。田舎のほうはみんな同じがいいという空気がある。東京は個々の人種を認めてくれる。」(28 歳・未婚女性)

「地元は視野が狭い人が多く、地元に行ったら自分も視野が狭くなってしまうと思い、東京に出た。」(33 歳・既婚子あり女性)

「全国区の会社に入り、外の人たちの話を聞き、地元がつまらない、この狭いところから出たい、と思った。」

(35 歳・既婚子あり女性)

◆東京への思い

東京の魅力は、若いときに楽しいと感じる全てがあり、すぐにアクセスできる利便性、豊富な選択肢

メディアで紹介された店が目前にあり実際に行けることなど、地元にはないもの・店、出かける場所がたくさんあって何でもすぐ手に入る便利さのほか、イベント等に行きやすいなど趣味が手軽に楽しめることが東京の魅力、という者が多い。

また、(地元とは対照的に) 仕事がたくさんある(選択肢がある)、就職先が多い、稼げる(賃金が高い)ことも東京の魅力ととらえられている。

代表的な発言

「若い、いい時間をこんな田舎で過ごしていいのかと思っていた。」(35 歳・既婚子あり女性)

「東京は交通の便とかが楽。地元は楽しめるところもない。」(23 歳・未婚女性)

「イベントは東京のほうが多くやっているの、こっちのほうが便利ですぐに行ける。やっている回数も多い。」(23 歳・未婚女性)

「海外に行きたいのでよくわからない地方に行くより東京で稼ぎたい。」(37 歳・未婚女性)

「田舎は仕事もないけど、都内だと検索しただけでたくさんあるから。」(35 歳・既婚子あり女性)

上京前後のギャップでも、人の多さ・満員電車が思った以上につらい、地元比べて家が狭くて高価、など不満・衝撃がないわけではないが、日々の生活の利便性が勝り、東京生活は想定以上に楽しい、ずっと良いと、圧倒的にポジティブなものが多い。(男性では、交通の利便性が強く支持されており、ギャップもあまり感じていない)

既婚・子あり女性では、子どもに選択肢を与えたいと、東京の選択肢の多さを魅力に感じている者が多い。

地元のネガティブ(画一的、狭いコミュニティ ⇨ 東京：一番は多様なところが良い、交通の不便(車社会) ⇨ 東京：交通の便が楽。電車ですぐどこでも行ける)が一気に解消されて東京の魅力が強化される。強く印象付けられる。

今後も東京に住み続けたい者がほとんど。

東京生活に満足しており、それを上回るメリットを、地元はもちろん他の都市に見出せないから。

「地元に戻らない」には、地元よりも強い東京での友人関係が影響している。

実家・親との仲が良好な者が多いが、友人との関係性において、東京でできた友人や、地元の友人であってもほとんどが上京組であったり関東圏に住んでいるなど「東京の」友人とのつながりのほうが強いと、地元に戻らず東京に住み続ける意向が強くなる傾向が見られる。

代表的な発言

「上京してすぐ出会った趣味つながりの友達と 10 年近く経つ今でも仲良しで、歳も性別も関係なく友達ができたので良かった。」(28 歳・未婚女性)

「自分が海外の大学に行ったので、学生時代の友達も全国にいるのと、首都圏に住んでいる友達が多い。」(36 歳・既婚子あり女性)

「東京がいいのは、仲の良かった地元の友達がいるのと、便利だから。」(25 歳・男性)

「子どもの頃の親友は東京にいて、いろいろ転勤はしているが関東近郊にいる。」(33 歳・男性)

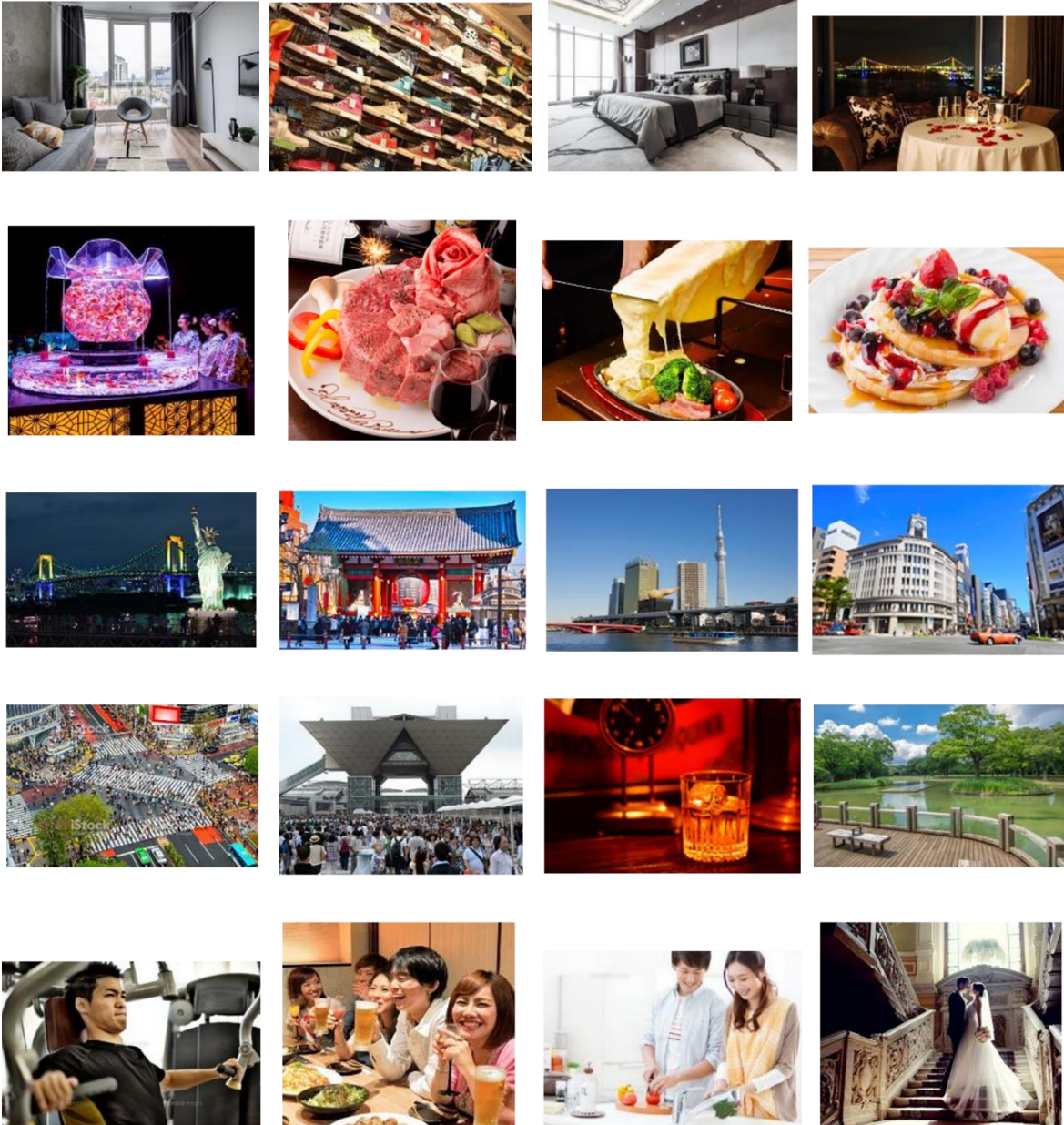
▼「東京に住み続けるかわからない」

「地元の友達とばかり仲良くしている。東京でできた友達は前の職場でできた友達で、みんなその職場を辞めてしまっていて、それから音信不通。」(31 歳・既婚子あり女性)

②『東京圏での暮らし』『理想の東京ライフ』ワーク(フォトソーティング)

※各自に、ライフスタイルやインフラ等のさまざまな写真を 200 枚程度用意し、「今後進化・充実させたいマイ東京ライフ」をテーマに、自由に写真を選びタイトルを付けてつけてもらう。

*全グループに共通して選ばれた写真



シンプルで洗練された部屋（インテリア）、豊富な選択肢、夜景を見ながらの食事などおしゃれなホテルライフ、魅力的なイベント、話題の食べ物・スイーツ、有名な観光地やお店（出かける場所の多さ、ショッピングの充実）、人の多さ・にぎわい・活気、いつでも手軽に趣味が楽しめる環境、いつでも一人の時間を充実させる場所・手段がある、落ち着ける緑・自然（癒し）、一人の時間も仲間との時間もパートナーとの時間も楽しめる、幸せな（未来の）イメージ、などが属性を問わず、東京ライフに抱くイメージ。

* 【未婚+既婚子なし男性】グループ内で共通して選ばれた写真



付けたタイトル

「すべてが充実した理想の生活」

「家族と自然や夜景、おいしい物を共に存分に楽しめる東京ライフ」「仕事はほどほどに、プライベートの充実が一番」

「仕事帰りや休日に気軽に飲みに行ける環境」「ホームパーティや色々なおいしいお店にたくさん行ける」「都会的な街並みと、程良い自然が合わさった住みやすい環境」「趣味のライブやイベントにも気軽にアクセスできる環境」

「やりたい事・かなえたい夢の近道。便利な東京ライフ」

「好きなモノに囲まれた自分の城で、出来ればハイエンドでパートナーと羨ましい生活を送りたい」

代表的な発言

「東京のいいところは何でも揃うところ。」(32 歳・男性)

「ウーバーイーツとかイベントとか癒しとか足湯だったり公園だったり、こういうのもちよっと離れば東京にはある。田舎はこれしかないけど。」(34 歳・男性)

「都会的な街並みとちよっと自然がある公園、ほど良く合わさった住みやすい環境がいいと思う。趣味のライブとかイベントに気軽にアクセスできる東京はすごくいい。」(27 歳・男性)

＊【未婚＋既婚子なし男性】のみ（2 名以上）が選んだ写真



3 名が選択



2 名が選択

⇒選択肢が多く、手近に何でも（買い物、遊び、イベント、趣味、リラックス）揃う便利なまち。

だから、24 時間いつでもどこでも、一人でも友達とも、仕事もプライベートも、充実し満たされるのが東京。やりたいこと、欲望へのアクセスが容易なことが東京の魅力。今、金銭的に余裕がなくても、やりたいことや将来に夢を描けるイメージのあるまち。

また、緑を囲むように高層ビルが建ち並ぶ写真は男性のみが選んでおり、更に上記の発言からは、（関心層・検討層に呈示したコンセプトUの）「ほどよい自然で、意外と都会」の生活環境が東京で既に実現しているといえる。

終電や駅改札の写真も男性のみが選んでおり、東京の移動・交通アクセスの利便性を魅力に感じていることが推察される。

* 【未婚女性】のグループ内で共通して選ばれた写真



付けたタイトル

「自分のしたいように生きること」

「やりたい事をできるだけ」

「自由に生きる静と動」

「これからやりたいこと、なりたいこと」

「東京でのときめく理想の暮らし」

「健康でスマートな東京ライフ」

代表的な発言

「夜スマホ見たりジムに行ったり家の中で自由に過ごせたり。お風呂とかショッピングとか、近くのカフェに入ってぼーっとしたりするのが今後できるようにしたい。」(28 歳・未婚女性)

「好きなものやときめくものを並べてみた。お肉だったりパンケーキや甘いものだったり、おいしい食べもの。デートの写真やディズニーの写真だったり、食事の写真だったり、ウエディングの写真はいいな、羨ましいなと思った。」(22 歳・未婚女性)

「カラオケが好き、ゲームやったり、ライブコンサートに行ったり、東京に住んでることですごく気軽に行けるなっていうことが、上京して思ったので、もっと行けるようになりたいと思う。」(23 歳・未婚女性)

「金銭関係で我慢しているからあまりできてない。ショッピングとかネイルも、東京に行ったら仕事とかいっぱいあるし稼げると思うし、遊び方も色々できる。」(23 歳・未婚女性)

*【未婚女性】のみ（2名以上）が選んだ写真



⇒多様な出かける場所、時間の過ごし方があり、外食やショッピング、趣味の時間、デートなど充実して楽しめるのが東京ライフの魅力と感じていることが推察され、男性と同様の傾向がある。

特に、一人の時間の充実を意識している傾向が見られる。

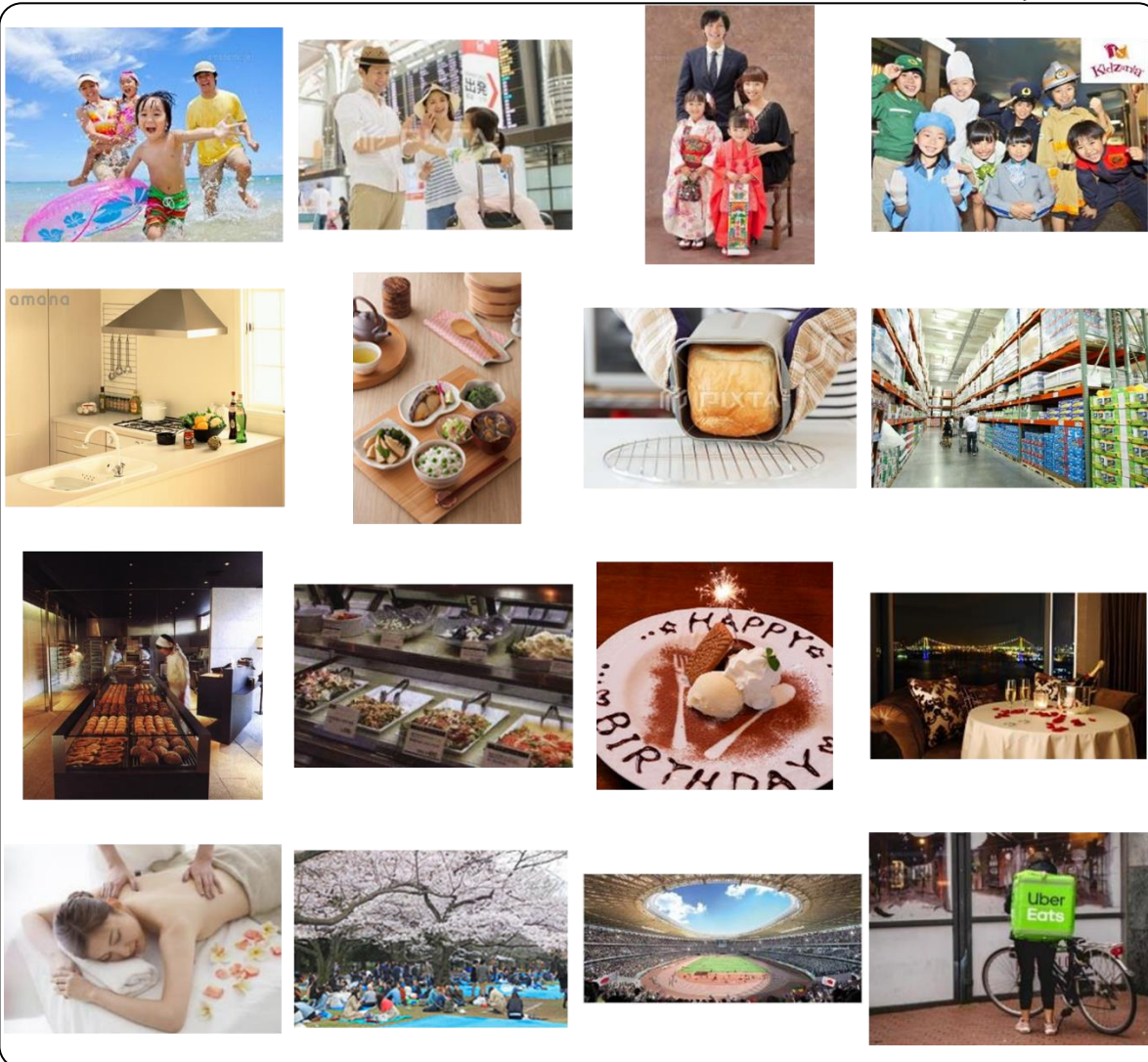
青空の下、伸びをしている写真や、海に浮かんだ船で寝そべっている写真は、未婚女性のみが選んでおり、東京ライフに、地元を感じる窮屈さとは対照的な、何ものにも縛られない自由・精神的自由を感じていることがうかがえる。

＊【既婚・子あり女性】のグループ内で共通して選ばれた写真



3 名が選択

2 名が選択



付けたタイトル

「便利な生活」

「利便性と刺激のある生活」

「家族みんなでやりたいこと楽しいこと共有したい。また個の時間も大切にしたい生活」

「温かい理想のマイライフ(家族中心)」

「私のやりたい理想ライフ」

「子どもたち中心から自分の時間、夫婦の時間へ」

代表的な発言

「雷門とかディズニーランドとかスカイツリーとかキッザニアとかオリンピックの感じとか、田舎者からするとテレビで見てたものだったので、今はすぐに行ける距離にあるのでそれは田舎と都会の違いなのかなということ。」「田舎と違って、求人もあるなあと思ったのでスマホの求人サイトの写真を選んだ。スマホ決済も、時代の流れで私も利用し始めて便利だなと思って、使えるお店もいっぱいもあると思って選んだ。」(36 歳・既婚子あり女性)

「流行りモノを楽しんだり、自分の時間もちゃんと持ちたい。自分は自分で一人の人間としての時間を大切にしたい。」(33 歳・既婚子あり女性)

「ホットヨガやエステは、余裕ができたなら自分の時間で、自分のために時間を使いたい。」(36 歳・既婚子あり女性)

*【既婚・子あり女性】のみ（2名以上）が選んだ写真



⇒家族でレジャーやライフイベントを存分に楽しむ生活を中心としながらも、自分一人の時間も、友達との時間も、子どもと一緒に、子どもにとっても、選択肢が多くそれぞれのシーンに合った楽しみ方を実現できる。家族という単位で暮らしながら、個々の時間も大事にできる、個としての「私」を大事にできるのが東京ライフの魅力と感じられていることが推察される。

また、東京にはおいしいものを手に入れるさまざまな手段があり、義務・家事としての料理ではなく、手作りが楽しいイメージを持たれていることがうかがえる。

③地方のイメージ

地方＝地元（自分の田舎）と同じくらいのところ、をイメージする者が比較的多い。

車社会で、新幹線がないといったイメージ。

代表的な発言

「人口 10 万人程度で、車があれば特に不便ではない。」(33 歳・男性)

“栄えている” 町のイメージは、交通の便が良く、さまざまな施設や人が多い。

新幹線が通っている、空港がある、主要な駅に駅ビルがある・駅前にいろいろな施設がある、公共交通機関（電車の本数）が発達している、拠点を置く企業があり働く人がいて経済活動がある、会社の数が多い、人の行き来が多いといったイメージ。

男性は、政令指定都市、人口 100 万人以上、首都圏、東京都心かその近郊など、都市規模がより大きいイメージを持っている。

(6)関係人口・実施層

【グループ・プロフィール Gr16：未婚＋既婚・子なし男性】

4-28 グループ・プロフィール Gr16

	16-A	16-B	16-C	16-D	16-E	16-F
年齢	30歳	25歳	28歳	22歳	30歳	29歳
居住地	千葉県東金市 (JR総武線 大網)	東京都墨田区 (都営浅草線 本所吾妻橋)	東京都世田谷区 (小田急線 祖師ヶ谷大蔵)	東京都八王子市 (京王線山田)	東京都目黒区 (山手線目黒)	神奈川県川崎市 (小田急線生田)
住居形態	戸建て持ち家 ローン有り	賃貸マンション・ アパート ローンなし	戸建て持ち家 ローンなし	戸建て(借家) ローン無し	賃貸マンション・ アパート ローンなし	賃貸マンション・ アパート ローンなし
職業	会社員(契約・ 派遣・嘱託/ 工場生産)/ 洗剤の製造業	会社員 (正社員・事務系)/ 教育	会社員(契約・ 派遣・嘱託/ 事務)/ 図書館	学生	会社員 (正社員・事務系)/ IT(プロダクト提案 営業)	会社員 (正社員・事務系)/ 社労士
勤務地	東金	飯田橋	永田町	西早稲田	目黒	新大久保
同居家族	父母、妹	一人暮らし	母	父母	交際相手	一人暮らし
趣味・関心事	スケートボード、ス イミング、バイク、 釣り、ゲーム	読書	ギター演奏、旅行	散歩、バイオリン、 ピアノ、トロンポー ン、食べ歩き、勉強	食べ歩き、Netflix 鑑賞、サウナなど	映画鑑賞、音楽鑑 賞
閲覧番組、 Webサイト・ ブログ、 読売紙・雑誌	・ガイアの夜明け、 カンブリア宮殿 ・楽天市場、 ZOZOTOWN、ま とめブログ、スケ ートボードのブロ グ ・読売新聞	・太田上田 ・スーパーライフ	・ポツンと一軒家 ・NAVERまとめ ・宝島社田舎暮 らし	・おはよう日本 ・YouTube ・鉄道ファン	・月曜から夜更 かし ・食べログ、retty	・痛快TVスカッ とジャパン ・Yahoo!
東京圏 居住歴	20年以上	3年以上20年 未満	20年以上	10年以上20年 未満	20年以上	20年以上
出身地	千葉県	福岡県	東京都	東京都	埼玉県	東京都
興味関心をも っている地域	北海道の札幌市や 室蘭市など、 沖縄、滋賀県の 琵琶湖周辺	福岡県	福井県若狭町	京都	長野県白馬村、 大阪府、兵庫県、 福岡県博多市	静岡県沼津市

【グループ・プロフィール Gr17：未婚女性】

4-29 グループ・プロフィール Gr17

	17-A	17-B	17-C	17-D	17-E	17-F
年齢	39歳	29歳	25歳	29歳	28歳	29歳
居住地	東京都墨田区 (総武線錦糸町)	東京都杉並区 (中央線荻窪)	千葉県白井市 (北総線千葉NT中央)	神奈川県川崎市 (田園都市線 たまプラーザ)	東京都中野区 (東京メトロ丸の内 線中野坂上)	千葉県柏市 (JR常盤線柏)
住居形態	賃貸マンション・ アパート ローン不明	賃貸マンション・ アパート ローンなし	分譲マンション ローンなし	賃貸団地 ローンなし	賃貸マンション・ アパート ローンなし	賃貸マンション・ アパート ローンなし
職業	会社員(正社員・ 事務系)/ 図書館司書	会社員(正社員・ 事務系)/保険(営 業企画)	公務員・団体職員 /行政事務	パート・アルバイト /スケート(接客・ 受付)	会社員(正社員・ 事務系)/医療事務	パート・アルバイト /運送(配達)
勤務地	錦糸町	新宿	船橋	新横浜	東銀座	柏
同居家族	交際相手	一人暮らし	父母、姉	交際相手	一人暮らし	交際相手
趣味・関心事	登山、ヨガ	英会話、マッサー ジ・エステ	グルメ、食べ歩き、 料理	フィギュアスケー ト、ゲーム、ファッ ション、読書	野球観戦、買い 物、書道	読書、録画鑑賞、 愛犬たちと遊ぶ、 ゲーム
閲覧番組、 Webサイト・ ブログ、 読読紙・雑誌	・デザイン トーク ス+ ・無印良品、 TURNS ・朝日新聞、 &premium、暮らしの 手帖	・ナニコレ珍百景、 ボツンと一軒家、は じめてのおつかい ・YouTube	・家、ついて行って イイですか？ ・ZOZOTOWN ・MORE	・スカパーのス ポーツ専門チャン ネル、月曜から夜 ふかし ・Twitter、 YouTube、仙台市 HP ・仙台たより、ス ケート専門誌、Ray	・Zip!、アメー ク!、旅猿、王様 のランチ、博多 華丸のもらい酒 ・@cosme、LIPS、 Qo ・美的	・相棒、幸せ!ボン ビーガール、警察 24時、動物番組、 ・Instagram、 Twitter
東京圏 居住歴	10年以上20年未満	1年未満	20年以上	20年以上	3年以上20年未満	3年以上20年未満
出身地	東京都	茨城県	千葉県	東京都	佐賀県	静岡県
興味関心をもっ ている地域	長野県伊那市	茨城県守谷市	鳥取県	宮城県仙台市	佐賀県鹿島市、 福岡県福岡市	静岡県

【グループ・プロフィール Gr18：既婚・子あり女性】

4-30 グループ・プロフィール Gr18

	18-A	18-B	18-C	18-D	18-E	18-F
年齢	34歳	36歳	26歳	28歳	36歳	39歳
居住地	東京都練馬区 (副都心線平和台)	東京都板橋区 前野町 (東武東上線ときわ台)	東京都大田区 田園調布 (東横線田園調布)	東京都府中市 (京王線東府中)	東京都品川区 旗の台 (大井町線旗の台)	千葉県浦安市 (東西線浦安)
住居形態	分譲マンション ローン有り	分譲マンション ローン無し	賃貸マンション・ アパート ローン無し	賃貸マンション・ アパート ローン不明	賃貸マンション・ アパート ローン無し	賃貸マンション・ アパート ローン無し
職業	会社員(契約・ 派遣・嘱託)／ 医薬品・事務	会社員(正社員・ 事務系)／ 翻訳	パート・アルバイト (育休中)／ 歯科衛生士	会社員(正社員・ 事務系)／ 保育士	会社員(契約・ 派遣・嘱託)／ アパレル・デザイ ナー	専業主婦
勤務地	渋谷	神谷町	代官山	府中	渋谷	
同居家族	夫、3歳娘	夫、0歳娘	夫、2歳娘	夫、0歳息子	夫、4歳息子	夫、0歳娘
趣味・関心事	ショッピング、映 画、 日中は教育テレ ビしか見られない ので、子どもを寝 かした後に、撮り だめた録画のドラ マを見るのが楽し み	旅行、食べ歩き、 登山、ゴルフ、ス ノーボード、ピア ノ、映画鑑賞 海外旅行や登山、食べ歩きなど アクティブに動く ことが好きだった が、今は0歳の子 どもがいるので、 専ら子育て	旅行、ピアノ 子どものおまご とのおもちゃに一 緒にはまって遊 んでいる	Jazzを聴く、テニ ス 子どもにとって、 部屋にある危な いものをどかし たり柵をつけたり している	四半世紀やって いるクラシックバ レエ	旅行、登山、ヨ ガ、映画鑑賞 子育てについ て、わからないこ とだらけで頭が いっぱい
閲覧番組、 Webサイト・ ブログ、 読書紙・雑誌	・報道ステーショ ン、モヤモヤさ まあ〜ず、充電さ せてください、大 河ドラマ ・Instagram、 NAVERまとめ、 ・LOCARI、 Yahoo!	・アナザースカ イ、世界の果てま でイッテQ!、海外 ドラマ ・子育てブログ、 旅ブログ、移住者 (地方、海外)ブ ログ ・Oggi、美的、 dancyu	・王様のブランチ ・Instagram、 Amazon、 ZOZOTOWN	・モニタリング ・Amazon、 Yahoo!ショッピング ・LDK	・情熱大陸、ブラ タモリ、家族に乾 杯 ・PRESIDENT ONLINE、 NewsPicks、ホリ エモンドットコム	・昼めし旅 ・OZmall、Yahoo! ニュース ・metro min、 Hanako、OZ magazine、山と溪 谷
東京圏 居住歴	20年以上	20年以上	20年以上	10年以上20年 未満	20年以上	20年以上
出身地	東京都	東京都	東京都	千葉県	東京都	埼玉県
興味関心をも っている地域	福岡県福岡市 (約5年前)	長野県(10年 前)、北海道(6年 前)、関西(2〜3 年前)、アメリカ (10年前)	沖縄県(5年前)	北海道札幌市周 辺(2年前)、 福岡県福岡市周 辺(2年前)	長野県上田市 (約1年前) 千葉県佐倉市 (約1年前)	長野県(約8年 前)

①東京圏(1都3県)以外で関わりのある地域、地域との関わり方について

◆関わりのある地域

「関わりがある」のは1人平均2.2地域。男性では、3.5地域と多い。

関わりのある地域は、北海道4名(札幌市1)、長野県4名(上田市1、東御市1)、福岡県4名(福岡市1、真岡市1)、静岡県3名、愛知県2名(名古屋市1)、宮城県2名(仙台市1)、福島県2名(福島市1)、大阪府2名、京都府2名、沖縄県2名、石川県(志賀)、富山県、福井県、長野県(白馬)、茨城県(守谷市、つくば市)、神奈川県2名(鎌倉市1、湯河原1)、兵庫県、鳥取県、佐賀県(鹿島市)。

◆関わりのきっかけ

親・親戚が住んでいる(実家がある)、友人・知人が住んでいるが二大要因。

そのほか、趣味や仕事のつながりなど。

実家への帰省のほか、祖父母や甥、義兄夫婦が住んでいて遊びに行く(観光の拠点として利用の場合も)、友人・知人が住んでいて定期的に訪問するというパターンが多く、「人」に会いに行くうちに、地域・地域の人柄も好きになるという場合が多い(当該地域にたくさんいる親族・友人に会いに行く、で終わっている者もいるが)。

登山やスキー、スノーボード、歴史、アニメの聖地など趣味を楽しみに定期的に訪問するパターンも散見され、更にそこに友人・知人がいることで、地域への関与・好意が強化される。

仕事関係の知人が住んでいる、副業で訪問など、仕事つながりで地域を訪問している者も見られる。そのほか少数ではあるが、東日本大震災時のボランティアで地縁ができ、知人を訪ねて継続的に訪問している者や、もともと地域資源に興味があり雑誌のイベント企画に応募して旅行に行き知り合った人に会いに訪問している者、友人の親族が移住したと聞いて興味を持った者などがいる。

代表的な発言

「祖父母の家がある長野県上田市。幼少期から年2回くらい必ず行っている。子どもができて余計に好きになった。なぜなら、空気おいしい。子どもが小児喘息だが向こうにいる間は全く咳をしない。目に見えて分かる。子育ての上でこういうことが大事というのを肌で感じた。いともいるし、友人も結構多いので、心強い場所。食べ物もおいしい。」(36歳・既婚子あり女性)

「福岡市。実家の隣県なので近いという理由に加えて、友人や親族が今でも多く住んでいるため、訪れる機会が多い。また、趣味でソフトバンクホークスの応援に行くことも多いので好きになった。」(28歳・未婚女性)

「志賀。Instagramで知り合ったスポーツ仲間との家族との交流。一回の滞在期間は3日間程度。」(30歳・男性)

「独身時代、旅行や登山が好きで、行きたい山がたいてい長野にあった。なんとなく、ここに住んでいたらしょっちゅう山登りに行けるのになという思いから。たまたま親戚やおばあちゃんが長野の近くに住んでいたりと、大学時代の友達はスノボが好きで長野駅の近くに移住していたり、何かと関わる事が多く、これまで10回以上は行っている。」(39歳・既婚子あり女性)

「長野と北海道に関しては、ずっと登山、スキー、スノボをやっているの、自然がたくさんあって趣味の部分でも充実することができて、毎年行っていて、友達もたくさんいる。子育て環境の良さも聞いている。空気がいい。本気で住むところを探してみたり、旅行に行つて友人の話を聞いたりなど、引っ越したくてしょうがない。」(36歳・既婚子あり女性)

「静岡。アニメの舞台になっており、聖地巡礼という形で数ヵ月に一度くらいのペースで訪問している。」(29歳・男性)

「仙台市。もともと歴女で伊達政宗が好きで、13年前くらいから憧れの土地で、当時人気だったフィギュアスケートの荒川静香選手が出演するショーに友人に誘われ初めて見る世界と、まだ有名になる前の羽生結弦選手に感動して、すぐに夢中になって仙台に通い詰めるうちに、綺麗な七夕祭りを見たり、伊達政宗の歴史を感じたり、美味しい名物を食べて、サンドイッチマ

ンのライブを見たりして、仙台は自分の好きな物でいっぱいな街だと気付いた。行くたびに帰りたくないな、ここに住みたいというも考えるようになった。」(29 歳・未婚女性)

「東日本大震災以降、ボランティアで地縁ができ、知人を訪ねて継続的に訪問。震災以降、住まい方や暮らしについて考えるようになり、都心部の生活スタイルが自身の体質に合わないと感じるようになった。接触メディアは雑誌や WEB の『TURNS』。」(39 歳・未婚女性)

「鳥取。もともと砂丘に興味があり、雑誌のイベントに応募して旅行に行った。親戚も住んでいる。」(25 歳・未婚女性)

◆関わりのある地域での過ごし方

親族や友人の家に、2泊3日～1週間程度滞在し、おいしいものを食べてゆっくりくつろぐ、あるいは、趣味を楽しむといった過ごし方。

代表的な発言

「魅力は、ごはんがおいしい。訪問しても特に観光するわけではなく、ほぼ食べるだけな感じ。福岡の人がそういう人が多いのかもしれないが、おいしいもの・店をどんどん教えてくれる方が多くて行くような感じ。」(34 歳・既婚子あり女性)

「趣味でソフトバンクホークスの応援に行くことも多いので好きになった。」(28 歳・未婚女性)

◆関わり方

関与先行型が圧倒的に多い。

親戚や友人が住んでいるから訪問するという関与先行のパターンが多く、関心先行は、趣味と関係する地域、地域資源への関心から、震災による災害地域、程度。

代表的な発言

「大学時代の親友が住んでいる。今でも遊びに行く。」(30 歳・男性)

「副業のために訪れる。」(22 歳・男性)

「友人がゲストハウスを運営しており、そこを滞在拠点として定期的又は継続的に訪問している。」(39 歳・未婚女性)

「完全に憧れが先行。雪国に住みたいという憧れがあった。そして実際に行ってみて、より一層好きになった。」(36 歳・既婚子あり女性)

◆関わりが継続したり、深まったりしていったきっかけ

地域の人との触れ合いや地域の一員のように過ごすことが要因として多い。

地域の人と触れ合って温かさを感じたり親切に接してくれることでまた行きたいという気持ちが促進されたり、地域のイベント参加や地域の知人の実家に滞在させてもらい現地で生活するように過ごすことで、関わる人・知人が増えていき、関わりが深まっていくケースが多い。

一方で、ふるさと納税をしている者も散見されるほか、おいしい食べ物が魅力で・食べ物を目的に地域を訪れる、観光・消費的関わりも多く見られ、両者どちらの関わり方ともしている者もいる。

代表的な発言

「焼き肉や寿司を堪能するために訪れる。その地域の人たちの人間的な温かさを感じた。」(22 歳・男性)

「地域の人が親切に接してくれてさらに好きになった。」(28 歳・男性)

「地域のイベントに参加したり、住民と知り合って、宿泊施設ではなく実家に滞在させてもらい現地の生活に近づくことで関わり

が深まっていった。」(39 歳・未婚女性)

「旅行や、また、仕事で関わったりするうちに、知人が増えていったり行きつけの店が増えたりしたことで関わり方が増えていった。ふるさと納税もしている。返礼品が長野も北海道もすごくいい。」(36 歳・既婚子あり女性)

「魅力は、ごはんがおいしい。訪問しても特に観光するわけではなく、ほぼ食べるだけな感じ。福岡の人はおいしいもの・店をどんどん教えてくれる方が多くて行くような感じ。友人の家族も『あそこの店行った?』と言ってくれたりして、またあそこのお店に行きたいというのが多く、何度も行くという感じ。」(34 歳・既婚子あり女性)

②関係人口・実施のメディア等関連行動について

◆今後の関わり方の変化の意向

より一層地域の理解を深め、つながりを深めていきたい者がほとんど。

いつかは移住したい者も比較的多い。

代表的な発言

「地元の人とずっとつながっていききたい。できるだけ出かけたり、イベントに参加してつながりを深めていきたい。普段の生活と違って自分の心を癒せる場所なので、ずっと大事にしていきたいから。」(28 歳・男性)

「地域で生活したいと思っている。食べ物も美味しいし、人も東京と違って優しい人が多かったから。」(22 歳・男性)

「もっと地域の人とつながりたい、魅力を知って知らない人を観光で案内したい。」(25 歳・未婚女性)

「可能ならば移住したい。」(29 歳・未婚女性)

「父と、夫のほうが乗り気。移住を本格的に考えている。上田市に住めば、家賃がかからない、住居費がかからない。」(36 歳・既婚子あり女性)

「直近ではないが、将来的に、子育てが終わったくらいには夫と移住したい。」(34 歳・既婚子あり女性)

◆地域に興味を持ってから関わりを持つまでのメディア関連の具体的行動

SNS 等で情報をチェックしている者が多い。地域の行事や都内でのイベントへの参加も見られる。

Instagram、Twitter、Facebook で情報発信している者も多い。

SNS をはじめ、インターネットで地域のイベントやグルメ情報を検索したり、地域に関連するイベントに参加してそこで知り合った人と交流を広げたりしている。移住に向けた情報収集をしている者も。

また、地域の情報、旅行の様子、地域の飲食店を Instagram や Twitter で発信している者も比較的多い。

代表的な発言

「SNS をチェックしたり地域の行事に参加している。また募金なども積極的に行なっている。」(30 歳・男性)

「SNS のアカウントをフォローしてしばしばチェックした。」(28 歳・男性)

「都内で行われているイベントに積極的に参加している、知り合った人を訪ねたり、聞いた新たな場所に訪れるために旅行の計画を立てて訪問している。」(25 歳・未婚女性)

「SUUMO など物件情報などを調べるようになった。食べログなどで地元の飲食店を調べるようになった。地域での転職先を探すようになった。チェックした。」(30 歳・男性)

「旅行のキュレーションサイトとかなんとなく見たりして、ここ行こうかなと思ったり、知人の Facebook を見て、こういう場所があるんだとか、知らない場所を知る。」(39 歳・既婚子あり女性)

「Instagram や Twitter で旅行の様子を投稿した。」(22 歳・男性)

「当該地域の NEWS 情報を日頃から見ていて、情報発信もしている。」(29 歳・未婚女性)

「旅行は結構タグ付けして、Facebook など、ここおいしかったみたいなのを料理の写真とともに上げる。店がタグ付けされていて、『行ってみたい、紹介して』とか言われる。」(36 歳・既婚子あり女性)

◆関係人口を増やすために必要なこと

地域アピールを前面としない、地域に関連したイベントや体験などとの出会い。

地域を PR するイベント等でなく、おいしい物や楽器演奏によるミニコンサート、子ども向けのモノづくり体験（いずれも地域の特産品や文化に根差したもの）など、ふと通りかかったときに触れられることで自然と地域に興味を持てるような仕組みが良いとの意見が多い。

人が集まるような場所、日常的に訪れるような場所など、自ら能動的にアクセスしなくとも出会えるような方法も効果的という声が多い。

代表的な発言

「意図しないで行った場所で、深い情報があると、知るきっかけになる。物産展とかは意思を持っていくところだが、都内のどこかのストリートとか人が集まる場所で物産展に留まらないイベントなどがあると、知るきっかけになるのではないか。」(28 歳・既婚子あり女性)

「家の近所にイオンがあって、先日も福島の食品のイベントを、入ってすぐのスペースで催事みたいなのをやっていて、ほかにも山形とか京都とかいろいろな地域の結構やっているのだが、そういうのは見る。日常的に買い物に行く場所でやっていると見やすい。このあいだも津軽三味線のコンサートとかやっていて、興味がわく。」(34 歳・既婚子あり女性)

「コンサートとかそれ目当てではなく、ハーバリウムつくれますとか子どもを巻き込んでもできるイベントがあって、工芸品をつくる体験とかあるとやったりする。」(36 歳・既婚子あり女性)

(7) 関心層、検討層に関する考察

定性調査の結果から、情報収集等移住検討行動では、検討層はさまざまな情報ソース・内容を検索している傾向があるが、単純に情報量や頻度の多さが移住確度の高さと相関しているわけではない。確度の高い者は、移住したあるいは地方で暮らしている、信頼できる身近な人からリアルな生活の実態を聞いたり、実際に現地を訪問して現地での暮らしを肌で感じてシミュレーションしており、これらが確度を高めるポイントとなっていることがうかがえる。

関心層は、移住先での具体的・現実的な暮らしのイメージが描けておらず、現在よりも豊かな、あるいは望むような生活ができるといった具体的なベネフィットが見えていないことが、「今の生活を“捨てて”まで移住する動機がない」と表現されるような、**関心層に留まる理由**となっている。

関心層を検討層へ移行させるきっかけとしては、信頼できるリアルな移住生活の情報への接点・接触を増やし、苦労やデメリットも含めて、それでも移住して良かった、デメリットを上回るこんな素敵なおことがある、といった移住活動・移住生活のベネフィットを感じさせること、東京生活と天秤にかけたときにプラスαになる、ワクワクする暮らしをイメージさせることが必要と思われる（例えば、「移住したことで時間もお金にもゆとりができた」ということを、「東京にいたときより海外旅行に2倍行けるようになった」と表現し、具体的な生活の変化に転換して見せるなど）。同時に、まずは1週間から試せる移住制度を拡充したり、それに伴う費用を補助したりするなど、物理的にも心理的にも移住のハードルを下げ、もっと気軽に移住にトライできるような、ゲーム感覚で取り組めるような施策も考えられる。

一方、検討層では、イメージではなくリサーチをした上で実際、希望するような仕事がない、あるいは選択肢が少ないこと、喫緊の課題として相応の移住資金が必要なこと（元手がない）が**検討層に留まる理由**（自分ではどうしようもない事情や、時間が必要なことから、計画しても実行できない）となっている。

検討層を計画層へ移行させるきっかけとしては、検索したときに選べるほど仕事・求人があることや、一般的な企業で東京と変わらない仕事に就いて楽しく幸せに暮らしている、自分と重ね合わせて見られるロールモデルとなるような移住者の事例に多数触れられること、及び移住資金の一部提供や一部返済免除の給付型奨学金、空き家やシェアハウス等現物支給による実質家賃無償のような、移住に伴う経済的負担を軽減する仕組み（いずれもイメージも含め足かせがないことが重要）の周知が必要と思われる。

なお、地方圏出身者にとっては、「地元のネガティブ」も移住検討のネクストステップに進まない要因の1つとなっているが、地元の好ましい人間関係はそのままに、閉鎖的な価値観による悪影響から逃れられる、地元に近い都市（中核市レベル以上）という選択肢を示すことで、1つ上の層へ移行させるきっかけとなり得ると考えられる。

	U/Jターン	Iターン
関心層	◆移住興味きっかけ 出張・転勤、テレビ ◆移住検討にあたり欲しい情報 自治体等のサポート体制、家・土地等の価格、移住後の人生プラン事例など ◆移住に際しての不安、懸念 仕事（職種はある？ 収入減？） ◆移住の障壁 今の生活を全て捨ててまで移住せざるを得ない切迫した状況、理由がない 地元のネガティブも散見	◆移住興味きっかけ 旅行、（未婚女性で）東京生活に疲れ ◆移住検討にあたり欲しい情報 普通の仕事に就いた移住者情報 東京と地方の生活比較シミュレーションなど ◆移住に際しての不安、懸念 地域での人付き合い、濃い人間関係 ◆移住の障壁 移住せざるを得ない切迫した状況でない（主に男性）仕事、移住資金
検討層	◆移住興味きっかけ 旅行、自身・身内の転機、地元の進化 ◆移住検討行動 仕事、物件情報 移住者の声（SNS・ブログ） 移住イベント参加 ◆不足/欲しい情報 移住生活のデメリット、同世代の普通の人のリアルな移住生活の様子 ◆移住に際しての不安、懸念 仕事（職種はある？ 収入減？） マイナス情報が出てくる（移住意向減退） ◆移住の障壁 仕事（男性）、地元のネガティブ（女性） 移住資金も散見	◆移住興味きっかけ 旅行、出張・転勤、身近な人の移住 ◆移住検討行動 家賃・物件価格 現地訪問・調査 行政の支援（助成金） 移住者の声（知人、ブログ・SNS） ◆不足/欲しい情報 仕事情報（移住者の就職情報）、同境遇で東京から移住した人の話、東京VS地方のコスト・支援制度等の一覧比較サイトなど ◆移住に際しての不安、懸念 仕事、濃い人間関係、行政の支援体制 ◆移住の障壁 仕事の選択肢、移住資金

4. 広報戦略に関する要点整理

◆＜関心層＞の移住喚起コンセプトP～T案に対する評価

※初日に実施したグループの反応を見て、表現を変更したコンセプトを呈示しているため、グループにより呈示していないコンセプトについては、マトリクスのセルに斜線を表示している

◎＝大半が好反応もしくは相対評価で圧倒的支持、○＝概ね好反応、△＝条件付で好反応もしくは一部に否定的反応、×＝否定的反応、－＝否定はないが自分とは関係ないという反応、空欄＝反応なし or 希薄

U／Jターン・関心層

4-31 U／Jターン関心層・コンセプト評価

	未婚＋ 既婚子なし男性	未婚女性	既婚子あり女性
P 東京生活の疲れや悩みを解消する方法があります。		×	×
P' 東京生活の疲れや悩みを解消してみませんか。	×		
Q 将来への漠然とした不安を解消する方法があります。		×	×
Q' 将来への漠然とした不安を解消してみませんか。	△		
R 豊かな自然の近くで働く・遊ぶという生き方をしてみませんか。	◎	○	○
S 子育ての不安・不満を解消する方法があります。		－	×
S' 子育ての不安・不満を解消してみませんか。	－		
T あなたの帰りを心待ちにしている人達がいる地元で暮らしてみませんか。	△	△	◎

Iターン・関心層

4-32 Iターン関心層・コンセプト評価

	未婚＋ 既婚子なし男性	未婚女性	既婚子あり女性
P' 東京生活の疲れや悩みを（地方生活で*）解消してみませんか。	○	○	×
Q' 将来への漠然とした不安を解消してみませんか。			×
R 豊かな自然の近くで働く・遊ぶという生き方をしてみませんか。	○	△	◎
U ほどよい自然で、意外と都会 そんな場所で暮らしてみませんか。	◎	◎	
S' 子育ての不安・不満を（地方で*）解消してみませんか。	－	△	×

*は、男性および未婚女性のみに呈示

U／Jターンは、

「R. 豊かな自然の近くで働く・遊ぶという生き方をしてみませんか。」に好反応で、

「T. あなたの帰りを心待ちにしている人たちがいる地元で暮らしてみませんか。」も、地元（実家や

友人)との関係性が良好な者には響く。

Rの留意点として、「豊かな自然」＝ド田舎をイメージさせないビジュアルなどの工夫が必要。

また、地方自治体の移住プロモーション表現に対する評価で、「都会感と自然のバランスの良さ」への支持が高いことから、「U. ほどよい自然で、意外と都会 そんな場所で暮らしてみませんか。」の受容性も高いことが推察される。

I ターンは、

「U. ほどよい自然で、意外と都会 そんな場所で暮らしてみませんか。」に好反応。

自然との暮らしが始められやすいイメージがあり、移住へのハードルを下げる。

◆＜関心層＞のコンテンツの「見せ方」に対するニーズ

U／J ターン・関心層

4-33 U／Jターン関心層・コンテンツ評価

	未婚＋ 既婚子なし男性	未婚女性	既婚子あり女性
A 客観的なデータ（東京との比較）で見せる	●	◎	◎
B 地方に移住した普通の人たちがリアルに語る	●	△	
C レポーターや著名人が地域の魅力を語る	●		
D 受入側の地元（地域）の人が、丁寧に語る	○	●	
（手段として）動画で見せる	×	×	×

※ ●＝段階に応じて全て必要との意見、又は、一部に支持あり

I ターン・関心層

4-34 Iターン関心層・コンテンツ評価

	未婚＋ 既婚子なし男性	未婚女性	既婚子あり女性
A 客観的なデータ（東京との比較）で見せる	○		◎
B 地方に移住した普通の人たちがリアルに語る	○		○
C レポーターや著名人が地域の魅力を語る			
D 受入側の地元（地域）の人が、丁寧に語る		○	
（手段として）動画で見せる	○	○	

U／Jターンは、

「A. 客観的なデータ（東京との比較）で見せる」に支持が高い。

具体的・実証的で信憑性がある。

男性はいずれに対しても一定の支持があるが、「D. 受入側の地元（地域）の人が、丁寧に語る」が、移住者を歓迎する印象があり、支持が高い。

Iターンは、

「A. 客観的なデータ（東京との比較）で見せる」と「B. 地方に移住した普通の人たちがリアルに語る」共に支持が高い。

Bの留意点として、良い面だけでなく負の面も語られること、あくまで一般的な仕事をしている普通の移住者が語ることが必要とされる。

◆＜検討層＞のコンテンツの「見せ方」に対するニーズ

U／Jターン・検討層

4-35 U／Jターン検討層・コンテンツ評価

	未婚＋ 既婚子なし男性	未婚女性	既婚子あり女性
A 客観的なデータ（東京との比較）で見せる	○	○	◎
B 地方に移住した普通の人たちがリアルに語る	○	○	○
C レポーターや著名人が地域の魅力を語る			
D 受入側の地元（地域）の人が、丁寧に語る		●	
（手段として）動画で見せる			

※ ●＝一部に支持あり

Iターン・検討層

4-36 Iターン検討層・コンテンツ評価

	未婚＋ 既婚子なし男性	未婚女性	既婚子あり女性
A 客観的なデータ（東京との比較）で見せる	○	○	◎
B 地方に移住した普通の人たちがリアルに語る	◎	◎	
C レポーターや著名人が地域の魅力を語る			
D 受入側の地元（地域）の人が、丁寧に語る	●	○	
（手段として）動画で見せる	○	○	

※ ●＝一部に支持あり

U／J ターンは、

「A. 客観的なデータ（東京との比較）で見せる」と「B. 地方に移住した普通の人たちがリアルに語る」の組合せに支持が高い。

I ターンは、U／J ターン同様、

「A. 客観的なデータ（東京との比較）で見せる」と「B. 地方に移住した普通の人たちがリアルに語る」共に支持が高い。

Bについては、U／J ターン・I ターンともに、語る人は同世代の一般的な事務職をしている普通の人たちで、語る内容は移住のメリット・デメリット両方であることが必要とされる。

全般的に、「D. 受入側の地元の人が、丁寧語る」に対しても一定の支持がある。

◆閲覧メディアについて

関心層・検討層とも、Yahoo!及びInstagram、Twitter、YouTube など SNS の閲覧が多い。男性は特にYouTube、女性はInstagram、また、美容系のサイト・ブログが多い傾向。また、SUUMO等の不動産サイト、マイナビ等の就職・転職サイト、旅行関連サイトの閲覧も散見される。

なお、地方自治体等の移住プロモーション表現に対する評価の結果からは、コンセプト等の表現に対し、メッセージだけでなく背景の写真等ビジュアルからも多くの情報を認知・判断していることがうかがえ、ビジュアルも重要な要素の1つであると考えられる。

第5章 広報戦略

1. 広報基本方針

今回の広報事業の目的は、東京圏在住の若年層を中心に地方暮らしへの関心を高め、「今後、地方で暮らすという選択肢もあり得る」と思ってもらうことである。（地方公共団体の主な広報目的である「当該地域で暮らしたいと思ってもらうこと」とは異なる。）

このため調査結果を基にして広報施策の効果が高いと考えられるターゲット層を絞り込み、同層に対して広報アプローチを行い、移住意向を強めることを基本方針とする。

具体的には、ターゲットに対して最適な手段で「地方暮らしに魅力を感じるコンテンツ」を提示するために、ターゲットの興味を引く WEB 広告を効果的に到達させて、内閣官房/内閣府が新たに制作する WEB サイト（以下「地方暮らしの魅力案内 WEB サイト」）に誘引し、「地方暮らしに魅力を感じる」WEB コンテンツを提供することとする。

2. 広報ターゲット

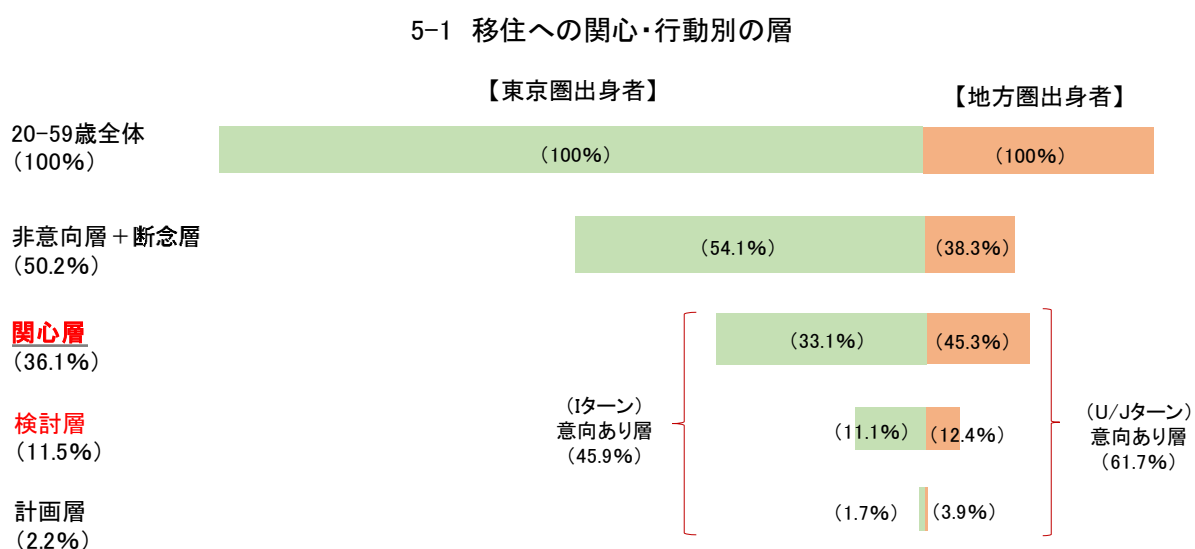
(1) 移住への関心・行動別の層について

ターゲット層については、定量調査の結果から、人数の多い関心層を主なターゲットとする。

ただし、検討層の中にも移住意向はあっても積極的な情報収集活動をしていない関心層に近い人もいる。このため、一部検討層もターゲットに入れることとする。

① 定量調査結果から、

下図に見るとおり、非意向層と断念層を除く、関心層、検討層、計画層の中では関心層の割合が高い。



* 調査対象 10000 人のうち、東京圏出身者は 7508 名、地方圏出身者は 2492 名であり、人数比率は約 3 : 1 であった。

② 定性調査結果等から

検討層の中にも移住に関心はあるが、移住候補地域の情報収集活動をしていない、あるいは移住セミナーに参加していないなど、積極的な活動をしていない人もいる。

また、有識者ヒアリング結果から、今回本調査で定義した関心層と検討層は具体的な行動で明確に分かれているわけではなく、線引きが難しいという指摘もあった。

② 広報戦略の視点への反映点

今回の広報戦略としては、「1. 広報基本方針」に記載したとおり、東京圏在住の若年層に「今後、地方で暮らすという選択肢もあり得る」と思ってもらえることなので、ターゲットは、移住に関心はあるが何もしていない「関心層」に設定する。

【地方圏(U/Jターン)か、東京圏(Iターン)かについて】

今回の調査結果から、地方圏出身者（U/Jターン）又は、東京圏出身者（Iターン）のどちらかに絞り込むことは行わない。また、調査結果からみられたインサイトより地方圏出身者（U/Jターン）と東京圏出身者（Iターン）に対してそれぞれ異なる広報戦略が必要だと考えられる。

（以下、地方圏出身者（U/Jターン）はU/Jターン、東京圏出身者（Iターン）はIターンと記載する）

①定量調査結果から

関心層の出現率は、U/JターンがIターンに比べて高くなっている。しかし、回答の実数値では、もともと東京圏出身者の母数が多いため、Iターンの関心層がU/Jターン関心層の倍程度となり、Iターンの関心層をターゲットとすることは、広報対象としての効率性が高いことがわかる。

5-2 各層の出現率

1段目：度数 2段目：横% n=10000		関心層	検討層	計画層	非意向層	断念層
地方圏出身者 U/Jターン	2492	1129 45.3	310 12.4	96 3.9	888 35.6	68 2.7
東京圏出身者 Iターン	7508	2485 33.1	837 11.1	126 2.7	3809 50.7	254 3.4

②定性調査結果から

U/Jターン層のほうが、良くも悪くも地方との結びつきが強く、親戚や友人など人間関係の基盤が整っている利点は大きい。出身地に戻ることには抵抗があっても、近隣の地方都市（コンパクトな地方都市）にJターンするという意見もいくつかみられた。

(2)年齢層について

ターゲットとする年齢層は主に 20 代、30 代の男女とする。

定量調査結果から

- ・ 20 代の移住への関心が高く、次いで 30 代男女の移住への関心が高い。
- ・ 男女合計でみると、移住への関心は 20 代、30 代、40 代、50 代と、年齢層が上がるほど、関心が低くなっている。

5-3 年齢層

〈意向あり〉

(%)

n=			関心層	検討層	計画層	意向あり層	非意向層	断念層
	TOTAL	10000	36.1	11.5	2.2	49.8	47.0	3.2
性別	男性	5091	38.0	13.5	2.7	54.2	42.1	3.7
	女性	4909	34.2	9.4	1.7	45.3	52.0	2.7
年代別	20-29 歳	2051	39.9	12.4	4.1	56.4	39.8	3.8
	30-39 歳	2575	35.7	11.1	2.4	49.2	47.4	3.4
	40-49 歳	3075	35.5	10.8	1.6	47.9	49.4	2.8
	50-59 歳	2299	34.1	12.0	1.1	47.2	49.7	3.1
性・年代別	男性 20-29 歳	1056	39.2	13.3	4.3	56.8	38.5	4.7
	男性 30-39 歳	1313	36.8	12.9	3.2	52.9	43.4	3.7
	男性 40-49 歳	1560	38.3	13.7	2.1	54.1	42.6	3.4
	男性 50-59 歳	1162	37.9	14.1	1.5	53.5	43.2	3.3
	女性 20-29 歳	995	40.6	11.6	3.9	56.1	41.2	2.7
	女性 30-39 歳	1262	34.5	9.2	1.7	45.4	51.5	3.2
	女性 40-49 歳	1515	32.5	7.8	1.2	41.5	56.4	2.1
	女性 50-59 歳	1137	30.3	9.8	0.6	40.7	56.3	3.0

(3)子どものいる世帯、いない世帯について

子どものいる世帯、いない世帯については、子どものいない世帯を主な対象とする。

①定量調査結果から

関心層の割合は配偶者の有無で大差はない（未婚と既婚者の差は1％）。一方、子どもの有無では、子どもなし 39.5％、子どもあり 35.6％と約4％の差があり、子どもなしの世帯がターゲットと考えられる。

②定性調査結果等から

子育て中の世帯は日常の生活に追われ、移住を考える余裕がないという意見もある。また、有識者ヒアリングから得た示唆である「生活を変えることには多大な労力を要する」という指摘を加味すると、子どもありの世帯に対しては、より具体的な動機付けが必要になると考えられる。特に東京圏出身者（Ｉターン）は、子育て等において、実家の援助を受けていることもあり、その利便性を捨てて移住には踏み切れないのではないかと懸念もある。（Ｕターンの裏返し）

また、子どもが大きくなってから、あるいは自身や配偶者の定年退職後に移住を考えるという意見も見られたが、移住の時期を鑑みると、今回の広報戦略のターゲットである「若年層」からは外れてしまう。そのため、子どものいない世帯を対象とすることが適当であると考えられる。

			5-4 世帯の状況					(%)
n =			関心層	検討層	計画層	非意向層	断念層	
	TOTAL	10000	36.1	11.5	2.2	47.0	3.2	
配偶者の有無	未婚	4326	35.9	12.1	2.7	46.1	3.1	
	結婚している (事実婚含む)	5296	36.9	11.2	1.9	47.5	2.6	
	答えたくない	378	27.5	7.7	1.9	49.7	13.2	
子どもの有無	子どもあり	3474	35.6	10.2	1.4	50.4	2.4	
	子どもなし	1822	39.5	13.1	2.7	41.9	2.9	
子どものうち就学児の有無	子どもあり (未就学児童)	1481	35.9	10.4	2.0	48.3	3.3	
	子どもあり (未就学児童以外)	1993	35.4	10.1	1.0	51.9	1.7	

5-5 20代～30代 関心層子どもあり

関心層の出現割合(20歳～39歳で結婚している(事実婚もあり)人のみ)

	TOTAL	関心層	検討層	計画層	非意向層	断念層
1段目:度数						
2段目:横%						
TOTAL	1923	729	215	53	871	55
	100.0	37.9	11.2	2.8	45.3	2.9
子どものいる世帯	1287	464	129	28	629	37
	100.0	36.1	10.0	2.2	48.9	2.9
子どものいない世帯	636	265	86	25	24.2	18
	100.0	41.7	13.5	3.9	38.1	2.8

(4)ターゲット設定のまとめ

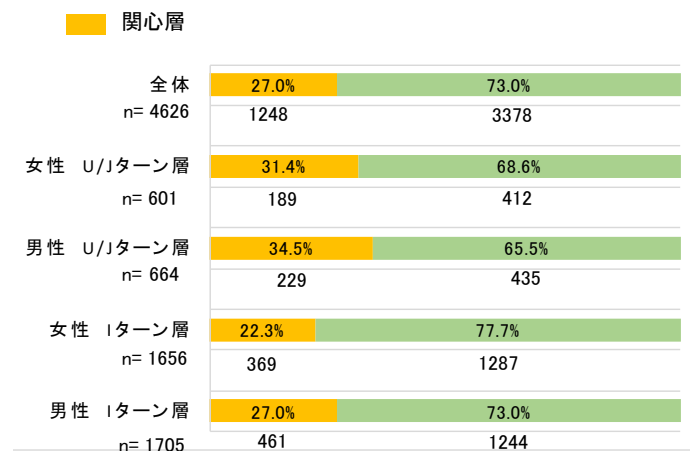
ターゲット層は、前提として子どものいない(独身+既婚)20代、30代の「関心層」とし、男女別及びU/Jターン・Iターン別で検討することとする。

ターゲット層の4区分は以下のとおり。

- ①女性 U/Jターン層(地方圏出身)
- ②男性 U/Jターン層(地方圏出身)
- ③女性 Iターン層(東京圏出身)
- ④男性 Iターン層(東京圏出身)

調査対象者10000人のうち、調査結果から20代～30代は4626人で、今回の広報のターゲットは27.0%、1248人であった。

5-6 20代～30代の関心層の出現



3. 広報内容(基本コンセプト)

定性調査（グループインタビュー）では、各ターゲットに向けた広告制作の参考にするために、下記5つのコンセプトについての評価を実施した。

P.「東京生活の疲れや悩みを地方生活で解消してみませんか。」

Q.「豊かな自然の近くで働く・遊ぶという生き方をしていませんか。」

R.「ほどよい自然で、意外と都会 そんな場所で暮らしてみませんか。」

S.「子育ての不安・不満を地方で解消してみませんか。」

〔U／J ターンのみ〕 T.「あなたの帰りを心待ちにしている人達がいる地元で暮らしてみませんか。」

評価の結果からは、U／J ターン層と I ターン層では、コンセプトの評価が異なった。

ターゲットごとに反応の良かったコンセプトは下表のとおり。

5-7 ターゲットごとに反応の良かった広報のコンセプト

ターゲット層	広告のコンセプト
① 女性 U／Jターン層	Rの「ほどよい自然で、意外と都会 そんな場所で暮らしてみませんか。」と、 Tの「あなたの帰りを心待ちにしている人達がいる地元で暮らしてみませんか。」
② 男性 U／Jターン層	Rの「ほどよい自然で、意外と都会 そんな場所で暮らしてみませんか。」と、 Tの「あなたの帰りを心待ちにしている人達がいる地元で暮らしてみませんか。」
③ 女性 Iターン層	Rの「ほどよい自然で、意外と都会 そんな場所で暮らしてみませんか。」
④ 男性 Iターン層	Pの「東京生活の疲れや悩みを地方生活で解消してみませんか。」をポジティブにしたコンセプトと、Rの「ほどよい自然で、意外と都会 そんな場所で暮らしてみませんか。」

*④「東京生活の疲れや悩みを地方生活で解消してみませんか。」に反応することは、自分がネガティブな状態にいることを認めることになるので、ポジティブな表現にして欲しいとの意見が多かった。

<コンセプトの留意点>

- ・ネガティブな表現は、受け入れられない。
- ・I ターンでは、自然環境に惹かれているという意見もあり、自然を取り込んだコンセプトづくりが必要だと考えられる。
- ・I ターン層は、自然環境に魅力を感じている。また旅行がきっかけで地域を意識するケースが多い。
- ・U／J ターン向けの地元のつながりを意識したコンセプトは地域への愛着や価値観などに左右されるため万人に受けるとは限らない。
- ・「豊かな自然」など田舎を想起させるフレーズはマイナスイメージを与えることもある。
- ・これらのコンセプト通りに広告を作るのではなく、あくまでも参考とする。

4. 広報手段

定量調査結果から、「地方暮らしの魅力案内サイト」はPCではなく、スマートフォン閲覧を想定して最適化し、想定したターゲティングに高確率で配信できるターゲティング広告を活用する。また、本事業の期間中にターゲティング広告のABテストを行い、広告表現と配信ロジックを最適化する。

(1) 配信メディア

定量調査結果から、関心層が普段よく接触するメディアは、WEB（スマートフォン）、テレビ、WEB（PC）の順となっている。

5-8 関心層が普段よく接触するメディア

(%)

		n=	WEB(スマートフォン)	テレビ	WEB(PC)	屋外・交通広告	ラジオ	雑誌	新聞	タウン誌	その他 具体的に:
	TOTAL	1248	90.8	84.5	35.0	13.1	10.0	9.3	8.6	0.6	0.3
TOTAL	男性	690	90.0	80.6	43.6	10.6	10.9	7.5	10.6	0.3	0.4
	女性	558	91.8	89.4	24.4	16.1	9.0	11.5	6.1	0.9	0.2
地方圏出身	TOTAL	418	94.7	82.5	42.3	14.4	7.2	11.0	3.1	0.7	0.5
	男性	229	95.2	77.3	53.3	10.5	8.7	7.9	4.4	0.0	0.4
	女性	189	94.2	88.9	29.1	19.0	5.3	14.8	1.6	1.6	0.5
東京圏出身	TOTAL	830	88.8	85.5	31.3	12.4	11.4	8.4	11.3	0.5	0.2
	男性	461	87.4	82.2	38.8	10.6	11.9	7.4	13.7	0.4	0.4
	女性	369	90.5	89.7	22.0	14.6	10.8	9.8	8.4	0.5	0.0

【参考】関心層が、普段よく利用するSNSはLINE、YouTube、Twitter、Instagram、Facebookの順であった。

5-9 関心層が普段よく利用するSNS

(%)

		n=	LINE(ライン)	YouTube(ユーチューブ)	Twitter(ツイッター)	Instagram(インスタグラム)	Facebook(フェイスブック)	pixiv(ピクシブ)	ブログサイト	Skype(スカイプ)	その他 具体的に:	SNSは使っていない
	TOTAL	1248	86.5	57.4	52.1	38.2	13.2	3.7	1.4	0.9	0.4	2.7
TOTAL	男性	690	84.6	64.8	51.3	27.2	15.4	3.0	1.6	1.0	0.3	3.5
	女性	558	88.9	48.2	53.0	51.8	10.6	4.5	1.1	0.7	0.5	1.8
地方圏出身	TOTAL	418	89.0	54.8	54.5	42.8	14.1	3.1	1.0	0.2	0.0	2.6
	男性	229	86.5	62.4	51.5	28.4	16.6	3.5	1.3	0.0	0.0	3.9
	女性	189	92.1	45.5	58.2	60.3	11.1	2.6	0.5	0.5	0.0	1.1
東京圏出身	TOTAL	830	85.3	58.7	50.8	35.9	12.8	4.0	1.6	1.2	0.6	2.8
	男性	461	83.7	65.9	51.2	26.7	14.8	2.8	1.7	1.5	0.4	3.3
	女性	369	87.3	49.6	50.4	47.4	10.3	5.4	1.4	0.8	0.8	2.2

(2)ターゲティング広告

想定したターゲットを「地方暮らしの魅力案内サイト」に誘導するために、WEB 広告の特性を生かして、設定された各ターゲット毎に最適なターゲティング広告を配信し、ターゲット層を「地方暮らしの魅力案内サイト」に誘導する。

ターゲティング広告としては、以下の 2 つの広告の手法が候補として考えられる。

- ①オーディエンスターゲティング広告：移住に潜在的な興味関心がありそうな「人」をネットの閲覧履歴（旅行、自然など）や登録属性を参考にして広告を配信する。
- ②コンテンツターゲティング広告：移住につながりそうなコンテンツ（旅行、サーフィン等の趣味など）を持つ WEB サイトに広告を配信する。

(3)AB テスト

また、複数タイプのターゲティング広告を配信（※）して、クリック率と、想定ターゲットが「地方暮らしの魅力案内サイト」に誘引されたのか（後述のアクセス解析が必要）を分析する AB テストを行うことで、より良い広告表現、配信先を絞り込めるようにする。

※ターゲティング広告は、令和 2 年 10 月中旬～11 月中旬、および、令和 2 年 12 月中旬～令和 3 年 1 月中旬の 2 回の配信を予定する。

5. 「地方暮らしの魅力案内サイト」のイメージ

(1) 「地方暮らしの魅力案内サイト」内容案

今回新たに制作する「地方暮らしの魅力案内サイト」では、移住者を地方暮らしに導いた複数の誘因カテゴリーを提示し、それぞれの誘因カテゴリーごとの「地方移住で幸せをつかんだ普通の人」へのインタビューをメインコンテンツとする。

地方暮らしの魅力案内サイトのデザインはターゲットにとってわかりやすく、親しみやすいものとし、覚えやすいサイトの名称とロゴを制作することも重要である。

また、移住・関係人口関連のコラムや、より詳しい情報を求める人たち向けの WEB サイト（内閣府、内閣官房、総務省、国土交通省、地方公共団体、NPO、一般社団法人、民間企業、媒体社等の移住・関係人口関連の WEB サイト）へのリンク、また、内閣官房・内閣府による「地方創生 SNS (Facebook、Twitter)」へのリンクを配することが考えられる。

5-10 「地方暮らしの魅力案内サイト」内容想定



(2) 誘因カテゴリーとインタビュー対象者イメージ

誘因カテゴリーに関しては、定量調査と定性調査の結果から、以下9つ程度を考えている。

また、インタビュー対象者は「地方で起業に成功した有名人」「地域活性化に成功した有名人」等ではなく、上述した通り「移住で幸せをつかんだ普通の人」とする。

- ① 「自然も便利も両方欲しい！」～便利も自然もある地方都市での暮らし～
(候補者イメージ) 車で10分で溪流に行ける、都市の便利さも捨てずにすむ〇〇市に移住した人。
- ② 「趣味に生きたい！」～地方ならではのアウトドア趣味中心での暮らし～
(候補者イメージ) 趣味のサーフィンがしくて、〇〇村に移住した人。
- ③ 「社会の役に立ちたい！」～仕事やボランティアを通して地域に貢献する暮らし～
(候補者イメージ) 地元の友人たちと一緒に地域を盛り上げるために、〇〇町にUターンした人。
- ④ 「自分の時間をもっと持ちたい！」～ワークライフバランスの良い職住接近の暮らし～
(候補者イメージ) 往復2時間の通勤に疑問を感じ、今と同じ仕事が見つかった〇〇市に移住した人。
- ⑤ 「やっぱり地元が好き！」～親や昔の友達の近くにいる暮らし～
(候補者イメージ) まだ元気だけど将来が心配なので、今のうちに実家の近くの〇〇町に移住した人。
- ⑥ 「広くて快適な家に住みたい！」～自分好みの快適で広い家での暮らし～
(候補者イメージ) リーズナブルな金額で、広い土地に大きな家が建てられる〇〇村に移住した人。
- ⑦ 「安心して子育てがしたい！」～親子に優しい環境での暮らし～
(候補者イメージ) 子育て支援制度が充実している〇〇市に移住した人。
- ⑧ 「何はともあれ自然が一番！」～自然がすぐ近くにある暮らし～
(候補者イメージ) 海のそばで時間がゆったりと流れていく暮らしがしくて〇〇村に移住した人。
- ⑨ 「歴史・文化を感じたい！」～街の趣や情緒に触れる暮らし～
(候補者イメージ) 歴史を感じる、昔の街並みが残っている〇〇町に移住した人。

(インタビュー内容案)

- ・移住した経緯（きっかけ、過程等）と現在の「幸せな」暮らしぶり
- ・以下の情報は、必ず触れてもらう
 - 仕事・家の見つけ方
 - 生活コストの変化
 - 苦労したこと
 - 地域側の受け入れ体制と状況
 - 幸福度の変化 等

(3) 各ターゲット層に対して、強調する3つの誘因カテゴリー

「地方暮らしの魅力案内サイト」の誘因カテゴリーは、ターゲットごとに以下の通り3つ程度を強調し、残りの6つの誘因カテゴリーは目立たせずに表示することも費用対効果によって検討する。

5-11 各ターゲット層に対して、強調する3つの誘因カテゴリー

ターゲット層	強調する3つの誘因カテゴリー
女性 U/Jターン層	④自分の時間をもっと持ちたい！ ⑤やっぱり地元が好き！ ⑧何はともあれ自然が一番！
男性 U/Jターン層	①自然も便利も両方欲しい！ ⑤やっぱり地元が好き！ ⑥広くて快適な家に住みたい！
女性 Iターン層	①自然も便利も両方欲しい！ ⑧何はともあれ自然が一番！ ⑨歴史・文化を感じたい！
男性 Iターン層	①自然も便利も両方欲しい！ ②趣味に生きたい！ ④自分の時間をもっと持ちたい！

(4)コラム

サイトユーザー（関心層）の地方暮らしへの関心を更に高めるために、気軽に読める以下の様な「コラム」も掲載する。

例 ・地方暮らしの魅力

- ・移住の失敗談
- ・「関係人口」から始めてみよう
- ・こんな人が移住に向いている
- ・地方も変わり始めている（※女性がUターンしない理由として、地元での生きにくさ（男尊女卑、狭いコミュニティ等）があがっているので、地方も女性が暮らしやすい様にするために対応していることを強調する。）

(5)移住・関係人口関連 WEB サイトへのリンク

サイトユーザー（関心層）が、さらに詳しい移住・関係人口に関する情報が入手しなくなった際の対応として、公的な移住・関係人口関連 WEB サイトへのリンクを張る。事前に、同サイトの担当者たちとの連絡会議の開催を検討する。

例 内閣官房/内閣府、総務省、国土交通省、その他各自治体、地方公共団体、NPO、一般社団法人、民間企業、媒体社等

(6)内閣官房/内閣府 地方創生 SNS へのフォロー促進

「地方暮らしの魅力案内サイト」にアクセスした関心層は、移住する可能性のある「有望な潜在層」なので、囲い込みを図りたい。

そのために、内閣官房/内閣府「地方創生 SNS」へのバナーを貼ってフォローを促すこととする。同 SNS フォロワーには、「地方暮らしの魅力案内サイト」に新しいコンテンツが掲載されるたびに情報を発信し、同サイトへのアクセスを期待する。

6. アクセス解析と KPI

(1) KPI

本事業の目的は 1. で述べた通り、東京圏在住の若年層を中心に地方暮らしへの関心を高め、「今後、地方で暮らすという選択肢もあり得る」と思ってもらうことである。

よって、本事業の評価に関しては、事前に事業終了時点の KPI（PV、地方創生 SNS フォロー数、移住・関係人口関連 WEB サイトへの移動者数等）を予め設定しておく。

(2) アクセス解析

「地方暮らしの魅力案内サイト」のアクセス解析（ユーザー属性、当サイトへの遷移元、人気コンテンツ、滞在時間等）を行い、KPI を高めるためにサイト（コンテンツ、デザイン等）の改修を行い、次年度の「地方暮らしの魅力案内サイト」事業戦略を策定する。

解析ツールに関しては、同サイトのプライバシーポリシーに準拠することとする。